

令和3年度

病虫害発生予察事業年報

和歌山県農作物病虫害防除所

目 次

| | |
|---------------------------------|-------|
| I. 事業目的 | 1 |
| II. 事業実施方針 | 1 |
| III. 対象病害虫の種類 | 1 |
| IV. 職員 | 4 |
| V. 病害虫発生予察情報の提供等 | |
| 1. 発生予察情報の一覧 | 5 |
| 2. 病害虫の診断・同定の件数 | 9 7 |
| VI. 病害虫の発生経過の概要 | 9 8 |
| VII. 作物病害虫の発生状況調査 | |
| 1. 水稻の生育概況 | 1 0 4 |
| 2. 予察ほ場などにおける定点調査 | 1 0 6 |
| 3. 水稻巡回ほ場調査 | 1 0 7 |
| 1) 圃場における病害虫の発生状況 | 1 0 8 |
| 2) 主要病害虫の発生程度別面積 | 1 2 0 |
| 4. 予察灯・フェロモントラップ等による水稻主要害虫の誘殺状況 | 1 2 8 |
| VIII. 野菜・花き病害虫の発生状況調査 | |
| 1. 巡回調査における発生状況 | 1 3 4 |
| 2. フェロモントラップによる鱗翅目害虫の誘殺状況 | 1 4 2 |
| 3. 黄色水盤によるアブラムシ類の飛来状況 | 1 4 7 |
| IX. 果樹病害虫の発生状況調査 | |
| 1. 予察ほ場などにおける調査 | 1 4 8 |
| 2. 巡回調査結果 | 1 6 9 |

令和3年度病害虫発生予察事業年報

I. 事業目的

農業生産の安定的発展と生産物の品質向上を図るため、指定有害動植物及び指定有害動植物以外の有害動植物（以下、「病害虫」という）について、その繁殖、気象、農作物の生育状況等を調査し、病害虫の発生とそれによる損害を予測し、適期適正な防除実施に必要な情報を関係機関等に提供することを目的とする。

II. 事業実施方針

病害虫発生予察事業の調査実施基準に基づいて、その目的、性質等を考慮して設置された県予察ほ場、地区予察ほ場及び害虫誘殺施設等による定点調査のほか、一般ほ場における巡回調査を実施し、定期または適期に関係機関等に発生予察情報を提供して、適切な防除の推進を図る。その他、県内で問題となる病害虫や侵入病害虫、新規発生病害虫に関する調査および情報提供なども実施する。

III. 対象病害虫の種類

| 作物名 | 対象病害虫 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 水 稻 | (指 定) いもち病、紋枯病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、ばか苗病、稲こうじ病、ヒメトビウンカ、トビイロウンカ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ、斑点米カメムシ類（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ、シラホシカメムシ、トゲシラホシカメムシ、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ）、イネミズゾウムシ (指定外) 白葉枯病、萎縮病、ごま葉枯病、内穎褐変病、疑似紋枯病、イチモンジセセリ、イネゾウムシ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ、スクミリンゴガイ |
| キャベツ | (指 定) 黒腐病、菌核病、アブラムシ類（ニセダイコンアブラムシ、モモアカアブラムシ）、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ (指定外) べと病、灰色かび病、軟腐病、モンシロチョウ、ハイマダラノメイガ、ウワバ類 |
| ハクサイ | (指定外) べと病、黒斑病、軟腐病、白斑病 |
| タマネギ | (指 定) 白色疫病、べと病 (指定外) ボトリチス属菌による葉枯病、軟腐病、さび病 |
| ス イ カ | (指 定) アブラムシ類（ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ）、シロイチモジヨトウ (指定外) つる枯病、うどんこ病、疫病、炭疽病、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）、アザミウマ類 |

| 作物名 | 対象病虫害 |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キュウリ | (指 定) ベと病、うどんこ病、灰色かび病、褐斑病、アザミウマ類（ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、ネギアザミウマ）、アブラムシ類（ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ）、コナジラミ類（オンシツコナジラミ、タバココナジラミ） (指定外) 斑点細菌病、疫病、モザイク病、黄化えそ病、ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ） |
| ナス | (指 定) うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類（ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ）、ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ）、アザミウマ類（ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、ネギアザミウマ）、ハスモンヨトウ、オオタバコガ (指定外) モザイク病、疫病、すすかび病 |
| トマト ミニトマト | (指 定) 灰色かび病、葉かび病、疫病、アブラムシ類（モモアカアブラムシ）、コナジラミ類（オンシツコナジラミ、タバココナジラミ）、オオタバコガ、ハスモンヨトウ (指定外) うどんこ病、モザイク病、黄化葉巻病、ハモグリバエ類、ハダニ類 |
| エンドウ | (指 定) シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ (指定外) 褐紋病、褐斑病、うどんこ病、灰色かび病、つる枯細菌病、ウラナミシジミ、ナモグリバエ、ハモグリバエ類、アブラムシ類（マメアブラムシ、エンドウヒゲナガアブラムシ）、ウワバ類、ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ） |
| イチゴ | (指 定) 灰色かび病、うどんこ病、アブラムシ類（ワタアブラムシ）、ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ）、アザミウマ類（ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウナマ）、ハスモンヨトウ |
| カンキツ | (指 定) かいよう病、黒点病、そうか病、アブラムシ類（ワタアブラムシ、ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ）、ハダニ類（ミカンハダニ）、果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ） (指定外) 灰色かび病、褐色腐敗病、青・緑かび病、ミカンサビダニ、カイガラムシ類（ヤノネカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ）、ロウムシ類（ツノロウムシ、ルビーロウムシ）、アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ）、ゴマダラカミキリ、ミカンハモグリガ |
| キウイフ ルーツ | (指 定) かいよう病 |

| 作物名 | 対象病害虫 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カキ | <p>(指定) 炭疽病、アザミウマ類(チャノキイロアザミウマ、カキクダアザミウマ)、カイガラムシ類(フジコナカイガラムシ)、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)</p> <p>(指定外) うどんこ病、灰色かび病、角斑落葉病、円星落葉病、落葉病、すす点病、コガシラアワフキ</p> |
| モモ | <p>(指定) せん孔細菌病、ハダニ類(クワオオハダニ、ナミハダニ、カンザワハダニ)、シンクイムシ類(ナシヒメシンクイ、モモノゴマダラノメイガ、モモシンクイガ)、果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)</p> <p>(指定外) 黒星病、灰星病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ)、モモハモグリガ、コスカシバ、カイガラムシ類(ウメシロカイガラムシ、クワシロカイガラムシ)</p> |
| ウメ | <p>(指定) 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)</p> <p>(指定外) かいよう病、黒星病、すす斑病、アブラムシ類(ムギワラギクオマルアブラムシ)、ウメシロカイガラムシ、コスカシバ</p> |

IV. 職員

| 区 分 | 所 在 地 | 職 名 | 氏 名 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 本 所 | 和歌山県紀の川市貴志川町高尾160 (農業試験場内) TEL 0736(64)2300 FAX 0736(65)2016 | 所 長 主 任 主 任 主 査 主 査 副主査 技 師 | 林 恭弘 藪野 佳寿郎 衛藤 夏葉 井沼 崇 岡本 晃久 高岸 香里 中居 由依奈 |
| 有田川 駐在 | 和歌山県有田郡有田川町奥751-1 (果樹試験場内) TEL 0737(52)4320 FAX 0737(53)2037 | 主 任 主 査 技 師 | 井口 雅裕 武田 知明 松山 尚生 |
| 紀の川 駐在 | 和歌山県紀の川市粉河3336 (果樹試験場かき・もも研究所内) TEL 0736(73)2274 FAX 0736(73)4690 | 主 任 主 査 副主査 副主査 | 和中 学 森本 涼子 弘岡 拓人 増田 吉彦 |
| みなべ 駐在 | 和歌山県日高郡みなべ町東本庄 1416-7 (果樹試験場うめ研究所内) TEL 0739(74)3780 FAX 0739(74)3790 | 主 任 主 査 技 師 技 師 | 中 一晃 菱池 政志 下村 友季子 柏本 知晟 |

V. 病害虫発生予察情報の提供等

1. 発生予察情報の一覧

1) 注意報

令和3年4月23日

令和3年度病害虫発生予察注意報（第1号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：タマネギべと病
2. 対象作物：タマネギ（中生～晩生）
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：多
5. 発生時期：2～6月
6. 注意報発表の根拠

タマネギべと病については本年3月8日に令和2年度病害虫発生予察注意報（第3号）を発表したところであるが、二次感染株の発生が多い傾向が認められる。

- 1) 4月下旬の県北部におけるタマネギべと病二次感染株（図1）の発生ほ場率は47%（平年26%）、発病株率は1.0%（平年1.2%）であった。本年の発生ほ場率は平年に比べて高く、過去10年と比べて2番目に高い（表1）。
- 2) 本病は、平均気温15～20℃前後で降雨が多いときに発生が多くなる。本年は発生ほ場率が高いため、今後の気象条件により発生の増加が懸念される。

表1 4月中～下旬の県北部におけるタマネギべと病二次感染株の発生状況

| | 平成 23年 | 平成 24年 | 平成 25年 | 平成 26年 | 平成 27年 | 平成 28年 | 平成 29年 | 平成 30年 | 平成 31年 | 令和 2年 | 平年 | 令和3年 (本年) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----|--------------|
| 発生ほ場率 (%) | 19 | 27 | 43 | 33 | 39 | 50 | 5 | 11 | 13 | 23 | 26 | 47 |
| 発病株率 (%) | 1.0 | 0.4 | 0.4 | 0.1 | 3.4 | 4.2 | 0.1 | 1.5 | 0.2 | 0.7 | 1.2 | 1.0 |

注) 調査場所：和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町
平年：平成23～令和2年の平均

7. 防除上の注意事項

- 1) ほ場をこまめに見回り、発病葉を除去し、早急に薬剤散布を行う。除去した発病葉は、ほ場の外に持ち出して適切に処分する。また、収穫後の発病葉は翌年の発生源となるので、集めてほ場の外に持ち出し適切に処分する。
- 2) 孢子飛散による感染拡大を防ぐため、発生が認められないほ場においても予防散布を徹底する。
- 3) 薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統の薬剤は連用しない。
- 4) 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。
- 5) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。



図1 タマネギべと病二次感染株の病斑

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300

令和3年5月20日

令和3年度病害虫発生予察注意報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：モモせん孔細菌病
2. 対象作物：モモ
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：やや多～多
5. 発生時期：4月～8月
6. 注意報発表の根拠
 - 1) 県北部における5月中旬の発病葉率は2.1%（平成2.8%）と平成並であるが、発生ほ場率は80%（平成66%）と広く発生が認められる。
 - 2) 4月下旬～5月中旬の累積降水量が多い年に、7月中旬の発病果率が高くなる傾向にあり、本年の4月下旬～5月17日の累積降水量は273mmと多い（図1）。
 - 3) 気象庁の発表によると、本年は5月16日に近畿地方が梅雨入りしたとみられ、向こう1か月（5月15日～6月14日）の近畿地方の降水量は、多い確率が60%となっている。風雨が強い場合に急速に感染が拡大するので、注意が必要である。



写真1 モモせん孔細菌病の発病葉



写真2 モモせん孔細菌病の発病果実

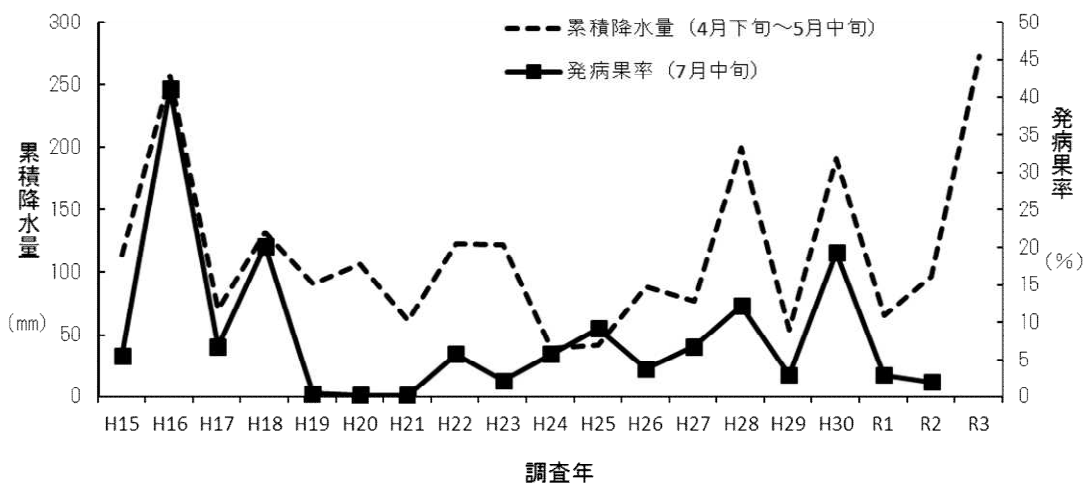


図1 累積降水量とモモせん孔細菌病の発病果率の関係

注1) 降水量の観測地点：和歌山市（和歌山地方气象台）

注2) R3の降水量は4月下旬～5月17日までのデータ

注3) 発病果率は、紀の川市とかつらぎ町の10ほ場のデータ

7. 防除上の注意事項

- 1) 気象予報を参考に、降雨前に予防散布を実施する。薬剤使用の際は、使用濃度、収穫前日数など使用方法を必ず確認する。
- 2) 風雨による果実への感染を防止するため、袋掛けは速やかに行う。
- 3) 新たな感染を防止するため、伝染源となる発病枝（枯れ枝）、発病葉、発病果実を除去する。
- 4) 発病葉は早期落葉する恐れがあるため、袋掛け後も薬剤散布を徹底する。
- 5) 破損している防風ネットの補修や防風樹の管理に努める。

| |
|-----------------------------------------|
| 和歌山県農作物病害虫防除所（紀の川駐在） 電話：0736(73)2274 |
|-----------------------------------------|

令和3年5月26日

令和3年度病害虫発生予察注意報（第3号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：スイカ炭疽病
2. 対象作物：スイカ
3. 対象地域：県中部
4. 発生量：多
5. 発生時期：梅雨時期（5～7月）
6. 注意報発表の根拠
 - 1) 県中部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は67%、発病葉率は5.5%であり、いずれも6月の平年より高い（表1）。
 - 2) 大阪管区気象台発表の1か月予報（予報期間：5月22日～6月21日）によると、この期間、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多い見込みで、発病に好適な条件が続くものと予想される。

表1 5月中下旬および6月中下旬の県中部におけるスイカ炭疽病の発生状況

| | | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 平年 | 令和3年(本年) |
|----|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-----|----------|
| 5月 | 発生ほ場率(%) | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 67 |
| | 発病葉率(%) | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5.5 |
| 6月 | 発生ほ場率(%) | 40 | 83 | 7 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | - |
| | 発病葉率(%) | - | 4.6 | 4.4 | 0 | 0 | 4.1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1.5 | - |

注) -はデータなし

平年：5月は平成25～令和2年の平均

6月の発生ほ場率は平成23～令和2年の平均

6月の発病葉率は平成24～令和2年の平均

7. 防除上の注意事項
 - 1) 発生を確認した場合、発病茎葉や果実（写真1、2）を速やかに取り除き、ほ場の外に持ち出すとともに、5～7日間隔で薬剤防除を梅雨明けまで続ける。
 - 2) 未発生ほ場においても降雨前の予防散布に努める。
 - 3) ほ場の排水性を改善するとともに、降雨の跳ね上がり防止に努める。
 - 4) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。



写真1 スイカ葉の病斑



写真2 スイカ果実の病斑

和歌山県農作物病虫害防除所
電話：0736(64)2300

令和4年3月22日

令和3年度病害虫発生予察注意報（第4号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：タマネギべと病
2. 対象作物：タマネギ
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：多
5. 発生時期：2～6月
6. 注意報発表の根拠

1) 3月中旬の県北部におけるタマネギべと病越年罹病株(写真1)の発生ほ場率は27%、発病株率は0.51%と、いずれも3月中～下旬の平年(発生ほ場率7%、発病株率0.05%)に比べて高い。また、平成24年以降、最も高い発生ほ場率と発病株率である(表1)。

表1 3月中旬の県北部におけるタマネギべと病越年罹病株の発生状況

| | 平成 24年 | 平成 25年 | 平成 26年 | 平成 27年 | 平成 28年 | 平成 29年 | 平成 30年 | 平成 31年 | 令和 2年 | 令和 3年 | 令和4年 (本年) | 平年 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------------|------|
| 発生ほ場率(%) | 3 | 11 | 3 | 7 | 0 | 8 | 9 | 6 | 10 | 10 | 27 | 7 |
| 発病株率(%) | 0.04 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0 | 0.07 | 0.03 | 0.05 | 0.12 | 0.12 | 0.51 | 0.05 |

注) 調査場所：平成24～令和3年は和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町。令和4年は岩出市、紀の川市、かつらぎ町
平年：平成24～令和3年の3月中～下旬における調査の平均

7. 防除上の注意事項

- 1) 前年に発生が多かったほ場は、本年も発生しやすい。
- 2) 本病は、気温15℃前後で曇雨天が続くと多発する。
- 3) ほ場をこまめに見回り、越年罹病株の早期発見と抜き取りを徹底する。抜き取った株は袋に入れ、ほ場の外に持ち出して適切に処分し、早急に薬剤散布を行う。
- 4) 孢子飛散による感染拡大を防ぐため、発生が認められないほ場においても早期からの予防散布を徹底する。二次感染株(写真2)が認められた場合は早急に薬剤散布を行う。
- 5) 薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統の薬剤は連用しない。
- 6) 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。
- 7) 防除薬剤は最新の登録情報(農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>)を参照し、適正に使用する。

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300



写真1 タマネギベと病越冬罹病株



写真2 タマネギベと病二次感染株の病斑

2) 防除技術情報

令和3年4月21日

令和3年度病虫害防除技術情報（第1号）

和歌山県農作物病虫害防除所

クビアカツヤカミキリの発生状況と防除対策について

クビアカツヤカミキリ（図1）による被害が、県北部において急速に拡大しています。本種は産卵数や食害量が極めて多いため、被害を受けた樹は急激に枯死します。また、被害樹を放置すると次世代の発生源となるため、できるだけ早く被害を見つけ、対策を打つことが重要となります。果樹園内の見回りと防除対策を徹底してください。

1. 対象地域：県北部

2. 対象作物：モモ、スモモ、ウメ

3. 発生時期

1) 幼虫の排出するフラス（糞と木くずが混ざったもの）：3月末～10月

2) 成虫：6～8月

4. 発生状況

被害は令和2年に急拡大し、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、橋本市のモモ、スモモ、ウメにおいて合計51園地195樹で確認されている（表1）。

表1 和歌山県におけるクビアカツヤカミキリの被害状況の推移

| 市町名 | 樹種 | 令和2年5月15日時点 | | 令和3年3月31日時点 | |
|-------|-----|-----------------|------|-------------|------|
| | | 園地数 | 被害樹数 | 園地数 | 被害樹数 |
| 岩出市 | モモ | 1 | 2 | 2 | 4 |
| 紀の川市 | モモ | — ¹⁾ | — | 3 | 8 |
| かつらぎ町 | モモ | 5 | 14 | 17 | 42 |
| | スモモ | 2 | 10 | 15 | 112 |
| | ウメ | — | — | 8 | 20 |
| 橋本市 | モモ | — | — | 1 | 2 |
| | スモモ | — | — | 4 | 6 |
| | ウメ | — | — | 1 | 1 |
| 計 | | 8 | 26 | 51 | 195 |

1) — は未調査

5. 本種の特徴

1) 生態

成虫は幹や枝の樹皮表面や割れ目などに産卵する。孵化した幼虫は樹木内へ食入し、フラスを出しながら樹木内を食害する。幼虫は1～3年後の春に蛹化し、6～7月に羽化する。

2) 加害植物

本県ではモモ、スモモ、ウメで被害が確認されている。その他、サクラ等を加害する。

3) 被害の特徴

幼虫が幹や枝の内部を食害し、樹勢を低下させ、やがて枯死させる。フラスは幼虫が樹皮下に穿孔し排糞することにより排出される。幼虫の発育初期には直径3～5mm程度のミンチ状のフラスが少量排出される（図2）。発育が進むと排出量が増え、被害が甚

大な樹ではフラスが株元に大量に溜まる（図3）。食入部位は、地表に現れた太い根から高さ2 m程度までに多い。樹幹部だけでなく、直径6 cm程度の枝にも被害が確認される。

6. 防除対策

果樹園内を定期的に見回り、できるだけ早期に被害を発見し対策を行う。防除は、捕殺や薬剤防除等、複数の適切な手段を組み合わせる。

- 1) 幼虫はマイナスドライバー等で樹皮をめくり、掘り取って捕殺する。捕殺が難しい場合は、千枚通しや針金等を食入孔に入れ、中のフラスをかき出してからスプレー型の農薬を食入孔に注入する。
- 2) 成虫は見つけ次第捕殺する。また、表2を参考に、成虫活動期の6～8月に効果の高い薬剤を散布する。その際、葉だけでなく幹や枝にもかかるように散布する。
- 3) 被害樹には、成虫の分散防止のため、成虫活動期（6～8月）に被害部を中心に目合い4 mm以下のネットを2重に巻き付ける。ただし、ネット内部での交尾・産卵や、ネットを切断し隙間から脱出する場合もあるので、ネット設置後も頻繁に見回りを行い捕殺する必要がある。また、ネットを樹幹に密着させると成虫がネットをかみ切るため、ネットと樹幹の間に余裕を持たせる。
- 4) 被害が激しい樹は、幼虫を全滅させるのが困難であり早期の枯死が予想されるため、成虫脱出時期以外の9月～翌年4月に伐採（抜根）し、被害拡大を防止する。伐採樹は放置せず、粉碎（10mm以下）または焼却処理する。その際、本種は特定外来生物に指定されているため、保管や移動に規制がかかるので注意する。
- 5) 本種の成虫や上記の被害を見つけた場合は、直ちに農作物病虫害防除所もしくは管轄する各振興局農業水産振興課に連絡する。



図1 ♂成虫



図2 食入孔からのフラス（発育初期）



図3 株元に溜まった大量のフラス

表2 主要農薬のクビアカツヤカミキリ成虫に対する殺虫効果

| IRACコード ¹⁾ | 農薬名 ²⁾ | 作物名 | 適用害虫 | | 接触毒性 ³⁾ | 実用性の判定 ⁴⁾ |
|-----------------------|-------------------|-----|------|-----|--------------------|----------------------|
| | | | クビアカ | 他害虫 | | |
| 4A | モスピラン顆粒水溶剤 | モモ | 有 | 有 | ◎ | ◎ |
| | | スモモ | 有 | 有 | | |
| | | ウメ | 有 | 有 | | |
| | ダントツ水溶剤 | モモ | 有 | 有 | ○ | ◎ |
| | | スモモ | なし | 有 | | |
| | | ウメ | 有 | 有 | | |
| 28 | テツパン液剤 | モモ | 有 | 有 | △ | ◎ |
| | | スモモ | 有 | 有 | | |
| | | ウメ | なし | 有 | | |

1) 異なるコードは作用機構が異なる

2) 希釈倍数は実用濃度

3) 薬剤散布枝を風乾後、散布当日に成虫を放虫し、4日後に死虫率を調査(かき・もも研究所, 2020)

4) 2018年クビアカツヤカミキリ特別連絡試験による実用性の判定(舟木, 2019)

| 効果 | 接触毒性 (死虫率) ³⁾ | 実用性の 判定 ⁴⁾ |
|----|-----------------------------|--------------------------|
| ◎ | 高 (90%以上) | A |
| ○ | 中 (50~90%) | — |
| △ | 低 (50%未満) | — |

【防除薬剤については以下も参照ください】

●農林水産省 農薬登録情報提供システム

<https://pesticide.maff.go.jp/>

和歌山県農作物病虫害防除所 (紀の川駐在)
電話 : 0736(73)2274

令和3年度病害虫防除技術情報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

カンキツ黒点病の防除の徹底について

カンキツ黒点病（図1）の薬剤による防除開始時期は落弁直後の幼果期（5月下旬～6月上旬）です。昨年は6～7月にかけて多雨となったため本病の発生量がやや多くなりました（図2）。気象庁の発表によると本年は5月16日に近畿地方が梅雨入りしたとみられ、向こう1か月（5/15～6/14）の近畿地方の降水量は多い確率が60%となっており注意が必要です。以下の点に留意して防除を徹底しましょう。

1. 病害虫名：カンキツ黒点病
2. 対象地域：県内全域
3. 対象作物：カンキツ
4. 発生時期：5月下旬～10月
5. 防除対策
 - 1) 薬剤防除は5月下旬から8月下旬にかけてマンゼブ水和剤、マンネブ水和剤を用いて行います。散布後の累積降水量が200～250mmとなった時点、または1か月を経過した時点のどちらかの早いタイミングで追加散布を行います。表1に示した使用時期や使用回数をよく確認して計画的に散布しましょう。また、長雨により適切なタイミングで散布できない場合がありますので、早めの散布を心がけましょう。
 - 2) 想定外の長雨や集中豪雨となった場合、次の散布機会までに累積降水量が250mmを超えると薬剤の効果が切れるおそれがあります。梅雨や台風等の多雨が予測される時期にはマンゼブ水和剤を使用し、以下の方法で本剤の耐雨性を向上させます。
 - (1) 使用基準（表1）の範囲内の最も高い濃度で散布します。
 - (2) パラフィン系展着剤（名称：アピオンE、希釈倍数：1,500倍）を加用します。
 - (3) ミカンハダニの防除適期である6月中下旬は97%・98%マシン油乳剤（希釈倍数：200倍）を混用します。なお、マシン油乳剤とパラフィン系展着剤を同時に混用することは避けましょう。また、7月中旬以降は果実品質を低下させるおそれがあるため、マシン油乳剤は使用しないで下さい。
 - 3) カンキツの枯れ枝が伝染源となります。日常管理の中で枯れ枝を見つけたら、せん除してほ場外に持ち出すように心がけましょう。



図1 カンキツ黒点病の罹病果実

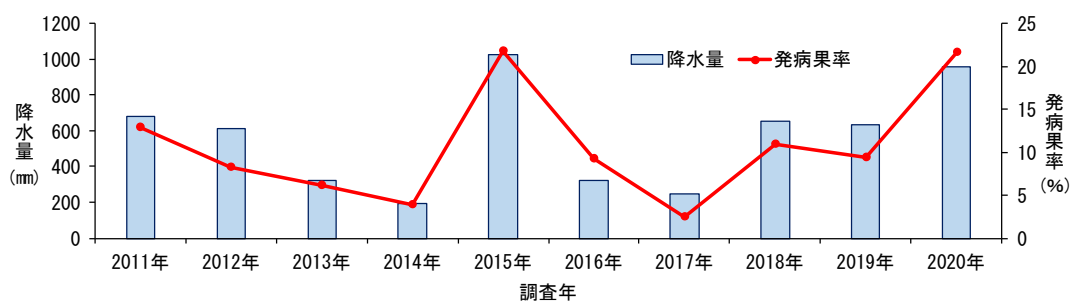


図2 6～7月の降水量と発病果率との関係

注) 発病果率は海南市(下津町)～田辺市のカンキツを植栽する63～65ほ場で8月中旬に調査
降水量は果樹試験場内設置の気象観測装置により観測

表1 カンキツ黒点病を対象としたマンゼブ水和剤およびマンネブ水和剤の使用基準

| 農薬の種類 | 農薬の名称 | 作物名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 |
|---------|-----------------|------------------|----------|----------|------|
| マンゼブ水和剤 | ジマンダイセン水和剤 | みかん | 400～800倍 | 収穫30日前まで | 4回以内 |
| | または ペンコゼブ水和剤 | かんきつ (みかんを除く) | 600～800倍 | 収穫90日前まで | |
| マンネブ水和剤 | エムダイファー水和剤 | みかん | 600～800倍 | 収穫60日前まで | 2回以内 |
| | | かんきつ (みかんを除く) | 600～800倍 | 収穫90日前まで | |

和歌山県農作物病虫害防除所(有田川駐在)
電話: 0737(52)4320

令和3年度病害虫防除技術情報（第3号）

和歌山県農作物病害虫防除所

スイカ炭疽病の発生状況について

県中部の露地栽培スイカにおける炭疽病の発生について、令和3年5月26日付け病害虫発生予察注意報第3号を発表したところですが、県北部の露地栽培スイカの一部ほ場においても炭疽病の発生が確認されました。大阪管区気象台発表の1か月予報（予報期間：6月12日～7月11日）によると、向こう1か月の天候は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みとされていることから、今後の気象条件により発生の増加が懸念されます。

1. 対象作物 スイカ
2. 対象地域 県北部
3. 発生時期 梅雨時期（5～7月）
4. 発生状況

- 1) 県北部の露地栽培スイカにおける6月中旬の発生ほ場率は20%（平年7%）、発病葉率は0.3%（平年0.3%）であり、発生ほ場率は過去10年と比べて2番目に高い（表1）。

表1 6月中旬の県北部におけるスイカ炭疽病の発生状況

| | 平成 23年 | 平成 24年 | 平成 25年 | 平成 26年 | 平成 27年 | 平成 28年 | 平成 29年 | 平成 30年 | 令和 元年 | 令和 2年 | 平年 | 令和3年 (本年) |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|-----|--------------|
| 発生ほ場率(%) | 0 | 58 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 7 | 20 |
| 発病葉率(%) | 0 | 3.1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.3 | 0 | 0 | 0.3 | 0.3 |

注) 平年：平成23～令和2年の平均

5. 防除上の注意事項
 - 1) 発生を確認した場合、発病茎葉や果実（写真1、2）を速やかに取り除き、ほ場の外に持ち出すとともに、5～7日間隔で薬剤防除を梅雨明けまで続ける。
 - 2) 未発生ほ場においても降雨前の予防散布に努める。
 - 3) ほ場の排水性を改善するとともに、降雨の跳ね上がり防止に努める。
 - 4) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。



写真1 スイカ葉の病斑



写真2 スイカ果実の病斑

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300

令和3年6月23日

令和3年度病害虫防除技術情報（第4号）

和歌山県農作物病害虫防除所

カンキツ灰色かび病、黒点病、そうか病の発生状況について

5月の多雨により6月時点の灰色かび病、黒点病およびそうか病の発病果（葉）率が平年に比べて多くなっています。黒点病とそうか病は今後も発生が増加するため、基本的な防除対策を徹底しましょう。

1. 調査地域：県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）
2. 調査時期：6月上～中旬
3. 発生時期（果実）
 - 1) 灰色かび病：5月～6月
 - 2) 黒点病：5月下旬～10月
 - 3) そうか病：5月下旬～8月上旬
4. 発生状況
 - 1) 灰色かび病の発生ほ場率は23%（平年15%）、発病果率は1.5%（平年0.6%）でした（図1）。
 - 2) 黒点病の発生ほ場率は22%（平年12%）、発病果率は4.7%（平年1.3%）でした（図1）。
 - 3) そうか病の発生ほ場率は6%（平年4%）、発病葉率は1.3%（平年0.7%）でした（図1）。
5. 防除対策
 - 1) 灰色かび病
感染時期を過ぎているため、薬剤防除は必要ありません。発病果実は摘果の際に除去しましょう。
 - 2) 黒点病
5月下旬から8月下旬にかけてマンゼブ水和剤、マンネブ水和剤を散布します（表1）。散布後の累積降水量が200～250mmとなった時点または1か月を経過した時点のどちらかの早いタイミングで追加散布を行います。詳しくは5月21日発表の令和3年度病害虫防除技術情報（第2号）を参照してください。
 - 3) そうか病
発生が問題となるのは主にウンシュウミカンです。果実での発生を防ぐためには7月下旬まで感染を抑える必要があります。葉や果実に発生が認められるほ場ではマンゼブ水和剤（希釈倍数：400倍、適用作物：みかん）を用いて黒点病との同時防除を行うと効率的です（表1）。
 - 4) そうか病は発病枝葉、黒点病はカンキツの枯れ枝が伝染源です。日常管理の中でこれらの伝染源を見つけたら、せん除してほ場外に持ち出すように心がけましょう。

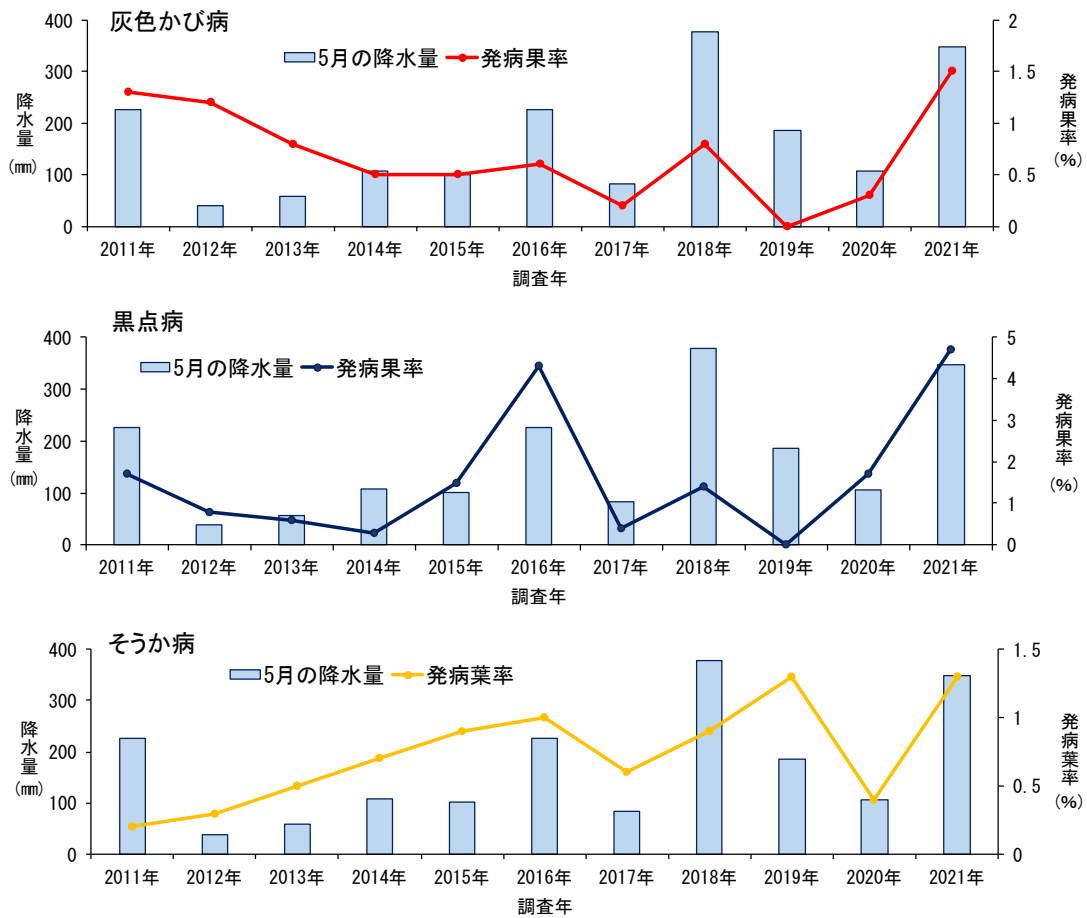


図1 灰色かび病、黒点病、そうか病の6月の発病果(葉)率と5月の降水量

注) 灰色かび病、黒点病は発病果率、そうか病は発病葉率

海南市(下津町)～田辺市のカンキツを植栽する63～65ほ場で6月中旬頃に30果(葉)／ほ場を調査

2021年の調査日は6月9日、11日

降水量は果樹試験場内設置の気象観測装置により観測

表1 マンゼブ水和剤およびマンネブ水和剤の使用基準

| 農薬の種類 | 農薬の名称 | 適用病害虫名 | 作物名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 |
|---------|-------------------------------|--------|------------------|----------|----------|------|
| マンゼブ水和剤 | ジマンダイセン水和剤 または ペンコゼブ水和剤 | そうか病 | みかん | 400倍 | 収穫30日前まで | 4回以内 |
| | | | みかん | 400～800倍 | | |
| | | 黒点病 | かんきつ (みかんを除く) | 600～800倍 | | |
| マンネブ水和剤 | エムダイファー水和剤 | 黒点病 | かんきつ (みかんを除く) | 600～800倍 | 収穫90日前まで | 2回以内 |

和歌山県農作物病虫害防除所(有田川駐在)
電話: 0737(52)4320

令和3年6月29日

令和3年度病虫害防除技術情報（第5号）

和歌山県農作物病虫害防除所

ビワの新害虫ビワキジラミの防除対策について

県内各地でビワキジラミ（図1左、中央）の発生が認められています。来年の収穫に向けて、薬剤防除を実施して本種の発生密度を低下させましょう。

1. 発生が確認されている地域：県北部（かつらぎ町）～県中部（印南町）
2. 発生状況
 - 1) 本種は平成24年に徳島県で発見された新種の害虫です。本県では平成29年に日高郡由良町の黄色粘着トラップで初めて確認されました。その後、平成30年に由良町、令和元年に海南市、有田郡有田川町、日高郡印南町、令和2年に有田郡湯浅町、令和3年に伊都郡かつらぎ町のビワ樹において生息が確認されています。
 - 2) 海南市下津町における本年5月の発生ほ場率は98%で前年（55%）より増加しました（図2左）。
 - 3) 湯浅町における本年5月の発生ほ場率は75%で前年（25%）より増加しました（図2右）。
 - 4) 本年の果実に被害（果実表面に付着した本種の排泄物に「すす」が発生、図1右）が多く認められました。



図1 ビワキジラミとその被害（左：幼虫、中央：成虫、右：被害果実）

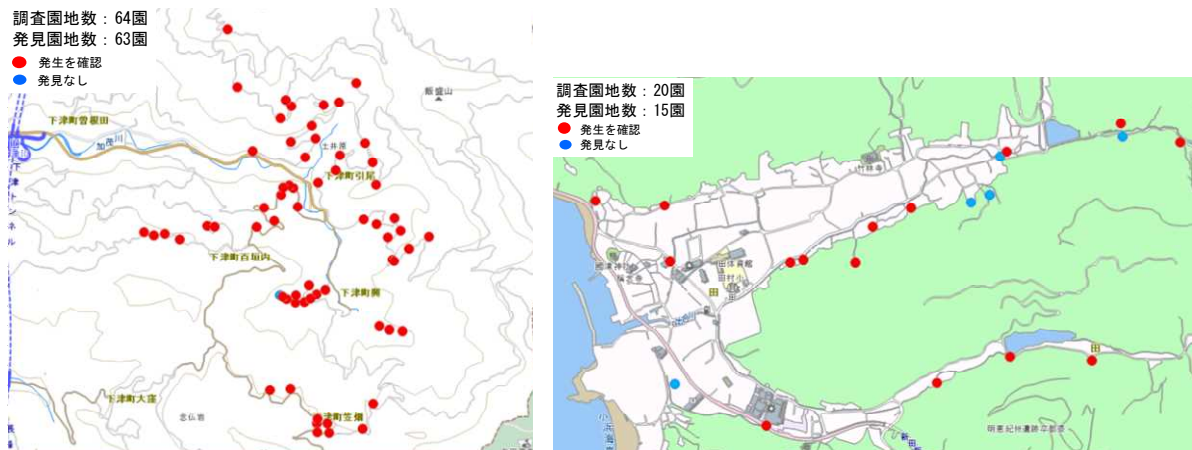


図2 ビワキジラミの発生分布（左：海南市下津町、右：有田郡湯浅町） 令和3年5月

3. 防除対策

4～6月は密度が高く、葉裏に成虫が群生して生息するため発生が確認しやすい時期です。また、幼虫の多発時期である3～4月や10～11月には幼虫が排出した白い排泄物が花蕾や果房などに付着するので、これを目印にすると効率的に発見できます。発生が確認された場合は表1を参考に以下の防除を行いましょ。

1) 6～7月（収穫後）

主に成虫が葉裏に生息しています。盛夏期（7月下旬～9月上旬）には樹冠内部で休眠し薬液がかかりにくくなるため、7月上旬までに成虫に有効な薬剤を散布してください。

2) 11月（開花初期）

成虫が花蕾に産卵し幼虫が増加する時期です。成虫と幼虫に有効な薬剤を散布してください。

3) 3月（袋かけ前）

幼虫が再び増加する時期です。果実の袋かけ前に幼虫に有効な薬剤を果実に確実に薬液が付着するように散布してください。薬剤散布から袋かけまでに期間があくと成虫が飛来し産卵するため、散布後速やかに袋かけを行いましょ。

4) 共通

花蕾の内部や果実のすき間などに隠れている幼虫にも薬剤が確実に付着するよう、丁寧な散布を心がけましょ。なお、ビワは枝葉の表面が細かい毛に覆われており薬液をはじくので、散布薬液に展着剤（商品名：まくびか）を加用してください。

表1 各種薬剤のビワキジラミに対する殺虫効果および使用基準

| IRACコード ¹⁾ | 薬剤名 | 殺虫効果 ²⁾ | | 希釈 倍数 (倍) | 使用時期 | 使用回数 |
|-----------------------|------------------|--------------------|----|-----------------|---------|------|
| | | 幼虫 | 成虫 | | | |
| 1B | スプラサイド乳剤40 | ◎ | ◎ | 1,500 | 開花期まで | 2回以内 |
| 3A | スカウトフロアブル | ◎ | ◎ | 2,000 | 収穫3日前まで | 3回以内 |
| 4A | モスピラン顆粒水溶剤 | ◎ | × | 2,000 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | スタークル／アルバリン顆粒水溶剤 | ○ | ○ | 2,000 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| 21A | サンマイル水和剤 | ○ | ◎ | 3,000 | 収穫3日前まで | 2回以内 |

1)異なるコードは作用機構が異なる

2)◎：補正死亡率90%以上、○：補正死亡率50～89%、×：補正死亡率50%未満

供試虫：幼虫は2021年4月19日、成虫は2020年5月28日に海南市下津町のビワ栽培ほ場で採集

処理日：幼虫は2021年4月20日、成虫は2020年5月29日

調査日：幼虫は処理3日後、成虫は処理7日後

薬液に30秒間浸漬して風乾したビワの新梢にビワキジラミを約10頭放飼した

対照として水道水に浸漬した新梢を用いて同様に生死を調査し、補正死亡率を算出した

(参考) 井上広光 (2015) : 植物防疫69, 97-101.

農食事業29022Cコンソーシアム (2020) : ビワキジラミ防除のための総合技術マニュアル, 農研機構.

和歌山県農作物病害虫防除所（有田川駐在）
電話：0737(52)4320

令和3年7月20日

令和3年度病害虫防除技術情報（第6号）

和歌山県農作物病害虫防除所

トビイロウンカの発生状況について

今年もトビイロウンカ（図1）の飛来が平年に比べて早く、飛来量も多い傾向です。本種は増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも今後高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがあります。定期的に発生状況を確認し、早めの防除を行ってください。

1. 対象作物 水稲

2. 対象地域 県内全域

3. 発生状況

1) 予察灯での誘殺

初誘殺は、紀の川市7月1日（平年7月21日）、上富田町5月14日（平年7月10日）、那智勝浦町6月23日（平年7月1日）であった。

また、紀の川市で7月上旬に2頭（平年0.4頭）、上富田町で5月中旬に1頭（平年0頭）、那智勝浦町では6月下旬に19頭（平年1.2頭）誘殺されるなど、本種が県内全域に多く飛来していると推察される（表1）。

2) ほ場での発生

7月中旬に、県内の一部ほ場で本種の幼虫が確認された（表2）。

4. 防除上の注意事項

- 1) 本種の発生量は地域間やほ場間で大きな差があるため、ほ場毎に発生状況を確認する。
なお、同一ほ場内においても発生に偏りがあり局所的に多発することから、ほ場の全体をよく観察する必要がある。
- 2) 本種はイミダクロプリド剤、チアメトキサム剤、クロチアニジン剤、ブプロフェジン剤に対する感受性の低下が認められているので、防除薬剤の選定に注意する。
- 3) 育苗箱施用剤によるウンカ類の防除を行っていない場合、または感受性の低下が認められている成分を含む育苗箱施用剤を使用している場合は、速やかに防除を行う。
- 4) 粉剤、液剤の散布に際しては、本種は株元に生息するため、薬剤が株元に十分に到達するよう、なるべく出穂前に散布する。粒剤は、有効成分が根から吸収されるため、効果が現れるまで時間がかかる。
- 5) 防除薬剤については、最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。



図1 トビイロウンカ成虫
長翅型(左)、短翅型(右)



図2 トビイロウンカによる坪枯れ被害(令和2年9月)

表1 県内設置の予察灯によるトビイロウンカの誘殺数(頭)

| | | 5月 | | 6月 | | 7月 | |
|-------|----|----|----|-----|-----|-----|------|
| | | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 |
| 紀の川市 | 本年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 前年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 平年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.1 | 0.4 |
| 上富田町 | 本年 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 前年 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 143 |
| | 平年 | 0 | 0 | 0 | 0.2 | 0.4 | 16.1 |
| 那智勝浦町 | 本年 | 0 | 0 | 0 | 2 | 19 | 2 |
| | 前年 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 126 |
| | 平年 | 0 | 0 | 0.1 | 0.3 | 1.2 | 13.9 |

表2 トビイロウンカの発生状況(平成23年~令和3年、7月中旬)

| | | 平成23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 (本年) | 平年 |
|-----|-------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|------------|------|
| 県北部 | 発生ほ場率 (%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 25株当たり虫数(頭) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.02 |
| 県中部 | 発生ほ場率 (%) | 0 | 0 | 14 | 14 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 43 | 4 |
| | 25株当たり虫数(頭) | 0 | 0 | 0.7 | 3.6 | 0.6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.9 | 0.5 |
| 県南部 | 発生ほ場率 (%) | 0 | 0 | 17 | 0 | 0 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 25株当たり虫数(頭) | 0 | 0 | 0.2 | 0 | 0 | 0.3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.1 |

注) ほ場における払い落とし調査(調査ほ場数: 県北部17、県中部7、県南部6)

和歌山県農作物病虫害防除所
電話: 0736(64)2300

令和3年度病害虫防除技術情報（第7号）

和歌山県農作物病害虫防除所

イネいもち病の発生状況について

県北部および県中部の普通期水稻においていもち病（葉いもち）の発生がやや多くなっています。大阪管区気象台発表の1か月予報（予報期間：8月14日～9月13日）によると、期間の前半は気温の変動が大きく、1週目は気温がかなり低くなる見込みです。また、期間のはじめは平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。本病は気温20～25℃、多湿で日照不足の時に多発し、降雨が続く、窒素過多、過繁茂等の場合に発病が助長されます。葉いもちが発生している場合は、今後の気象条件により発生が更に拡大し、穂いもちに進展する可能性があるため、防除を徹底しましょう。

1. 対象作物 普通期水稻
2. 対象地域 県北部および県中部
3. 発生時期 5月～9月
4. 発生状況

- 1) 県北部および県中部の普通期水稻における8月上中旬の発生ほ場率は46%（平年24%）、発病株率は9.7%（平年6.3%）であった（表1）。

表1 8月上中旬の県北部および県中部におけるいもち病（葉いもち）の発生状況

| | 平成 23年 | 平成 24年 | 平成 25年 | 平成 26年 | 平成 27年 | 平成 28年 | 平成 29年 | 平成 30年 | 令和 元年 | 令和 2年 | 令和3年 (本年) | 平年 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------------|-----|
| 発生ほ場率 (%) | 17 | 17 | 13 | 21 | 63 | 46 | 13 | 13 | 8 | 33 | 46 | 24 |
| 発病株率 (%) | 2.8 | 8.5 | 4.0 | 7.7 | 21.7 | 10.0 | 5.0 | 1.3 | 0.3 | 1.5 | 9.7 | 6.3 |

注) 平年：平成23～令和2年の平均

5. 防除上の注意事項
 - 1) 夏期の高温により発病は抑えられる傾向になるが、本病に適した気象条件になると発病が増加する可能性がある。ほ場をていねいに見回り、葉いもちの発生が認められた場合は、気象情報を考慮し防除を行う。
 - 2) 上位葉に葉いもちの発生が認められる場合は穂いもちに進展しやすいので、出穂期およびその後に降雨が続く場合は防除を徹底する。
 - 3) コシヒカリやキヌヒカリ等の発病しやすい品種の作付けほ場、多肥ほ場は、防除を徹底する。
 - 4) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300

令和3年度病害虫防除技術情報（第8号）

和歌山県農作物病害虫防除所

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の発生状況について

一部地域（みなべ町東本庄）でチャバネアオカメムシの誘殺数が多い傾向です。今後はカキやカンキツの果実が加害される時期となるため、定期的に発生状況を確認し、ほ場への飛来が認められたら早めの防除を行いましょ。

1. 病害虫名：チャバネアオカメムシ

2. 対象作物：カキ、カンキツ

3. 対象地域：県内全域

4. 加害期間：7月下旬～

5. 発生状況：

1) みなべ町東本庄の予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺数は8月上旬が515頭（平成275.1頭）、8月中旬が1,477頭（平成605.6頭）であった（表1）。

2) 紀の川市粉河の予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺数は8月上旬が191頭（平成221.6頭）、8月中旬が280頭（平成246.7頭）であった（表1）。

3) 有田川町奥の予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺数は8月上旬が23頭（過去7年の平均391.0頭）、8月中旬が90頭（同284.7頭）であった（表1）。

表1 各地域の予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺数（単位：頭）

| 調査場所 | 調査時期 | 平成 23年 | 平成 24年 | 平成 25年 | 平成 26年 | 平成 27年 | 平成 28年 | 平成 29年 | 平成 30年 | 令和 元年 | 令和 2年 | 令和 3年 | 平年 |
|-------------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|-------|
| みなべ町 東本庄 | 8月上旬 | 154 | 475 | 258 | 1,111 | 197 | 63 | 242 | 167 | 46 | 38 | 515 | 275.1 |
| | 8月中旬 | 345 | 370 | 1,256 | 1,431 | 367 | 88 | 335 | 1,183 | 536 | 145 | 1,477 | 605.6 |
| 紀の川市 粉河 | 8月上旬 | 11 | 406 | 86 | 918 | 189 | 84 | 84 | 307 | 39 | 92 | 191 | 221.6 |
| | 8月中旬 | 32 | 217 | 471 | 887 | 203 | 140 | 150 | 151 | 92 | 124 | 280 | 246.7 |
| 有田川町 奥 | 8月上旬 | - | - | - | 2,100 | 141 | 13 | 90 | 364 | 9 | 20 | 23 | 391.0 |
| | 8月中旬 | - | - | - | 1,295 | 57 | 14 | 64 | 496 | 36 | 31 | 90 | 284.7 |

※表中の-は欠測を示す

※有田川町奥の平年の数値は過去7年の平均を示す

6. 防除上の注意事項

1) みなべ町東本庄での誘殺数が多い傾向のため、当該地域周辺では特に発生に注意する。

2) 紀の川市粉河、有田川町奥では現時点で誘殺数が多い傾向は認められていないが、当該地域周辺においても今後の発生に注意する。

3) カメムシ類の飛来時期・量はほ場間差が大きい。ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。

4) 山林に隣接するカキ、カンキツほ場や極早生ウンシュウミカンの植栽ほ場では飛来時期が早く、集中して加害される傾向があるので、特に注意が必要である。

- 5) 台風通過後や強風後には、一時的に発生が多くなることがあるので注意する。
- 6) 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報
(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>)
や各地域の振興局、JA 等の情報を参考にする。
- 7) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。特に収穫に近いほ場では薬剤の収穫前日数に注意する。

| |
|------------------------------------------------------------|
| 和歌山県農作物病害虫防除所 紀の川駐在 (0736-73-2274) 有田川駐在 (0737-52-4320) |
|------------------------------------------------------------|

令和3年10月14日

令和3年度病虫害防除技術情報（第9号）

和歌山県農作物病虫害防除所

果樹カメムシ類の発生状況について

紀の川市粉河、有田川町奥、みなべ町東本庄でツヤアオカメムシの誘殺数が増加傾向です。また、紀の川市粉河ではチャバネアオカメムシの誘殺数が平年に比べてやや多くなっています。ほ場内を定期的に観察し、発生が認められたら早めの防除を行いましょう。

1. 病虫害名：ツヤアオカメムシ（発生量：並～やや多）
 チャバネアオカメムシ（発生量：並～やや多）
2. 対象作物：カキ、カンキツ
3. 対象地域：県内全域
4. 加害期間：7月下旬～11月下旬
5. 発生状況：
 - 1) ツヤアオカメムシ
 - (1) 紀の川市粉河の予察灯による誘殺数は9月下旬が109頭（平成192頭）、10月上旬が169頭（平成214頭）であった（表1）。
 - (2) 有田川町奥の予察灯による誘殺数は9月下旬が256頭（過去7年の平均273頭）、10月上旬が626頭（同378頭）であった（表1）。
 - (3) みなべ町東本庄の予察灯による誘殺数は9月下旬が1,067頭（平成3,713頭）、10月上旬が4,173頭（平成5,663頭）であった（表1）。

表1 各地域の予察灯によるツヤアオカメムシの誘殺数（単位：頭）

| 調査場所 | 調査時期 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 平年 |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|------|------|-------|-------|
| 紀の川市粉河 | 9月下旬 | 41 | 7 | 147 | 250 | 98 | 257 | 712 | 173 | 212 | 24 | 109 | 192 |
| | 10月上旬 | 10 | 6 | 389 | 88 | 51 | 321 | 1,012 | 181 | 65 | 20 | 169 | 214 |
| 有田川町奥 | 9月下旬 | - | - | - | 197 | 36 | 155 | 1,369 | 31 | 76 | 45 | 256 | 273 |
| | 10月上旬 | - | - | - | 201 | 19 | 117 | 2,056 | 129 | 72 | 53 | 626 | 378 |
| みなべ町東本庄 | 9月下旬 | 353 | 104 | 7,230 | 4,294 | 967 | 275 | 22,269 | 447 | 740 | 449 | 1,067 | 3,713 |
| | 10月上旬 | 362 | 9 | 19,528 | 4,614 | 165 | 197 | 30,654 | 438 | 553 | 106 | 4,173 | 5,663 |

※表中の-は欠測を示す

※有田川町奥の平年の数値は過去7年の平均を示す

- 2) チャバネアオカメムシ
 - (1) 紀の川市粉河の予察灯による誘殺数は9月下旬が228頭（平成167頭）、10月上旬が278頭（平成140頭）であった（表2）。
 - (2) 有田川町奥の予察灯による誘殺数は9月下旬が86頭（過去7年の平均149頭）、10月上旬が53頭（同102頭）であった（表2）。
 - (3) みなべ町東本庄の予察灯による誘殺数は9月下旬が352頭（平成1,749頭）、10月上旬が151頭（平成1,044頭）であった（表2）。

表2 各地域の予察灯によるチャバネアオカメムシの誘殺数（単位：頭）

| 調査場所 | 調査時期 | 平成 23年 | 平成 24年 | 平成 25年 | 平成 26年 | 平成 27年 | 平成 28年 | 平成 29年 | 平成 30年 | 令和 元年 | 令和 2年 | 令和 3年 | 平年 |
|-------------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|-------|
| 紀の川市 粉河 | 9月下旬 | 13 | 1 | 96 | 215 | 80 | 339 | 574 | 146 | 175 | 29 | 228 | 167 |
| | 10月上旬 | 1 | 1 | 228 | 44 | 10 | 150 | 755 | 138 | 68 | 3 | 278 | 140 |
| 有田川町 奥 | 9月下旬 | - | - | - | 107 | 8 | 80 | 739 | 53 | 42 | 13 | 86 | 149 |
| | 10月上旬 | - | - | - | 79 | 3 | 35 | 480 | 82 | 25 | 10 | 53 | 102 |
| みなべ町 東本庄 | 9月下旬 | 442 | 12 | 9,029 | 362 | 162 | 137 | 6,870 | 338 | 96 | 40 | 352 | 1,749 |
| | 10月上旬 | 78 | 0 | 7,036 | 208 | 18 | 53 | 2,952 | 68 | 26 | 4 | 151 | 1,044 |

※表中の-は欠測を示す

※有田川町奥の平年の数値は過去7年の平均を示す

6. 防除上の注意事項

- カメムシ類の発生量はほ場間差が大きい。ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
- 山林に隣接するカキ、カンキツほ場では発生量が多く、集中して加害される傾向があるので、特に注意が必要である。
- カキでは「富有」、カンキツでは収穫時期の早い極早生ウンシュウミカンで被害が大きいため発生に注意する。
- 台風通過後や強風後には、一時的に発生が多くなることがあるので注意する。
- 夜温が低下するとほ場への飛来数が減少する。チャバネアオカメムシは、11月以降にはほ場外の越冬場所に移動するため加害は通常10月末で終息する。一方、ツヤアオカメムシは、カンキツでは樹上で越冬するためほ場内に生息しており、11月でも最高気温が20℃以上になると加害することがある。
- 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報 (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>) や各地域の振興局、JA 等の情報を参考にする。
- 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。特に収穫が近いほ場では薬剤の収穫前日数に注意する。

和歌山県農作物病害虫防除所 紀の川駐在 (0736-73-2274)
有田川駐在 (0737-52-4320)

病害虫発生予報 第1号（4月予報）

和歌山県農作物病害虫防除所

＜予報の概要＞

| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|------|----------|-----|------|--------|-----|
| 水稲 | ヒメトビウンカ | 少 | 野菜全般 | 灰色かび病 | 並 |
| | ツマグロヨコバイ | やや多 | | アザミウマ類 | やや少 |
| タマネギ | 白色疫病 | やや少 | カンキツ | かいよう病 | 並 |
| | べと病 | 多 | | そうか病 | やや多 |
| エンドウ | 褐紋病 | 少 | | ミカンハダニ | やや多 |
| | うどんこ病 | 並 | カキ | うどんこ病 | 並 |
| キャベツ | コナガ | 並 | ウメ | かいよう病 | やや少 |
| キュウリ | べと病 | やや多 | 果樹全般 | カメムシ類 | やや少 |
| | 褐斑病 | 少 | | | |

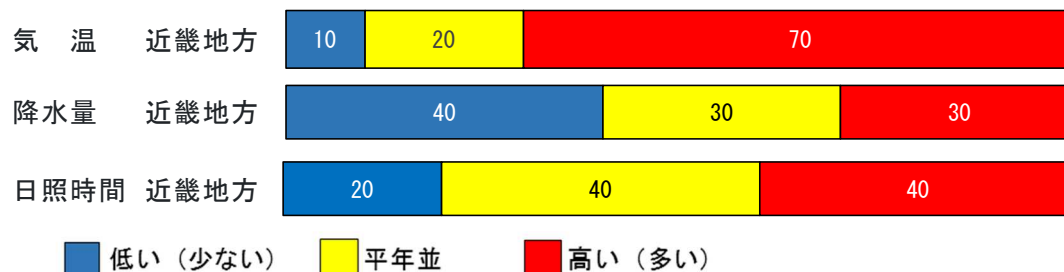
気象予報

近畿地方 1か月予報（03/20～04/19）

2021年03月18日14時30分 大阪管区气象台 発表

| 特に注意を要する事項 | | 期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。 |
|-----------------------|------|-----------------------------------|
| 向こう1か月 03/20～04/19 | 天候 | 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 |
| | 気温 | 平均気温は、高い確率70%です。 |
| | 日照時間 | 日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。 |
| 1週目 03/20～03/26 | 気温 | 1週目は、高い確率80%です。 |
| 2週目 03/27～04/02 | 気温 | 2週目は、高い確率70%です。 |
| 3～4週目 04/03～04/16 | 気温 | 3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。 |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



I. 水 稲

1. ヒメトビウンカ

- (1) 予報内容 発生時期 やや早
発生量 少

(2) 予報の根拠

- ① 3月中旬の休閑田の捕虫網20回振りすくい取り調査では、和歌山市3.7頭、成虫率92%（平成12.4頭、成虫率50%）、紀の川市0頭（平成7.6頭、成虫率42%）、かつらぎ町0頭（平成6.0頭、成虫率38%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① ヒメトビウンカはイネ縞葉枯ウイルスを媒介する。イネ苗へのヒメトビウンカの飛来を防ぐため、休閑田や雑草地付近での育苗を避ける。
② は種時（覆土前）～移植当日に育苗箱施薬剤を施用する。
③ 田植え前から作期を通して、ヒメトビウンカの生息場所となる水田周辺雑草の除草管理を徹底する。

2. ツマグロヨコバイ

- (1) 予報内容 発生時期 やや早
発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 3月中旬の休閑田の捕虫網20回振りすくい取り調査では、和歌山市8.7頭、成虫率92%（平成4.1頭、成虫率52%）、紀の川市0頭（平成0.2頭、成虫率17%）、かつらぎ町38.5頭、成虫率72%（平成22.0頭、成虫率44%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① は種時（覆土前）～移植当日に育苗箱施薬剤を施用する。

※ 水稻害虫の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の水稲害虫の予察灯誘殺消長も参考にする。

II. 野 菜

<タマネギ>

1. 白色疫病

- (1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部での3月中旬の発生ほ場率は17%（平成25%）、発病株率は0.2%（平成2.7%）であった。

- ② 4月の気象予報による

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 同一のほ場内でも発病に偏りがみられることがあるので、ほ場全体を見回り発病が集中しているところは特に丁寧に薬剤散布を行う。
② 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。

2. ベと病

- (1) 予報内容 発生量 多

(2) 予報の根拠

- ① 県北部での3月中旬の越年罹病株の発生ほ場率は10%（平成6%）、発病株率は0.12%（平成0.04%）であった。二次感染株の発生ほ場率は10%（平成7%）、発病株率は0.3%（平成0.1%）であった。

- ② 4月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 前年の発生が多かったほ場では、本年も発生しやすいので注意する。
 - ② ほ場をこまめに見回り、越年罹病株の早期発見と抜き取りを徹底する。二次感染株の発病葉についても、出来るだけ除去する。抜き取った株や除去した葉は袋に入れ、ほ場外に持ち出して適切に処分し、早急に薬剤散布を行う。
 - ③ 孢子飛散による感染拡大を防ぐため、発生が認められないほ場においても早期からの予防散布を徹底する。
 - ④ 同一系統の薬剤の連用は耐性菌の発生を助長させるので、他系統の薬剤とのローテーション散布を行う。
 - ⑤ 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。
 - ⑥ 令和2年度病害虫発生予察注意報第3号（令和3年3月8日発表）を参照する。

<エンドウ>

1. 褐紋病

- (1) 予報内容 発生量 少
- (2) 予報の根拠
 - ① 県中部の露地栽培における3月中旬の発生ほ場率は0%（過去9年の平均31%）であった。
 - ② 4月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 雨が多いと多発するので薬剤散布は早めに行う。
 - ② 多湿条件で発病が助長されるので、排水対策や通風対策に努める。

2. うどんこ病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県中部の露地栽培での3月中旬の発生ほ場率は0%（平年2%）であった。
 - ② 4月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 発生初期から薬剤防除を行う。

<キャベツ>

1. コナガ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部での3月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率3%、1株当たり発生密度0.0頭）であった。
 - ② フェロモントラップによる3月1～20日の誘殺数は、紀の川市3頭（平年5.1頭）、和歌山市46頭（過去9年の平均17.6頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① ジアミド系、IGR剤などの薬剤は殺虫効果の低下が認められている。
 - ② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の薬剤は連用しない。

<キュウリ>

1. ベと病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県中部での3月中旬の発生ほ場率は70%（過去8年の平均24%）、発病葉率は16.1%（過去8年の平均4.2%）であった。

② 4月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 多発すると防除が難しくなるため、初期防除を徹底する。

② 病原菌は気孔から侵入するので、薬液は葉の表裏にムラなくかかるように散布する。

③ 肥効が低下したり草勢が衰えたりすると発病が助長されるので、適切な肥培管理に努める。

④ 同一系統の薬剤の連用は耐性菌の発生を助長させるので、他系統の薬剤とのローテーション散布を行う。

2. 褐斑病

(1) 予報内容 発生量 少

(2) 予報の根拠

① 県中部での3月中旬の発生ほ場率は10%（過去7年の平均41%）、発病葉率は0.2%（過去7年の平均6.9%）であった。

② 4月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 多発すると防除が難しくなるため、初期防除を徹底する。

② 同一系統の薬剤の連用は耐性菌の発生を助長させるので、他系統の薬剤とのローテーション散布を行う。

③ ボスカリド剤、チオファネートメチル剤、アゾキシストロビン剤に対する感受性低下菌が認められている。

<野菜全般>

1. 灰色かび病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の施設栽培キュウリでの3月中旬の発生ほ場率は0%（平年2%）であった。

② 県中部の施設栽培ミニトマトでの3月中旬の発生ほ場率は0%（過去5年の平均6%）であった。

③ 4月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設の湿度低下を図り、過灌水や滞水しないように注意する。

② 発病部位を除去し、発病初期から薬剤防除を行う。

③ 同一系統の薬剤の連用は耐性菌の発生を助長させるので、他系統の薬剤とのローテーション散布を行う。

2. アザミウマ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部の施設栽培イチゴでの3月下旬の発生ほ場率は、ヒラズハナアザミウマ0%（過去5年の平均12%）、ミカンキイロアザミウマ0%（平年0%）であった。

② 県中部の施設栽培キュウリでの3月中旬の発生ほ場率は、ミナミキイロアザミウマ0%（過去7年の平均18%）、ミカンキイロアザミウマ0%（過去7年の平均3%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 気温の上昇とともに発生が増加するので、発生初期に防除する。多発ほ場では追加防除を行う。

Ⅲ. 果 樹

<カンキツ>

1. かいよう病

- (1) 予報内容 初発日 やや早
発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（無防除、有田川町奥）の3月中旬における春葉の越冬病斑の発病葉率は13.0%（平成10.9%）であった。
② 前年10月中旬の県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における春葉発病の発生ほ場率は22%（平成20%）、発病葉率は0.4%（平成0.7%）であった。
③ 4月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 罹病性品種植栽ほ場や常発ほ場では、伝染源となる罹病枝葉の剪除や防風施設の整備に努めるとともに、新梢伸長期に銅水和剤（薬害軽減のための措置を講じる）を散布する。

2. そうか病

- (1) 予報内容 発生時期 やや早
発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（無防除、有田川町奥）の3月中旬における越冬病斑の発病葉率は67.3%（平成48.4%）であった。
② 前年10月中旬の県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）におけるウンシュウミカンの果実発病の発生ほ場率は5%（平成3%）であった。
③ 4月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 常発ほ場や前年多発ほ場では、伝染源となる罹病葉の除去、発芽直後の薬剤防除に努める。

3. ミカンハダニ

- (1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（有田川町奥）における3月中旬の発生葉率は、無防除区17.0%（平成2.3%）、マシン油乳剤を散布している慣行防除区0%（平成0%）であった。
② 4月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 殺ダニ剤に対する抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の薬剤は年間に2回以上使用しない。

<カ キ>

1. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 前年10月中旬の「富有」の発生ほ場率は82%（平成78%）、発病葉率は18.0%（平成19.8%）であった。

② 4月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 子のう胞子飛散最盛期は4月下旬～5月上旬であり、この時期に水和硫黄剤を散布する。前年多発したほ場では、この時期の防除を徹底する。

② 4～5月に降水量が少なく、乾燥気味に経過すると発病が助長される。

③ 病原菌は葉裏の気孔から侵入するので、薬液は葉裏をねらって丁寧に散布する。

<ウ メ>

1. かいよう病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 3月上旬の予察ほ場（無防除、みなべ町東本庄）での2年生枝の潜伏越冬病斑形成枝率は0%（過去4年の平均1.7%）であった。

② 県南部（みなべ町、田辺市）の前年6月上旬の発生ほ場率は12%（平成54%）、発病果率は0.5%（平成2.4%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 強風雨により感染が助長されるため、常発ほ場では防風施設の整備等の防風対策を励行する。

② 生育期の薬剤防除は、発芽期からほぼ10日おきに数回、抗生物質剤を散布する。強風雨直前の散布で、より高い効果が得られる。

<果樹全般>

1. カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県内47地点のチャバネアオカメムシ越冬成虫の捕獲頭数は落葉50リットル当たり0.1頭（前年0.2頭、平成0.6頭）、捕獲地点率は8.5%（前年13.0%、平成22.0%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きいので、ほ場内での発生及び被害状況を観察し、防除は発生に応じて早めに行う。

② ウメ、モモなどでは、収穫前に越冬成虫の飛来が確認された場合は速やかに薬剤による防除を実施する。

③ ウメの被害は品種間差が大きい。小梅類等の収穫の早い品種で集中して加害される傾向があるので、これらの品種では特に注意が必要である。

④ カンキツでは蕾、花が加害されるので、被害が認められた場合は薬剤による防除を行う。

⑤ 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報や、各地域の振興局農業水産振興課、JA等の情報を参考にする。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ <農作物病虫害防除所>

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/
boujyosyo-yosatsujoyouhou.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujoyouhou.html)

○和歌山県ホームページ <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

病害虫発生予報 第2号（5月予報）

和歌山県農作物病害虫防除所

< 予報の概要 >

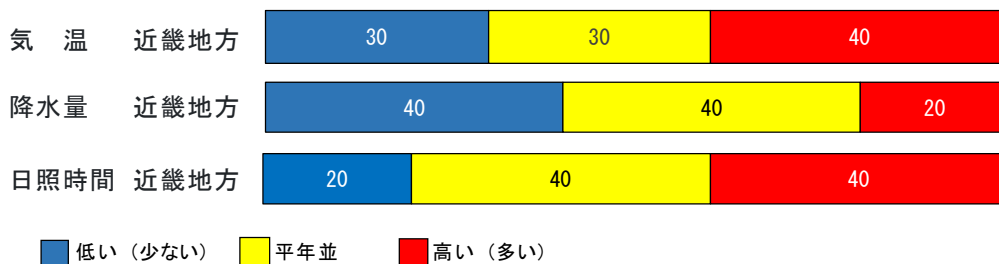
| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|------|--------------------------|-----|------|-------------|-----|
| 水稲 | もみ枯細菌病による苗腐敗症 | 並 | カンキツ | かいよう病 | 並 |
| | ばか苗病 | 並 | | そうか病 | やや多 |
| | いもち病 | 並 | | 黒点病 | 並 |
| | ヒメトビウンカ | やや少 | | 灰色かび病 | 並 |
| | 縞葉枯病 | やや少 | | ミカンハダニ | やや多 |
| | ツマグロヨコバイ | 並 | | ヤノネカイガラムシ | やや少 |
| | イネミズゾウムシ | 並 | | チャノキイロアザミウマ | やや少 |
| タマネギ | 灰色かび病 べと病 | 並 | カキ | うどんこ病 | 並 |
| | | 多 | | 円星落葉病 | やや少 |
| | | | | 角斑落葉病 | 並 |
| キュウリ | べと病 うどんこ病 褐斑病 | やや多 | モモ | せん孔細菌病 | 並 |
| | | 並 | | カイガラムシ類 | 少 |
| | | やや少 | | キウイフルーツ | 並 |
| 野菜全般 | アブラムシ類 ハダニ類 アザミウマ類 | 並 | 果樹全般 | カメムシ類 | やや少 |
| | | 並 | | | |
| | | やや少 | | | |

気象予報

近畿地方 1か月予報（04/24～05/23）

| | | |
|------------------------------|------|-----------------------------------|
| 2021年04月22日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
| 向こう1か月 04/24～05/23 | 天候 | 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 |
| | 降水量 | 降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。 |
| | 日照時間 | 日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。 |
| 1週目 04/24～04/30 | 気温 | 1週目は、平年並の確率50%です。 |
| 2週目 05/01～05/07 | 気温 | 2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。 |
| 3～4週目 05/08～05/21 | 気温 | 3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。 |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）



I. 水 稲

1. もみ枯細菌病による苗腐敗症

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 前年の県内全域におけるもみ枯細菌病の本田での発生面積率は0%（平年1%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 発病ほ場から採種した種子は使用しない。

② 種子消毒を行う。

2. ばか苗病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 前年の県内全域におけるばか苗病の本田での発生面積率は0%（平年2%）であった。

② 種子消毒に用いる薬剤の効果は安定している。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① もみ枯細菌病による苗腐敗症に準じる。

3. いもち病（苗いもち、葉いもち）

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 田植え時に育苗箱施薬剤を施用する。

4. ヒメトビウンカおよび縞葉枯病

| | | | |
|----------|---------|-----|-----|
| (1) 予報内容 | ヒメトビウンカ | 発生量 | やや少 |
| | 縞葉枯病 | 発生量 | やや少 |

(2) 予報の根拠

① 4月上旬の休閑田における捕虫網20回振りすくい取り調査では、和歌山市で2.3頭（平年12.4頭）、紀の川市で3.7頭（平年8.8頭）、かつらぎ町で1.3頭（平年4.2頭）であった。

② 県北部におけるヒメトビウンカ（越冬世代）のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は、和歌山市3.3%（平年8.2%）、かつらぎ町1.3%（平年9.5%）であった。

③ 県北部および中部の本田における前年のイネ縞葉枯病の発生面積率は0%（平年9%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① イネ苗へのヒメトビウンカの飛来を防ぐため、雑草地付近での育苗を避ける。

5. ツマグロヨコバイ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 4月上旬の休閑田における20回振りすくい取り調査による平均生息数は、和歌山市11.0頭（平年15.0頭）、紀の川市で0.3頭（平年5.1頭）、かつらぎ町で72.7頭（平年39.1頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 田植え時に育苗箱施薬剤を施用する。

6. イネミズゾウムシ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 那智勝浦町での予察灯による4月1～20日の誘殺数は0頭（平成0.1頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 田植え時に育苗箱施薬剤を施用する。

② 5月中旬までに田植えする地域のうち、多発地ではさらに田植え3～4週後に薬剤を処理する。

II. 野 菜

<タマネギ>

1. 灰色かび病（白斑葉枯病）

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部での4月下旬の発生ほ場率は0%（平成1%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ほ場の排水を良くする。

② 発病葉や収穫後の残さは、ほ場から速やかに持ち出して適切に処分する。

2. ベと病

(1) 予報内容 発生量 多

(2) 予報の根拠

① 県北部での4月下旬の二次感染株の発生ほ場率は47%（平成26%）、発病株率は1.0%（平成1.2%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ほ場をこまめに見回り、発病葉を出来るだけ除去し、早急に薬剤散布を行う。除去した葉は袋に入れ、ほ場の外に持ち出して適切に処分する。発病葉は翌年の発生源となるため、集めてほ場の外に持ち出して適切に処分する。

② 孢子飛散による発病の拡大を防ぐため、発生が認められないほ場においても予防散布を徹底する。

③ 薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統の薬剤は連用しない。

④ 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。

⑤ 収穫後の残さは、ほ場から速やかに持ち出して適切に処分する。

⑥ 令和3年度病害虫発生予察注意報第1号（令和3年4月23日発表）を参照する。

<キュウリ>

1. ベと病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部での4月中旬の発生ほ場率は30%（過去9年の平均29%）、発病葉率は4.8%（過去9年の平均2.6%）であった。

② 県中部での4月中旬の発生ほ場率は80%（平成45%）、発病葉率は

22.3%（平年 15%）であった。

③ 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設栽培では換気を十分に行い、湿度低下を図る。

② 薬剤防除は予防散布を重点に、薬液が葉裏に十分かかるように行う。

2. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部での4月中旬の発生ほ場率は0%（過去9年の平均：発生ほ場率0%、発病葉率0%）であった。

葉率0%）であった。

② 県中部での4月中旬の発生ほ場率は90%（平年73%）、発病葉率は17.0%（平年20.3%）であった。

③ 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設栽培では換気を十分に行い、湿度低下を図る。

② 薬剤防除は予防散布を重点に、薬液が葉裏に十分かかるように行う。

③ 同一系統の薬剤の連用は耐性菌の発生を助長するので、他系統の薬剤とローテーション散布する。

3. 褐斑病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部での4月中旬の発生ほ場率は0%（過去9年の平均：発生ほ場率4%、発病葉率0.2%）であった。

② 県中部での4月中旬の発生ほ場率は10%（過去5年の平均61%）発病葉率は3.6%（過去5年の平均14.2%）であった。

③ 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設栽培では換気を十分に行い、湿度低下を図る。

② 発病葉や収穫後の残さは速やかに処分する。

③ 資材に付着した病原菌の胞子が伝染源になるので、支柱等再利用する資材は栽培終了後に消毒する。ネットやマルチ等は更新する。

<野菜全般>

1. アブラムシ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部のキャベツにおける4月中旬の発生株率は、モモアカアブラムシ1.9%（平年12.4%）、ニセダイコンアブラムシ0.6%（平年1.6%）であった。

② 県中部の施設栽培キュウリにおける4月中旬のワタアブラムシの発生ほ場率は10%（過去7年の平均13%）であった。

③ 県中部の施設およびトンネル栽培スイカにおける4月中旬のワタアブラムシの発生ほ場率は50%（過去6年の平均36%）であった。

④ 黄色水盤（紀の川市）への4月1～20日までの飛来数は、108頭（平年84.7頭）であった。

⑤ 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

2. ハダニ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部のイチゴにおける4月中旬のナミハダニは発生ほ場率62.5%（平年42.0%）、発生葉率32.9%（平年14.4%）、カンザワハダニは発生ほ場率12.5%（平年21.9%）、発生葉率0.6%（平年4.8%）であった。
- ② 県中部の施設およびトンネル栽培スイカにおける4月中旬の発生ほ場率は60%（過去6年の平均66%）、1葉当たりの生息密度は0.3頭（過去6年の平均0.1頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① ハダニ類はほ場の周辺から侵入するので、外縁部の株において早期発見に努め、初期防除を行う。
- ② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

3. アザミウマ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部のイチゴにおける4月中旬のヒラズハナアザミウマは発生ほ場率37.5%（過去5年の平均57.3%）、1花当たり生息密度0.1頭（過去5年の平均0.9頭）、ミカンキイロアザミウマは発生ほ場率0%（平年：発生ほ場率15.3%、1花当たりの生息密度0.1頭）であった。
- ② 県中部の施設栽培キュウリにおける4月中旬のミナミキイロアザミウマは発生ほ場率30%（過去7年の平均36%）、ミカンキイロアザミウマは発生ほ場率0%（過去7年の平均4%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 生息密度の低い時期から薬剤防除を行う。

Ⅲ. 果 樹

<カンキツ>

1. かいよう病

(1) 予報内容 発生時期 やや早い（初発日の平年5月24日）
発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（有田川町奥）における「宮川早生」の展葉期は4月19日（平年4月24日）であった。
- ② 予察ほ場（無防除、有田川町奥）における春葉の越冬病斑の発病葉率は13.0%（平年10.9%）であった。
- ③ 前年10月中旬の県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における春葉発病の発生ほ場率は22%（平年20%）、発病葉率は0.4%（平年0.7%）であった。
- ④ 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 薬害対策を講じた上で銅水和剤の予防散布を行う。
- ② 罹病枝葉の剪除と防風垣や防風ネットの整備に努める。

2. そうか病

(1) 予報内容 発生時期 やや早い

発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（有田川町奥）における「宮川早生」の展葉期は4月19日（平年4月24日）であった。
- ② 前年10月中旬の県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）におけるウンシュウミカンの果実発病の発生ほ場率は5%（平年3%）であった。
- ③ 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 常発ほ場や前年多発ほ場は発芽直後の防除を基本とするが、発芽直後に防除できなかった場合は早急に散布を行う。
- ② その他のほ場では満開期に黒点病、灰色かび病を防除する際、そうか病にも適用のある薬剤を用いる。

3. 黒点病

(1) 予報内容 発生量（初期感染） 並

(2) 予報の根拠

- ① 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 樹上及びほ場内外に放置された枯枝が伝染源となるため早急に処分する。

4. 灰色かび病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 常発ほ場では満開期に防除を行う。
- ② 開花期～落弁期に曇雨天が続くと発生が助長されるので、必要に応じて防除する。

5. ミカンハダニ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（有田川町奥）における4月中旬の発生葉率は、無防除区40.0%（平年3.2%）、マシン油乳剤を散布している慣行防除区0%（平年0%）であった。
- ② 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 冬期から春期にかけてマシン油乳剤を散布していないほ場では、夏用マシン油乳剤200倍の散布を早急に行う。

6. ヤノネカイガラムシ

(1) 予報内容 発生時期 早い
発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 前年10月中旬の発生ほ場率は0%（平年6%）、寄生果率は0%（平年0.3%）であった。
- ② 予察式によると、第1世代1齢幼虫初発日は5月5日（平年5月15日）と予想される。
- ③ 5月の気象予報による。

7. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 予察ほ場（無防除）における黄色粘着トラップによる越冬成虫の4月1日～20日の誘殺数は由良町3頭（平年14.9頭）、有田川町0頭（過去7年の平均2.3頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 防風樹のイヌマキやサンゴジュの近くでは発生が多くなるので、特に丁寧に薬剤防除を行う。

<カ キ>

1. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 前年10月中旬の「富有」の発生ほ場率は82%（平年78%）、発病葉率は18.0%（平年19.8%）であった。

② 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 子のう胞子飛散最盛期は4月下旬～5月上旬であり、この時期に水和硫黄剤を散布する。前年多発したほ場では、この時期の防除を徹底する。

② 4～5月に降水量が少なく、乾燥気味に経過すると発病が助長される。

③ 病原菌は葉裏の気孔から侵入するので、薬液は葉裏をねらって丁寧に散布する。

2. 円星落葉病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 前年10月の「富有」における発生ほ場率は0%（平年43%）、発病葉率0%（平年5.3%）であった。

② 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 子のう胞子飛散は、5月上中旬から始まり、5月下旬～7月中旬の降雨後に多い。二次感染はしない。

② 薬剤防除は、5月から8月までマンゼブ水和剤、マンネブ水和剤、有機銅水和剤等を定期的に予防散布する。

3. 角斑落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 前年10月の「富有」における発生ほ場率は77%（平年68%）、発病葉率は11.2%（平年12.2%）であった。

② 5月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 分生子による感染は5月上中旬から始まり、7月中下旬まで続く。二次感染を繰り返す。

② 薬剤防除は、円星落葉病に準ずる。

4. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 予察ほ場（無防除、紀の川市粉河）における4月1～20日の黄色粘着トラップによる誘殺数は1頭（平年5.2頭）であった。

- ② 5月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 落弁期を中心に防除する。
 - ② 防風樹のイヌマキやサンゴジュの近くでは発生が多くなるので、特に丁寧に薬剤防除を行う。

<モ モ>

1. せん孔細菌病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の4月中旬の発病葉の発生ほ場率は0%（平成14%）、発病葉率は0%（平成0.4%）、発病枝の発生ほ場率は10%（平成24%）、発病枝率は0.1%（平成1.2%）であった。
 - ② 5月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 春型越冬病斑形成枝は葉への伝染源となるので剪除する。
 - ② 果実発病は、5月以降の風雨により多くなるので、降雨直前の予防散布を徹底する。予防散布ができなかった場合、降雨後できるだけ早く薬剤散布を行う。
 - ③ 本病の防除薬剤のうち、マイコシールドは連用すると葉先の黄化を生じることがあるので注意する。

2. カイガラムシ類

- (1) 予報内容 発生量 少
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の4月中旬のウメシロカイガラムシ、クワシロカイガラムシ雌成虫寄生枝の発生ほ場率は0%（平成26%）、寄生枝率は0%（平成1.2%）であった。
 - ② 5月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 樹体生育期における防除適期は、第1世代のふ化幼虫発生時期であるため、ふ化幼虫発生盛期の少し前に薬剤散布を実施する。
 - ② 県北部のふ化幼虫発生盛期は、ウメシロカイガラムシが4月29日前後、クワシロカイガラムシが5月6日前後と予想している。

<キウイフルーツ>

1. かいよう病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部における4月中旬の発病葉の発生ほ場率は0%（前年0%）であった。
 - ② 5月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 新梢の萎れ・黒変や樹液の漏出がみられる枝は、前年枝の基部から切除する。
 - ② 作業に使用した器具類（ハサミ、ノコギリ等）は70%エタノールで消毒する。
 - ③ 風当たりの強いほ場では、防風対策を行う。

<果樹全般>

1. カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県内 47 地点のチャバネアオカメムシ越冬成虫の捕獲頭数は、落葉 50 リットル当たり 0.1 頭（前年 0.2 頭、平年 0.6 頭）、捕獲地点率は 8.5%（前年 13.0%、平年 22.0%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きいので、ほ場内での発生及び被害状況を観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
- ② ウメ・モモなどでは、収穫前に越冬成虫の飛来が確認された場合は速やかに薬剤による防除を実施する。
- ③ ウメの被害は品種間差が大きい。小梅類等の収穫の早い品種で集中して加害される傾向があるので、これらの品種では特に注意が必要である。
- ④ カンキツでは蕾、花が加害されるので、被害状況を観察して防除する。
- ⑤ 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の果樹カメムシ情報や、各地域の振興局農業水産振興課、JA等の情報を参考にする。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○**農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ** <農作物病虫害防除所>

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>

○**和歌山県ホームページ** <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

病害虫発生予報 第3号（6月予報）

和歌山県農作物病害虫防除所

< 予報の概要 >

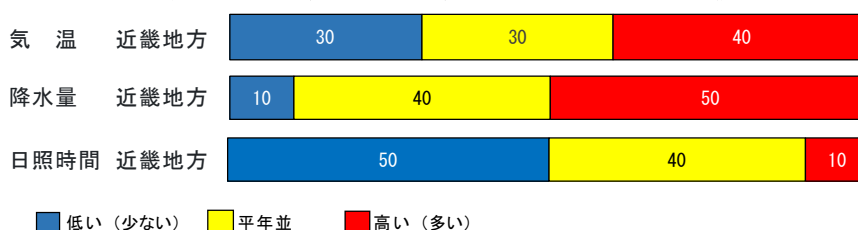
| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|-------|-----------------|---------|-------------|-------------|-------|
| 水稲 | いもち病 | やや多 | カンキツ | 黒点病 | やや多 |
| | ヒメトビウンカ | 並 | | かいよう病 | やや多 |
| | 縞葉枯病 | やや少 | | ミカンハダニ | やや多 |
| | ツマグロヨコバイ | 並 | | ヤノネカイガラムシ | やや少 |
| | セジロウンカ | 並 | | チャノキイロアザミウマ | やや少 |
| | トビイロウンカ | やや多 | | アブラムシ類 | やや少 |
| ウリ科野菜 | イネミズゾウムシ | 並 | カキ | うどんこ病 | やや少 |
| | モザイク病 | 並 | | 円星落葉病 | 並 |
| | べと病 | やや多 | | 角斑落葉病 | やや多 |
| | 褐斑病 | やや少 | | カキクダアザミウマ | やや少 |
| | うどんこ病 | 並 | チャノキイロアザミウマ | 並 | |
| | 疫病 | やや多 | フジコナカイガラムシ | やや少 | |
| | つる枯病 | やや多 | モモ | せん孔細菌病 | やや多～多 |
| 炭疽病 | やや多 | カイガラムシ類 | | やや少 | |
| | (スイカ： 県中部 多) | | | | |
| 野菜全般 | アブラムシ類 | 並 | キウイフルーツ | かいよう病 | 並～やや多 |
| | ハダニ類 | 並 | | 果樹全般 | カメムシ類 |
| | ミナミキイロアザミウマ | やや少 | | | |
| | ミカンキイロアザミウマ | やや少 | | | |
| | シロイチモジヨトウ | 並 | | | |

気象予報

近畿地方 1か月予報（05/22～06/21）

| | | |
|------------------------------|------|----------------------------|
| 2021年05月20日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
| 向こう1か月 05/22～06/21 | 天候 | 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 |
| | 降水量 | 降水量は、多い確率50%です。 |
| | 日照時間 | 日照時間は、少ない確率50%です。 |
| 1週目 05/22～05/28 | 気温 | 1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。 |
| 2週目 05/29～06/04 | 気温 | 2週目は、平年並の確率50%です。 |
| 3～4週目 06/05～06/18 | 気温 | 3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。 |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



I. 水 稲

1. いもち病（苗いもち、葉いもち）

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 低温、日照不足、長雨が続く条件で発生しやすい。

② 県南部の早植え地域の常発地では気象条件に注意し、発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。

③ 県北部、県中部の普通期栽培地域では、「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」などの罹病性品種を作付けする場合には育苗箱施薬剤を施用する。

④ 田植え後の余り苗を水田に放置しない。

2. ヒメトビウンカおよび縞葉枯病

(1) 予報内容 ヒメトビウンカ 発生量 並
縞葉枯病 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 予察灯による5月1～20日の誘殺数は、紀の川市、上富田町および那智勝浦町でいずれも0頭（平年：紀の川市0頭、上富田町0頭、那智勝浦町0.1頭）であった。

② 県北部におけるヒメトビウンカ（越冬世代）のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は、和歌山市3.3%（平年8.2%）、かつらぎ町1.3%（平年9.5%）であった。

③ 県北部および中部の本田における前年のイネ縞葉枯病の発生面積率は0%（平年9%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① イネ苗へのヒメトビウンカの飛来を防ぐため、雑草地付近での育苗を避ける。

② 田植え時はヒメトビウンカに効果がある育苗箱施薬剤を施用する。

③ 第2世代成虫は6月下旬頃に水田に飛来し、第3世代幼虫の発生最盛期は7月上旬頃と考えられることから、前年に縞葉枯病の発生が認められた地域では、この時期の幼虫を対象に追加防除を行う。

3. ツマグロヨコバイ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 予察灯による5月1～20日の誘殺数は、紀の川市0頭（平年0頭）、上富田町1頭（平年0.2頭）および那智勝浦町0頭（平年0頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 田植え時にツマグロヨコバイに効果がある育苗箱施薬剤を施用する。

4. セジロウンカ

(1) 予報内容 発生時期 早 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 予察灯による5月1～20日の誘殺数は、紀の川市1頭（平年0頭）、上富田町1頭（平年0.2頭）および那智勝浦町2頭（平年0.4頭）であった。

② 予察灯への初飛来は5月4日（平年5月27日）であった。

③ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 田植え時にセジロウンカに効果がある育苗箱施薬剤を施用する。
- ② フィプロニル剤に対する感受性低下が報告されている。

5. トビイロウンカ

- (1) 予報内容 発生時期 早 発生量 やや多
- (2) 予報の根拠
 - ① 予察灯による5月1～20日の誘殺数は、紀の川市1頭（平成0頭）、上富田町1頭（平成0頭）および那智勝浦町0頭（平成0頭）であった。
 - ② 予察灯への初飛来は5月14日（平成6月29日）であった。
 - ③ 6月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 田植え時にトビイロウンカに効果がある育苗箱施薬剤を施用する。
 - ② イミダクロプリド剤、クロチアニジン剤、チアメトキサム剤に対する感受性低下が報告されている。

6. イネミズゾウムシ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 予察灯による5月1～20日の誘殺数は、紀の川市0頭（平成0頭）、上富田町24頭（平成28.2頭）、那智勝浦町13頭（平成16.0頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① イネミズゾウムシに効果がある育苗箱施薬剤を施用していないほ場で、田植え3～7日後に成虫による食害株率が30%あるいは成虫が1株あたり0.5頭を超える場合は、直ちに薬剤防除を実施する。

※ 水稲害虫の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の水稲害虫の予察灯誘殺消長も参考にする。

II. 野 菜

<ウリ科野菜>

1. モザイク病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の施設栽培キュウリおよび露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率はいずれも0%（平成：キュウリ3%、スイカ0%）であった。
 - ② 県中部の施設栽培キュウリおよび露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率はいずれも0%（平成：いずれも0%）であった。
 - ③ アブラムシ類の発生は平成並と予想される。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① アブラムシ類の防除を行う。

2. ベと病

- (1) 予報内容 発生量 やや多
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は56%（平成38%）、発病葉率は9.4%（平成4.1%）であった。
 - ② 県中部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は78%（平成

60%)、発病葉率は29.3%(平年14.3%)であった。

③ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設栽培では換気を十分に行い、湿度低下を図る。

② 薬剤防除は予防散布を重点に、薬液が葉裏に十分かかるように行う。

3. 褐斑病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は11%(平年6%)、発病葉率は0.1%(平年0.2%)であった。

② 県中部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は11%(過去5年の平均66%)、発病葉率は2.6%(過去5年の平均15.9%)であった。

③ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設栽培では換気を十分に行い、湿度低下を図る。

② 罹病葉や収穫後の残さは速やかに処分する。

③ 資材に付着した病原菌の胞子が伝染源になるので、支柱等再利用する資材は栽培終了後に消毒する。ネットやマルチ等は更新する。

4. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は22%(平年18%)、発病葉率は0.9%(平年1.6%)であった。

② 県中部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は78%(平年88%)、発病葉率は12.2%(平年28.0%)であった。

③ 県北部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。

④ 県中部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。

⑤ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設栽培やトンネル栽培では風通しを良くし、薬剤防除は薬液が葉裏にも十分かかるよう丁寧に散布する。

5. 疫病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。

② 県中部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。

③ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤防除は予防散布を重点に、6月上旬頃から定期的に行う。

② ほ場の排水を良くし、マルチ、敷わらを行う。

6. つる枯病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 県北部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は0%（平成0%）であった。
- ② 県中部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は0%（平成0%）であった。
- ③ 6月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 梅雨期の降雨にともない株元から発病するので、薬剤散布にあたっては薬液が株元にも十分かかるように行う。

7. 炭疽病

- (1) 予報内容 発生量 やや多（スイカ 県中部：多）
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は0%（過去8年の平均0%）であった。
 - ② 県中部の露地栽培スイカにおける5月中旬の発生ほ場率は67%（過去8年の平均0%）、発病葉率は5.5%（過去8年の平均0%）であった。
 - ③ 6月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 6月以降の露地条件で降雨が続くと、病斑上の胞子が雨滴などで飛散するため被害が拡大しやすい。降雨前の予防散布に努める。
 - ② スイカの炭疽病については、令和3年度病害虫発生予察注意報第3号（5月26日発表）を参照する。

<野菜全般>

1. アブラムシ類

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の施設栽培ナスにおける5月中旬の生息葉率は、モモアカアブラムシ0%（平成0.5%）、ワタアブラムシ0%（平成0%）であった。
 - ② 県中部の露地栽培スイカにおける5月下旬のワタアブラムシの発生ほ場率は60%（平成62%）、生息葉率は8.3%（平成5.3%）であった。
 - ③ 黄色水盤（紀の川市）の5月1～20日の飛来数は81頭（平成168頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。
 - ② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

2. ハダニ類

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の施設栽培ナスにおける5月中旬のカンザワハダニの発生ほ場率は11%（平成13%）、生息葉率は1.3%（平成1.3%）、ナミハダニの発生ほ場率は0%（平成0%）であった。
 - ② 県中部の露地栽培スイカにおける5月下旬のカンザワハダニの発生ほ場率は60%（平成66%）、生息葉率は8.0%（平成10.5%）、ナミハダニの発生ほ場率は0%（平成：発生ほ場率23%、生息葉率4.5%）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。
 - ② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部の施設栽培ナスにおける5月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率27%、生息葉率6.7%）であった。
- ② 県中部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は38%（過去7年の平均51%）、生息葉率は3.6%（過去7年の平均4.7%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 発生が多い場合は4～5日間隔で2回以上、薬剤を散布する。
- ② 施設栽培では、栽培終了後に抜根した上で7～10日間以上施設を密閉して死滅させ、後作や周辺の野菜等での発生源とならないようにする。

4. ミカンキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部の施設栽培ナスにおける5月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率5%、生息葉率0.6%）であった。
- ② 県中部の露地栽培スイカにおける5月下旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率7%、生息葉率0.9%）であった。
- ③ 県中部の施設栽培キュウリにおける5月中旬の発生ほ場率は38%（過去7年の平均16%）、生息葉率は6.8%（過去7年の平均2.0%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① ミナミキイロアザミウマに準ずる。

5. シロイチモジヨトウ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県中部の露地栽培スイカにおける5月下旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率3%、生息葉率0.1%）であった。
- ② フェロモントラップによる5月1～20日の誘殺数は、紀の川市1頭（平年3.2頭）であった。
- ③ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 若齢幼虫を対象に初期防除に努める。
- ② 幼虫は作物の生長点付近の未展開葉の芯部に潜入するので、薬剤による防除効果が上がりにくい。初期は局部的に発生するので、管理作業時に見つけしだい捕殺する。
- ③ 施設栽培では、栽培終了後に20日程度施設を密閉して死滅させ、後作の発生源にならないようにする。

Ⅲ. 果 樹

<カンキツ>

1. 黒点病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 5月下旬までに薬剤散布を実施していないほ場では早急(6月上旬)に防除を行う。
- ② マンゼブ剤またはマンネブ剤を用いる場合、散布後の累積降水量が200~250mmとなった時点または1か月を経過した時点のどちらかの早いタイミングで次の散布を行う。
- ③ 伝染源となる枯枝や剪定枝の処理を徹底する。
- ④ 令和3年度病害虫防除技術情報第2号(5月21日発表)を参照する。

2. かいよう病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場(無防除、有田川町奥)における春葉の越冬病斑の発病葉率は13.0%(平年10.9%)であった。
- ② 前年10月中旬の県北部(海南市下津町)、県中部、県南部(田辺市)における春葉発病の発生ほ場率は22%(平年20%)、発病葉率は0.4%(平年0.7%)であった。
- ③ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 葉害対策を講じた上で銅水和剤の予防散布を行う。
- ② 罹病枝葉の剪除と防風垣や防風ネットの整備に努める。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場における5月中旬の100葉あたりの雌成虫数は、無防除区55頭(平年23.9頭、多発年であった令和元年を除いた過去9年の平均0.8頭)、マシン油乳剤を散布している慣行防除区0頭(平年0頭)であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 薬剤抵抗性対策としてマシン油乳剤の散布を励行する。マシン油乳剤の散布は発生初期に行うと高い防除効果が得られる。

4. ヤノネカイガラムシ

(1) 予報内容 発生時期 やや早

第1世代1齢幼虫最盛期 5月24~28日

同 2齢幼虫最盛期 6月15~25日

同 雌成虫初発日 6月18~22日

発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場(無防除、有田川町奥)での第1世代1齢幼虫の初発は5月11日(平年5月16日)であった。
- ② 前年10月中旬の発生ほ場率は0%(平年6%)、寄生果率は0%(平年0.3%)であった。
- ③ 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 多発ほ場では、2齢幼虫最盛期にネオニコチノイド系や有機リン系等の殺虫剤を散布する。

5. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（無防除）における黄色粘着トラップによる5月1～20日の誘殺数は由良町11頭（平年36.6頭）、有田川町11頭（過去7年の平均14.9頭）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 地域での発生活長調査の結果を参考にするとともにほ場内の観察に努め、適期に薬剤散布を行う。
- ② 防風樹のイヌマキやサンゴジュの近くでは発生が多くなるので、特に丁寧に薬剤防除を行う。

6. アブラムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（無防除、有田川町奥）では5月中旬の発生新梢率は0%（過去7年の平均2.0%）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 各ほ場で発生状況を観察し、適期防除に努める。

<カキ>

1. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における5月中旬の「富有」での発生ほ場率は0%（平年1%）、発病葉率は0%（平年0.3%）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 伝染源となる病斑上の病原菌は、6月以降活発に形成され伝染を繰り返す。病原菌は葉裏の気孔から侵入するため、薬剤防除にあたっては葉裏にも丁寧に薬液を散布する。

2. 円星落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 前年10月の「富有」における発生ほ場率は0%（平年43%）、発病葉率0%（平年5.3%）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 子のう胞子飛散は、5月上中旬から始まり、5月下旬～7月中旬の降雨後に多い。二次感染はしない。
- ② 薬剤防除は、5月から8月までマンゼブ水和剤、マンネブ水和剤、有機銅水和剤等を定期的に予防散布する。

3. 角斑落葉病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 前年10月の「富有」における発生ほ場率は77%（平年68%）、発病葉率は11.2%（平年12.2%）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 分生子による感染は5月上中旬から始まり、7月中下旬まで続く。二次感染を繰り返す。
- ② 薬剤防除は、円星落葉病に準ずる。

4. カキクダアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（無防除、紀の川市粉河）における4月21日～5月20日の黄色粘着トラップによる誘殺数は1頭（平成2.9頭）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 防除適期は新成虫飛来期の6月上中旬である。

5. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 予察ほ場（無防除、紀の川市粉河）における4月21日～5月20日の黄色粘着トラップによる誘殺数は5頭（平成3.6頭）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 防除適期は新成虫飛来期の6月中下旬である。

6. フジコナカイガラムシ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における5月中旬の「富有」での発生ほ場率は0%（平成16%）、寄生花蕾率は0%（平成0.6%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 防除適期であるふ化幼虫発生盛期の6月上中旬に薬剤を散布する。多発ほ場では特に丁寧な散布を心がける。

<モモ>

1. せん孔細菌病

(1) 予報内容 発生量 やや多～多

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における5月中旬の発生ほ場率は80%（平成66%）、発病葉率は2.1%（平成2.8%）であった。
- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 防風ネット、防風樹の設置などの防風対策を励行する。
- ② 令和3年度病害虫発生予察注意報第2号（5月20日発表）を参照する。

2. カイガラムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における5月中旬のウメシロカイガラムシ、クワシロカイガラムシ雌成虫寄生枝の発生ほ場率は0%（平成11%）、寄生枝率は0%（平成0.6%）であった。

- ② 6月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 防除適期であるふ化幼虫発生盛期に薬剤を散布する。多発ほ場では特に丁寧な散布を心がける。
- ② 近年の第2世代ふ化幼虫発生盛期は、ウメシロカイガラムシが7月1～5日頃、クワシロカイガラムシが7月11～15日頃である。ほ場の主な発生種に合わせて薬剤散布を行う。

<キウイフルーツ>

1. かいよう病

- (1) 予報内容 発生量 並～やや多
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部における5月中旬の発病葉の発生ほ場率は0%（前年0%）であった。
 - ② 6月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 新梢の萎れ・黒変や樹液の漏出がみられる枝は、前年枝の基部から切除する。
 - ② 作業に使用した器具類（ハサミ、ノコギリ等）は70%エタノールで消毒する。
 - ③ 風当たりの強いほ場では、防風対策を行う。

<果樹全般>

1. カメムシ類

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 紀の川市粉河の予察灯における5月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが131頭（前年67頭、平年143頭）、ツヤアオカメムシが240頭（前年191頭、平年69頭）であった。
 - ② 有田川町奥の予察灯における5月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが21頭（前年3頭、過去6年の平均152頭）、ツヤアオカメムシが106頭（前年285頭、過去7年の平均405頭）であった。
 - ③ みなべ町東本庄の予察灯における5月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが125頭（前年104頭、平年223頭）、ツヤアオカメムシが482頭（前年2,247頭、平年1,550頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きいので、ほ場内での発生および被害状況を観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
 - ② ウメの被害は品種間差が大きい。小梅類等の収穫の早い品種で集中して加害される傾向があるので、これらの品種では特に注意が必要である。スモモでは山林に隣接するほ場でカメムシ類の飛来する時期が早いので、このようなほ場では特に注意が必要である。
 - ③ 今後の発生動向については、農業・環境鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報や、各地域の振興局農業水産振興課、JA等の情報を参考にする。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ <農作物病虫害防除所>

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/
boujyosyo-yosatsujoyouhou.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujoyouhou.html)

○和歌山県ホームページ <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

病害虫発生予報 第4号（7月予報）

和歌山県農作物病害虫防除所

< 予報の概要 >

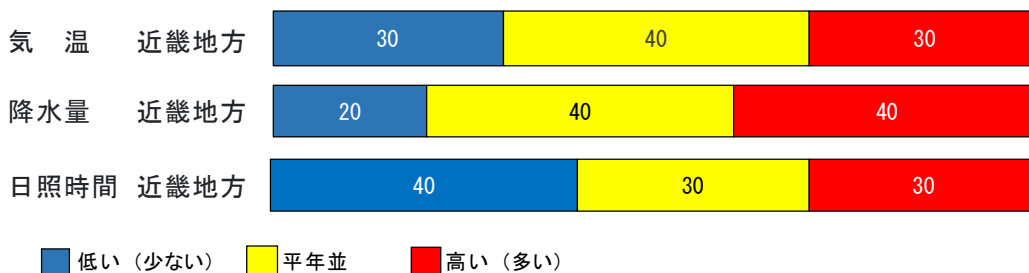
| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|---------|-------------|-------------------------------------|------|-------------|----------------------------------|
| 水稲 | いもち病 | 並並 やや少 並並 並並 並並 並 | 野菜全般 | ミナミキイロアザミウマ | やや多 並 並 |
| | 紋枯病 | | | ミカンキイロアザミウマ | |
| | 縞葉枯病 | | カンキツ | 黒点病 | やや多 並 やや少 やや少 並 並 |
| | ヒメトビウンカ | | | かいよう病 | |
| | ツマグロヨコバイ | | | ミカンハダニ | |
| | セジロウンカ | | | ヤノネカイガラムシ | |
| トビイロウンカ | チャノキイロアザミウマ | | | | |
| コブノメイガ | ゴマダラカミキリ | | | | |
| ウリ科野菜 | 疫病 | 並並 やや多 やや多 (スイカ： 県中部 多) | カキ | 炭疽病 | やや多 並 並 やや多 並 |
| | うどんこ病 | | | うどんこ病 | |
| | つる枯病 | | | 円星落葉病 | |
| 炭疽病 | 角斑落葉病 | | | | |
| ナス科野菜 | 疫病 | 並 | モモ | せん孔細菌病 | 並 並 |
| | | | | カイガラムシ類 | |
| 野菜全般 | アブラムシ類 | 並 県北部 並 県中部 やや多 | 果樹全般 | カメムシ類 | やや少 |
| | ハダニ類 | | | | |

気象予報

近畿地方 1か月予報（06/26～07/25）

| | | |
|------------------------------|-----|--------------------------|
| 2021年06月24日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
| 向こう1か月 | 天候 | 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 |
| 06/26～07/25 | 降水量 | 降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。 |
| 1週目 | 気温 | 1週目は、平年並の確率50%です。 |
| 06/26～07/02 | | |
| 2週目 | 気温 | 2週目は、平年並の確率50%です。 |
| 07/03～07/09 | | |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）



I. 水 稲

1. いもち病（葉いもち）

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県南部（田辺市以南）の早期栽培における6月上旬の発病株率は0%（平年0.1%）であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 低温、日照不足、長雨が続きと発生しやすい。

② 補植用苗は葉いもちの発生源となるので、早急に処分する。

③ 常発地や罹病性品種（「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」等）の栽培ほ場では初発時期に注意し、発生がみられたら直ちに薬剤防除を行う。

2. 紋枯病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県南部（田辺市以南）の早期栽培における6月上旬の発病株率は0%（平年0%）であった。

② 県北部および中部の普通期栽培における前年9月上旬の発病株率は5.2%（平年18.6%）であった。

③ 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 梅雨明け後の高温期から病勢が急激に進展するので、常発地や前年の多発ほ場では幼穂形成期～穂ばらみ期の防除を徹底する。

3. 縞葉枯病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県南部（田辺市以南）の早期栽培における6月上旬の発病株率は0%（平年0%）であった。

② 県北部および中部の本田における前年の発生面積率は0%（平年9%）であった。

③ 県北部におけるヒメトビウンカ（越冬世代）のイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は、和歌山市3.3%（平年8.2%）、かつらぎ町1.3%（平年9.5%）であった。

④ ヒメトビウンカの7月の発生量は平年並と予想される。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ヒメトビウンカの防除を行う。本虫の第2世代成虫は6月下旬頃に水田に飛来し、第3世代幼虫の発生最盛期は7月上旬頃と考えられる。前年に縞葉枯病の発生が認められた地域では、幼虫を対象にこの時期の追加防除を行う。

4. ヒメトビウンカ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県南部（田辺市以南）の早期栽培における6月上旬の25株あたり生息密度は0.2頭（平年0.2頭）であった。

② 予察灯による6月1～20日の誘殺数は、紀の川市1頭（平年1.6頭）、上富田町0頭（平年0.4頭）、那智勝浦町0頭（平年1.4頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 育苗箱施薬剤を施用した6月田植えのほ場では、縞葉枯病の発生が認められる地域以外は7月の防除は必要ない。

5. ツマグロヨコバイ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県南部(田辺市以南)の早期栽培における6月上旬の25株あたり生息密度は0.5頭(平成0.3頭)であった。
② 予察灯による6月1~20日の誘殺数は、紀の川市14頭(平成4.1頭)、上富田町0頭(平成28.7頭)、那智勝浦町2頭(平成14.1頭)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 育苗箱施薬剤を施用した6月田植えのほ場では、7月の防除は必要ない。

6. セジロウンカ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県南部(田辺市以南)の早期栽培における6月上旬の25株あたり生息密度は0.7頭(平成0.4頭)であった。
② 予察灯による6月1~20日の誘殺数は、紀の川市0頭(平成3.0頭)、上富田町0頭(平成5.4頭)、那智勝浦町9頭(平成8.7頭)であった。
③ 予察灯への初飛来は、紀の川市5月4日(平成6月26日)上富田町5月17日(平成6月17日)、那智勝浦町5月17日(平成6月11日)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① ツマグロヨコバイに準ずる。

7. トビイロウンカ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県南部(田辺市以南)の早期栽培における6月上旬の25株あたり生息密度は0頭(平成0頭)であった。
② 予察灯による6月1~20日の誘殺数は、紀の川市0頭(平成0頭)、上富田町1頭(平成0.2頭)、那智勝浦町0頭(平成0.4頭)であった。
③ 予察灯への初飛来は、上富田町5月14日(平成7月10日)であった。紀の川市(平成7月21日)、那智勝浦町(平成7月1日)では6月20日現在、飛来を認めていない。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 発生ほ場では、出穂前の防除に努める。本虫は株元に多く生息するので、薬剤が株元に届くように散布する。

8. コブノメイガ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県南部(田辺市以南)の早期栽培における6月上旬の25株あたり被害葉数は0葉(平成0葉)であった。
② 紀の川市の蛍光灯誘殺箱による6月1~20日の誘殺数は0頭(平成0頭)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 第1世代の発蛾最盛期は平成7月下旬頃である。防除適期は、粒剤の場合第1世代の発蛾最盛期、その他の薬剤(乳剤、水溶剤、フロアブル

等) の場合は第 2 世代幼虫発生時期 (第 1 世代の発蛾最盛期の 7 日後) である。

- ② 幼穂形成期後、出穂期頃までに上位 2 葉の被害葉率が 40% になると 10% 程度減収する。それ以降の被害は被害葉率 80% 以上でも収量・品質に及ぼす影響は小さいので、県南部の早期栽培では防除の必要性は低い。

※ 水稻害虫の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の水稲害虫の予察灯誘殺消長も参考にする。

Ⅱ. 野 菜

<ウリ科野菜>

1. 疫病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培スイカにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 0% (平年 0%) であった。

② 県中部の露地栽培スイカにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 0% (平年 0%) であった。

③ 7 月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ほ場の排水を良くし、冠水や滞水を防ぐ。

2. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培スイカにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 0% (過去 9 年の平均 0%) であった。

② 県中部の露地栽培スイカにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 0% (過去 9 年の平均 2%) であった。

③ 県北部の施設栽培キュウリにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 33% (平年 27%) であった。

④ 7 月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 同一系統の薬剤の連用は耐性菌の発生を助長するので、複数系統の薬剤によるローテーション散布を行う。

3. つる枯病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培スイカにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 10% (平年 0%)、発病葉率は 0.1% (平年 0%) であった。

② 県中部の露地栽培スイカにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 7% (平年 8%)、発病葉率は 0.1% (平年 2.0%) であった。

③ 7 月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 降雨にともない株元から発病するので、薬剤散布にあたっては薬液が株元にも十分かかるように行う。

4. 炭疽病

- (1) 予報内容 発生量 やや多 (スイカ 県中部：多)
- (2) 予報の根拠
- ① 県北部の露地栽培スイカにおける6月中旬の発生ほ場率は20% (平年7%)、発病葉率0.3% (平年0.3%)であった。
 - ② 県中部の露地栽培スイカにおける6月中旬の発生ほ場率は100% (平年14%)、発病葉率7.4% (過去9年の平均1.5%)であった。
 - ③ 7月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
- ① 発病した茎葉や果実は、ほ場外に持ち出す。
 - ② 降雨日が連続すると多発する可能性があるため、長雨が予想される場合は予防散布を実施する。
 - ③ スイカの炭疽病については、令和3年度病害虫発生予察注意報第3号 (5月26日発表)、病害虫防除技術情報第3号 (6月14日発表)を参照する。

<ナス科野菜>

1. 疫病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
- ① 県北部の露地栽培ナスにおける6月中旬の発生ほ場率は0% (過去7年の平均0%)であった。
 - ② 県中部の露地栽培ミニトマトにおける6月中旬の発生ほ場率は0% (過去8年の平均5%)であった。
 - ③ 7月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
- ① 梅雨末期の多雨で急激に病勢が進展するため、降雨前の予防散布に努める。予防散布ができなかった場合は降雨後に早急に防除する。
 - ② ほ場の排水を良くし、冠水や滞水を防ぐ。

<野菜全般>

1. アブラムシ類

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
- ① 県北部の露地栽培ナスにおける6月中旬の生息葉率は、モモアカアブラムシ0% (平年1.4%)、ワタアブラムシ0% (平年1.8%)であった。
 - ② 県中部の露地栽培スイカにおける6月下旬のワタアブラムシの発生ほ場率は89% (平年65%)、生息葉率は5.6% (平年5.3%)であった。
 - ③ 黄色水盤 (紀の川市) による6月1~20日の誘殺数は43頭 (平年107.9頭)であった。
 - ④ 7月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
- ① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。
 - ② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

2. ハダニ類

- (1) 予報内容 発生量 県北部 並
県中部 やや多
- (2) 予報の根拠
- ① 県北部の露地栽培ナスにおける6月中旬の発生ほ場率は、カンザワハダ

ニ 29%（平年 35%）、ナミハダニ 0%（平年 8%）であった。

② 県中部の露地栽培スイカにおける 6 月下旬の発生ほ場率は、カンザワハダニ 89%（平年 35%）、ナミハダニ 0%（平年 20%）であった。

③ 7 月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 43%（平年 19%）、生息葉率は 17.7%（平年 6.0%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 発生が多い場合は 4～5 日間隔で 2 回以上、薬剤を散布する。

② 施設栽培では、栽培終了後に抜根した上で 7～10 日間以上施設を密閉してアザミウマを死滅させ、後作や周辺の野菜等での発生源にならないようにする。

4. ミカンキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける 6 月中旬の発生ほ場率は 14%（平年 10%）、生息葉率は 0.6%（平年 1.6%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ミナミキイロアザミウマに準ずる。

5. シロイチモジヨトウ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培スイカ（性フェロモン剤による交信攪乱処理を実施していない地区）における 6 月下旬の被害果率は 0%（平年 1.2%）であった。

② フェロモントラップによる 6 月 1～20 日の誘殺数は、紀の川市 14 頭（平年 15.4 頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 若齢幼虫を対象に初期防除に努める。

② 幼虫は作物の生長点付近の未展開葉に潜入するので、薬剤による防除効果が上がりにくい。初期は局部的に発生するので、管理作業時に見つけしだい捕殺する。

Ⅲ. 果 樹

<カンキツ>

1. 黒点病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における 6 月上旬の発生ほ場率は 22%（平年 12%）、発病果率は 4.7%（平年 1.3%）で

あった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① マンゼブ剤またはマンネブ剤を用いる場合、散布後の累積降水量が200～250mmとなった時点または1か月を経過した時点のどちらかの早いタイミングで次の散布を行う。

② 過乾燥等で樹勢が衰弱すると伝染源の枯れ枝が増えるおそれがあるため、かん水等の栽培管理を適切に行う。

③ 令和3年5月21日発表の病害虫防除技術情報(第2号)と6月23日発表の同情報(第4号)を参照する。

2. かいよう病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部(海南市下津町)、県中部、県南部(田辺市)における6月上中旬の春葉での発生ほ場率は22%(平成22%)、発病葉率は0.3%(平成1.0%)であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 罹病枝葉は果実への伝染源になるので剪除する。

② ミカンハモグリガの食害痕は病原菌の侵入口となるため本害虫の防除を徹底する。

③ 罹病性品種では強風雨前に銅水和剤の予防散布を徹底する(薬害軽減のための措置を講じる)。

④ 防風ネット設置などの防風対策に努める。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部(海南市下津町)、県中部、県南部(田辺市)における6月上中旬の発生ほ場率は17%(平成34%)、発生葉率は7.2%(平成11.6%)、100葉あたり雌成虫数は20.5頭(平成44.2頭)であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の薬剤を年間に2回以上使用しない。

② 薬剤抵抗性対策として97%・98%マシン油乳剤の散布を励行する。ただし、高温強日射時の散布は薬害が発生しやすいうえ、7月中旬以降の散布は果実品質を低下させるおそれがあるので、散布は7月上旬までとする。

4. ヤノネカイガラムシ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部(海南市下津町)、県中部、県南部(田辺市)における6月上中旬の発生ほ場率は0%(平成1%)であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 6月下旬に防除できなかつた発生ほ場では、7月上旬に未成熟成虫に対しても効果が高いDMTP乳剤(スプラサイド乳剤40)を散布する。

5. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 予察ほ場（無防除）における黄色粘着トラップによる6月1～20日の誘殺数は、由良町227頭（平年333頭）、有田川町148頭（過去7年の平均78頭）であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 地域での発生活消長調査の結果を参考に適期防除に努める。

6. ゴマダラカミキリ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における6月上旬の発生ほ場率は0%（平年1%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 成虫の捕殺に努めるとともに、薬剤を散布する。

② 発生が多いほ場では、7月中旬以降に成虫の産卵防止および幼虫対象の防除として薬剤を主幹から株元に散布する。

<カ キ>

1. 炭疽病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部における6月中旬の発病新梢率は「富有」0.1%（平年0%）、「平核無」・「刀根早生」で0%（平年0%）であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 発病枝や発病果がみられる場合は剪除する。

② 密植ほ場や風通しの悪い場所は発病しやすいので、ほ場内の通風・採光をはかる。

③ 薬剤は発育枝にも十分散布する。

2. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部における6月中旬の発生ほ場率は「富有」47%（平年42%）、「平核無」・「刀根早生」12%（平年12%）であった。発病葉率は「富有」2.6%（平年2.1%）、「平核無」・「刀根早生」0.5%（平年0.4%）であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 病原菌は葉裏の気孔から侵入するので、葉裏に丁寧に散布する。

② 盛夏期には一時病勢は停滞するが、好適な気象条件やほ場条件で秋期まで二次伝染を繰り返すので、二次伝染の防止に努める。

3. 円星落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 前年10月の「富有」における発生ほ場率は0%（平年43%）、発病葉率0%（平年5.3%）であった。

② 7月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 子のう胞子飛散は、5月上中旬から始まり、5月下旬～7月中旬の降雨後に多い。二次感染はしない。
- ② 薬剤防除は、5月から8月までマンゼブ水和剤、マンネブ水和剤、有機銅水和剤等を定期的に予防散布する。

4. 角斑落葉病

- (1) 予報内容 発生量 やや多
- (2) 予報の根拠
 - ① 前年10月の「富有」における発生ほ場率は77%（平成68%）、発病葉率は11.2%（平成12.2%）であった。
 - ② 7月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 分生子による感染は5月上中旬から始まり、7月中下旬まで続く。二次感染を繰り返す。
 - ② 薬剤防除は、円星落葉病に準ずる。

5. フジコナカイガラムシ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部における6月中旬の発生ほ場率は「富有」12%（平成26%）、「平核無」・「刀根早生」6%（平成4%）であった。寄生果率は「富有」0.5%（平成1.5%）、「平核無」・「刀根早生」0.1%（平成0.2%）であった。
 - ② 7月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 樹体生育期における防除適期は、ふ化幼虫発生時期である。
 - ② 予察ほ場（無防除、紀の川市粉河）における近年の第2世代ふ化幼虫の初発は7月下旬頃であり、次回の防除適期は8月上旬頃と思われる。

<モ モ>

1. せん孔細菌病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部における6月中旬の発病葉の発生ほ場率は60%（平成77%）であった。発病葉率は3.1%（平成5.3%）、発病果率は1.7%（平成5.2%）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 防風対策に取り組む。防風ネット、防風樹設置ほ場では保守点検を行う。
 - ② 翌年の伝染源軽減のため、秋季に無機銅水和剤を散布する。

2. カイガラムシ類

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部における6月中旬のウメシロカイガラムシ、クワシロカイガラムシの発生ほ場率は0%（平成5%）、雌成虫寄生枝率は0%（平成0.2%）であった。
 - ② 7月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 樹体生育期における防除適期は、ふ化幼虫発生時期であるため、ふ化幼虫発生盛期の直前に薬剤散布を実施する。

- ② 県北部の第2世代ふ化幼虫発生盛期は、ウメシロカイガラムシが7月7日前後、クワシロカイガラムシが7月9日前後と予想される。

<果樹全般>

1. カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 紀の川市粉河の予察灯での6月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが61頭（前年101頭、平年124頭）、ツヤアオカメムシが70頭（前年481頭、平年217頭）であった。
- ② 有田川町奥の予察灯での6月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが1頭（前年30頭、過去7年の平均196頭）、ツヤアオカメムシが3頭（前年166頭、過去7年の平均294頭）であった。
- ③ みなべ町東本庄の予察灯での6月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが175頭（前年107頭、平年415頭）、ツヤアオカメムシが259頭（前年755頭、平年1,149頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① ほ場内への多飛来を確認したら早急に薬剤散布を行う。
- ② 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の果樹カメムシ情報や、各地域の振興局農業水産振興課、JA等の情報を参考にする。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○**農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ** <農作物病虫害防除所>

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/
boujyosyo-yosatsujyouhou.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html)

○**和歌山県ホームページ** <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

病害虫発生予報 第5号（8月予報）

和歌山県農作物病害虫防除所

< 予報の概要 >

| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|-----------|-------------|-----|------------|-------------|-----|
| 水稲 | いもち病 | 並 | 野菜全般 | ハスモンヨトウ | 並 |
| | 紋枯病 | 並 | | シロイチモジヨトウ | 並 |
| | 縞葉枯病 | 並 | カンキツ | 黒点病 | 並 |
| | ヒメトビウンカ | やや少 | | かいよう病 | やや少 |
| | ツマグロヨコバイ | やや少 | | ミカンハダニ | 並 |
| | セジロウンカ | 並 | | ヤノネカイガラムシ | やや少 |
| | トビイロウンカ | 並 | | チャノキイロアザミウマ | 並 |
| | イチモンジセセリ | 並 | | ゴマダラカミキリ | 並 |
| コブノメイガ | 並 | カキ | 炭疽病 | やや多 | |
| 斑点米カメムシ類 | 並 | | うどんこ病 | やや少 | |
| トマト・ミニトマト | 疫病 | | 並 | 円星落葉病 | 並 |
| | 黄化葉巻病 | | やや少 | 角斑落葉病 | 並 |
| 野菜全般 | アブラムシ類 | やや多 | フジコナカイガラムシ | やや多 | |
| | | | ハダニ類 | ミナミキイロアザミウマ | 並 |
| | ミカンキイロアザミウマ | 並 | | | |
| | | | 果樹全般 | カメムシ類 | やや少 |

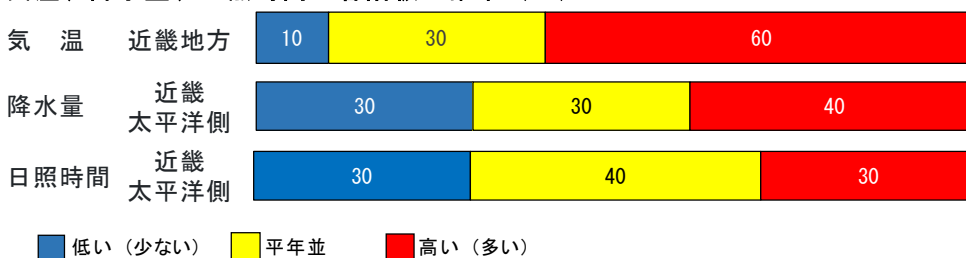
気象予報

近畿地方 1か月予報（07/24～08/23）

| | | |
|------------------------------|------|-------------------------------------------------------|
| 2021年07月22日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
| 特に注意を要する事項 | | 2週目は気温がかなり高くなる可能性があります。 |
| 向こう1か月 07/24～08/23 | 天候 | 近畿日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 |
| | 気温 | 平均気温は、高い確率60%です。 |
| | 日照時間 | 日照時間は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。 |
| 1週目 07/24～07/30 | 気温 | 1週目は、平年並の確率50%です。 |
| 2週目 07/31～08/06 | 気温 | 2週目は、高い確率60%です。 |
| 3～4週目 08/07～08/20 | 気温 | 3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。 |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）



I. 水 稲

1. いもち病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県南部（田辺市以南）の早期栽培における7月中旬の葉いもちの発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率28%、発病株率5.7%）であった。

② 県北部および中部の普通期栽培における7月中旬の葉いもちの発生ほ場率は29%（平年17%）、発病株率は6.2%（平年3.3%）であった。

③ 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 穂ばらみ期防除を重点とし、葉いもちの多発ほ場では穂ぞろい期に追加防除を行う。

② 常発地では翌年から罹病性品種の作付けを避ける。

2. 紋枯病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県南部（田辺市以南）の早期栽培における7月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率2%、発病株率0.1%）であった。

② 県北部および中部の普通期栽培における7月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率2%、発病株率0.2%）であった。

③ 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 穂ばらみ期に発病株率が20%以上のほ場では、早急に薬剤防除を行う。

② 出穂後も上位葉への進展がみられる場合には追加防除を行う。

3. 縞葉枯病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県南部（田辺市以南）の早期栽培における7月中旬の発生ほ場率は0%（平年0%）であった。

② 県北部および中部の普通期栽培における7月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率3%、発病株率0.1%）であった。

③ 媒介虫であるヒメトビウンカの8月の発生量はやや少と予想される。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 本病の発生が多いほ場では、ヒメトビウンカの防除を行う。

4. ヒメトビウンカ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 7月中旬の25株あたり生息密度は、県南部（田辺市以南）の早期栽培では2.0頭（平年7.8頭）、県北部および中部の普通期栽培では0.8頭（平年12.6頭）であった。

② 予察灯による7月1～20日の誘殺数は、紀の川市3頭（平年2.1頭）、上富田町1頭（平年0.9頭）、那智勝浦町0頭（平年7.7頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 縞葉枯病の発生が多いほ場では、本虫の防除を行う。

5. ツマグロヨコバイ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 7月中旬の25株あたり生息密度は、県南部（田辺市以南）の早期栽培では2.5頭（平年2.4頭）、県北部および中部の普通期栽培では1.0頭（平年1.6頭）であった。
- ② 予察灯による7月1～20日の誘殺数は、紀の川市1頭（平年1.9頭）、上富田町8頭（平年29.7頭）、那智勝浦町47頭（平年230.5頭）であった。

6. セジロウンカ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠

- ① 7月中旬の25株あたり生息密度は、県南部（田辺市以南）の早期栽培では10.5頭（平年31.4頭）、県北部および中部の普通期栽培では4.7頭（平年16.7頭）であった。
- ② 予察灯による6月1日～7月20日の誘殺数は、紀の川市42頭（平年18.0頭）、上富田町39頭（平年67.2頭）、那智勝浦町34頭（平年51.1頭）であった。

- (3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 穂ばらみ期に株あたり成幼虫10頭以上の発生を認めた場合は薬剤散布を行う。

7. トビイロウンカ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠

- ① 7月中旬の25株あたり生息密度は、県南部（田辺市以南）の早期栽培では0頭（平年0.1頭）、県北部および中部の普通期栽培では0.3頭（平年0.2頭）であった。
- ② 予察灯による6月1日～7月20日の誘殺数は、紀の川市2頭（平年1.7頭）、上富田町2頭（平年17.5頭）、那智勝浦町22頭（平年20.4頭）であった。

- (3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 8月中旬の発生に注意し、株あたり成幼虫5頭以上の発生を認めた場合は薬剤散布を行う。
- ② 令和3年度病害虫防除技術情報第6号（7月20日発表）を参照する。

8. イチモンジセセリ（イネツトムシ）

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠

- ① 7月中旬の25株あたりツト数は、県南部（田辺市以南）の早期栽培では0（平年0.1）、県北部および中部の普通期栽培では0（平年0.0）であった。

- (3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 8月上旬の発生に注意し、若齢幼虫の防除に重点を置く。

9. コブノメイガ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠

- ① 7月中旬の25株あたり上位2葉の被害は、県南部（田辺市以南）の早期栽培では0葉（平年1.3葉）、県北部および中部の普通期栽培では0葉（平年0.2葉）であった。
- ② 蛍光灯誘殺箱（紀の川市）による6月1日～7月20日の誘殺数は1頭（平年1.2頭）であった。

- (3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 幼穂形成期後、出穂期頃までに上位2葉の被害葉率が40%になると10

%程度減収する。それ以降の被害は被害葉率80%以上でも収量・品質に及ぼす影響は小さいので、県南部の早期栽培では防除の必要性は低い。

10. 斑点米カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県南部（田辺市以南）の早期栽培の本田における7月中旬の捕虫網20回振りによる捕獲虫数は2.5頭（平成5.3頭）であった。
- ② 予察灯による7月1～20日の誘殺数は、紀の川市26頭（過去5年の平均91.2頭）、上富田町31頭（平成27.0頭）、那智勝浦町202頭（平成79.9頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 出穂の早い作型で、周辺に雑草が繁茂していると被害を受けやすい。
- ② イネ科雑草が発生源となる。本田への成虫の飛来を防ぐためには、出穂10日前までにはほ場周辺を除草する。
- ③ 出穂後、本田内で大型のカメムシ類の飛来を認めたら、乳熟期（出穂10日後）から糊熟期（出穂20日後）に薬剤を散布する。カスミカメムシ類の発生が多い場合は穂ぞろい期（出穂3日後）に薬剤散布する。

※ 水稲害虫の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の水稲害虫の予察灯誘殺消長も参考にする。

II. 野 菜

<トマト・ミニトマト>

1. 疫病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県中部の露地栽培ミニトマトにおける7月中旬の発生ほ場率は0%（平成10%）であった。
- ② 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 排水を良くし、株元に滞水しないようにする。
- ② 露地栽培では、降雨前の予防散布に努める。降雨前に散布できなかった場合は降雨後に早急に防除する。

2. 黄化葉巻病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県中部の露地栽培ミニトマトにおける7月中旬の発生ほ場率は13%（過去8年の平均43%）であった。
- ② 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 発病株は伝染源となるため、見つけ次第抜き取り、直ちに土中に埋めるか、ビニル袋に密封して完全に枯死させてから処分する。
- ② 施設栽培では育苗ほ、本ほとも施設開口部へ目合い0.4mm以下の防虫ネットを展張し、媒介虫であるタバココナジラミの侵入を防止する。
- ③ 施設栽培では、定期的な薬剤散布および定植期の粒剤処理により、育苗期から本ほ初期のタバココナジラミ防除を徹底する。

<野菜全般>

1. アブラムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける7月中旬の生息葉率は、ワタアブラムシ1.0% (平成0.8%)、モモアカアブラムシ5.5% (平成0%)であった。

② 黄色水盤(紀の川市)への7月1~20日までの飛来数は65頭(平成10.0頭)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

2. ハダニ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける7月中旬の発生ほ場率および生息葉率は、カンザワハダニでそれぞれ13% (平成25%)、0.5% (平成6.8%)、ナミハダニでそれぞれ25% (平成12%)、2.0% (平成2.8%)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける7月中旬の発生ほ場率および生息葉率は、それぞれ38% (平成18%)、3.5% (平成3.4%)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ナスでは、収穫果実の選別時に被害を認めたら防除を始める。

② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

③ 発生が多い場合は4~5日間隔で2回以上、薬剤を散布する。

④ 施設栽培では、栽培終了後に抜根した上で7~10日間以上施設を密閉してアザミウマを死滅させ、後作や周辺の野菜等での発生源とならないようにする。

4. ミカンキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける7月中旬の発生ほ場率および生息葉率は、それぞれ13% (平成1%)、1.5% (平成0.1%)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ミナミキイロアザミウマに準ずる。

5. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける7月中旬の発生ほ場率は0% (平成:発生ほ場率3%、生息葉率0.1%)であった。

② フェロモントラップによる7月1~20日の誘殺数は、和歌山市93頭(平成160.4頭)、紀の川市117頭(平成93.9頭)であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 幼虫が中～老齢期になると薬剤感受性が著しく低下するので、若齢期（ふ化幼虫の集団の食害による白変葉がみられたとき）の防除を心がける。
- ② 抑制栽培エンドウでは、ウイルス病、鳥害や防風対策を兼ねて、は種後40～50日間寒冷紗被覆を行うと被害が軽減される。

6. シロイチモジヨトウ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① フェロモントラップによる7月1～20日の誘殺数は、紀の川市23頭（平年19.4頭）であった。
 - ② 8月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① ハスモンヨトウに準ずる。

Ⅲ. 果 樹

<カンキツ>

1. 黒点病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における7月中旬の果実の発生ほ場率は27%（平年25%）、発病果率は6.0%（平年4.7%）であった。
 - ② 8月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 秋雨時期における後期感染防止のため、8月中下旬の防除を徹底する。
 - ② 伝染源となる枯れ枝や剪定枝の処理を徹底する。
 - ③ 過乾燥等で樹勢が衰弱すると枯れ枝が増えるおそれがあるため、かん水等の栽培管理を適切に行う。
 - ④ 令和3年5月21日発表の病虫害防除技術情報（第2号）を参照する。

2. かいよう病

- (1) 予報内容 果実発生量 やや少
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における7月中旬の春葉では発生ほ場率は17%（平年31%）、発病葉率は0.4%（平年1.3%）であった。
 - ② 8月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 台風の接近等で強風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行う。
 - ② 夏秋梢の病斑は翌春の主要な伝染源になるので剪除に努める。
 - ③ ミカンハモグリガによる新葉の食害痕は病原菌の侵入口となる。幼木や高接樹では新葉が発生しやすいため本害虫の防除を徹底する。
 - ④ 防風ネット設置などの防風対策に努める。

3. ミカンハダニ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における7月中旬

の発生ほ場率は15%（平年24%）、発生葉率は6.4%（平年6.4%）、100葉あたり雌成虫数は26.6頭（平年21.1頭）であった。

② 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の薬剤を年間に2回以上使用しない。

4. ヤノネカイガラムシ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における7月中旬の発生ほ場率は0%（平年1%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 第2世代2齢幼虫の発生最盛期は8月中旬頃と考えられる。発生ほ場ではこの時期に、散布むらがなく葉裏までかかるように、十分量の薬液を丁寧に散布する。

5. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における7月中旬の発生ほ場率は0%（過去8年の平均1%）、果実の被害ほ場率は17%（過去8年の平均18%）であった。

② 予察ほ場（無防除）における黄色粘着トラップによる7月1～20日の誘殺数は由良町49頭（平年238頭）、有田川町86頭（過去7年の平均135頭）であった。

③ 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 地域での発生消長調査の結果を参考に適期防除に努める。

② 発生ほ場およびイヌマキやサンゴジュに隣接するほ場では防除を徹底する。

6. ゴマダラカミキリ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における7月中旬の発生ほ場率は0%（平年1%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 成虫の捕殺に努めるとともに、放任ほ場周辺など発生の多いほ場では、産卵防止および食入幼虫対象の防除として薬液を主幹から株元に散布する。

<カ キ>

1. 炭疽病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部における7月中旬の発病果率は「富有」3.2%（平年0.1%）、「平核無」・「刀根早生」0%（平年0%）であった。

② 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 発病枝や発病果がみられる場合は剪除する。

② 台風が接近する場合は事前に薬剤を散布する。散布できなかつたほ場で

は台風通過後速やかに散布する。

- ③ 密植ほ場や風通しの悪い場所は発病しやすいので、ほ場内の通風・採光をはかり、薬液をかかりやすくする。

2. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部における7月中旬の発生ほ場率は「富有」47%（平成66%）、
「平核無」・「刀根早生」12%（平成22%）であった。

② 県北部における7月中旬の発病葉率は「富有」3.5%（平成6.4%）、
「平核無」・「刀根早生」0.7%（平成1.0%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 病原菌は葉裏の気孔から侵入するので、葉裏に丁寧に薬液を散布する。

② 一般に盛夏期の発病は一時休止するが、山間部や風通しの悪いほ場は発病を繰り返しやすいので、これらのほ場では秋雨前の予防散布に努める。

3. 円星落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部における前年10月の「富有」における発生ほ場率は0%（平成43%）、発病葉率0%（平成5.3%）であった。

② 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 樹勢が低下すると発病が助長されるため、適切な肥培管理や水分管理を心がけ樹勢維持に努める。

② 子のう胞子の飛散が続く8月上旬まで防除が必要である。

4. 角斑落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部における前年10月の「富有」における発生ほ場率は77%（平成68%）、発病葉率は11.2%（平成12.2%）であった。

② 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 樹勢が低下すると発病が助長されるため、適切な肥培管理や水分管理を心がけ樹勢維持に努める。

② 本病は7月頃から発病し二次伝染を繰り返すので、多発ほ場では発病後も防除を励行する。

5. フジコナカイガラムシ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部における7月中旬の発生ほ場率は、「富有」71%（平成52%）、
「平核無」・「刀根早生」29%（平成14%）であった。

② 県北部における7月中旬の寄生果率は、「富有」4.5%（平成4.7%）、
「平核無」・「刀根早生」2.2%（平成0.6%）であった。

③ 8月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 樹体生育期における防除適期は、ふ化幼虫発生時期であるため、ふ化幼虫発生盛期の直前に薬剤散布を実施する。

② 予察ほ場（無防除、紀の川市粉河）における近年の第2世代ふ化幼虫の初発は7月下旬頃であり、ふ化幼虫発生盛期の直前は8月上旬頃と思われる。

＜果樹全般＞

1. カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 紀の川市粉河の予察灯における7月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが259頭（前年306頭、平年416頭）、ツヤアオカメムシが34頭（前年207頭、平年132頭）であった。
- ② 有田川町奥の予察灯における7月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが45頭（前年113頭、過去7年の平均839頭）、ツヤアオカメムシが17頭（前年119頭、過去7年の平均189頭）であった。
- ③ みなべ町東本庄の予察灯における7月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが211頭（前年118頭、平年927頭）、ツヤアオカメムシが51頭（前年196頭、平年270頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 果樹カメムシ類の飛来量は園地間差が大きく、特に山林隣接ほ場では早くから被害が出やすい。
- ② ほ場内での果樹カメムシ類の発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
- ③ 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報や、各地域の振興局農業水産振興課、JA等の情報を参考にする。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○ **農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ** <農作物病害虫防除所>

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>

○ **和歌山県ホームページ** <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病害虫防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

病害虫発生予報 第6号（9月予報）

和歌山県農作物病害虫防除所

＜予報の概要＞

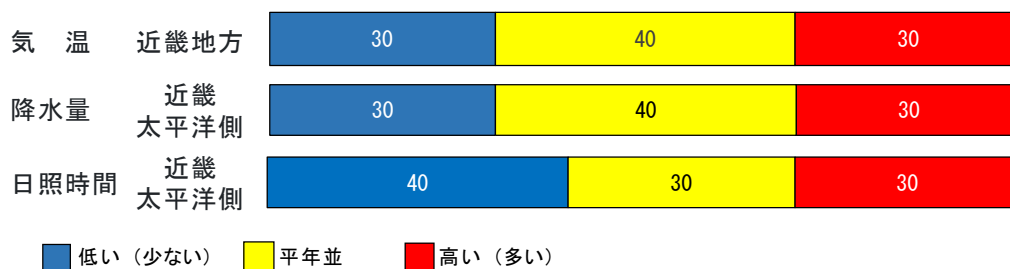
| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|-------------------|---------------------------------|-----|-------------|-------------|-------|
| 水稲 | いもち病 | やや多 | 野菜・花 き全般 | ミナミキイロアザミウマ | やや少 |
| | 紋枯病 | 並 | | ミカンキイロアザミウマ | 並 |
| | トビイロウンカ | 並 | | シロイチモジヨトウ | 並 |
| | イチモンジセセリ | 並 | | ハスモンヨトウ | やや多 |
| | コブノメイガ | やや少 | カンキツ | 黒点病 | やや多 |
| | 斑点米カメムシ類 | 並 | | かいよう病 | 並 |
| トマト・ ミニトマ ト | 黄化葉巻病 | 並 | | ミカンハダニ | やや少 |
| | | | | チャノキイロアザミウマ | やや少 |
| ダイコン | コナガ | 並 | カキ | 炭疽病 | やや多 |
| ハクサイ | | | | うどんこ病 | やや少 |
| キャベツ | | | | 円星落葉病 | 並 |
| 野菜・花 き全般 | アブラムシ類およびア ブラムシ類媒介のウイ ルス病 | 並 | | 角斑落葉病 | 並 |
| | ハダニ類 | 並 | 果樹全般 | カメムシ類 | 並～やや多 |

気象予報

近畿地方 1か月予報（08/21～09/20）

| 2021年08月19日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
|------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------|
| 向こう1か月 08/21～09/20 | 天候 | 近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 |
| | 日照時間 | 日照時間は、近畿日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。 |
| 1週目 08/21～08/27 | 気温 | 1週目は、平年並の確率50%です。 |
| 2週目 08/28～09/03 | 気温 | 2週目は、平年並の確率50%です。 |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



I. 水 稲

1. いもち病（穂いもち）

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部および中部の普通期栽培における8月上中旬の葉いもちの発生ほ場率は46%（平成24%）、発病株率は9.7%（平成6.3%）であった。

② 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① いもち病に感受性が高い品種（「キヌヒカリ」等）の作付ほ場では今後の気象推移に注意する。

② 常発地では次作から、いもち病に感受性が高い品種の作付けを避ける。

③ 病害虫防除技術情報第7号（8月16日発表）を参照する。

2. 紋枯病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部および中部の普通期栽培における8月上中旬の発生ほ場率は21%（平成25%）、発病株率は2.8%（平成3.8%）であった。

② 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 発生が多いほ場では、次作の伝染源となる菌核の形成が多くなる。次作は密植にならないよう注意し、防除を徹底する。

3. トビイロウンカ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 8月中旬の25株あたり生息密度は、県北部の普通期栽培では0頭（平成0.5頭）、8月上旬の県中部の普通期栽培では0頭（平成3.0頭）であった。

② 予察灯による8月1～20日の飛来数は、紀の川市0頭（平成4.3頭）、上富田町0頭（平成3.6頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① トビイロウンカの発生量は地域間やほ場間で大きな差があるため、ほ場毎に発生状況を確認する。なお、同一ほ場内においても発生に偏りがあり局所的に多発することから、ほ場の全体をよく観察する必要がある。

② 本種は増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生状況を確認し、1株あたり5頭以上の成・幼虫を確認したら、早急に薬剤防除を実施する。

③ 本種は株元に生息するので、薬液が株元に十分到達するように散布する。

4. イチモンジセセリ（イネツトムシ）

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 8月上中旬の25株あたりツトム数は、県北部の普通期栽培では0（平成0.1）、県中部の普通期栽培では0（平成0.0）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 8月下旬～9月上旬に蛹化し9月中旬以降に成虫となるため、防除の必要はない。

5. コブノメイガ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 8月上中旬の25株あたり被害葉数は、県北部の普通期栽培では0.1葉（平年0.3葉）、県中部の普通期栽培では0葉（平年1.8葉）であった。

② 紀の川市の蛍光灯誘殺箱による8月1～15日の成虫誘殺数は、0頭（平年5.7頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 9月以降は被害葉率が高くても減収率は低い。また、次世代幼虫の出現がないため、防除の必要はない。

6. 斑点米カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① すくい取り調査（捕虫網20回振り）による8月上中旬の発生ほ場率および平均成虫数は、県北部の普通期栽培で75%（平年73%）、9.6頭（平年7.6頭）、県中部の普通期栽培で75%（平年80%）、2.5頭（平年7.3頭）であった。

② 予察灯による8月1～20日の誘殺数は、紀の川市98頭（過去5年の平均174.0頭）、上富田町8頭（平年11.0頭）であった。

③ 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 晩生品種では、乳熟期～糊熟期に薬剤を散布する。

※ 水稻害虫の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の水稲害虫の予察灯誘殺消長も参考にする。

II. 野菜・花き

<トマト、ミニトマト>

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培ミニトマトにおける8月中旬の発生ほ場率は100%（平年76%）、発病株率は18%（平年29.7%）であった。

② 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。

② 発病株は伝染源となるため、見つけ次第抜き取り、直ちに土中に埋めるか、ビニル袋に密封して完全に枯死させてから処分する。

③ 促成栽培では、生育初期に感染すると被害が大きくなるため、育苗期の定期的な薬剤散布および定植期の粒剤処理により、感染適期である育苗期から本ぼ初期（8～10月）のタバココナジラミ防除を徹底する。また、施設開口部に目合い0.4mm以下の防虫ネットを展張し、侵入を防止する。さらに、外張り資材に紫外線除去フィルムを使用すると侵入防止効果が高まる。

<ダイコン、ハクサイ、キャベツ>

1. コナガ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① フェロモントラップによる8月1～20日の誘殺数は、和歌山市0頭（平年0.6頭）、紀の川市2頭（平年0頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

<野菜・花き全般>

1. アブラムシ類およびアブラムシ類媒介のウイルス病（露地野菜全般）

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部の露地栽培ナスにおける8月中旬のワタアブラムシの発生ほ場率は13%（平年14%）、生息葉率は0.5%（平年1.9%）、モモアカアブラムシの発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率3%、生息葉率0.2%）であった。

- ② アブラムシ類の黄色水盤（紀の川市）への8月1～20日の飛来数は、27頭（平年66.7頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① アブラムシ類媒介のウイルス病は、シルバーマルチと薬剤防除を併用してアブラムシ類の防除を行う。
- ② ハクサイ等の育苗では、防虫ネットで被覆して有翅虫の飛来を防ぐ。

2. ハダニ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部の露地栽培ナスにおける8月中旬のカンザワハダニの発生ほ場率は25%（平年20%）、生息葉率は1.0%（平年5.2%）、ナミハダニの発生ほ場率は13%（平年9%）、生息葉率1.5%（平年2.5%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。
- ② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部の露地栽培ナスにおける8月中旬の発生ほ場率は13%（平年55%）、生息葉率は0.5%（平年12.5%）であった。

- ② 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 促成栽培ナス等の育苗は発生ほ場の近くで行わない。また、施設の開口部に防虫ネットを展張し、成虫の飛び込みを防ぐ。
- ② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。
- ③ 発生が多い場合は4～5日間隔で2回以上、薬剤を散布する。

4. ミカンキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部の露地栽培ナスにおける8月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率1%、生息葉率0.1%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① ミナミキイロアザミウマに準ずる。

5. シロイチモジヨトウ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① フェロモントラップによる8月1～20日の誘殺数は、紀の川市30頭（平年22.9頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 幼虫が中～老齢期になると薬剤感受性が著しく低下するので、若齢期（ふ化幼虫の集団の食害による白変葉がみられたとき）の防除を心がける。

② 抑制栽培エンドウでは、ウイルス病、鳥害や防風対策を兼ねて、は種後40～50日間寒冷紗または防虫ネットで被覆すると被害が軽減される。

6. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける8月中旬の発生ほ場率は0%（平年1%）であった。

② フェロモントラップによる8月1～20日の誘殺数は、和歌山市172頭（平年107.9頭）、紀の川市597頭（平年104.3頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① シロイチモジヨトウに準ずる。

Ⅲ. 果 樹

<カンキツ>

1. 黒点病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における8月中旬の発生ほ場率は39%（平年42%）、発病果率は6.4%（平年10.7%）であった。

② 8月中旬の降水量が平年に比べて多かった。

③ 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 8月中下旬に防除できなかったほ場では、9月上旬に早急に防除を行う。

② 伝染源となる枯枝や剪定枝の処理を徹底する。

2. かいよう病

(1) 予報内容 発生量（果実および夏秋梢） 並

(2) 予報の根拠

① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における8月中旬の春葉病斑の発生ほ場率は20%（平年30%）、発病葉率は0.4%（平年1.3%）であった。

② 8月中旬の降水量が平年に比べて多かった。

③ 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 罹病性品種の場合、付傷すると果実発病のおそれがある。台風の接近等で強風雨が予想される場合には、事前に薬剤散布を行う。

② 夏秋梢の病斑は翌春の主要な伝染源になるので、9月以降翌春までに剪除する。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における8月中旬の発生ほ場率は11%（平成19%）、発生葉率は1.4%（平成4.2%）、100葉あたりの雌成虫数は2.1頭（平成12.9頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の薬剤を年間に2回以上使用しない。
- ② ミカンサビダニの発生が認められるほ場では、ミカンハダニとミカンサビダニの両種に適用のある有効薬剤を選択する。

4. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における8月中旬の果実の被害ほ場率は9%（平成26%）、100果あたりの生息虫数は0.1頭（平成0.0頭）であった。

- ② 予察ほ場（無防除）における黄色粘着トラップによる8月1～20日の誘殺数は由良町62頭（平成271頭）、有田川町57頭（過去7年の平均61頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 8月中旬以降に有効な殺虫剤を散布していないほ場および夏秋梢の多いほ場では、9月の発生状況をよく観察し、成幼虫の生息果率が15%以上の場合は薬剤防除を行う。

<カ キ>

1. 炭疽病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における8月中旬の発生ほ場率は、「富有」12%（平成6%）、「刀根早生」・「平核無」0%（平成1%）であった。

- ② 県北部における8月中旬の発病果率は、「富有」2.2%（平成0.2%）、「刀根早生」・「平核無」0%（平成0.0%）であった。

- ③ 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 発病枝や発病果がみられる場合は剪除する。
- ② 降雨が続く場合は追加防除を行う。また、台風が接近する場合は事前に薬剤を散布し、できなかつた場合は台風通過後速やかに散布する。
- ③ 密植ほ場や風通しの悪い場所は発病しやすいので、ほ場内の通風・採光をはかり、薬液をかかりやすくする。

2. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における8月中旬の発生ほ場率は「富有」47%（平成71%）、「刀根早生」・「平核無」6%（平成21%）であった。

- ② 県北部における8月中旬の発病葉率は「富有」7.4%（平成8.4%）、「刀根早生」・「平核無」0.4%（平成1.4%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 病原菌は葉裏の気孔から侵入するので、葉裏に丁寧に薬液を散布する。

- ② 秋季になり気温が低下すると再び病勢が増すので、二次伝染防止に努める。

3. 円星落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における8月中旬の発生ほ場率は、「富有」0%（平成2%）、「刀根早生」・「平核無」0%（平成3%）であった。
- ② 県北部における8月中旬の発病葉率は、「富有」0%（平成0.0%）、「刀根早生」・「平核無」0%（平成0.1%）であった。
- ③ 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 樹勢が低下すると発病が助長されるため、適切な肥培管理や水分管理を心がけ樹勢維持に努める。

4. 角斑落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における8月中旬の発生ほ場率は、「富有」0%（平成0%）、「刀根早生」・「平核無」6%（平成1%）であった。
- ② 県北部における8月中旬の発病葉率は、「富有」0%（平成0%）、「刀根早生」・「平核無」0.1%（平成0.0%）であった。
- ③ 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 樹勢が低下すると発病が助長されるため、適切な肥培管理や水分管理を心がけ樹勢維持に努める。
- ② 本病は二次伝染を繰り返すので、10月上旬まで防除を励行する。

5. フジコナカイガラムシ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における8月中旬の発生ほ場率は、「富有」59%（平成70%）、「刀根早生」・「平核無」29%（平成25%）であった。
- ② 県北部における8月中旬の寄生果率は、「富有」3.9%（平成8.6%）、「刀根早生」・「平核無」1.6%（平成1.0%）であった。
- ③ 9月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 主に果実とへたの間隙部に寄生しているので、薬液がこの部分にかかるように丁寧に散布する。

<果樹全般>

1. カメモムシ類

(1) 予報内容 発生量 並～やや多

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における8月中旬のカキの被害果率は、「富有」0%（平成3.4%）、「刀根早生」・「平核無」0%（平成0.5%）であった。
- ② 紀の川市粉河の予察灯による8月1～25日の誘殺数は、チャバネアオカメモムシが758頭（平成620頭）、ツヤアオカメモムシが151頭（平成230頭）であった。
- ③ 有田川町奥の予察灯による8月1～25日の誘殺数は、チャバネアオカメモムシが202頭（過去7年の平均840頭）、ツヤアオカメモムシ74頭（同187頭）であった。

- ④ みなべ町東本庄の予察灯による 8 月 1 ～ 25 日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが 3,693 頭（平成 1,310 頭）、ツヤアオカメムシが 714 頭（平成 693 頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 果樹カメムシ類の飛来時期・量はほ場間差が大きく、特に山林隣接ほ場では早くから被害が出やすい。
- ② ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
- ③ カキでは「富有」、カンキツでは収穫時期の早い極早生品種で被害が大きいため発生に注意する。
- ④ 台風通過後や強風後に一時的に飛来が多くなることがあるので、ほ場内での発生に注意する。
- ⑤ 令和 3 年 8 月 24 日発表の病虫害防除技術情報（第 8 号）を参照する。
- ⑥ 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の果樹カメムシ情報や、各地域の振興局農業水産振興課、JA 等の情報を参考にする。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ <農作物病虫害防除所>

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>

○和歌山県ホームページ <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

病害虫発生予報 第7号 (10月予報)

和歌山県農作物病害虫防除所

< 予報の概要 >

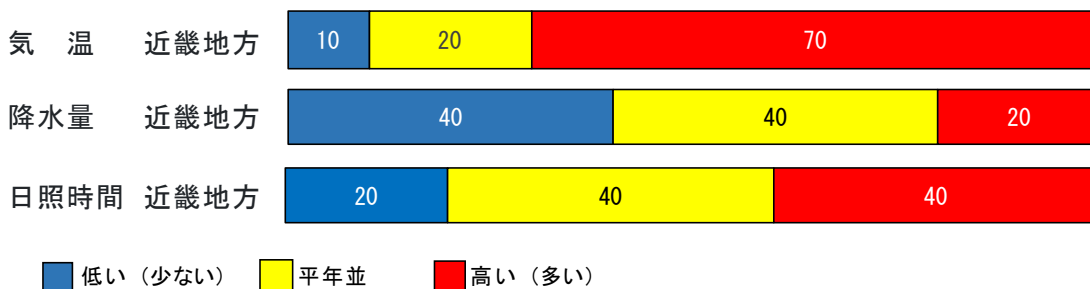
| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|-----------|-----------------------------------------------------------|-----|------------|---------|-------|
| トマト・ミニトマト | 黄化葉巻病 | 並 | 野菜・花き全般 | ハスモンヨトウ | やや多 |
| エンドウ | 褐斑病、褐紋病 うどんこ病 つる枯細菌病 | 並 | | オオタバコガ | やや少 |
| アブラナ科野菜 | | コナガ | 並 | カンキツ | 果実腐敗病 |
| | ミカンハダニ | | 並 | カキ | 炭疽病 |
| 野菜・花き全般 | アブラムシ類 ハダニ類 ミナミキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ シロイチモジヨトウ | 並 | うどんこ病 | | 並 |
| | | | 円星落葉病 | | 並 |
| | | | 角斑落葉病 | やや多 | |
| 果樹全般 | カメムシ類 | 並 | フジコナカイガラムシ | やや少 | |
| | | | カメムシ類 | やや少 | |

気象予報

近畿地方 1か月予報 (09/25~10/24)

| | | |
|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 2021年09月23日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
| 特に注意を要する事項 | 近畿日本海側では期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。 | |
| 向こう1か月 09/25~10/24 | 天候 | 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 |
| | 気温 | 平均気温は、高い確率70%です。 |
| | 降水量 | 降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。 |
| | 日照時間 | 日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。 |
| 1週目 09/25~10/01 | 気温 | 1週目は、高い確率80%です。 |
| 2週目 10/02~10/08 | 気温 | 2週目は、高い確率70%です。 |
| 3~4週目 10/09~10/22 | 気温 | 3~4週目は、高い確率50%です。 |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)



I. 野菜・花き

<トマト、ミニトマト>

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の施設栽培ミニトマトにおける9月下旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率9%、発病株率0.4%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 定期的な薬剤散布により本ほ初期のタバココナジラミ防除を徹底する。
- ② 発病株は伝染源となるため、見つけ次第抜き取り、直ちに土中に埋めるか、ビニル袋に密封して完全に枯死させてから処分する。
- ③ 台風通過後は、施設の外張りフィルムおよび防虫ネットの保守点検を必ず行う。

<エンドウ>

1. 褐斑病、褐紋病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培エンドウにおける9月下旬の発生ほ場率は0%（平年0%）であった。

② 10月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 多湿ほ場で発生しやすいので、排水を良くする。
- ② 種子伝染するので、発生ほ場では採種しない。

2. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培エンドウにおける9月下旬の発生ほ場率は0%（平年0%）であった。

② 10月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 開花期ごろから発生する。発生初期より防除を行う。
- ② 乾燥条件が続くと発生が多くなる。

3. つる枯細菌病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培エンドウにおける9月下旬の発生ほ場率は0%（平年0%）であった。

② 10月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 本病は、褐斑病、褐紋病と葉の病斑が似ているので注意する。褐斑病、褐紋病が日光に透かしても不透明であるのに対し、本病は光が透けて見えることで区別できる。
- ② 防風ネットの発病抑制効果は高い。
- ③ 種子伝染するので、発生ほ場では採種しない。

<アブラナ科野菜>

1. コナガ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① フェロモントラップによる9月1～20日の誘殺数は、紀の川市0頭（平年0頭）、和歌山市7頭（平年14.8頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

② 収穫後の作物残さが発生源になり、周辺のは場に成虫が分散して発生が多くなるので、収穫後は速やかに残さをすき込む。

<野菜・花き全般>

1. アブラムシ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける9月中旬のモモアカアブラムシの発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率9%、生息葉率0.8%）、ワタアブラムシの発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率23%、生息葉率3.3%）であった。

② 黄色水盤（紀の川市）への9月1～20日の飛来数は296頭（平年92.0頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① シルバーマルチは有翅虫の飛来防止効果がある。

② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。ネオニコチノイド系薬剤に対する感受性が低下したワタアブラムシが認められているので注意する。

2. ハダニ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける9月中旬のカンザワハダニの発生ほ場率は14%（平年14%）、生息葉率は0.6%（平年3.0%）、ナミハダニの発生ほ場率は14%（平年10%）、生息葉率は4.6%（平年1.3%）であった。

② 県中部の露地栽培エンドウにおける9月下旬のハダニ類の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率28%、生息葉率10.8%）であった。

③ 10月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

② 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける9月中旬の発生ほ場率は71%（平年55%）、生息葉率は6.9%（平年14.9%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 促成栽培ナス等の育苗は発生ほ場の近くで行わない。また、施設の開口部に防虫ネットを展張し、成虫の飛び込みを防ぐ。

② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

③ 発生が多い場合は4～5日間隔で2回以上、薬剤を散布する。

4. ミカンキイロアザミウマ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける9月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率1%、生息葉率0.1%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① ミナミキイロアザミウマに準ずる。

② イチゴではミツバチの導入前に徹底防除を行う。

5. シロイチモジヨトウ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培エンドウにおける9月下旬の発生ほ場率は33%（平年23%）、生息株率は5.6%（平年5.6%）であった。

② フェロモントラップによる9月1～20日の誘殺数は、紀の川市12頭（平年44.1頭）、御坊市35頭（平年59.9頭）、印南町0頭（平年9.1頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 幼虫が中～老齢期になると薬剤感受性が著しく低下するので、若齢期（ふ化幼虫の集団の食害による白変葉がみられたとき）の防除を心がける。

② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

6. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部の露地栽培ナスにおける9月中旬の発生ほ場率は14%（平年14%）、生息葉率は0.6%（平年0.7%）であった。

② 県中部の露地栽培エンドウにおける9月下旬の発生ほ場率は11%（平年23%）、生息株率は2.2%（平年3.1%）であった。

③ フェロモントラップによる9月1～20日の誘殺数は、紀の川市621頭（平年440.9頭）、和歌山市1,633頭（平年1,277.1頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① シロイチモジヨトウに準ずる。

7. オオタバコガ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培エンドウにおける9月下旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率13%、生息株率2.3%）であった。

② フェロモントラップによる9月1～20日の誘殺数は、紀の川市17頭（平年20.2頭）、御坊市0頭（平年2.9頭）、印南町0頭（平年4.2頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 幼虫が中～老齢期になると薬剤感受性が著しく低下するので、若齢期の防除を心がける。

II. 果 樹

<カンキツ>

1. 果実腐敗病（緑かび病、青かび病）

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 10月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 樹上の発病果や、これに接触している果実は速やかに除去する。
 - ② 収穫前の薬剤散布を励行する。
 - ③ 果実は丁寧に取り扱い、果面に傷をつけない。

2. ミカンハダニ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 予察ほ場（有田川町奥）における9月中旬の100葉あたり雌成虫数は、無防除区0頭（平年0.1頭）、慣行防除区0頭（平年0頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① ほ場内を観察し、発生の増加がみられる場合は薬剤散布を行う。特に、9月に防除していないほ場では発生に注意する。
 - ② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の薬剤は年間に2回以上使用しない。

<カキ>

1. 炭疽病

- (1) 予報内容 発生量 やや多
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の「富有」における9月中旬の発生ほ場率は35%（平年23%）、発病果率は3.2%（平年1.0%）であった。
 - ② 10月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 発病果は伝染源になるため、ほ場内を巡回し、発病果を速やかに除去して土中に埋める。
 - ② 発病果がみられるほ場や降雨が続く場合は薬剤防除を行う。また、台風が接近する場合は事前に薬剤を散布し、できなかった場合は台風通過後速やかに散布する。
 - ③ 薬剤防除は、耐性菌対策として同一系統の薬剤は連用しないように注意する。
 - ④ 軟弱徒長した枝が増えないように施肥による窒素過多に注意するとともに、強剪定を控える。冬季の剪定時に病斑を形成した枝を除去する。
 - ⑤ 排水不良ほ場、密植で通風の悪いほ場は発病しやすいため、ほ場内の環境改善に努める。

2. うどんこ病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部の「富有」における9月中旬の発生ほ場率は59%（平年68%）、発病葉率は9.1%（平年11.6%）であった。
 - ② 10月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 病原菌は葉裏の気孔から侵入するので、葉裏に丁寧に薬液を散布する。
 - ② 秋季になり気温が低下すると再び病勢が増すので、二次伝染防止に努め

る。

3. 円星落葉病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県北部の「富有」における9月中旬の発生ほ場率は0%（平成7%）、
発病葉率は0%（平成0.2%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 樹勢が低下すると発病が助長されるため、適切な肥培管理や水分管理を
心がけ樹勢維持に努める。

4. 角斑落葉病

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 県北部の「富有」における9月中旬の発生ほ場率は47%（平成33
%）、発病葉率は9.8%（平成3.4%）であった。

② 10月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 樹勢が低下すると発病が助長されるため、適切な肥培管理や水分管理を
心がけ樹勢維持に努める。

5. フジコナカイガラムシ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部の「富有」における9月中旬の発生ほ場率は41%（平成74
%）、寄生果率は3.8%（平成10.2%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 主に果実とへたの間隙部に寄生しているので、薬液がこの部分にかかる
ように丁寧に散布する。

<果樹全般>

1. カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県北部における9月中旬のカキの被害果率は、「富有」で1.1%
（平成6.0%）、「刀根早生」・「平核無」で0%（平成1.0%）であっ
た。

② 紀の川市粉河の予察灯による9月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカ
メムシが351頭（平成489頭）、ツヤアオカメムシが101頭（平成259
頭）であった。

③ 有田川町奥の予察灯による9月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメ
ムシが102頭（過去7年の平均467頭）、ツヤアオカメムシ59頭（同272
頭）であった。

④ みなべ町東本庄の予察灯による9月1～20日の誘殺数は、チャバネアオ
カメムシが1,342頭（平成4,677頭）、ツヤアオカメムシが2,237頭（平
平成2,676頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 果樹カメムシ類の飛来時期・量はほ場間差が大きく、特に山林隣接ほ場
では早くから被害が出やすい。

② ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早め
に行う。

③ カキでは「富有」、カンキツでは収穫時期の早い極早生品種で被害が大

きいため発生に注意する。

- ④ 台風通過後や強風後に一時的に飛来が多くなることがあるので、ほ場内での発生に注意する。
- ⑤ 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病虫害防除所の果樹カメムシ情報や、各地域の振興局農業水産振興課、JA等の情報を参考にする。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ <農作物病虫害防除所>

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/
boujyosyo-yosatsujyouhou.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html)

○和歌山県ホームページ <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

病害虫発生予報 第8号（11月予報）

和歌山県農作物病害虫防除所

＜予報の概要＞

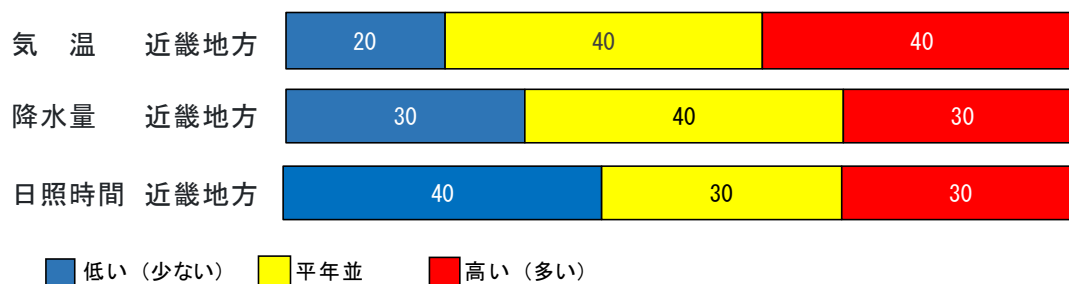
| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 | 作物名 | 病害虫名 | 発生量 |
|--------------|---------|-----|-------------|-----------|-------|
| エンドウ | 褐斑病、褐紋病 | 並 | 野菜・花 き全般 | シロイチモジヨトウ | やや少 |
| | うどんこ病 | 並 | | ハスモンヨトウ | 並 |
| | つる枯細菌病 | 並 | | オオタバコガ | やや少 |
| | ハダニ類 | やや少 | | | |
| | ウラナミシジミ | やや多 | | | |
| ハクサイ キャベツ | 黒斑細菌病 | 並 | カンキツ | 果実腐敗病 | 並 |
| | アブラムシ類 | やや少 | | ミカンハダニ | やや多 |
| | コナガ | やや少 | 果樹全般 | カメムシ類 | 並～やや多 |
| | ヨトウガ | 並 | | | |

気象予報

近畿地方 1か月予報（10/23～11/22）

| | | |
|------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------|
| 2021年10月21日14時30分 大阪管区气象台 発表 | | |
| 向こう1か月 10/23～11/22 | 天候 | 近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 |
| | 気温 | 平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 |
| 2週目 10/30～11/05 | 気温 | 2週目は、高い確率50%です。 |

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



I. 野菜・花き

<エンドウ>

1. 褐斑病、褐紋病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培における10月中旬の発生ほ場率は25%（平成15%）、発病葉率は0.5%（平成0.5%）であった。

② 11月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 多湿ほ場で発生しやすいので、排水を良くする。

② 施設栽培では、降雨が多いと予想される場合は早めにビニル被覆を行う。

③ 薬剤の予防散布に努める。

④ 種子伝染するので、発生ほ場では採種しない。

2. うどんこ病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培における10月中旬の発生ほ場率は17%（平成4%）、発病葉率は0.4%（平成0.9%）であった。

② 11月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 施設栽培では、低温期でも乾燥すると発生しやすい。

② 下位葉に病斑を認めたら薬剤散布を行う。

3. つる枯細菌病

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培における10月中旬の発生ほ場率は0%（平成3%）であった。

② 11月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 本病は、褐斑病、褐紋病と葉の病斑が似ているので注意する。褐斑病、褐紋病の病斑は日光に透かしても不透明であるのに対し、本病は光が透けて見えることで区別できる。

② 防風ネットは予防効果が高い。

③ 種子伝染するので、発生ほ場では採種しない。

4. ハダニ類

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

① 県中部の露地栽培における10月中旬の発生ほ場率は9%（平成32%）、生息株率は4.5%（平成13.6%）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤散布にあたっては薬液が葉裏に十分かかるように行う。

5. ウラナミシジミ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 県中部の露地栽培における10月中旬の被害発生ほ場率は73%（平成60年）、被害株率は26.4%（平成21.3%）であった。
- ② 11月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 食入加害されたさやは、ほ場の外に持ち出し処分する。
 - ② 主な産卵部位である花や蕾に薬液が十分かかるよう、7～10日間隔で防除を行う。

＜ハクサイ、キャベツ＞

1. 黒斑細菌病

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部のハクサイ、キャベツにおける10月中旬の発生ほ場率はいずれも0%（平成：ハクサイ7%、キャベツ6%）であった。
 - ② 11月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 降雨前に薬剤を予防散布する。

2. アブラムシ類

- (1) 予報内容 発生量 やや少
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部のキャベツにおける10月中旬のモモアカアブラムシの発生ほ場率は0%（平成：発生ほ場率21%、生息株率3.0%）であった。ニセダイコンアブラムシの発生ほ場率は0%（平成：発生ほ場率38%、生息株率8.9%）であった。
 - ② 黄色水盤（紀の川市）への10月1～20日の飛来数は、29頭（平成41.8頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 薬剤散布にあたっては薬液が株元の葉裏に十分かかるように行う。

3. コナガ

- (1) 予報内容 発生量 やや少
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部のキャベツにおける10月中旬の発生ほ場率は0%（平成：発生ほ場率8%、10株あたり生息密度0.0頭）であった。
 - ② フェロモントラップによる10月1～20日の誘殺数は、和歌山市31頭（平成56.7頭）、紀の川市0頭（平成0.1頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

4. ヨトウガ

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 県北部のキャベツにおける10月中旬の発生ほ場率は0%（平成：発生ほ場率1%、生息株率0.1%）であった。
 - ② フェロモントラップによる10月1～20日の誘殺数は、紀の川市3頭（平成7.2頭）であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 発生初期の若齢幼虫の防除に努める。

<野菜・花き全般>

1. シロイチモジヨトウ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部のキャベツにおける10月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率6%、生息株率0.3%）であった。
- ② 県中部の露地栽培エンドウにおける10月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率8%、生息株率1.3%）であった。
- ③ フェロモントラップによる10月1～20日の誘殺数は、紀の川市9頭（平年15.0頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 幼虫が中～老齢期になると薬剤感受性が著しく低下するので、若齢期（ふ化幼虫の集団の食害による白変葉がみられたとき）の防除を心がける。
- ② 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、同一系統の薬剤は連用しない。

2. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部のキャベツにおける10月中旬の発生ほ場率は29%（平年13%）、生息株率は2.9%（平年1.3%）であった。
- ② 県中部の露地栽培エンドウにおける10月中旬の発生ほ場率は18%（平年23%）、生息株率1.8%（平年4.9%）であった。
- ③ フェロモントラップによる10月1～20日の誘殺数は、和歌山市409頭（平年1,654頭）、紀の川市725頭（平年969頭）、御坊市669頭（平年2,189頭）、印南町197頭（平年934頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① シロイチモジヨトウに準ずる。

3. オオタバコガ

(1) 予報内容 発生量 やや少

(2) 予報の根拠

- ① 県北部のキャベツにおける10月中旬の発生ほ場率は0%（平年：発生ほ場率5%、生息株率0.3%）であった。
- ② 県中部の露地栽培エンドウにおける10月中旬の発生ほ場率は18%（平年18%）、生息株率1.8%（平年3.7%）であった。
- ③ フェロモントラップによる10月1～20日の誘殺数は、紀の川市11頭（平年32.2頭）、御坊市1頭（平年32.1頭）、印南町6頭（平年21.8頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 中～老齢幼虫に対する薬剤の防除効果は低いので、若齢幼虫期に防除するよう努める。

II. 果 樹

<カンキツ>

1. 果実腐敗病（緑かび病、青かび病）

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における10月中旬のウンシュウミカン樹上果実の緑かび病発生ほ場率は9%（平年12%）であった。
- ② 11月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 樹上の発病果や、これに接触している果実は速やかに除去する。
- ② 収穫前の薬剤散布を励行する。
- ③ 果実は丁寧に取り扱い、果面に傷をつけない。

2. ミカンハダニ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

- ① 県北部（海南市下津町）、県中部、県南部（田辺市）における10月中旬の発生ほ場率は28%（平年9%）、発生葉率は3.6%（平年1.7%）であった。
- ② 11月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 収穫前の薬剤散布は使用時期に特に留意する。
- ② 収穫時期まで袋かけを行う品種では袋かけ前に発生状況を確認し、必要に応じて薬剤散布を行う。
- ③ 薬剤抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の薬剤は年間に2回以上使用しない。

<果樹全般>

1. カメムシ類

(1) 予報内容 発生量 並～やや多

(2) 予報の根拠

- ① 県北部における10月中旬のカキの被害果率は「富有」で3.5%（平年8.5%）であった。
- ② 紀の川市粉河の予察灯による10月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが369頭（平年154頭）、ツヤアオカメムシが429頭（平年289頭）であった。
- ③ 有田川町奥の予察灯による10月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが73頭（過去7年の平均117頭）、ツヤアオカメムシが1,117頭（同501頭）であった。
- ④ みなべ町東本庄の予察灯による10月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが192頭（平年1,136頭）、ツヤアオカメムシが7,955頭（平年7,067頭）であった。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、発生に応じて防除を行う。
- ② 発生がみられるほ場で薬剤散布する場合は、収穫期の散布となるので使用基準に十分注意する。
- ③ 令和3年10月14日発表の病虫害防除技術情報（第9号）を参照する。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○ **農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ** <農作物病虫害防除所>

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/
boujyosyo-yosatsujyouhou.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html)

○ **和歌山県ホームページ** <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所の各担当までお願いします。

水稲、野菜、花き

本所（紀の川市、農業試験場内）

TEL 0736-64-2300

カンキツ

有田川駐在（有田川町、果樹試験場内）

TEL 0737-52-4320

カキ、モモ

紀の川駐在（紀の川市、果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL 0736-73-2274

ウメ

みなべ駐在（みなべ町、果樹試験場うめ研究所内）

TEL 0739-74-3780

2. 病害虫の診断・同定の件数

1) 本所

| 作物分類 | 分類 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 水稻 | 病害 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| | 虫害 | 0 | 0 | 2 | 8 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| | その他 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 野菜 | 病害 | 7 | 6 | 9 | 13 | 8 | 5 | 6 | 8 | 3 | 6 | 2 | 0 | 73 |
| | 虫害 | 2 | 4 | 3 | 3 | 1 | 0 | 2 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 21 |
| | その他 | 6 | 4 | 9 | 8 | 4 | 1 | 1 | 4 | 0 | 4 | 1 | 0 | 42 |
| 花き | 病害 | 0 | 1 | 3 | 3 | 1 | 2 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| | 虫害 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | その他 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 4 | 0 | 2 | 3 | 0 | 1 | 0 | 15 |
| 果樹 | 病害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 虫害 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 病害 | 7 | 7 | 13 | 19 | 9 | 8 | 13 | 8 | 4 | 7 | 2 | 0 | 97 |
| | 虫害 | 2 | 4 | 7 | 13 | 5 | 3 | 3 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 45 |
| | その他 | 8 | 4 | 11 | 9 | 9 | 8 | 1 | 6 | 3 | 4 | 2 | 0 | 65 |

2) 有田川駐在

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 常緑果樹 | 病害 | 5 | 14 | 8 | 6 | 13 | 14 | 0 | 2 | 2 | 2 | 5 | 10 | 81 |
| | 虫害 | 4 | 6 | 1 | 10 | 9 | 4 | 4 | 3 | 0 | 3 | 2 | 6 | 52 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 小計 | 病害 | 5 | 14 | 8 | 6 | 13 | 14 | 0 | 2 | 2 | 2 | 5 | 10 | 81 |
| | 虫害 | 4 | 6 | 1 | 10 | 9 | 4 | 4 | 3 | 0 | 3 | 2 | 6 | 52 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

3) 紀の川駐在

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 落葉果樹 | 病害 | 9 | 16 | 18 | 14 | 7 | 10 | 17 | 1 | 3 | 1 | 2 | 4 | 102 |
| | 虫害 | 5 | 6 | 8 | 3 | 4 | 8 | 5 | 2 | 1 | 0 | 2 | 3 | 47 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 常緑果樹 | 病害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 虫害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 病害 | 9 | 16 | 18 | 14 | 7 | 10 | 17 | 1 | 3 | 1 | 2 | 4 | 102 |
| | 虫害 | 5 | 6 | 8 | 3 | 4 | 8 | 5 | 2 | 1 | 0 | 2 | 3 | 47 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |

4) みなべ駐在

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 落葉果樹 | 病害 | 12 | 22 | 5 | 3 | 0 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 5 | 56 |
| | 虫害 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 10 |
| | その他 | 3 | 5 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 14 |

5) 全体

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 合計 | 病害 | 33 | 59 | 44 | 42 | 29 | 34 | 33 | 13 | 11 | 10 | 9 | 19 | 336 |
| | 虫害 | 11 | 17 | 16 | 26 | 20 | 16 | 12 | 10 | 5 | 4 | 4 | 13 | 154 |
| | その他 | 11 | 9 | 11 | 10 | 10 | 8 | 4 | 9 | 3 | 4 | 2 | 1 | 82 |

VI. 病害虫の発生経過の概要

| 都道府県 | 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|------|-------|----------|---------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 和歌山県 | 早期水稲 | 葉いもち | 4～7月 | 並 | 7月の発生ほ場率は0%(平成28%)、発病率は0%(平成5.7%)であった。 | | 育苗箱薬剤及び適量施肥。初発時の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | 穂いもち | 7～8月 | 並 | 8月の25株あたり発病穂数は0(平成1.5)であった。 | | 通常は穂ばらみ期の薬剤防除。罹病性品種の作付ほ場及び山間地では穂揃い期に追加防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | 紋枯病 | 5～8月 | 並 | 8月の発生ほ場率は17%(平成23%)、発病率は3.3%(平成3.1)であった。 | | 通常は穂ばらみ期1回の薬剤防除。出穂後も上位葉への進展が見られる場合は追加防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | ばか苗病 | 5～6月 | 並 | 7月の発生ほ場率は0%(平成2%)であった。 | | 種子消毒。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | もみ枯細菌病 | 4月、8月 | 並 | 8月の発病率は0%(平成0%)であった。 | | 育苗箱薬剤の施用と穂ばらみ期の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | 縞葉枯病 | 6～9月 | 並 | 7月の発病率は0%(平成0%)であった。 | | ヒメビウカの防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | 稲こうじ病 | 8月 | 並 | 8月の発病率は0%(平成0%)であった。 | | 穂いもちとの同時防除 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | セジロウンカ | 6～8月 | やや少 | 25株あたり平均虫数は、7月が10.5頭(平成31.4頭)、8月が12.7頭(平成19.5頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 7月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | トビイロウンカ | 6～8月 | やや少 | 予察灯への初飛来は、那智勝浦町で6月23日(平成7月1日)であった。予察灯による6月1日～7月20日の誘殺数は、上富田町2頭(平成17.5頭)、那智勝浦町22頭(平成20.4頭)であった。8月の25株あたり平均虫数は0頭(平成1.4頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 7月の薬剤防除。病害虫防除技術情報第6号(7月20日発表)により注意を喚起。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | ヒメビウカ | 5～8月 | 少 | 7月の25株あたり平均虫数は2.0頭(平成7.8頭)、8月の25株あたり平均虫数は1.3頭(平成13.4頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 育苗箱薬剤の施用と7月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | ツマグロヨコバイ | 5～8月 | やや少 | 7月の25株あたり平均虫数は2.5頭(平成2.4頭)、8月の25株あたり平均虫数は0.3頭(平成2.8頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 7月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | 斑点米カメムシ類 | 7～8月 | やや少 | 本田における7月の捕虫網20回振りによる捕獲虫数は2.5頭(平成5.3頭)であった。 | | 畦畔及びほ場周辺の除草。乳熟期の薬剤散布。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | コブノメイガ | 6～8月 | やや少 | 7月の25株あたり平均被害葉数は0葉(平成1.3葉)であった。 | | 7月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 早期水稲 | イネミズゾウムシ | 5～8月 | 並 | 6月の25株あたり平均虫数は0.3頭(過去6年の平均0.6頭)であった。 | | 育苗箱薬剤の施用。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | 葉いもち | 5～8月 | やや多 | 8月の発生ほ場率は46%(平成24%)、発病率は9.7%(平成6.3%)であった。 | 5月下旬の梅雨入りによる降雨、台風の影響、および8月中旬以降の降雨により発病が助長されたため。 | 育苗箱薬剤。適量施肥。初発時の薬剤防除。病害虫防除技術情報第7号(8月16日発表)により注意を喚起。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | 穂いもち | 8～9月 | やや多 | 9月の発生ほ場率は25%(平成13%)、25株あたりの発病穂数は1.3(平成2.0)であった。 | 5月下旬の梅雨入りによる降雨、台風の影響、および8月中旬以降の降雨により発病が助長されたため。また、防除時期に降雨が続いたため。 | 通常は穂ばらみ期の薬剤防除。罹病性品種の作付ほ場及び山間地では穂揃い期の追加防除。病害虫防除技術情報第7号(8月16日発表)により注意を喚起。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | 紋枯病 | 6～9月 | やや少 | 9月の発生ほ場率は38%(平成61%)であった。 | | 通常は穂ばらみ期1回の薬剤防除。出穂後も上位葉への進展が見られる場合は追加防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | ばか苗病 | 5～6月 | 並 | 8月の発病率は0%(平成0.1%)であった。 | | 種子消毒。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | もみ枯細菌病 | 4月、8～9月 | 並 | 9月の発病率は0%(平成0.01%)であった。 | | 育苗箱薬剤の施用と穂ばらみ期の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | 縞葉枯病 | 6～9月 | 並 | 8月の発病率は0%(平成0.02%)であった。 | | ヒメビウカの防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | 稲こうじ病 | 9月 | 並 | 9月の発病率は0%(平成0%)であった。 | | 穂いもちとの同時防除 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | ニカメイガ | 6～10月 | 並 | 8月の25株あたり被害株数は0株(平成0株)であった。 | | 1化期:育苗箱薬剤の施用。 2化期:8月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | セジロウンカ | 6～10月 | やや少 | 25株あたり平均虫数は、7月が4.7頭(平成16.7頭)、8月が3.2頭(平成27.9頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 育苗箱薬剤の施用。 8月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | トビイロウンカ | 6～10月 | やや少 | 25株あたり平均虫数は、7月が0.3頭(平成0.2頭)、8月が0頭(平成1.2頭)、9月上旬が0頭(平成9.4頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 育苗箱薬剤の施用。 8月の薬剤防除。 病害虫防除技術情報第6号(7月20日発表)により注意を喚起。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | ヒメビウカ | 6～10月 | やや少 | 8月の25株あたり平均虫数は3.9頭(平成19.1頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 育苗箱薬剤の施用。 |

| 都道府県 | 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|------|---------|-------------|-------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 和歌山県 | 普通期水稲 | ツマグロヨコバイ | 6～10月 | やや少 | 8月の25株あたり平均虫数は0.8頭(平年2.7頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 育苗箱施薬剤の施用。 8月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | 斑点米カメムシ類 | 8～10月 | 並 | すくい取り調査(捕虫網20回振り)による8月の発生ほ場率および平均成虫数は、県北部で75%(平年73%)、9.6頭(平年7.6頭)、県中部で75%(平年80%)、2.5頭(平年7.3頭)であった。 | | 畦畔及びほ場周辺の除草。 乳熟期の薬剤散布。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | フタオビコヤガ | 6月～8月 | 並 | 8月の25株あたり平均虫数は0頭(平年0.1頭)、9月の25株あたり平均虫数は0.04頭(平年0.1頭)であった。 | 近年、少発生傾向が続いている。 | 8月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | コブノメイガ | 6～10月 | やや少 | 紀の川市の蛍光灯誘殺箱による7月21日～8月15日の成虫誘殺数は、0頭(平年19.4頭)であった。8月の25株あたり平均被害葉数は0.04葉(平年0.7葉)であった。 | | 8月の薬剤防除。 |
| 和歌山県 | 普通期水稲 | イネミズゾウムシ | 6～9月 | 並 | 7月の25株あたり平均虫数は0頭(過去6年の平均0頭)であった。 | | 育苗箱施薬剤の施用。 |
| 和歌山県 | トマト(冬春) | 疫病 | 8～6月 | 並 | 発生は認められなかった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(冬春) | 灰色かび病 | 1～4月 | やや少 | 3月の発生ほ場率は0%(過去5年の平均6%)であった。 | 3月の気温が高かったため。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(冬春) | 葉かび病 | 3～6月 | 並 | 3月の発生ほ場率は50%(過去3年の平均40%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(冬春) | モザイク病 | 8～6月 | 並 | 3月の発生ほ場率は0%(過去5年の平均0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(冬春) | 黄化葉巻病 | 8～6月 | 並 | 3月の発生ほ場率は0%(過去5年の平均9%)であった。 | | タバココナジラミの防除 |
| 和歌山県 | トマト(冬春) | タバココナジラミ | 12～6月 | 多 | 5月の発生ほ場率は73%(平年33%)、生息葉率は16.0%(平年2.9%)であった。 | | 防虫ネットの展張。 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(冬春) | アブラムシ類 | 12～6月 | 並 | 5月の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。 | | |
| 和歌山県 | トマト(夏秋) | 疫病 | 5～11月 | 並 | 7月の発生ほ場率は0%(平年10%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(夏秋) | 灰色かび病 | 5～11月 | 並 | 7月の発生ほ場率は0%(過去6年の平均0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(夏秋) | 葉かび病 | 6～11月 | 少 | 7月の発生ほ場率は13%(過去5年の平均42%)、発病株率は0.5%(過去5年の平均7.8%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(夏秋) | モザイク病 | 6～11月 | 並 | 7月の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | トマト(夏秋) | 黄化葉巻病 | 6～11月 | やや多 | 8月の発生ほ場率は100%(平年76%)、発生株率は18%(平年29.7%)であった。 | 薬剤抵抗性の発達したバイオタイプQが発生しているため。 | タバココナジラミの防除 |
| 和歌山県 | ナス(冬春) | うどんこ病 | 12～6月 | やや多 | 5月の発生ほ場率は20%(平年10%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(冬春) | 灰色かび病 | 12～5月 | 並 | 5月の発生ほ場率は0%(過去7年の平均7%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(冬春) | ミナミキイロアザミウマ | 9～6月 | 少 | 5月の発生ほ場率は0%(平年発生ほ場率27%、生息葉率6.7%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(冬春) | アブラムシ類 | 9～6月 | 並 | 5月の生息葉率は、モモアカアブラムシ0%(平年0.5%)、ワタアブラムシ0%(平年0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(冬春) | ハダニ類 | 9～6月 | 並 | 5月のカンザワハダニの発生ほ場率は11%(平年13%)、生息葉率は1.3%(平年1.3%)、ナミハダニの発生ほ場率は0%(平年0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(夏秋) | うどんこ病 | 4～10月 | 並 | 6月の発生ほ場率は0%(過去7年の平均1%、発病葉率0.01%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(夏秋) | 灰色かび病 | 4～10月 | 並 | 6月の発生ほ場率は0%(過去7年の平均2%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(夏秋) | ミナミキイロアザミウマ | 5～11月 | 並 | 9月の発生ほ場率は71%(平年55%)、生息葉率は6.9%(平年14.9%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(夏秋) | アブラムシ類 | 5～11月 | 少 | 6月の生息葉率は、モモアカアブラムシ0%(平年1.4%)、ワタアブラムシ0%(平年1.0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(夏秋) | ハダニ類 | 5～11月 | 並 | 7月の発生ほ場率および生息葉率は、カンザワハダニでそれぞれ13%(平年25%)、0.5%(平年6.8%)であった。ナミハダニでそれぞれ25%(平年12%)、2.0%(平年2.8%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ナス(夏秋) | ハスモンヨトウ | 7～11月 | 並 | 9月の発生ほ場率は14%(平年14%)、生息葉率は0.6%(平年0.7%)であった。 | | 薬剤防除 |

| 都道府県 | 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|------|----------|-------------|--------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 和歌山県 | キュウリ(冬春) | べと病 | 10～6月 | やや多 | 5月の発生ほ場率は、県北部で56%(平成38%)、県中部で78%(平成60%)であった。 | 3月の気温が高く、3月および4月の降水量が多かったため。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キュウリ(冬春) | うどんこ病 | 10～6月 | 並 | 5月の発生ほ場率は、県北部で22%(平成19%)、県中部で78%(平成88%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キュウリ(冬春) | 灰色かび病 | 10～6月 | 並 | 5月の発生ほ場率は、県北部で0%(平成3%)、県中部で0%(平成0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キュウリ(冬春) | 褐斑病 | 10～6月 | やや少 | 5月の発生ほ場率は、県北部で11%(平成6%)、県中部で11%(過去5年の平均55%)であった。 | 県中部において耐病性品種が導入されつつあるため。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キュウリ(冬春) | ミナミキイロアザミウマ | 9～6月 | やや少 | 4月の発生ほ場率30%(過去7年の平均36%)、生息葉率2.3%(過去7年の平均3.3%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キュウリ(冬春) | アブラムシ類 | 9～6月 | やや少 | 4月のワタアブラムシの発生ほ場率は10%(過去7年の平均13.2%)、生息葉率0.1%(過去7年の平均0.2%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キュウリ(冬春) | タバココナジラミ | 9～6月 | 多 | 4月の発生ほ場率は60%(過去7年の平均21%)、生息葉率18.6%(過去7年の平均1.5%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | スイカ | つる枯病 | 5～7月 | やや多 | 6月の発生ほ場率は、県北部で10%(平成0%)、県中部で7%(平成8%)であった。 | 5月下旬の降雨量が多かったため。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | スイカ | 炭疽病 | 5～7月 | 多 | 6月の発生ほ場率は、県北部で20%(平成7%)、県中部で100%(平成14%)であった。 | 5月下旬の降雨量が多かったため。 | 薬剤防除 病害虫発生予察注意報第3号(5月26日発表)および病害虫防除技術情報第3号(6月14日発表)により注意を喚起。 |
| 和歌山県 | スイカ | 疫病 | 5～7月 | 並 | 6月の発生ほ場率は、県北部で0%(平成0%)、県中部で0%(平成0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | スイカ | シロイテモジトウ | 4～8月 | 並 | 6月の発生ほ場率は33%(平成38%)、被害果率は0.9%(平成5.0%)であった。 | | 薬剤防除 交信攪乱剤による防除 |
| 和歌山県 | スイカ | アブラムシ類 | 3～8月 | やや多 | 6月のワタアブラムシの発生ほ場率は89%(平成65%)、生息葉率は5.6%(平成5.3%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ハクサイ(秋冬) | 軟腐病 | 9～12月 | 並 | 12月の発生ほ場率は0%(過去8年平均1%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ハクサイ(秋冬) | 白斑病 | 9～12月 | 並 | 12月の発生ほ場率は0%(過去8年平均2%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ハクサイ(秋冬) | べと病 | 10～12月 | 並 | 12月の発生ほ場率は0%(過去8年平均0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ハクサイ(秋冬) | 黒斑病 | 10～12月 | 並 | 12月の発生ほ場率は0%(過去8年平均0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | ハクサイ(秋冬) | モザイク病 | 9～12月 | 並 | 12月の発生ほ場率は0%(過去8年平均0%)であった。 | | アブラムシ類防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(春) | 黒腐病 | 3～4月 | 並 | 4月の発生ほ場率は0%(過去6年の平均0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(春) | 菌核病 | 3～4月 | やや少 | 3月の発生ほ場率は47%(過去6年の平均68%)、発病株率は0.6%(過去6年の平均3.8%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(春) | アブラムシ類 | 12～4月 | やや少 | 4月の発生ほ場率は、モモアブラムシ1.9%(平成10.0%)、ニセダイコンアブラムシ0.6%(平成0.3%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(春) | モンシロチョウ | 4月 | 多 | 4月の発生ほ場率は38%(平成10%)であった。 | 3月の気温が高かったため。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(春) | コナガ | 12～4月 | 並 | 4月の発生ほ場率は0%(平成・発生ほ場率8.4%、1株当たり発生密度0.02頭)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(春) | ヨトウガ | 4月 | 並 | 4月の発生ほ場率は0%(平成0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(冬) | 黒腐病 | 9～12月 | 並 | 10月の発生ほ場率は0%(平成1%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(冬) | 菌核病 | 10～12月 | 並 | 12月の発生ほ場率は13%(過去8年の平均13%)、発病株率は0.8%(過去8年の平均0.9%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(冬) | アブラムシ類 | 9～3月 | やや少 | 10月のモモアブラムシの発生ほ場率は0%(平成・発生ほ場率21%、生息株率3.0%)であった。ニセダイコンアブラムシの発生ほ場率は0%(平成・発生ほ場率38%、生息株率8.9%)であった。黄色水盞(紀の川市)への10月1～20日の飛来数は、29頭(平成41.8頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(冬) | モンシロチョウ | 9～10月 | 並 | 10月の発生ほ場率は14%(平成10%)、生息株率0.7%(平成0.7%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(冬) | コナガ | 9～3月 | やや少 | 10月の発生ほ場率は0%(平成・発生ほ場率8%、10株あたり生息密度0.05頭)であった。 | 薬剤防除の効果が高かった。 | 薬剤防除 |

| 都道府県 | 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|------|----------|-----------|-------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 和歌山県 | キャベツ(冬) | ヨトウガ | 9～3月 | 並 | 10月の発生ほ場率は0%(平成:発生ほ場率1%、生息株率0.1%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | キャベツ(冬) | ハスモンヨトウ | 9～11月 | 並 | 10月の発生ほ場率は29%(平成13%)、生息株率は2.9%(平成1.3%)であった。フェロモントラップによる10月1～20日の誘殺数は、和歌山市409頭(平成1,654頭)、紀の川市725頭(平成969頭)、御坊市669頭(平成2,189頭)、印南町197頭(平成934頭)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | タマネギ | 白色疫病 | 2～4月 | やや少 | 3月の発生ほ場率は17%(平成25%)、発病率は0.2%(平成2.7%)であった。 | 3月の気温が高かったため。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | タマネギ | べと病 | 1～5月 | 多 | 4月の発生ほ場率は47%(平成26%)であった。 | 3月の気温が高く、3月および4月の降水量が多かったため。 | 薬剤防除 病害虫発生予察注意報第1号(4月23日発表)により注意を喚起。 |
| 和歌山県 | イチゴ | 灰色かび病 | 10～4月 | やや多 | 4月の発生ほ場率は20%(過去5年の平均15%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | イチゴ | うどんこ病 | 10～4月 | 少 | 4月の発生ほ場率は0%(過去5年の平均7%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | イチゴ | アブラムシ類 | 9～4月 | やや多 | 4月の発生ほ場率13%(平成10%)、生息葉率10.0%(平成1.3%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | イチゴ | アザミウマ類 | 9～4月 | やや少 | 4月のヒラズハナアザミウマは発生ほ場率38%(過去5年の平均57%)、1花当たり生息密度0.1頭(過去5年の平均0.9頭)、ミカンキイロアザミウマは発生ほ場率0%(平成:発生ほ場率15%、1花当たりの生息密度(0.1頭)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | イチゴ | ハダニ類 | 9～4月 | やや多 | 4月のナミハダニは発生ほ場率63%(平成42%)、発生葉率32.9%(平成14.4%)、カンザワハダニは発生ほ場率13%(平成22%)、発生葉率0.6%(平成4.8%)であった。 | | 薬剤防除。 天敵カブリダニ類の利用。 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | うどんこ病 | 9～12月 | 並 | 10月の発生ほ場率は17%(平成4%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | 灰色かび病 | 9～12月 | 並 | 10月の発生ほ場率は0%(過去8年の平均0%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | 褐斑病 | 9～11月 | やや多 | 10月の発生ほ場率は25%(平成6%)、発病葉率0.5%(平成0.2%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | 褐紋病 | 9～11月 | やや少 | 10月の発生ほ場率は0%(平成10%)、発病葉率0.4%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | オオタバコガ | 9～11月 | やや少 | 10月の発生ほ場率は18%(平成18%)、生息株率1.8%(平成3.7%)であった。 | 気象条件による。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | ウラナミシジミ | 9～12月 | 並 | 10月の発生ほ場率は73%(平成60%)、被害株率は26.4%(平成21.3%)であった。 | | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | シロイテモジヨトウ | 8～10月 | 並 | 9月の発生ほ場率は33%(平成23%)、生息株率は5.6%(平成5.6%)であった。 | | 防除ネット被覆、薬剤防除、交信攪乱剤 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | ハダニ類 | 9～11月 | やや少 | 10月の発生ほ場率は9%(平成32%)、生息株率4.5%(平成13.6%)であった。 | 気象条件による。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | エンドウ(秋冬) | ハスモンヨトウ | 9～11月 | やや少 | 10月の発生ほ場率は18%(平成23%)、生息株率は1.8%(平成4.9%)であった。 | 気象条件による。 | 薬剤防除 |
| 和歌山県 | カンキツ | そうか病 | 4～7月 | やや少 | 平成に比べて6月はやや多、7月は並で推移し、10月の発生ほ場率は3%(平成4%)、発病果率は0.2%(平成0.5%)であった。 | 5月が多雨となり6月の発生がやや多かったが、6～7月の降水量は少なかつたため最終の発生量はやや少となった。 | 常発ほ場では発芽直後に薬剤散布。その他一般防除圏では満開期を中心に予防散布。発病果実は摘果処理により除去。 |
| 和歌山県 | カンキツ | 黒点病 | 6～10月 | やや多 | 予察ほ場(有田川町奥)における初発は5月31日と平成(6月3日)よりやや早かった。10月の発生ほ場率は77%(平成61%)、発病果率は28.3%(平成20.0%)であった。 | 5月下旬と8月の降水量が多かったため。 | 幼果期(5月下旬～6月上旬)から8月下旬にかけてマンゼブ剤およびマンネブ剤の予防散布による基幹防除及び伝染源である枯枝の剪除。 |
| 和歌山県 | カンキツ | かいよう病 | 5～10月 | やや多 | 10月の果実の発生ほ場率は30%(平成18%)、発病果率は3.9%(平成2.8%)であった。 | 気象条件による。 | 罹病性品種や常発ほ場において、無機銅剤の予防散布による基幹防除及び罹病枝葉の剪除。 |
| 和歌山県 | カンキツ | 灰色かび病 | 5～6月 | 多 | 6月の発生ほ場率は23%(平成15%)であった。 | 5月の降水量が多かったため。 | 満開期～落弁期の予防散布。被害果は摘果処理により除去。 |
| 和歌山県 | カンキツ | 褐色腐敗病 | 9～11月 | 並 | 10月の発生ほ場率は0%(平成0%)であった。 | 気象条件による。 | 常発ほ場では薬剤散布と罹病果の除去。 |
| 和歌山県 | カンキツ | 貯蔵病害 | 10～3月 | 並 | 10月のウンシュウミカン樹上果実の緑かび病の発生ほ場率は9%(平成12%)であった。 | 気象条件による。 | 収穫前にベンゾイミダゾール系薬剤、イミノクタン酢酸塩剤のいずれかを散布。 |
| 和歌山県 | カンキツ | ヤノネカイガラムシ | 5～11月 | やや多 | 予察ほ場(有田川町奥)の第1世代幼虫の初発は5月11日で平成(5月16日)よりやや早かった。10月の寄生果率は1.2%(平成0.3%)、発生ほ場率6%(平成5%)であった。 | 気象条件による。 | マシン油乳剤、ネオニコチノイド剤を散布。 |
| 和歌山県 | カンキツ | ミカンハダニ | 5～11月 | やや多 | 越冬雌成虫は平成よりやや多かった。10月の寄生葉率は3.6%(平成1.7%)であった。 | 越冬雌成虫がやや多かったことと9月下旬～10月中旬に降水量が少なかったため。 | 冬季または春季および6月にマシン油乳剤を散布。秋季に化学殺ダニ剤を散布。 |

| 都道府県 | 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|------|------|-------------|-------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 和歌山県 | カンキツ | ミカンサビダニ | 5～11月 | 並 | 10月の発生ほ場率は2%(平年2%)であった。 | 気象条件による。 | 梅雨明け時期および秋季の発生時に薬剤散布。多発ほ場では落弁期にも実施。 |
| 和歌山県 | カンキツ | カメムシ類 | 5～11月 | 並 | 紀の川市、有田川町、みなべ町の9～10月の誘殺数は平年並であった。 | 新成虫の飛来量は、9月はやや少なかったが、10月には増加し、平年並～やや多くなったため。 | 発生時に薬剤を散布。 |
| 和歌山県 | カンキツ | チャノキイロアザミウマ | 5～10月 | 並 | 10月の被害ほ場率は25%(平年31%)であった。 | 気象条件による。 | 発生時に薬剤を散布。 |
| 和歌山県 | カンキツ | ナシマルカイガラムシ | 5～10月 | 並 | 10月の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。 | 気象条件による。 | マシン油乳剤、ネオニコチノイド剤を散布。 |
| 和歌山県 | カンキツ | ロウムシ類 | 6～8月 | 並 | 8月の発生ほ場率は0%(平年0%)であった。 | 気象条件による。 | |
| 和歌山県 | カンキツ | ミカンハモグリガ | 5～10月 | 並 | 8月の発生ほ場率は13%(過去7年の平均15%)であった。 | 気象条件による。 | 幼木園、高接更新園および部分全摘果処理したほ場を中心に薬剤散布。 |
| 和歌山県 | カンキツ | アブラムシ類 | 5～7月 | 少 | 6月の夏秋梢における発生ほ場率は0%(過去7年の平均13%)であった。 | 気象条件による。 | 幼木園、高接更新園および部分全摘果処理したほ場を中心に薬剤散布。 |
| 和歌山県 | カキ | 炭そ病 | 5～10月 | やや多 | 刀根早生・平核無では9月中旬の発生ほ場率は0%で平年並であった。富有では7月より多発ほ場が見られ、9月中旬の発生ほ場率は35%で、10月中旬には59%と平年に比べやや多くなり、一部ほ場では多発した。 | 5月中下旬に曇雨天が多く、山間部での発生が早かった。8月中旬と9月中旬の連続降雨により発病率が増加した。伝染源の除去と薬剤防除のタイミングを逸した富有のほ場では多発状態となった。 | 生育期(5/下～8/下)と9月に定期防除を実施。 |
| 和歌山県 | カキ | うどんこ病 | 5～10月 | 並 | 初発はやや遅く、6月から発生が見られ、9月中旬の発生ほ場率は、富有59%、刀根早生・平核無35%と平年並であった。10月中旬の富有の発生ほ場率は82%と平年並に経過した。 | 薬剤による防除が徹底された。 | 展葉期(4/下)と6、8月に定期的に防除を実施。 |
| 和歌山県 | カキ | 角斑落葉病 | 9～10月 | 多 | 初発は8月と早く、9月中旬の発生ほ場率は、富有47%、刀根早生・平核無24%と平年並だったが、富有での病勢が激しかった。10月中旬の発生ほ場率は、富有94%と増加し、多発した。 | 5月中下旬に曇雨天が多く、8月中旬と9月中旬の連続降雨により病勢が強まった。 | 主要感染時期の5/下～7/上に重点的な防除を実施。 |
| 和歌山県 | カキ | 円星落葉病 | 9～11月 | 並 | 9月中旬の発生ほ場率は、富有0%、刀根早生・平核無0%で、10月中旬の富有での発生ほ場率は41%と平年並の発生状況であった。 | 5月中下旬に曇雨天が多く、感染に好適な期間が長かったが、前年の伝染源は少なく、平年並の発生にとどまった。 | 主要感染時期の5/下～7/上に重点的な防除を実施。 |
| 和歌山県 | カキ | 灰色かび病 | 5～7月 | やや多 | 6月中旬の果実の発生ほ場率は、刀根早生・平核無で35%と平年並であったが、富有は100%と多発した。 | 富有の開花盛期は5月15日であったが、5月中下旬に曇雨天が多く、感染に好適な条件となった。 | 基幹防除は行われていない。一部のほ場で臨機防除が実施された。 |
| 和歌山県 | カキ | カキノヘタムシガ | 5～10月 | やや少 | 8月中旬の発生ほ場率は、富有0%、刀根早生・平核無6%、9月中旬の発生ほ場率は、富有0%、刀根早生・平核無0%でやや少ない発生となった。 | 薬剤による防除が徹底された。 | 幼虫発生期の6月上旬、8月上旬に防除を実施。 |
| 和歌山県 | カキ | ハマキムシ類 | 5～10月 | 並 | 6月から被害果実がみられ、9月中旬の発生ほ場率は、富有24%、刀根早生・平核無24%で、平年並であった。 | 気象条件等による。 | |
| 和歌山県 | カキ | フジコナカイガラムシ | 4～10月 | やや少 | 9月中旬の発生ほ場率は、富有41%、刀根早生・平核無18%でやや少であり、被害果率もやや少であった。10月中旬の発生ほ場率は、富有65%で平年並となったが、全体ではやや少ない発生であった。 | 薬剤による防除が徹底された。 | 冬期の粗皮削り、越冬世代の4月上旬および第1世代幼虫の孵化時期である6月中旬に防除を重点的に実施。有機リン系薬剤やネオニコチノイド系薬剤が主体である。 |
| 和歌山県 | カキ | カメムシ類 | 5～10月 | 並 | 9月中旬の被害果の発生ほ場率は、富有29%で平年並み、刀根早生・平核無0%でやや少ない発生であった。10月中旬の被害果の発生ほ場率は、富有47%で平年並の発生であった。 | チャバネアオカメムシの越冬量は平年に比べやや少なかった。予察灯への飛来は、8月下旬でやや多かった。また、10月3半旬まで気温が高く推移し、飛来は継続したが、防除が適切になされ、平年並の発生にとどまった。 | 8月下旬から9月上旬に定期防除が行われている。 |
| 和歌山県 | カキ | カンザワハダニ | 4～10月 | やや少 | 7月中旬での刀根早生・平核無の果実被害は認められず、やや少発生となった。 | 薬剤による防除が徹底された。 | 5月に防除を実施。 |
| 和歌山県 | カキ | チャノキイロアザミウマ | 4～10月 | 多 | 7月中旬の発生ほ場率は、刀根早生・平核無65%と多発した。 | 気象条件等による。 | 5月、6月に防除を実施。 |
| 和歌山県 | カキ | カキクダアザミウマ | 4～10月 | 並 | 6月中旬の被害葉の発生ほ場率は、富有0%、刀根早生・平核無0%であった。 | 薬剤による防除が徹底された。気象条件等による。 | 5月、7月に防除を実施。 |
| 和歌山県 | モモ | せん孔細菌病 | 4～8月 | 並 | 4月の枝における発生ほ場率は10%(平年24%)、発病枝率は0.1%(平年1.2%)で平年並に発生が少なかった。春から6月の袋かけ時期までは葉及び果実の発病は平年並に推移した。7月の葉における発生ほ場率は90%(平年88%)、発病率は4.8%(平年11.9%)で平年に比べやや低かった。収穫期の発病率は10.0%(平年7.7%)であった。8月の発病率は17.1%(平年22.0%)で、平年並となった。 | 春先の伝染源となる本年4月の発病枝は平年並に発生が少なかった。その後、4月6半旬の多雨及び5月16日に梅雨入りし、発病に好適な気象条件となった。しかし、葉での発病は平年並に推移、果実での発病は晩生品種では一部ほ場で多発事例も認められたが、全般的には平年並となった。 | 秋期と開花前の無機銅水和剤、生育期の抗生物質剤を中心とした薬剤防除を実施。春型発病枝の剪除を実施。風当たりの強いほ場では、防風ネットや防風樹による防風対策を実施。 |
| 和歌山県 | モモ | 灰星病 | 5～7月 | 並 | 発生はほとんどみられなかった。 | 薬剤による慣行防除が徹底された。 | 袋かけ前2～3回、袋かけ後2回の防除を実施。 |
| 和歌山県 | モモ | シンクイムシ類 | 5～9月 | やや多 | ナンヒメシンクイによる新梢への被害は5月中旬にはほとんど見られなかったが、6月の枝での発生は急増し、7月の枝での発生ほ場率は90%で、やや多い発生となった。果実への被害は見られなかった。 | 気象条件による。 | 4月上中旬(落弁期)～収穫前にかけて定期的に防除を実施。 |

| 都道府県 | 農作物名 | 病害虫名 | 発生時期 | 発生量 | 発生経過の概要 | 発生要因の解析 | 防除の概要 |
|------|---------|------------|-------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 和歌山県 | モモ | カメムシ類 | 5～8月 | 並 | 調査期間中に、ほ場内への飛来はほとんどみられなかった。 | チャバネアオカメムシの越冬量は平年に比べやや少なかった。その後の予察灯への誘殺数は5月にツヤアオカメムシがやや増加したが、モモほ場への飛来はほとんどみられなかった。 | モモほ場への飛来はほとんどみられず、カメムシを対象とした薬剤散布は未実施。 |
| 和歌山県 | モモ | ハダニ類 | 5～8月 | 並 | カンザワハダニなどの発生は、収穫期に至るまで平年並で推移し、7月の発生ほ場率は20%（平年43%）と平年並であった。ただし、梅雨明け後は8月上旬まで好天であったことから、8月にはやや多い発生となった。 | 気象条件による。 | ハダニ類を対象とした基幹防除は行われていない。 |
| 和歌山県 | ウメ | 黒星病 | 4～7月 | 多 | 予察園の無防除樹における初発は4月下旬と平年よりやや早かった。一般防除園での6月の発生ほ場率は50%（平年19%）、発病果率は1.8%（平年0.7%）で平年より多かった。 | 主感染時期である4月の降水量が多かったことによる。 | DMI剤、水和硫黄剤等により防除。 |
| 和歌山県 | ウメ | かいよう病 | 3～7月 | 並 | 6月の一般防除園の発生ほ場率は44%（平年47%）、発病果率は1.5%（平年1.8%）で平年並の発生であった。 | | 発芽前に無機銅剤、生育期に抗生物質剤により防除。 |
| 和歌山県 | ウメ | すす斑病 | 6～7月 | やや多 | 予察園の無防除樹における初発は5月下旬とやや早く、6月中旬の発病果率は67.0%（過去4年の平均44.8%）とやや多かった。 | 主感染時期である5月中下旬の長雨が影響したと思われる。 | DMI剤等により防除。 |
| 和歌山県 | ウメ | ウメシロカイガラムシ | 4～9月 | 並 | 本年の発生時期は4月中旬とやや早く、6月の発生ほ場率は50%（平年50%）と平年並であった。 | 気象条件による。 | 第1世代幼虫発生前または初期にIGR剤により防除。 |
| 和歌山県 | ウメ | コスカシバ | 4～11月 | やや少 | 発生時期は平年並であり、6月の発生ほ場率12%（平年24%）と平年よりやや少なかった。 | 気象条件による。 | フェロモン剤で防除。多発園は枝幹散布剤や捕殺も併用。 |
| 和歌山県 | ウメ | アブラムシ類 | 3～7月 | 並 | 被害新梢率は平年並であり、6月の発生ほ場率は15%（平年15%）と平年並であった。 | | 発芽前にネオニコチノイド剤等で防除。 |
| 和歌山県 | ウメ | ハダニ類 | 4～7月 | やや少 | 発生時期は平年並であり、6月の発生ほ場率は35%（平年53%）と平年よりやや少なかった。 | 気象条件による。 | 発生に応じて殺ダニ剤で防除。 |
| 和歌山県 | ウメ | カメムシ類 | 4～7月 | 並 | 越冬成虫の飛来数は平年並であった。 | | 防除は行われなかった。 |
| 和歌山県 | キウイフルーツ | かいよう病 | 2～6月 | やや多 | 葉での発病は5月まで見られなかったが、6月に認められた。 | 4月6半旬の多雨及び5月16日の平年より21日早い梅雨入りにより、発病に好適な気象条件となった。 | 発生地域を中心に剪定に使用するハサミやノコギリの消毒。収穫後、発芽前、及び生育期に無機銅剤の散布が行われた。 |

VII. 作物病害虫の発生状況調査

1. 水稻の生育概況

1. 水稻作付面積の推移（近畿農政局調べ）

| | 平成29年 (ha) | 平成30年 (ha) | 令和元年 (ha) | 令和2年 (ha) | 令和3年 (ha) | 前年比 (%) |
|------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| 作付面積 | 6,560 | 6,430 | 6,360 | 6,250 | 6,100 | 97.6 |

注) 令和3年の作付面積は令和3年12月8日公表の数値

水稻作付面積は徐々に減少している。

2. 作況および1等米比率の年次推移（近畿農政局調べ）

| | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 |
|---------------------------|-------|-------|------|------|------|
| 穂数(本/m ²) | 378 | 361 | 351 | 335 | 337 |
| 1穂籾数(粒/穂) | 76.2 | 78.9 | 80.9 | 81.5 | 84.0 |
| m ² 当たり全籾数(百粒) | 288 | 285 | 284 | 273 | 283 |
| 玄米千粒重(g) | 21.9 | 22.1 | 21.6 | 20.9 | 22.3 |
| 玄米収量(kg/10a) | 507 | 492 | 494 | 462 | 497 |
| 作況指数 | 102 | 99 | 99 | 92 | 100 |
| 1等米比率(%) | 27.9 | 15.4 | 30.5 | 26.0 | 45.2 |

注) 令和3年の1等米比率は令和3年12月31日現在、その他の項目は令和3年12月8日公表の数値

令和3年は令和2年に比べて1穂籾数の増加により平年並の収量となった。1等米比率は過去5年間で最も高い45.2%であった。

3. 作業時期および出穂期の年次推移（近畿農政局調べ）

| | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田植期 | 6月4日 | 6月3日 | 6月4日 | 6月6日 | 6月5日 |
| 出穂期 | 8月7日 | 8月5日 | 8月8日 | 8月6日 | 8月5日 |
| 刈取期 | 9月18日 | 9月18日 | 9月18日 | 9月17日 | 9月20日 |

注) 令和3年12月8日公表の数値

令和3年は刈取期の遅れがみられた。

4. 品種の作付動向

作付面積が増加した品種：「きぬむすめ」（前年比108%）

「にこまる」（前年比119%）

作付面積が減少した品種：「キヌヒカリ」（前年比94%）

「イクヒカリ」（前年比91%）

「つや姫」（前年比85%）

5. 栽培上の変化

近年目立った変化はない。

6. 気象概況、生育状況、被害程度、検査等級

- 1) 田植え後の気温は、6月中旬に平年を上回る時期があったものの、以後は平年並に推移し、8月中旬は平年より大幅に下回った。8月下旬には平年を上回り、10月上旬は高くなった。日照時間は、7月上旬に平年を大幅に下回り、7月中旬から8月上旬は平年を上回った。8月中旬及び9月中旬は平年を大幅に下回ったものの、9月下旬以降は平年を上回った。降水量は、台風の接近により8月中旬に平年を大幅に上回った。
- 2) 水稻の作柄は、穂数が7月の日照不足の影響等により少なくなったものの、1穂当たりもみ数が多くなったことから全籾数は「平年並」となった。また、出穂期以降に日照不足の影響がみられたものの、その後天候に恵まれたことから登熟は「平年並」となった。これらのことから、10a当たりの収量は497kgとなった。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は100となった。
- 3) 被害は、中山間部を中心にいもち病の発生がみられた。
- 4) 以上の結果、県内の水稻の収穫量（主食用）は3万300tとなり、前年産に比べ1,400t増加した。
- 5) 水稻うるち玄米の検査等級は令和3年12月31日現在で、1等：45.2%、2等：49.3%、3等：4.5%、規格外：0.9%であった。また、2等以下に格付された理由は整粒不足：2.4%、形質：34.4%、着色粒：22.4%であった。

2. 予察ほ場などにおける定点調査

1) 水稲予察ほ場調査

(1) 休閑田におけるツマグロヨコバイ・ヒメトビウンカの発生推移と齢構成

| 調査 月日 | 調査地点 | 調査 圃場 数 | ツマグロヨコバイ | | | | | ヒメトビウンカ | | | | |
|----------|------------|---------------|----------|----------|------|----|----|----------|----------|------|----|----|
| | | | 平均 虫数 | 成虫 合計 | 幼虫合計 | | | 平均 虫数 | 成虫 合計 | 幼虫合計 | | |
| | | | | | 若齢 | 中齢 | 老齢 | | | 若齢 | 中齢 | 老齢 |
| 3.15 | 紀の川市貴志川町高尾 | 3 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3.15 | 伊都郡かつらぎ町窪 | 4 | 38.5 | 111 | 0 | 1 | 42 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3.15 | 和歌山市小倉 | 3 | 8.7 | 24 | 0 | 0 | 2 | 4.0 | 11 | 0 | 0 | 1 |
| 4.2 | 紀の川市貴志川町高尾 | 3 | 0.3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3.7 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 4.2 | 伊都郡かつらぎ町窪 | 3 | 72.7 | 218 | 0 | 0 | 0 | 1.3 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 4.2 | 和歌山市小倉 | 3 | 11.0 | 33 | 0 | 0 | 0 | 2.3 | 7 | 0 | 0 | 0 |

捕虫網20回振り掬い取りによる捕獲虫数（頭）

(2) 本田（出穂後）における斑点米カメムシ類の発生状況

| 調査 月日 | 調査地域 | 調査 圃場 数 | 平均 虫数 | 内訳 | | | | | |
|----------|--------|---------------|----------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------------------|-----|
| | | | | クモヘリ カメムシ | ホソハリ カメムシ | シラホシ カメムシ | ミナミアオ カメムシ | アカスジ カスミカ メ | その他 |
| 7.14 | 紀南地域 | 2 | 2.5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 8.5 | 紀中地域 | 4 | 2.5 | 5 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 |
| 8.10 | 和歌山、海草 | 4 | 3.5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 12 | 0 |
| 8.11 | 伊都、那賀 | 4 | 17.8 | 15 | 5 | 6 | 0 | 42 | 3 |

捕虫網20回振り掬い取りによる捕獲虫数（頭）

(3) ヒメトビウンカ（越冬世代）のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率

| 調査地点 | 令和 3年 | 平年 | 過去10年の年次推移(%) | | | | | | | | | |
|---------|----------|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| | | | 平成 23年 | 平成 24年 | 平成 25年 | 平成 26年 | 平成 27年 | 平成 28年 | 平成 29年 | 平成 30年 | 平成 31年 | 令和 2年 |
| 和歌山市 小倉 | 3.3 (61) | 8.2 | 12.2 | 15.7 | 10.0 | 9.1 | 12.5 | 4.9 | 6.0 | 2.5 | 4.8 | 4.1 |
| かつらぎ町 窪 | 1.3 (75) | 9.5 | 12.7 | 15.9 | 16.9 | 12.0 | 17.4 | 4.9 | 7.9 | 1.6 | 2.0 | 4.0 |

※ヒメトビウンカ採集及び検定は4月上旬～中旬。令和3年は和歌山市およびかつらぎ町で4月2日に採集し、4月6日に検定。

()内の値は検定虫数（単位：頭）

検定：平成23～27年は高比重ラテックス凝集反応法、平成28年以降はDAS-ELISA法で実施。

3. 水稻巡回ほ場調査

調査地域区分

| 地域 (作型) | 市町村 | 地域別 | 調査地点 | 調査 圃場数 |
|--------------|------|----------|-----------------|-----------|
| 紀 北 (普通期) | 和歌山市 | 中山間 | 谷 | 17 |
| | | 平坦 | 直川、和佐関戸、朝日、小瀬田 | |
| | 海南市 | 中山間 | 次々谷 | |
| | | 平坦 | 別院 | |
| | 海草郡 | 山間 | 紀美野町福田 | |
| | 紀の川市 | 平坦 | 西三谷、井田、貴志川町丸栖 | |
| | 岩出市 | 平坦 | 中迫 | |
| | 橋本市 | 中山間 | 山田 | |
| | | 平坦 | 赤塚 | |
| | 伊都郡 | 山間 | かつらぎ町下天野 | |
| 平坦 | | かつらぎ町西飯降 | | |
| 有田郡 | 平坦 | 広川町広 | | |
| 紀 中 (普通期) | 御坊市 | 平坦 | 野口 | 7 |
| | 日高郡 | 山間 | 日高川町熊野川 | |
| | | 中山間 | 印南町印南原、みなべ町西本庄 | |
| | | 平坦 | 日高町高家、日高川町和佐 | |
| 田辺市A | 山間 | 龍神村甲斐ノ川 | | |
| 紀 南 (早期) | 田辺市B | 山間 | 中辺路町栗栖川 | 6 |
| | 西牟婁郡 | 中山間 | 上富田町市ノ瀬 | |
| | | 平坦 | 白浜町富田、すさみ町周参見立野 | |
| | 新宮市 | 山間 | 熊野川町日足神丸 | |
| | 東牟婁郡 | 中山間 | 那智勝浦町中里 | |

水稻巡回圃場調査の日程

| 調査場所 | 第1回 | 第2回 | 第3回 |
|--------------------|------|------|------|
| 和歌山市・海南市・海草郡・岩出市 | 7/15 | 8/10 | 9/ 7 |
| 紀の川市・橋本市・伊都郡 | 7/13 | 8/11 | 9/ 7 |
| 有田郡・御坊市・日高郡・田辺市A | 7/12 | 8/ 5 | 9/ 6 |
| 田辺市B・西牟婁郡・新宮市・東牟婁郡 | 6/ 9 | 7/14 | 8/ 6 |

1) 圃場における病害虫の発生状況

圃場における病害の発生状況(第1回)

2021年

| 作型 | 地域別 | 調査筆数 | 葉いもち (株数) | 葉いもち (発病度) | 穂いもち (穂首) | 穂いもち (枝こう) | 穂いもち (計) | 紋枯病 (株数) | 紋枯病 (発病度) | 萎縮病 (株数) | 縞葉枯病 (株数) | もみ枯細菌病 (株数) | もみ枯細菌病 (穂数) | ばか苗病 (株数) | ごま葉枯病 (株数) | 白葉枯病 (株数) | 稲こうじ病 (株数) | 内えい褐変病 (株数) | 内えい褐変病 (穂数) |
|-------------|-----|------|--------------|---------------|--------------|---------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|----------------|----------------|--------------|---------------|--------------|---------------|----------------|----------------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 2 | 0.5 | 0.5 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 中山間 | 3 | 0.0 | 0.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 平坦 | 12 | 0.8 | 0.8 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 計 | 17 | 0.6 | 0.6 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 中山間 | 2 | 13.0 | 33.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 平坦 | 3 | 0.0 | 0.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 計 | 7 | 3.7 | 9.4 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| 普通期 | 山間 | 4 | 0.3 | 0.3 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 中山間 | 5 | 5.2 | 13.2 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 平坦 | 15 | 0.7 | 0.7 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 計 | 24 | 1.5 | 3.2 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| (紀早期) | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 中山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 平坦 | 2 | 0.0 | 0.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 計 | 6 | 0.0 | 0.0 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| 県計 | 山間 | 6 | 0.2 | 0.2 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 中山間 | 7 | 3.7 | 9.4 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 平坦 | 17 | 0.6 | 0.6 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |
| | 計 | 30 | 1.2 | 2.6 | - | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - | - |

注:表中の値は調査25株あたりの計数値の平均

葉いもち(発病度)・紋枯病(発病度)

$$\text{発病度} = \frac{4 \times A + 3 \times B + 2 \times C + D}{4 \times 25(\text{調査株数})} \times 100$$

葉いもち(発病度)

- A: 下葉は枯死し、完全なズリコミ症状を呈した株数(病斑面積率50%以上)
- B: かなり病斑が見られ、軽いズリコミ症状を呈した株数(病斑面積率10%程度)
- C: 病斑がかなり見られた株数(病斑面積率2%程度)
- D: 病斑がわずかに見られた株数(病斑面積率0.5%程度)

紋枯病(発病度)

- A: 止葉が枯死の症状を呈した株数
- B: 大部分の病斑が止葉の葉鞘まで達しているが、止葉には生色があった株数
- C: 大部分の病斑が第2葉鞘まで達した株数
- D: 病斑が第3葉鞘まで達した株数

圃場における病害の発生状況(第1回)平年値

(2011~2020年)

| 作型(地域) | 地域別 | 葉いもち(株数) | 穂いもち(穂数) | 紋枯病(株数) | 萎縮病(株数) | 縞葉枯病(株数) | もみ枯細菌病(病株数) | ばか苗病(株数) | ごま葉枯病(株数) | 白葉枯病(株数) | 稲こうじ病(株数) | 内えい褐変病(株数) |
|-------------|-----|----------|----------|---------|---------|----------|-------------|----------|-----------|----------|-----------|------------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 3.7 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 中山間 | 0.1 | - | 0.1 | 0.0 | 0.1 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 平坦 | 0.5 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 計 | 0.8 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 0.3 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 中山間 | 1.4 | - | 0.0 | 0.0 | 0.1 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 平坦 | 0.8 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 計 | 0.8 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| 普通期 | 山間 | 2.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 中山間 | 0.6 | - | 0.0 | 0.0 | 0.1 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 平坦 | 0.6 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 計 | 0.8 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| (紀南) 早期 | 山間 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 中山間 | 0.1 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 平坦 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 計 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| 県計 | 山間 | 1.3 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 中山間 | 0.4 | - | 0.0 | 0.0 | 0.1 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 平坦 | 0.5 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |
| | 計 | 0.7 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | - | - |

圃場における害虫の発生状況(第1回)

2021年

| 作型 | 地域別 | 調査筆数 | ツマゲロヨコバイ(虫数) | ヒメトビウンカ(虫数) | セジロウンカ(虫数) | トビイロウンカ(虫数) | ニカメイガ(被害株数) | コブノメイガ(被害葉数) | イチモンジセセリ(つと数) | イネミズゾウムシ(虫数) | イネゾウムシ(被害株数) | 斑点米カメムシ類(虫数) | フタオビコヤガ(虫数) | アワヨトウ(虫数) | ハモグリバエ(被害株数) | イネシンガレセンチュウ(被害株数) | イナゴ(被害株数) |
|-------------|-----|------|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-----------|--------------|-------------------|-----------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 23.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 中山間 | 3 | 1.0 | 2.7 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 平坦 | 12 | 0.3 | 0.4 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 計 | 17 | 0.4 | 0.8 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 2 | 6.0 | 0.0 | 3.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 2.5 |
| | 中山間 | 2 | 2.5 | 1.5 | 4.5 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 平坦 | 3 | 0.3 | 1.0 | 3.7 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 計 | 7 | 2.6 | 0.9 | 3.7 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.7 |
| 普通期 | 山間 | 4 | 3.0 | 0.0 | 13.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 1.3 |
| | 中山間 | 5 | 1.6 | 2.2 | 6.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 平坦 | 15 | 0.3 | 0.5 | 2.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 計 | 24 | 1.0 | 0.8 | 4.7 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.2 |
| (紀早期) | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 5.5 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 中山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 平坦 | 2 | 1.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.5 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 計 | 6 | 0.3 | 0.2 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 3.8 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| 県計 | 山間 | 6 | 2.0 | 0.0 | 8.7 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 1.8 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.8 |
| | 中山間 | 7 | 1.1 | 1.6 | 4.9 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 平坦 | 17 | 0.4 | 0.5 | 1.8 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 計 | 30 | 0.9 | 0.7 | 3.9 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.8 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.2 |

注:表中の値は調査25株あたりの計数値の平均

圃場における害虫の発生状況(第1回) 平年値

(2011~2020年)

| 作型(地域) | 地域別 | ツマグロヨコバイ(虫数) | ヒメトビウンカ(虫数) | セジロウンカ(虫数) | トビイロウンカ(虫数) | ニカメイガ(被害株数) | コブノメイガ(被害葉数) | イチモンジセセリ(つと数) | イネミズゾウムシ(虫数) | イネゾウムシ(被害株数) | 斑点米カメムシ類(虫数) | フタオビコヤガ(虫数) | アワヨトウ(虫数) | ハモグリバエ(被害株数) | イネシンガレセンチュウ(被害株数) | イナゴ(被害株数) |
|-------------|-----|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-----------|--------------|-------------------|-----------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 2.2 | 10.6 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | — | 0.1 | — | 0.4 | — | 2.2 |
| | 中山間 | 2.1 | 37.2 | 19.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 2.0 |
| | 平坦 | 1.3 | 7.4 | 13.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.3 |
| | 計 | 1.5 | 13.1 | 14.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.8 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 1.8 | 4.6 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | — | 0.1 | — | 0.0 | — | 4.0 |
| | 中山間 | 3.1 | 29.3 | 50.8 | 1.7 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | — | 0.1 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 平坦 | 0.7 | 4.1 | 13.2 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.1 | — | 0.0 |
| | 計 | 1.7 | 11.4 | 23.3 | 0.5 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 1.1 |
| 普通期 | 山間 | 2.0 | 7.6 | 10.8 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | — | 0.1 | — | 0.2 | — | 3.1 |
| | 中山間 | 2.5 | 34.0 | 32.1 | 0.7 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | — | 0.1 | — | 0.0 | — | 1.2 |
| | 平坦 | 1.2 | 6.8 | 13.1 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.2 |
| | 計 | 1.6 | 12.6 | 16.7 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.9 |
| (紀早南) 期 | 山間 | 0.2 | 0.4 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.2 | 5.5 | — | 0.0 | — | 0.1 | — | 0.1 |
| | 中山間 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 2.7 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 1.9 |
| | 平坦 | 1.1 | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 1.2 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| | 計 | 0.5 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 3.1 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.6 |
| 県計 | 山間 | 1.4 | 5.3 | 7.4 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.4 | 1.9 | — | 0.0 | — | 0.2 | — | 2.1 |
| | 中山間 | 1.8 | 24.4 | 23.0 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.9 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 1.4 |
| | 平坦 | 1.2 | 6.0 | 11.7 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.2 |
| | 計 | 1.4 | 10.1 | 13.4 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.8 | — | 0.0 | — | 0.0 | — | 0.9 |

圃場における病害の発生状況(第2回)

2021年

| 作型 | 地域別 | 調査筆数 | 葉いもち (株数) | 葉いもち (発病度) | 穂いもち (穂首) | 穂いもち (枝こう) | 穂いもち (計) | 紋枯病 (株数) | 紋枯病 (発病度) | 萎縮病 (株数) | 縞葉枯病 (株数) | もみ枯細菌病 (株数) | もみ枯細菌病 (穂数) | ばか苗病 (株数) | ごま葉枯病 (株数) | 白葉枯病 (株数) | 稲こうじ病 (株数) | 内えい褐変病 (株数) | 内えい褐変病 (穂数) |
|-------------|-----|------|--------------|---------------|--------------|---------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|----------------|----------------|--------------|---------------|--------------|---------------|----------------|----------------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 2 | 5.0 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 中山間 | 3 | 0.3 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 12 | 2.8 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 17 | 2.6 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.5 | 1.5 |
| | 中山間 | 2 | 5.5 | 5.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 3 | 0.7 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 7 | 1.9 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.1 | 0.4 |
| 普通期 | 山間 | 4 | 2.5 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.3 | 0.8 |
| | 中山間 | 5 | 2.4 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 15 | 2.4 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 24 | 2.4 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.1 |
| (紀早期) | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 中山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| 県計 | 山間 | 6 | 1.7 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.2 | 0.5 |
| | 中山間 | 7 | 1.7 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 17 | 2.1 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 30 | 1.9 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.1 |

注:表中の値は調査25株あたりの計数値の平均

圃場における病害の発生状況(第2回)平年値

(2011~2020年)

| 作型(地域) | 地域別 | 葉いもち(株数) | 穂いもち(穂数) | 紋枯病(株数) | 萎縮病(株数) | 縞葉枯病(株数) | もみ枯細菌病(病株数) | ばか苗病(株数) | ごま葉枯病(株数) | 白葉枯病(株数) | 稲こうじ病(株数) | 内えい褐変病(株数) |
|--------------|-----|----------|----------|---------|---------|----------|-------------|----------|-----------|----------|-----------|------------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 3.7 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.5 |
| | 中山間 | 0.8 | 0.0 | 1.6 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.8 |
| | 平坦 | 1.0 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.5 |
| | 計 | 1.3 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.6 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 1.1 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | - | 0.0 | - | 0.9 |
| | 中山間 | 4.5 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.9 |
| | 平坦 | 1.5 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.4 |
| | 計 | 2.2 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.7 |
| 普通期 | 山間 | 2.4 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.7 |
| | 中山間 | 2.3 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.8 |
| | 平坦 | 1.1 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.5 |
| | 計 | 1.6 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.6 |
| (紀早南) 普通期 | 山間 | 3.0 | 4.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.6 |
| | 中山間 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 1.1 |
| | 平坦 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.0 |
| | 計 | 1.4 | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.6 |
| 県計 | 山間 | 2.6 | 1.6 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.6 |
| | 中山間 | 1.9 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.9 |
| | 平坦 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.4 |
| | 計 | 1.5 | 0.3 | 0.8 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - | 0.6 |

圃場における害虫の発生状況(第2回)

2021年

| 作型 | 地域別 | 調査筆数 | ツマゲロヨコバイ(虫数) | ヒメトビウンカ(虫数) | セジロウンカ(虫数) | トビイロウンカ(虫数) | ニカメイガ(被害株数) | コブノメイガ(被害葉数) | イチモンジセセリ(つと数) | イネミズウムシ(虫数) | イネゾウムシ(被害株数) | 斑点米カメムシ類(虫数) | フタオビコヤガ(虫数) | アワヨトウ(虫数) | ハモグリバエ(被害株数) | イネシンガレセンチュウ(被害株数) | イナゴ(被害株数) |
|-------------|-----|------|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-----------|--------------|-------------------|-----------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (紀北) 普通期 | 山間 | 2 | 2.5 | 2.0 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 1.0 |
| | 中山間 | 3 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 12 | 0.9 | 6.5 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.3 |
| | 計 | 17 | 0.9 | 4.8 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.4 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 中山間 | 2 | 0.5 | 1.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 3 | 1.0 | 3.0 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 7 | 0.6 | 1.6 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| 普通期 | 山間 | 4 | 1.3 | 1.0 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.5 |
| | 中山間 | 5 | 0.2 | 0.4 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 15 | 0.9 | 5.8 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.3 |
| | 計 | 24 | 0.8 | 3.9 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.3 |
| (紀南) 早期 | 山間 | 2 | 4.0 | 2.5 | 9.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 1.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 中山間 | 2 | 2.5 | 2.0 | 5.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 2 | 1.0 | 1.5 | 16.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 6 | 2.5 | 2.0 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.3 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| 県計 | 山間 | 6 | 2.2 | 1.5 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.3 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.3 |
| | 中山間 | 7 | 0.9 | 0.9 | 4.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 17 | 0.9 | 5.3 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.2 |
| | 計 | 30 | 1.2 | 3.5 | 4.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.1 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | 0.2 |

注:表中の値は調査25株あたりの計数値の平均

圃場における害虫の発生状況(第2回)平年値

(2011~2020年)

| 作型(地域) | 地域別 | ツマグロヨコバイ(虫数) | ヒメトビウンカ(虫数) | セジロウンカ(虫数) | トビイロウンカ(虫数) | ニカメイガ(被害株数) | コブノメイガ(被害葉数) | イチモンジセセリ(つと数) | イネミズゾウムシ(虫数) | イネゾウムシ(被害株数) | 斑点米カメムシ類(虫数) | フタオビコヤガ(虫数) | アワヨトウ(虫数) | ハモグリバエ(被害株数) | イネシンガレセンチュウ(被害株数) | イナゴ(被害株数) |
|--------------|-----|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-----------|--------------|-------------------|-----------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 3.4 | 20.5 | 19.3 | 0.1 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 2.9 |
| | 中山間 | 2.4 | 12.7 | 10.7 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | - | 0.1 | 0.5 | 0.0 | - | 0.0 | 0.6 |
| | 平坦 | 2.9 | 24.7 | 38.2 | 0.6 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.2 |
| | 計 | 2.9 | 22.1 | 31.1 | 0.5 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.6 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 1.0 | 4.5 | 10.9 | 3.3 | 0.1 | 2.0 | 0.2 | 0.0 | - | 0.1 | 0.5 | 0.0 | - | 0.0 | 2.3 |
| | 中山間 | 3.9 | 15.2 | 13.0 | 3.9 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 平坦 | 2.3 | 14.1 | 30.5 | 2.2 | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.1 |
| | 計 | 2.4 | 11.7 | 19.9 | 3.0 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.7 |
| 普通期 | 山間 | 2.2 | 12.5 | 15.1 | 1.7 | 0.0 | 1.4 | 0.1 | 0.0 | - | 0.1 | 0.3 | 0.0 | - | 0.0 | 2.6 |
| | 中山間 | 3.0 | 13.7 | 11.6 | 1.7 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.3 | 0.0 | - | 0.0 | 0.3 |
| | 平坦 | 2.8 | 22.6 | 36.7 | 0.9 | 0.0 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.2 |
| | 計 | 2.7 | 19.1 | 27.9 | 1.2 | 0.0 | 0.7 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.6 |
| (紀早期) 普通期 | 山間 | 1.6 | 10.1 | 61.6 | 0.2 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 |
| | 中山間 | 2.2 | 8.7 | 17.8 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 1.5 |
| | 平坦 | 3.2 | 4.8 | 24.7 | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 0.1 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.4 |
| | 計 | 2.4 | 7.8 | 31.4 | 0.1 | 0.0 | 1.3 | 0.1 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.6 |
| 県計 | 山間 | 2.0 | 11.7 | 27.4 | 1.2 | 0.0 | 1.5 | 0.1 | 0.0 | - | 0.1 | 0.2 | 0.0 | - | 0.0 | 1.7 |
| | 中山間 | 2.8 | 12.3 | 13.4 | 1.2 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.2 | 0.0 | - | 0.0 | 0.7 |
| | 平坦 | 2.9 | 20.5 | 35.3 | 0.8 | 0.0 | 0.7 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.2 |
| | 計 | 2.7 | 16.8 | 28.4 | 1.0 | 0.0 | 0.8 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | 0.6 |

圃場における病害の発生状況(第3回)

2021年

| 作型 | 地域別 | 調査筆数 | 葉いもち(株数) | 葉いもち(発病度) | 穂いもち(穂首) | 穂いもち(枝こう) | 穂いもち(計) | 紋枯病(株数) | 紋枯病(発病度) | 萎縮病(株数) | 縞葉枯病(株数) | もみ枯細菌病(株数) | もみ枯細菌病(穂数) | ばか苗病(株数) | ごま葉枯病(株数) | 白葉枯病(株数) | 稲こうじ病(株数) | 内えい褐変病(株数) | 内えい褐変病(穂数) |
|--------------|-----|------|----------|-----------|----------|-----------|---------|---------|----------|---------|----------|------------|------------|----------|-----------|----------|-----------|------------|------------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 2 | - | - | 1.5 | 6.5 | 8.0 | 1.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 中山間 | 3 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 1.7 |
| | 平坦 | 12 | - | - | 1.3 | 0.1 | 1.3 | 0.3 | 0.2 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 9.8 |
| | 計 | 17 | - | - | 1.1 | 0.8 | 1.9 | 0.4 | 0.1 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 3.2 | 7.2 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 2 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.5 | 4.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.5 |
| | 中山間 | 2 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 13.0 | 3.5 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 22.0 | 107.0 |
| | 平坦 | 3 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 0.7 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 2.7 |
| | 計 | 7 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.7 | 2.4 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.1 | 31.9 |
| 普通期 | 山間 | 4 | - | - | 0.8 | 3.3 | 4.0 | 2.8 | 2.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.3 |
| | 中山間 | 5 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.4 | 1.4 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 9.4 | 43.8 |
| | 平坦 | 15 | - | - | 1.0 | 0.1 | 1.1 | 0.6 | 0.3 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.7 | 8.3 |
| | 計 | 24 | - | - | 0.8 | 0.6 | 1.3 | 2.0 | 0.8 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 14.4 |
| (紀早期) 普通期 | 山間 | 2 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.5 | 46.0 |
| | 中山間 | 2 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 17.5 | 103.5 |
| | 平坦 | 2 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.5 | 0.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 22.5 | 94.0 |
| | 計 | 6 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 17.2 | 81.2 |
| 県計 | 山間 | 6 | - | - | 0.5 | 2.2 | 2.7 | 1.8 | 1.3 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 15.5 |
| | 中山間 | 7 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.9 | 1.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 11.7 | 60.9 |
| | 平坦 | 17 | - | - | 0.9 | 0.1 | 0.9 | 0.8 | 0.2 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.9 | 18.4 |
| | 計 | 30 | - | - | 0.6 | 0.5 | 1.1 | 1.7 | 0.6 | - | - | 0.0 | 0.0 | - | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 6.9 | 27.7 |

注:表中の値は調査25株あたりの計数値の平均

圃場における病害の発生状況(第3回)平年値

(2011~2020年)

| 作型(地域) | 地域別 | 葉いもち(株数) | 穂いもち(穂数) | 紋枯病(株数) | 萎縮病(株数) | 縞葉枯病(株数) | もみ枯細菌病(病株数) | ばか苗病(株数) | ごま葉枯病(株数) | 白葉枯病(株数) | 稲こうじ病(株数) | 内えい褐変病(株数) |
|-------------|-----|----------|----------|---------|---------|----------|-------------|----------|-----------|----------|-----------|------------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | - | 10.9 | 1.6 | - | - | 0.1 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.7 |
| | 中山間 | - | 0.3 | 3.7 | - | - | 0.0 | - | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 7.1 |
| | 平坦 | - | 0.6 | 5.3 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.1 |
| | 計 | - | 1.8 | 4.6 | - | - | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 8.8 |
| (紀中) 普通期 | 山間 | - | 0.4 | 2.4 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.9 |
| | 中山間 | - | 8.4 | 3.9 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 5.0 |
| | 平坦 | - | 0.3 | 2.6 | - | - | 0.0 | - | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 5.0 |
| | 計 | - | 2.7 | 3.0 | - | - | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 4.7 |
| 普通期 | 山間 | - | 7.6 | 1.9 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.6 |
| | 中山間 | - | 3.2 | 4.0 | - | - | 0.0 | - | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 6.1 |
| | 平坦 | - | 0.5 | 4.8 | - | - | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 8.1 |
| | 計 | - | 2.1 | 4.2 | - | - | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 7.5 |
| (紀南) 早期 | 山間 | - | 4.4 | 1.4 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.7 |
| | 中山間 | - | 0.0 | 0.7 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.8 |
| | 平坦 | - | 0.0 | 0.3 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.4 |
| | 計 | - | 1.5 | 0.8 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.4 |
| 県計 | 山間 | - | 5.9 | 1.8 | - | - | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.6 |
| | 中山間 | - | 2.3 | 2.9 | - | - | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 6.9 |
| | 平坦 | - | 0.5 | 4.3 | - | - | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 8.5 |
| | 計 | - | 2.0 | 3.5 | - | - | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 7.7 |

圃場における害虫の発生状況(第3回)

2021年

| 作型 | 地域別 | 調査筆数 | ツマゲロヨコバイ(虫数) | ヒメトビウンカ(虫数) | セジロウンカ(虫数) | トビイロウンカ(虫数) | ニカメイガ(被害株数) | コブノメイガ(被害葉数) | イチモンジセセリ(つと数) | イネミズゾウムシ(虫数) | イネゾウムシ(被害株数) | 斑点米カメムシ類(虫数) | フタオビコヤガ(虫数) | アワヨトウ(虫数) | ハモグリバエ(被害株数) | イネシンガレセンチュウ(被害株数) | イナゴ(被害株数) |
|-------------|-----|------|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-----------|--------------|-------------------|-----------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (紀北) 普通期 | 山間 | 2 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 中山間 | 3 | 0.3 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.3 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 平坦 | 12 | 0.3 | 1.8 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.8 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 計 | 17 | 0.3 | 1.7 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.6 | 0.1 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 2 | 0.0 | 3.5 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 中山間 | 2 | 1.0 | 3.5 | 21.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 平坦 | 3 | 0.7 | 12.3 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 計 | 7 | 0.6 | 7.3 | 9.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| 普通期 | 山間 | 4 | 0.0 | 1.8 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 中山間 | 5 | 0.6 | 3.0 | 8.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.2 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 平坦 | 15 | 0.4 | 3.9 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.7 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 計 | 24 | 0.4 | 3.3 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.4 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| (紀早期) | 山間 | 2 | 0.0 | 3.0 | 4.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 中山間 | 2 | 1.0 | 1.0 | 27.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 平坦 | 2 | 0.0 | 0.0 | 6.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 計 | 6 | 0.3 | 1.3 | 12.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| 県計 | 山間 | 6 | 0.0 | 2.2 | 4.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 中山間 | 7 | 0.7 | 2.4 | 13.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.1 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 平坦 | 17 | 0.4 | 3.4 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.6 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |
| | 計 | 30 | 0.4 | 2.9 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.3 | 0.0 | 0.0 | — | 0.0 | — |

注:表中の値は調査25株あたりの計数値の平均

圃場における害虫の発生状況(第3回)平年値

(2011~2020年)

| 作型(地域) | 地域別 | ツマグロヨコバイ(虫数) | ヒメトビウンカ(虫数) | セジロウンカ(虫数) | トビイロウンカ(虫数) | ニカメイガ(被害株数) | コブノメイガ(被害葉数) | イチモンジセセリ(つと数) | イネミズゾウムシ(虫数) | イネゾウムシ(被害株数) | 斑点米カメムシ類(虫数) | フタオビコヤガ(虫数) | アワヨトウ(虫数) | ハモグリバエ(被害株数) | イネシンガレセンチュウ(被害株数) | イナゴ(被害株数) |
|-------------|-----|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-----------|--------------|-------------------|-----------|
| (紀北) 普通期 | 山間 | 4.7 | 17.0 | 17.6 | 15.9 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 中山間 | 3.7 | 11.3 | 6.1 | 13.3 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 平坦 | 2.9 | 17.7 | 13.7 | 11.1 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 計 | 3.3 | 16.4 | 12.8 | 12.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| (紀中) 普通期 | 山間 | 15.1 | 7.4 | 30.2 | 3.7 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 中山間 | 13.9 | 13.0 | 12.2 | 4.1 | 0.0 | 9.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 平坦 | 0.4 | 34.2 | 10.3 | 2.4 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 計 | 8.5 | 20.5 | 16.5 | 3.2 | 0.0 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| 普通期 | 山間 | 9.1 | 11.9 | 22.6 | 9.6 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 中山間 | 7.3 | 11.6 | 8.3 | 9.4 | 0.0 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 平坦 | 2.4 | 20.6 | 13.3 | 9.3 | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 計 | 4.6 | 17.3 | 14.0 | 9.4 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| (紀南) 普通期 | 山間 | 1.1 | 4.2 | 5.0 | 0.2 | 0.0 | 2.3 | 0.1 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 中山間 | 3.4 | 18.8 | 41.4 | 1.0 | 0.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.2 | 0.2 | - | 0.0 | - |
| | 平坦 | 4.0 | 17.2 | 11.9 | 2.9 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.1 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 計 | 2.8 | 13.4 | 19.5 | 1.4 | 0.0 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.1 | 0.1 | - | 0.0 | - |
| 県計 | 山間 | 6.4 | 9.2 | 18.2 | 6.5 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 中山間 | 6.2 | 13.8 | 17.7 | 7.0 | 0.0 | 3.9 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 平坦 | 2.6 | 20.2 | 13.1 | 8.5 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | - | 0.2 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |
| | 計 | 4.2 | 16.5 | 14.9 | 7.8 | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | - | 0.1 | 0.0 | 0.0 | - | 0.0 | - |

2) 主要病害虫の発生程度別面積

主要病害の発生程度別面積(第1回)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | 葉いもち | 穂いもち | 紋枯病 | 萎縮病 | 縞葉枯病 | もみ枯細菌病 | ばか苗病 | ごま葉枯病 | 白葉枯病 | 稲こうじ病 | 内えい褐変病 |
|---------------------|------|------|------|-----|-----|------|--------|------|-------|------|-------|--------|
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | 1148 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 甚 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 多 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 中 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 少 | 1148 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | 370 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 甚 | 185 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 多 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 中 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 少 | 185 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | 1518 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 甚 | 185 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 多 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 中 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 少 | 1333 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 甚 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 多 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 中 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 少 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| 県計 6250 | 発生面積 | 1518 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 甚 | 185 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 多 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 中 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |
| | 少 | 1333 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | - |

発生程度基準: 葉いもち: 25株あたり病株数、少 \leq 10、10<中 \leq 18、18<多 \leq 23、甚<23
 穂いもち: 25株あたり病穂数、少 \leq 50、50<中 \leq 200、200<多 \leq 350、甚<350
 紋枯病: 25株あたり病株数、少 \leq 10、10<中 \leq 18、18<多 \leq 23、甚<23
 萎縮病: 25株あたり病株数、少 \leq 5、5<中 \leq 10、10<多 \leq 17、甚<17
 縞葉枯病: 25株あたり病株数、少 \leq 5、5<中 \leq 10、10<多 \leq 17、甚<17
 もみ枯細菌病: 25株あたり病株数、少 \leq 3、3<中 \leq 8、8<多 \leq 15、甚<15
 ばか苗病: 25株あたり病株数、少 \leq 1、1<中 \leq 3、3<多 \leq 7、甚<7
 ごま葉枯病: 25株あたり病株数、少 \leq 10、10<中 \leq 18、18<多 \leq 23、甚<23
 白葉枯病: 25株あたり病株数、少 \leq 12、12<中 \leq 20、20<多 \leq 25、甚<25
 稲こうじ病: 25株あたり病株数、少 \leq 1、1<中 \leq 3、3<多 \leq 7、甚<7
 内えい褐変病: 25株あたり病株数、少 \leq 5、5<中 \leq 10、10<多 \leq 20、甚<20

主要害虫の発生程度別面積(第1回)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | ツマグロヨコバイ | ヒメトビウンカ | セジロウンカ | トビイロウンカ | ニカメイガ | コブノメイガ | イチモンジセセリ | イネミズゾウムシ | イネゾウムシ | 斑点米カメムシ類 | フタオビコヤガ | アワヨトウ | ハモグリバエ | イネシンガレセンチュウ | イナゴ | スクミリンゴガイ | | |
|---------------------|------|----------|---------|--------|---------|-------|--------|----------|----------|--------|----------|---------|-------|--------|-------------|-----|----------|---|---|
| | | 発生面積 | 甚 | 多 | 中 | 少 | 発生面積 | 甚 | 多 | 中 | 少 | 発生面積 | 甚 | 多 | 中 | 少 | 発生面積 | 甚 | 多 |
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | 459 | 1378 | 2066 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 2985 | | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 少 | 459 | 1378 | 2066 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 2985 | | |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | 741 | 370 | 1296 | 555 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 185 | 741 | | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 少 | 741 | 370 | 1296 | 555 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 185 | 741 | | |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | 1200 | 1748 | 3362 | 555 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | — | 0 | — | 0 | — | 185 | 3725 | | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 少 | 1200 | 1748 | 3362 | 555 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | — | 0 | — | 0 | — | 185 | 3725 | | |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | 350 | 175 | 175 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | 876 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 少 | 350 | 175 | 175 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | 526 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| 県計 6250 | 発生面積 | 1550 | 1923 | 3537 | 555 | 0 | 0 | 0 | 350 | 1105 | — | 0 | — | 0 | — | 185 | 3725 | | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | — | 0 | — | 0 | — | 0 | 0 | | |
| | 少 | 1550 | 1923 | 3537 | 555 | 0 | 0 | 0 | 350 | 755 | — | 0 | — | 0 | — | 185 | 3725 | | |

発生程度基準: ツマグロヨコバイ: 25株あたり虫数、(第1回)少≤50、50<中≤125、125<多≤250、甚<250

ヒメトビウンカ: 25株あたり虫数、少≤50、50<中≤125、125<多≤250、甚<250

セジロウンカ: 25株あたり虫数、少≤250、250<中≤1250、1250<多≤2500、甚<2500

トビイロウンカ: 25株あたり虫数、少≤125、125<中≤525、525<多≤1250、甚<1250

ニカメイガ: 25株あたり被害株数、少≤7、7<中≤15、15<多≤22、甚<22

コブノメイガ: 25株あたり被害葉数、少≤20、20<中≤60、60<多≤180、甚<180

イチモンジセセリ: 25株あたりつと数、少≤10、10<中≤20、20<多≤40、甚<40

イネミズゾウムシ: 25株あたり虫数、少≤5、5<中≤20、20<多≤40、甚<40

イネゾウムシ: 25株あたり被害株数、少≤5、5<中≤12、12<多≤20、甚<20

フタオビコヤガ: 25株あたり虫数、少≤25、25<中≤100、100<多≤250、甚<250

ハモグリバエ: 25株あたり被害株数、少≤5、5<中≤12、12<多≤20、甚<20

イナゴ: 25株あたり被害株数、少≤5、5<中≤12、12<多≤20、甚<20

主要病害の発生程度別面積(第2回)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | 葉いもち | 穂いもち | 紋枯病 | 萎縮病 | 縞葉枯病 | もみ枯細菌病 | ばか苗病 | ごま葉枯病 | 白葉枯病 | 稲こうじ病 | 内えい褐変病 |
|-------------------------|------|------|------|------|-----|------|--------|------|-------|------|-------|--------|
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | 2066 | 0 | 1148 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 中 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 少 | 1837 | 0 | 1148 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | 370 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 185 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 中 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 少 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 185 |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | 2437 | 0 | 1148 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 185 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 中 | 415 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 少 | 2022 | 0 | 1148 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 185 |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 少 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| 県計 6250 | 発生面積 | 2437 | 0 | 1148 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 185 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 中 | 415 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 |
| | 少 | 2022 | 0 | 1148 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 185 |

発生程度基準: 第1回発生面積の基準に同じ

主要害虫の発生程度別面積(第2回)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | ツマ | ヒメ | セジ | トビ | ニカ | コブ | イチ | イネ | イネ | 斑点 | フタ | アワ | ハモ | イネ | イナ | スク |
|---------------------|------|------|------|------|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|------|
| | | グロ | トビ | ロウ | イロ | メイ | ノ | モン | ミズ | ネ | 米 | オビ | ヨト | グリ | シン | ゴ | ミ |
| | | コ | ウ | ン | ウ | ガ | メイ | ジ | ズ | ゾ | カ | ビ | ト | バ | ガ | ゴ | ン |
| | | バイ | ン | カ | ン | | ガ | セ | ウ | ウ | メ | コ | ウ | エ | レ | ゴ | ゴ |
| | | イ | カ | カ | カ | | | セ | ム | ム | ム | ヤ | | セ | セ | イ | イ |
| | | イ | カ | カ | カ | | | セ | シ | シ | シ | ガ | | ン | ン | イ | イ |
| | | コ | コ | コ | コ | | | セ | シ | シ | 類 | | | ン | ン | イ | イ |
| | | バ | バ | バ | バ | | | セ | シ | シ | | | | ン | ン | イ | イ |
| | | イ | カ | カ | カ | | | セ | シ | シ | | | | ン | ン | イ | イ |
| | | イ | カ | カ | カ | | | セ | シ | シ | | | | ン | ン | イ | イ |
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | 1607 | 2066 | 2755 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 689 | 2755 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 1607 | 2066 | 2755 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 689 | 2755 |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | 555 | 926 | 741 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 926 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 555 | 926 | 741 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 926 |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | 2163 | 2992 | 3496 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 689 | 3681 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 2163 | 2992 | 3496 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 689 | 3681 |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | 526 | 526 | 876 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 175 | 0 | 0 | — | 0 | 175 | 0 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 175 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 526 | 526 | 876 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 175 | 0 |
| 県計 6250 | 発生面積 | 2688 | 3518 | 4371 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | — | 175 | 0 | 0 | — | 0 | 864 | 3681 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | 175 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 2688 | 3518 | 4371 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 864 | 3681 |

発生程度基準: ツマグロヨコバイ:25株あたり虫数、(第2回)少≤125、125<中≤375、375<多≤750、甚<750

斑点米カメムシ類:25株あたり虫数、少≤1、1<中≤4、4<多≤10、甚<10

アワヨトウ:25株あたり虫数、少≤10、10<中≤30、30<多≤100、甚<100

シンガレセンチュウ:25株あたり被害株数、少≤5、5<中≤12、12<多≤20、甚<20

その他害虫は第1回発生面積の基準に同じ

主要病害の発生程度別面積(第3回)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | 葉いもち | 穂いもち | 紋枯病 | 萎縮病 | 縞葉枯病 | もみ枯細菌病 | ばか苗病 | ごま葉枯病 | 白葉枯病 | 稲こうじ病 | 内えい褐変病 |
|---------------------|------|------|------|------|-----|------|--------|------|-------|------|-------|--------|
| | | | | | | | | | | | | |
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | - | 1148 | 918 | 0 | - | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 2296 |
| | 甚 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 |
| | 中 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 918 |
| | 少 | - | 1148 | 918 | 0 | - | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 1148 |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | - | 185 | 926 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 926 |
| | 甚 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 |
| | 多 | - | 0 | 185 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 |
| | 中 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | - | 185 | 741 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 555 |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | - | 1333 | 1844 | 0 | - | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 3222 |
| | 甚 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 |
| | 多 | - | 0 | 185 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 415 |
| | 中 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 918 |
| | 少 | - | 1333 | 1659 | 0 | - | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 1703 |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | - | 0 | 175 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1051 |
| | 甚 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 701 |
| | 多 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 175 |
| | 中 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | - | 0 | 175 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 175 |
| 県計 6250 | 発生面積 | - | 1333 | 2019 | 0 | - | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 4273 |
| | 甚 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 886 |
| | 多 | - | 0 | 185 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 590 |
| | 中 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 918 |
| | 少 | - | 1333 | 1834 | 0 | - | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 1879 |

発生程度基準: 第1回発生面積の基準に同じ

主要害虫の発生程度別面積(第3回)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | ツマ | ヒメ | セジ | トビ | ニカ | コブ | イチ | イネ | イネ | 斑点 | フタ | アワ | ハモ | イネ | イナ | スク | |
|-------------------------|------|------|------|------|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| | | グロ | トビ | ロウ | イロ | メイ | ノメイ | モン | ミズ | ゾウ | 米カ | オビ | ヨト | グリ | シン | ナゴ | ミリン | ゴ |
| | 面積 | コ | ウ | ン | ウ | ガ | メイ | ジ | ウ | ム | カ | コ | ウ | バ | ガ | セ | ン | ガイ |
| | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ | コ |
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | 689 | 1837 | 918 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 459 | 230 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 230 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 少 | 689 | 1837 | 918 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 230 | 230 | 0 | - | 0 | - | - | |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | 370 | 926 | 926 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 少 | 370 | 926 | 926 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | 1059 | 2762 | 1844 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 459 | 230 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 230 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 少 | 1059 | 2762 | 1844 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 230 | 230 | 0 | - | 0 | - | - | |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | 175 | 526 | 1051 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 少 | 175 | 526 | 1051 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| 県計 6250 | 発生面積 | 1234 | 3288 | 2895 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 459 | 230 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 230 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | - | |
| | 少 | 1234 | 3288 | 2895 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - | 230 | 230 | 0 | - | 0 | - | - | |

発生程度基準: ツマグロヨコバイは第2回発生面積の基準に同じ
 その他害虫は第1回発生面積の基準に同じ

主要病害の発生程度別面積(年計)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | 葉 い もち | 穂 い もち | 紋 枯 病 | 萎 縮 病 | 縞 葉 枯 病 | も み 枯 細 菌 病 | ば か 苗 病 | ご ま 葉 枯 病 | 白 葉 枯 病 | 稲 こ う じ 病 | 内 え い 褐 変 病 |
|-------------------------|------|--------------|--------------|-------------|-------------|------------------|----------------------------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | 2066 | 1148 | 1148 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 2296 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 |
| | 中 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 918 |
| | 少 | 1837 | 1148 | 1148 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 1148 |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | 370 | 185 | 926 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 926 |
| | 甚 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 |
| | 多 | 0 | 0 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 185 | 185 | 741 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 555 |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | 2437 | 1333 | 2074 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 3222 |
| | 甚 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 |
| | 多 | 0 | 0 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 415 |
| | 中 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 918 |
| | 少 | 2022 | 1333 | 1889 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 1703 |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | 0 | 0 | 175 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1051 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 701 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 175 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 0 | 0 | 175 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 175 |
| 県計 6250 | 発生面積 | 2437 | 1333 | 2249 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 4273 |
| | 甚 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 886 |
| | 多 | 0 | 0 | 185 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 590 |
| | 中 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 918 |
| | 少 | 2022 | 1333 | 2064 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 1879 |

主要害虫の発生程度別面積(年計)

2021年

単位:ha

| 地域 (作型) 面積 | | ツマ | ヒメ | セジ | トビ | ニカ | コブ | イチ | イネ | イネ | 斑 | フタ | アワ | ハモ | イネ | イナ | スク |
|---------------------|------|------|------|------|-----|----|-----|----|-----|------|-----|-----|----|----|----|------|------|
| | | グロ | トビ | ロウ | イロ | メイ | ノ | モン | ミズ | ネ | 点 | オビ | ヨト | グリ | シン | ゴ | ミリン |
| | | コ | ウ | ン | ウ | ガ | メイ | ジ | ズ | ゾ | 米 | ビ | ト | バ | ガ | ゴ | ン |
| | | バイ | ン | カ | ン | | ガ | セ | ウム | ウム | カ | コ | ウ | エ | レ | ゴ | ゴ |
| | | | カ | | カ | | | セ | シ | シ | メ | ヤ | | | セ | | イ |
| | | | | | | | | リ | | | ム | ガ | | | ン | | イ |
| | | | | | | | | | | | シ | | | | チ | | イ |
| | | | | | | | | | | | 類 | | | | ユ | | |
| 紀北 (普通期) 3903 | 発生面積 | 1607 | 2066 | 2755 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 230 | 459 | 230 | 0 | 0 | 0 | 689 | 2985 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 1607 | 2066 | 2755 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 230 | 230 | 230 | 0 | 0 | 0 | 689 | 2985 |
| 紀中 (普通期) 1296 | 発生面積 | 741 | 926 | 1296 | 555 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 | 926 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 741 | 926 | 1296 | 555 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 | 926 |
| 普通期計 5199 | 発生面積 | 2348 | 2992 | 4051 | 555 | 0 | 230 | 0 | 0 | 230 | 459 | 230 | 0 | 0 | 0 | 874 | 3910 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 2348 | 2992 | 4051 | 555 | 0 | 230 | 0 | 0 | 230 | 230 | 230 | 0 | 0 | 0 | 874 | 3910 |
| 紀南 (早期) 1051 | 発生面積 | 526 | 526 | 1051 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | 876 | 175 | 0 | 0 | 0 | 0 | 175 | 0 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | 175 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 526 | 526 | 1051 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | 526 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 175 | 0 |
| 県計 6250 | 発生面積 | 2873 | 3518 | 5102 | 555 | 0 | 230 | 0 | 350 | 1105 | 634 | 230 | 0 | 0 | 0 | 1049 | 3910 |
| | 甚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 多 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 | 175 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 少 | 2873 | 3518 | 5102 | 555 | 0 | 230 | 0 | 350 | 755 | 230 | 230 | 0 | 0 | 0 | 1049 | 3910 |

4. 予察灯・フェロモントラップ等による水稻主要害虫の誘殺状況

1) 予察灯 (60W白熱灯)

単位：頭

| 月 半月 | ニカメイガ | | | | | | ツマグロヨコバイ | | | | | | ヒメトビウンカ | | | | | | | |
|------|-------|-----|------|-----|-------|-----|----------|------|------|-------|-------|-------|---------|------|------|------|-------|------|----|------|
| | 紀の川市 | | 上富田町 | | 那智勝浦町 | | 紀の川市 | | 上富田町 | | 那智勝浦町 | | 紀の川市 | | 上富田町 | | 那智勝浦町 | | | |
| | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | | |
| 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| 5 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.9 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 1.3 | 0 | 1.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.6 |
| 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 0.8 | 0 | 1.4 | 0 | 1.0 | 1 | 0.3 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 6 | 2.2 | 0 | 10.7 | 1 | 1.7 | 0 | 0.4 | 0 | 0.2 | 0 | 0.4 | 0 | 0.4 |
| 6 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 1.1 | 0 | 4.2 | 1 | 5.0 | 0 | 0.5 | 0 | 0.1 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 | 0 | 12.4 | 0 | 6.4 | 0 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.8 | 0 | 0.8 |
| 5 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 17.7 | 0 | 4.3 | 0 | 0.5 | 1 | 0.1 | 1 | 0.5 | 1 | 0.5 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 | 0 | 9.0 | 0 | 3.0 | 0 | 0.5 | 0 | 0.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 3 | 2.9 | 1 | 37.6 | 2 | 0.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 3.7 | 7 | 26.2 | 1 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.7 | 0 | 0.7 |
| 7 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.9 | 3 | 4.5 | 12 | 67.7 | 0 | 0.3 | 1 | 0.8 | 0 | 5.5 | 0 | 5.5 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.8 | 0 | 18.6 | 27 | 99.0 | 0 | 0.8 | 0 | 0.1 | 0 | 1.3 | 0 | 1.3 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 3.2 | 2 | 38.0 | 25 | 86.4 | 1 | 0.9 | 0 | 0.3 | 0 | 1.8 | 0 | 1.8 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 3.5 | 0 | 17.1 | 9 | 75.9 | 0 | 0.7 | 0 | 1.1 | 0 | 1.6 | 0 | 1.6 |
| 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.4 | 0 | 4.6 | 9 | 26.0 | 5 | 4.4 | 3 | 3.6 | 1 | 10.5 | 1 | 10.5 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 1.9 | 2 | 2.9 | 3 | 21.1 | 2 | 5.7 | 0 | 1.1 | 1 | 2.7 | 1 | 2.7 |
| 8 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 4.8 | 0 | 1.5 | 1 | 46.0 | 2 | 6.3 | 0 | 0.5 | 0 | 9.8 | 0 | 9.8 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 2 | 1.9 | 0 | 0.7 | 4 | 85.6 | 2 | 4.0 | 0 | 3.0 | 4 | 10.1 | 4 | 10.1 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.7 | 0 | 0.5 | 0 | 82.4 | 1 | 9.3 | 0 | 0.2 | 0 | 1.6 | 0 | 1.6 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 3.0 | 1 | 0.5 | 1 | 59.8 | 0 | 5.3 | 0 | 1.3 | 3 | 5.2 | 3 | 5.2 |
| 合 計 | 0 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 27 | 28.0 | 14 | 153.4 | 101 | 736.4 | 17 | 41.5 | 5 | 13.2 | 11 | 53.8 | 11 | 53.8 |

単位：頭

| 月 半旬 | セジロウンカ | | | | | | トビイロウンカ | | | | | | イネミズゾウムシ | | | | | | | |
|------|--------|-------|------|-------|-------|-------|---------|------|------|------|-------|------|----------|-----|------|------|-------|------|-----|------|
| | 紀の川市 | | 上富田町 | | 那智勝浦町 | | 紀の川市 | | 上富田町 | | 那智勝浦町 | | 紀の川市 | | 上富田町 | | 那智勝浦町 | | | |
| | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | | |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.3 | 0 | 0.3 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.8 | 0 | 0.9 | 0 | 0.9 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.6 | 0 | 0.7 | 0 | 0.7 |
| | 1 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 8.9 | 0 | 0.9 | 0 | 0.9 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 8.6 | 2 | 6.0 | 2 | 6.0 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 21 | 7.7 | 4 | 8.3 | 4 | 8.3 |
| | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 | 2 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 3.0 | 7 | 0.8 | 7 | 0.8 |
| | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4 | 6.3 | 5 | 3.1 | 5 | 3.1 |
| | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 1 | 3.5 | 0 | 1.4 | 0 | 1.4 |
| | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 6 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 2.5 | 1 | 0.6 | 1 | 0.6 |
| | 0 | 0.2 | 0 | 1.4 | 1 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 | 0 | 1.0 | 0 | 1.0 |
| | 0 | 0.9 | 0 | 1.6 | 0 | 2.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 | 1 | 1.5 | 1 | 1.5 |
| | 0 | 1.9 | 0 | 2.4 | 2 | 6.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.4 | 0 | 0.4 |
| | 0 | 0.3 | 0 | 0.9 | 1 | 5.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 2 | 0.3 | 0 | 0.0 | 1 | 0.4 | 4 | 0.1 | 4 | 0.1 |
| | 0 | 1.2 | 2 | 2.6 | 0 | 3.5 | 0 | 0.1 | 0 | 0.3 | 17 | 0.9 | 0 | 0.0 | 0 | 2.0 | 1 | 1.0 | 1 | 1.0 |
| | 26 | 4.2 | 9 | 40.8 | 11 | 12.9 | 2 | 0.0 | 1 | 15.7 | 0 | 4.7 | 0 | 0.0 | 0 | 1.0 | 9 | 2.7 | 9 | 2.7 |
| | 10 | 3.1 | 20 | 1.1 | 6 | 7.8 | 0 | 0.4 | 0 | 0.4 | 2 | 9.2 | 0 | 0.0 | 1 | 1.3 | 12 | 4.1 | 12 | 4.1 |
| | 4 | 5.0 | 5 | 10.1 | 7 | 8.6 | 0 | 0.5 | 0 | 0.9 | 0 | 3.5 | 0 | 0.0 | 0 | 1.3 | 8 | 4.9 | 8 | 4.9 |
| | 2 | 1.2 | 3 | 6.4 | 0 | 4.3 | 0 | 0.7 | 0 | 0.1 | 1 | 1.4 | 0 | 0.0 | 2 | 0.4 | 48 | 6.4 | 48 | 6.4 |
| | 0 | 5.8 | 0 | 2.2 | 1 | 9.4 | 0 | 0.1 | 0 | 0.3 | 0 | 0.7 | 0 | 0.1 | 0 | 0.7 | 9 | 4.2 | 9 | 4.2 |
| | 0 | 3.9 | 0 | 4.7 | 0 | 13.6 | 0 | 0.3 | 0 | 0.2 | 0 | 1.1 | 0 | 0.0 | 1 | 0.7 | 14 | 5.4 | 14 | 5.4 |
| | 9 | 5.4 | 3 | 7.6 | 2 | 13.4 | 0 | 0.6 | 0 | 0.9 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.4 | 0 | 3.5 | 0 | 3.5 |
| | 3 | 26.5 | 0 | 10.4 | 2 | 7.1 | 0 | 1.2 | 0 | 1.2 | 0 | 1.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 2.8 | 0 | 2.8 |
| | 14 | 14.8 | 1 | 3.8 | 2 | 19.2 | 0 | 1.4 | 0 | 0.6 | 0 | 2.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 1.1 | 0 | 1.1 |
| | 13 | 27.1 | 0 | 23.1 | 197 | 82.6 | 0 | 1.1 | 0 | 0.9 | 0 | 8.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.7 | 0 | 0.5 | 0 | 0.5 |
| | 2 | 23.8 | 2 | 7.6 | 1 | 69.0 | 0 | 2.4 | 0 | 4.0 | 0 | 9.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.6 | 0 | 0.6 |
| | 3 | 20.9 | 14 | 10.6 | 6 | 133.1 | 0 | 24.2 | 0 | 52.2 | 0 | 41.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| 合 計 | 87 | 146.2 | 62 | 137.5 | 247 | 399.3 | 2 | 33.1 | 4 | 78.0 | 22 | 84.8 | 0 | 0.2 | 35 | 52.2 | 125 | 63.5 | 125 | 63.5 |

斑点米カメムシ類

紀の川市

単位：頭

| 月 半旬 | クモヘ リカメ ムシ | ホソハ リカメ ムシ | シラホ シカメ ムシ | アオク サカメ ムシ | ミナミ アオカ メムシ | アカス ジカス ミカメ | イネカ メムシ | ホソミ ドリカ スミカ メ類 |
|------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------|-------------------------|
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 4 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 |
| 5 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 6 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 8 | 0 | 1 |
| 7 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 4 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 1 |
| 5 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 3 |
| 6 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 3 |
| 1 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0 | 6 |
| 2 | 8 | 0 | 1 | 0 | 1 | 19 | 0 | 3 |
| 8 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 0 | 1 |
| 4 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 1 | 4 |
| 5 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 | 0 | 8 |
| 6 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 6 |
| 合 計 | 29 | 4 | 3 | 0 | 1 | 144 | 1 | 44 |

上富田町

単位：頭

| 月 半旬 | クモヘ リカメ ムシ | ホソハ リカメ ムシ | シラホ シカメ ムシ | アオク サカメ ムシ | ミナミ アオカ メムシ | アカス ジカス ミカメ | イネカ メムシ | ホソミ ドリカ スミカ メ類 |
|------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------|-------------------------|
| 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 1 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 2 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 |
| | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| 合 計 | 2 | 0 | 0 | 0 | 27 | 40 | 8 | 2 |

那智勝浦町

単位：頭

| 月 半旬 | クモヘ リカメ ムシ | ホソハ リカメ ムシ | シラホ シカメ ムシ | アオク サカメ ムシ | ミナミ アオカ メムシ | アカス ジカス ミカメ | イネカ メムシ | ホソミ ドリカ スミカ メ類 |
|------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------|-------------------------|
| 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 33 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 37 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 79 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 | 0 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 1 | 0 |
| 7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 | 10 | 0 |
| | 2 | 4 | 1 | 0 | 0 | 40 | 28 | 0 |
| | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 27 | 13 | 0 |
| | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 52 | 13 | 1 |
| | 5 | 1 | 0 | 0 | 1 | 26 | 5 | 0 |
| | 6 | 4 | 0 | 0 | 0 | 44 | 8 | 0 |
| 8 | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 27 | 10 | 1 |
| | 2 | 1 | 0 | 0 | 4 | 23 | 4 | 0 |
| | 3 | 2 | 0 | 0 | 6 | 7 | 4 | 0 |
| | 4 | 1 | 1 | 0 | 2 | 22 | 3 | 7 |
| | 5 | 1 | 0 | 0 | 19 | 33 | 4 | 0 |
| | 6 | 2 | 1 | 0 | 23 | 41 | 5 | 0 |
| 合 計 | 23 | 5 | 0 | 0 | 57 | 613 | 108 | 9 |

2) フェロモントラップ

ニカメイガ

| 紀の川市 | | 単位：頭 | |
|-------|----|------|-----|
| 月 | 半旬 | 本年 | 平年 |
| | 1 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 0 | 0.8 |
| 4 | 3 | 0 | 0.7 |
| | 4 | 0 | 0.5 |
| | 5 | 0 | 1.0 |
| | 6 | 0 | 0.4 |
| <hr/> | | | |
| | 1 | 0 | 0.6 |
| | 2 | 0 | 0.3 |
| 5 | 3 | 0 | 0.3 |
| | 4 | 0 | 0.3 |
| | 5 | 0 | 0.3 |
| | 6 | 0 | 0.2 |
| <hr/> | | | |
| | 1 | 0 | 0.3 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 6 | 3 | 0 | 0.2 |
| | 4 | 0 | 0.6 |
| | 5 | 0 | 0.1 |
| | 6 | 0 | 0.3 |
| <hr/> | | | |
| | 1 | 0 | 0.3 |
| | 2 | 0 | 0.4 |
| 7 | 3 | 0 | 0.4 |
| | 4 | 0 | 0.1 |
| | 5 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.0 |
| <hr/> | | | |
| | 1 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 8 | 3 | 0 | 0.1 |
| | 4 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.1 |
| | 6 | 0 | 0.2 |
| <hr/> | | | |
| | 1 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 9 | 3 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.1 |
| <hr/> | | | |
| 合 計 | | 0 | 8.7 |

3) 蛍光灯誘殺箱 (15W)

コブノメイガ

| 紀の川市 | | 単位：頭 | |
|-------|----|------|------|
| 月 | 半旬 | 本年 | 平年 |
| | 1 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 6 | 3 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 0 | 0.0 |
| <hr/> | | | |
| | 1 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 7 | 3 | 1 | 0.4 |
| | 4 | 0 | 0.7 |
| | 5 | 0 | 1.3 |
| | 6 | 0 | 2.4 |
| <hr/> | | | |
| | 1 | 0 | 2.3 |
| | 2 | 0 | 1.8 |
| 8 | 3 | 0 | 1.7 |
| | 4 | — | — |
| | 5 | — | — |
| | 6 | — | — |
| <hr/> | | | |
| 合 計 | | 1 | 10.6 |

Ⅷ. 野菜・花き病害虫の発生状況調査

1. 巡回調査における発生状況

1) キャベツ

①キャベツにおける病害の発生状況（和歌山市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | 黒腐病 | | 菌核病 | | 灰色かび病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 4.19 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10.12 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 12.14 | 15 | 0 | 0 | 13 | 0.8 | - | - |
| 3.14 | 11 | 0 | 0 | 55 | 1.3 | 64 | 2.8 |

注) 1圃場100株調査

②キャベツにおける害虫の発生状況（和歌山市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アブラムシ類 | | | | コナガ | | モンシロチョウ | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|---------------|--------------|-------------|--|--|
| | | モモアカアブラムシ | | ニセダイコンアブラムシ | | 発生圃場率 (%) | 生息密度 (頭/株) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | | | | | | |
| 4.19 | 8 | 25 | 1.9 | 13 | 0.6 | 25 | 0.5 | 38 | 6.9 | | |
| 10.12 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 0.7 | | |
| 3.14 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | ヨトウガ | | ハスモンヨトウ | | ウワバ類 | | オオタバコガ | | シロイチモジヨトウ | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) |
| 4.19 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0.6 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10.12 | 7 | 0 | 0 | 29 | 3.8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3.14 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場20株調査

2) ハクサイ

①ハクサイにおける病害の発生状況（和歌山市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | モザイク病 | | 軟腐病 | | べと病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 10.12 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12.14 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | 白斑病 | | 黒斑病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 10.12 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12.14 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場100株調査

3) スイカ

①露地栽培スイカにおける病害の発生状況（紀の川市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | つる枯病 | | うどんこ病 | | 疫病 | | 炭疽病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病茎率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 5.14 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6.11 | 10 | 10 | 0.1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 0.3 |

注) 1圃場100葉または50茎調査

②露地栽培スイカにおける病害の発生状況（御坊市、印南町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | つる枯病 | | うどんこ病 | | 疫病 | | 炭疽病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病茎率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 5.19 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 67 | 5.5 |
| 6.16 | 15 | 7 | 0.1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | 7.4 |

注) 1圃場100葉または50茎調査

③露地栽培スイカにおける害虫の発生状況（印南町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アブラムシ類 ※1 | | カンザワハダニ | | ナミハダニ | | シロイチモジヨトウ | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 被害果率 (%) |
| 4.15 | 10 | 50 | 5.5 | 30 | 1.2 | 40 | 8.7 | 0 | 0 | - |
| 5.18 | 10 | 60 | 8.3 | 60 | 8.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6.21 | 9 | 89 | 5.6 | 89 | 41.9 | 0 | 0 | 33 | 0 | 0.9 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アザミウマ類 | | | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | ミナミキイロアザミウマ | | ミカンキイロアザミウマ | | ネギアザミウマ | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| 4.15 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5.18 | 10 | 20 | 0.2 | 0 | 0 | 50 | 0.5 |
| 6.21 | 9 | 0 | 0 | 20 | 0.2 | 0 | 0 |

注) 1圃場100葉、50果調査。被害果調査は果実片面（半球）のみ。

※1 発生種：ワタアブラムシ

4) キュウリ

①施設栽培キュウリにおける病害の発生状況（紀の川市、かつらぎ町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | モザイク病 | | 斑点細菌病 | | べと病 | | うどんこ病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 4.13~15 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 | 4.8 | 0 | 0 |
| 5.19 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 56 | 9.4 | 22 | 0.9 |
| 6.16 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 56 | 5.4 | 33 | 2.8 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | 灰色かび病 | | 疫病 | | 褐斑病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病果率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 4.13~15 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5.19 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0.1 |
| 6.16 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0.4 |

注) 1圃場50株、100葉、50果調査

②施設栽培キュウリにおける病害の発生状況（美浜町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | モザイク病 | | 黄化えそ病 | | 斑点細菌病 | | べと病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 4.19 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 22.3 |
| 5.20 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 78 | 29.3 |
| 3.17 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 | 6.2 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | うどんこ病 | | 灰色かび病 | | 疫病 | | 褐斑病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病果率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 4.19 | 10 | 90 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 3.6 |
| 5.20 | 9 | 78 | 12.2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 2.6 |
| 3.17 | 11 | 82 | 10.8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場50株、100葉、50果調査

③施設栽培キュウリにおける害虫の発生状況（美浜町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アブラムシ類 | | ハダニ類 | | コナジラミ類 | | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|------|
| | | | | | | オンシツコナジラミ | | タバココナジラミ | | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | |
| 4.19 | 10 | 10 | 0.1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60 | 18.6 |
| 5.20 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 75 | 14.8 |
| 3.17 | 11 | 18 | 0.3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 | 7.0 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アザミウマ類 | | | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | ミナミキイロアザミウマ | | ミカンキイロアザミウマ | | ネギアザミウマ | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| 4.19 | 10 | 30 | 2.3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5.20 | 8 | 38 | 3.6 | 38 | 6.8 | 0 | 0 |
| 3.17 | 11 | 0 | 0 | 9 | 1.0 | 0 | 0 |

注) 1圃場50株、2葉/株調査

5) ナス

①露地栽培ナスにおける病害の発生状況（紀の川市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | うどんこ病 | | 灰色かび病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病果率 (%) |
| 5.14 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6.16~17 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場50株、100葉、100果調査

②施設栽培ナスにおける病害の発生状況（紀の川市、かつらぎ町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | うどんこ病 | | 灰色かび病 | | すすかび病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病果率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病果率 (%) |
| 4.13 | 10 | 10 | 1.2 | 10 | 0.4 | 0 | 0 |
| 5.14~19 | 15 | 21 | 1.3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6.16 | 10 | 20 | 1 | 0 | 0 | 10 | 0.2 |

注) 1圃場50株、100葉、100果調査

③露地栽培ナスにおける害虫の発生状況（紀の川市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アブラムシ類 | | | | ハダニ類 | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | モモアカアブラムシ | | ワタアブラムシ | | カンザワハダニ | | ナミハダニ | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| 6.18 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 | 1.1 | 0 | 0 |
| 7.13 | 8 | 13 | 5.5 | 13 | 1.0 | 13 | 0.5 | 25 | 2.0 |
| 8.13 | 8 | 0 | 0 | 13 | 0.5 | 25 | 1.0 | 13 | 1.5 |
| 9.16 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 0.6 | 14 | 4.6 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アザミウマ類 | | | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | ミナミキイロアザミウマ | | ミカンキイロアザミウマ | | ネギアザミウマ | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| 6.18 | 7 | 43 | 17.7 | 14 | 0.6 | 0 | 0 |
| 7.13 | 8 | 38 | 3.5 | 13 | 1.5 | 0 | 0 |
| 8.13 | 8 | 13 | 0.5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9.16 | 7 | 71 | 6.9 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | ハスモンヨトウ | | オオタバコガ | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| | | 6.18 | 7 | 0 | 0 |
| 7.13 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8.13 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9.16 | 7 | 14.3 | 0.6 | 0 | 0 |

注) 1圃場中位葉25枚調査

④施設栽培ナスにおける害虫の発生状況（紀の川市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アブラムシ類 | | | | ハダニ類 | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | モモアカアブラムシ | | ワタアブラムシ | | カンザワハダニ | | ナミハダニ | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| 5.18 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 1.3 | 0 | 0 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アザミウマ類 | | | | | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | ミナミキイロアザミウマ | | ミカンキイロアザミウマ | | ハスモンヨトウ | | オオタバコガ | |
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| 5.18 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場中位葉25枚調査

6) トマト・ミニトマト

①露地栽培ミニトマトにおける病害の発生状況（日高町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | モザイク病 | | 黄化葉巻病 | | 疫病 | | うどんこ病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 6.17 | 9 | 0 | 0 | 11 | 0.2 | 0 | 0 | 11 | 2.7 |
| 7.18 | 8 | 0 | 0 | 13 | 0.8 | 0 | 0 | 75 | 26.5 |
| 8.18 | 5 | 0 | 0 | 100 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場50株、50複葉調査

②施設栽培ミニトマトにおける病害の発生状況（御坊市、印南町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | モザイク病 | | 黄化葉巻病 | | 灰色かび病 | | 葉かび病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 4.22 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60 | 25.6 |
| 5.24 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 0.4 | 40 | 47.8 |
| 9.22 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38 | 6.8 |
| 10.28 | 9 | 0 | 0 | 11 | 0.2 | 0 | 0 | 22 | 1.1 |
| 11.22 | 9 | 0 | 0 | 22 | 0.4 | 0 | 0 | 22 | 11.1 |
| 12.21 | 9 | 0 | 0 | 11 | 0.2 | 0 | 0 | 33 | 13.6 |
| 1.25 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 44 | 18.9 |
| 2.28 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 24.6 |
| 3.14 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 67 | 16.9 |

注) 1圃場50株、50複葉調査

③施設栽培ミニトマトにおける害虫の発生状況（印南町、日高町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | タバココナジラミ | | オンシツコナジラミ | | アブラムシ類 | | ハダニ類 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 被害葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) |
| 5.20 | 11 | 73 | 16.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | ハモグリバエ類 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 被害葉率 (%) |
| 5.20 | 11 | 0 | 0 |

注) 1圃場100葉調査

7) タマネギ

①タマネギにおける病害の発生状況（和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | さび病 | | べと病 | | | | 白色疫病 | | 灰色かび病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | (越年罹病株) | | (二次感染株) | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| | | | | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) | | | | |
| 4.21 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 | 1 | 3 | 0.01 | 0 | 0 |
| 2.16 | 30 | 0 | 0 | 3 | 0.01 | 0 | 0 | 3 | 0.01 | 0 | 0 |
| 3.16 | 30 | 0 | 0 | 27 | 0.5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場500株調査

8) エンドウ

①露地栽培サヤエンドウにおける病害の発生状況（御坊市、印南町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | つる枯細菌病 | | 褐紋病 | | 褐斑病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 9.22 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10.19 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 | 0.5 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | うどんこ病 | | 灰色かび病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 9.22 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10.19 | 12 | 17 | 0.4 | 0 | 0 |

注) 1圃場100葉または50株調査

②露地栽培実エンドウにおける病害の発生状況（印南町、みなべ町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | つる枯細菌病 | | 褐紋病 | | 褐斑病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) |
| 3.11 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0.4 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | うどんこ病 | | 灰色かび病 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病株率 (%) |
| 3.11 | 14 | 14 | 4.6 | 0 | 0 |

注) 1圃場100葉または50株調査

③露地栽培エンドウにおける害虫の発生状況（印南町）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | アブラムシ類 | | ハダニ類 | | | | アザミウマ類 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | カンザワハダニ | | ナミハダニ | | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) |
| | | | | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | | |
| 9.21 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 1.1 |
| 10.19 | 11 | 0 | 0 | 9 | 4.5 | 0 | 0 | 45 | 21.8 |

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | シロイチモジヨトウ | | ハスモンヨトウ | | オオタバコガ | | ウラナミシジミ | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) |
| | | | | | | | | | |
| 10.19 | 11 | 0 | 0 | 18 | 4.5 | 18 | 2.7 | 89 | 32.2 |

注) 1圃場10株調査

9) イチゴ

①施設栽培イチゴにおける病害の発生状況（紀の川市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | 灰色かび病 | | うどんこ病 | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発病果率 (%) | (葉) | | (果実) | |
| | | | | 発生圃場率 (%) | 発病葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発病果率 (%) |
| 3.14 | 10 | 10 | 0.1 | 0 | 0 | 0 | 0 |

注) 1圃場100果または100葉調査

②施設栽培イチゴにおける害虫の発生状況（紀の川市）

| 調査 月日 | 調査 圃場数 | カンザワハダニ | | ナミハダニ | | アザミウマ類 | | アブラムシ類 | |
|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|---------------|--------------|-------------|
| | | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生葉率 (%) | 発生圃場率 (%) | 発生密度 (頭/花) | 発生圃場率 (%) | 発生株率 (%) |
| 4.20 | 8 | 13 | 0.6 | 63 | 32.4 | 38 | 0.1 | 13 | 10.0 |
| 3.14 | 8 | 13 | 0.6 | 50 | 29.9 | 13 | 0.0 | 13 | 12.2 |

注) 1圃場20株、1株1複葉調査

2. フェロモントラップによる鱗翅目害虫の誘殺状況

フェロモントラップの設置場所

紀の川市：紀の川市貴志川町高尾
和歌山市：和歌山市岩橋

御坊市：御坊市名田町野島
印南町：日高郡印南町印南

1) コナガ

単位：頭

| 月 | 半旬 | 紀の川市 | | 和歌山市 | | 月 | 半旬 | 紀の川市 | | 和歌山市 | |
|---|----|------|-----|------|-------|-----|----|------|------|------|-------|
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年※ | | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年※ |
| 1 | 1 | 1 | 0.5 | 1 | 1.0 | 7 | 1 | 0 | 0.2 | 3 | 19.3 |
| | 2 | 0 | 0.3 | 0 | 1.4 | | 2 | 0 | 0.5 | 2 | 8.9 |
| | 3 | 1 | 0.7 | 0 | 0.3 | | 3 | 0 | 0.2 | 3 | 2.7 |
| | 4 | 1 | 0.5 | 1 | 2.7 | | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 2.1 |
| | 5 | 2 | 0.7 | 1 | 0.4 | | 5 | 0 | 0.1 | 0 | 0.6 |
| | 6 | 2 | 1.0 | 2 | 0.2 | | 6 | 0 | 0.0 | 2 | 0.6 |
| 2 | 1 | 2 | 0.4 | 1 | 0.3 | 8 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 0 | 0.3 | 1 | 0.6 | | 2 | 1 | 0.0 | 0 | 0.2 |
| | 3 | 0 | 0.2 | 2 | 0.2 | | 3 | 1 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| | 4 | 1 | 0.2 | 2 | 0.7 | | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 |
| | 5 | 0 | 0.3 | 5 | 1.7 | | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 1 | 0.5 | 1 | 1.2 | | 6 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| 3 | 1 | 0 | 1.1 | 8 | 1.8 | 9 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.7 |
| | 2 | 1 | 1.8 | 4 | 3.4 | | 2 | 0 | 0.0 | 2 | 1.7 |
| | 3 | 0 | 0.7 | 10 | 3.7 | | 3 | 0 | 0.0 | 3 | 4.0 |
| | 4 | 2 | 1.5 | 24 | 8.7 | | 4 | 0 | 0.0 | 2 | 8.4 |
| | 5 | 3 | 2.6 | 30 | 9.9 | | 5 | 0 | 0.0 | 3 | 8.9 |
| | 6 | 4 | 1.9 | 9 | 18.4 | | 6 | 0 | 0.0 | 9 | 8.0 |
| 4 | 1 | 5 | 2.5 | 26 | 17.9 | 10 | 1 | 0 | 0.1 | 7 | 11.5 |
| | 2 | 0 | 2.1 | 24 | 20.7 | | 2 | 0 | 0.0 | 9 | 13.9 |
| | 3 | 4 | 2.0 | 43 | 25.9 | | 3 | 0 | 0.0 | 11 | 15.9 |
| | 4 | 0 | 1.7 | 25 | 25.0 | | 4 | 0 | 0.0 | 4 | 15.4 |
| | 5 | 1 | 1.9 | 8 | 22.2 | | 5 | 0 | 0.3 | 8 | 14.0 |
| | 6 | 0 | 1.8 | 5 | 15.5 | | 6 | 0 | 0.2 | 4 | 12.8 |
| 5 | 1 | 1 | 2.0 | 37 | 26.4 | 11 | 1 | 0 | 0.2 | 5 | 11.6 |
| | 2 | 1 | 4.1 | 78 | 27.4 | | 2 | 1 | 0.4 | 4 | 11.7 |
| | 3 | 0 | 3.6 | 181 | 45.7 | | 3 | 1 | 0.4 | 3 | 10.5 |
| | 4 | 0 | 4.0 | 86 | 68.8 | | 4 | 0 | 0.9 | 1 | 12.2 |
| | 5 | 0 | 2.5 | 17 | 102.9 | | 5 | 1 | 0.9 | 3 | 9.1 |
| | 6 | 0 | 1.4 | 21 | 110.9 | | 6 | 1 | 2.1 | 3 | 6.8 |
| 6 | 1 | 0 | 1.3 | 9 | 32.4 | 12 | 1 | 1 | 0.3 | 0 | 4.7 |
| | 2 | 0 | 1.0 | 1 | 6.5 | | 2 | 2 | 0.6 | 3 | 5.0 |
| | 3 | 0 | 1.1 | 0 | 3.3 | | 3 | 1 | 0.6 | 6 | 2.5 |
| | 4 | 0 | 0.3 | 2 | 5.9 | | 4 | 0 | 0.9 | 2 | 2.5 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 3 | 13.9 | | 5 | 4 | 1.1 | 2 | 3.9 |
| | 6 | 0 | 0.4 | 2 | 18.2 | | 6 | 2 | 1.0 | 1 | 1.6 |
| | | | | | | 合 計 | | 49 | 59.9 | 775 | 878.3 |

※ 1～3月は過去9年間の平均

2) ハスモンヨトウ

単位：頭

| 月 | 半旬 | 紀の川市 | | 和歌山市 | | 御坊市 | | 印南町 | |
|-----|----|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年※ | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 1 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 1.4 | 0 | 2.6 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.9 | 0 | 1.4 |
| | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.5 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 0.2 | 0 | 0.7 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.6 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.3 | 0 | 0.6 |
| 2 | 1 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 | 1 | 0.7 |
| | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 | 0 | 0.3 |
| | 3 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 | 2 | 0.3 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 | 2 | 0.2 |
| | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.3 | 0 | 0.5 |
| | 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 1.0 | 0 | 0.0 |
| 3 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.8 | 0 | 0.4 |
| | 2 | 0 | 0.1 | 0 | 0.2 | 1 | 1.3 | 0 | 1.1 |
| | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.8 | 3 | 1.6 |
| | 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 2.5 | 2 | 2.0 |
| | 5 | 0 | 0.3 | 1 | 0.2 | 3 | 3.0 | 1 | 3.8 |
| | 6 | 1 | 0.3 | 0 | 0.7 | 4 | 4.1 | 4 | 2.0 |
| 4 | 1 | 1 | 0.6 | 0 | 0.6 | 9 | 6.7 | 0 | 2.3 |
| | 2 | 0 | 0.8 | 0 | 1.2 | 30 | 8.0 | 4 | 1.7 |
| | 3 | 0 | 0.4 | 0 | 0.6 | 26 | 4.8 | 0 | 7.6 |
| | 4 | 1 | 1.8 | 1 | 1.6 | 93 | 10.8 | 6 | 7.8 |
| | 5 | 8 | 2.0 | 3 | 4.6 | 3 | 10.5 | 6 | 7.7 |
| | 6 | 3 | 1.2 | 5 | 7.9 | 4 | 11.7 | 3 | 9.7 |
| 5 | 1 | 2 | 3.7 | 7 | 6.7 | 9 | 13.0 | 4 | 13.6 |
| | 2 | 2 | 5.5 | 7 | 6.5 | 30 | 17.2 | 8 | 13.6 |
| | 3 | 6 | 3.6 | 14 | 6.0 | 26 | 18.7 | 11 | 16.6 |
| | 4 | 39 | 4.3 | 29 | 6.4 | 93 | 16.5 | 17 | 23.2 |
| | 5 | 84 | 1.9 | 29 | 15.5 | 190 | 9.9 | 51 | 16.3 |
| | 6 | 136 | 3.8 | 84 | 12.8 | 191 | 11.5 | 35 | 15.8 |
| 6 | 1 | 21 | 2.5 | 39 | 8.9 | 64 | 11.7 | 22 | 9.5 |
| | 2 | 10 | 6.8 | 10 | 20.9 | 36 | 22.7 | 22 | 6.2 |
| | 3 | 6 | 7.7 | 4 | 26.2 | 10 | 26.0 | 12 | 18.0 |
| | 4 | 7 | 15.8 | 5 | 47.7 | 16 | 22.2 | 19 | 17.1 |
| | 5 | 10 | 19.1 | 8 | 61.8 | 9 | 23.5 | 11 | 23.6 |
| | 6 | 5 | 21.8 | 6 | 48.3 | 23 | 56.1 | 9 | 28.3 |
| 7 | 1 | 49 | 51.9 | 18 | 87.3 | 44 | 66.0 | 4 | 20.5 |
| | 2 | 18 | 24.4 | 25 | 38.3 | 23 | 50.8 | 9 | 13.2 |
| | 3 | 19 | 8.9 | 26 | 20.4 | 19 | 21.3 | 4 | 11.5 |
| | 4 | 31 | 8.7 | 24 | 14.4 | 46 | 8.8 | 3 | 7.9 |
| | 5 | 28 | 13.7 | 11 | 32.5 | 19 | 10.3 | 2 | 8.7 |
| | 6 | 12 | 22.0 | 9 | 55.0 | 52 | 27.6 | 14 | 24.3 |
| 8 | 1 | 14 | 16.8 | 5 | 24.9 | 28 | 42.2 | 11 | 17.9 |
| | 2 | 133 | 31.6 | 27 | 37.6 | 46 | 43.3 | 20 | 30.3 |
| | 3 | 209 | 26.4 | 89 | 25.7 | 50 | 17.8 | 67 | 7.7 |
| | 4 | 241 | 29.5 | 51 | 19.7 | 36 | 14.9 | 10 | 12.8 |
| | 5 | 105 | 39.5 | 13 | 91.1 | 1 | 29.2 | 5 | 18.0 |
| | 6 | 92 | 92.6 | 7 | 234.9 | 0 | 116.2 | 1 | 57.3 |
| 9 | 1 | 152 | 107.5 | 815 | 380.8 | 90 | 129.4 | 36 | 106.9 |
| | 2 | 170 | 141.5 | 548 | 357.5 | 315 | 260.0 | 77 | 115.8 |
| | 3 | 58 | 104.5 | 178 | 268.3 | 380 | 151.5 | 53 | 93.7 |
| | 4 | 241 | 87.4 | 92 | 270.5 | 138 | 195.2 | 54 | 81.0 |
| | 5 | 108 | 90.6 | 64 | 374.4 | 81 | 151.4 | 18 | 81.4 |
| | 6 | 79 | 82.1 | 29 | 509.9 | 140 | 351.6 | 13 | 101.8 |
| 10 | 1 | 25 | 149.7 | 27 | 471.4 | 103 | 466.5 | 14 | 167.6 |
| | 2 | 34 | 262.2 | 55 | 508.2 | 111 | 518.8 | 21 | 244.4 |
| | 3 | 234 | 244.0 | 139 | 435.0 | 109 | 640.4 | 33 | 235.7 |
| | 4 | 432 | 313.4 | 188 | 239.4 | 346 | 563.1 | 129 | 285.9 |
| | 5 | 452 | 279.4 | 179 | 280.8 | 145 | 317.6 | 73 | 208.4 |
| | 6 | 557 | 331.3 | 344 | 349.0 | 655 | 409.6 | 165 | 139.4 |
| 11 | 1 | 215 | 231.2 | 514 | 213.6 | 453 | 343.5 | 276 | 103.5 |
| | 2 | 271 | 309.6 | 135 | 225.1 | 339 | 367.2 | 124 | 160.3 |
| | 3 | 294 | 268.9 | 59 | 122.2 | 337 | 214.6 | 97 | 180.2 |
| | 4 | 200 | 281.4 | 47 | 129.6 | 505 | 149.2 | 15 | 124.4 |
| | 5 | 107 | 166.9 | 27 | 87.0 | 248 | 122.4 | 141 | 104.1 |
| | 6 | 66 | 67.5 | 9 | 32.9 | 35 | 49.6 | 35 | 61.4 |
| 12 | 1 | 1 | 53.3 | 12 | 38.9 | 11 | 80.6 | 21 | 49.0 |
| | 2 | 12 | 17.7 | 1 | 10.9 | 7 | 33.2 | 10 | 19.0 |
| | 3 | 7 | 10.7 | 1 | 2.0 | 11 | 26.7 | 17 | 17.4 |
| | 4 | 1 | 0.4 | 0 | 0.9 | 6 | 6.2 | 3 | 5.1 |
| | 5 | 0 | 2.2 | 1 | 2.3 | 2 | 6.6 | 0 | 8.5 |
| | 6 | 0 | 0.2 | 0 | 0.4 | 0 | 3.6 | 0 | 1.7 |
| 合 計 | | 5009 | 4073.8 | 4021 | 6278.3 | 5807 | 6326.6 | 1830 | 3184.2 |

※ 1～3月は過去9年間の平均

3) シロイチモジヨトウ

単位：頭

| 月 半旬 | 紀の川市 | | 御坊市 | | 印南町 | |
|------|------|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 1 | — | — | 0 | 0.9 | 0 | 0.7 |
| 2 | — | — | 0 | 0.6 | 0 | 1.3 |
| 3 | — | — | 0 | 0.0 | 0 | 0.7 |
| 4 | — | — | 0 | 0.2 | 0 | 0.5 |
| 5 | — | — | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| 6 | — | — | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 |
| 1 | — | — | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| 2 | — | — | 0 | 0.2 | 0 | 0.1 |
| 3 | — | — | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| 4 | — | — | 0 | 0.4 | 0 | 0.1 |
| 5 | — | — | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 |
| 6 | — | — | 0 | 0.4 | 0 | 0.0 |
| 1 | — | — | 1 | 0.4 | 0 | 0.2 |
| 2 | — | — | 0 | 0.2 | 0 | 0.3 |
| 3 | — | — | 2 | 0.5 | 0 | 0.1 |
| 4 | — | — | 1 | 1.2 | 0 | 0.3 |
| 5 | — | — | 1 | 0.7 | 0 | 0.6 |
| 6 | — | — | 1 | 1.0 | 0 | 0.5 |
| 1 | 1 | 0.0 | 2 | 2.6 | 0 | 0.4 |
| 2 | 0 | 0.1 | 0 | 2.3 | 0 | 0.6 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 3.3 | 0 | 0.8 |
| 4 | 0 | 0.3 | 0 | 7.3 | 0 | 0.9 |
| 5 | 1 | 0.4 | 2 | 7.1 | 0 | 0.7 |
| 6 | 0 | 1.0 | 0 | 4.4 | 0 | 1.6 |
| 1 | 0 | 0.7 | 1 | 8.7 | 0 | 1.4 |
| 2 | 0 | 0.6 | 1 | 8.9 | 0 | 1.1 |
| 3 | 0 | 0.6 | 4 | 10.6 | 0 | 1.4 |
| 4 | 1 | 1.5 | 7 | 10.3 | 0 | 1.8 |
| 5 | 9 | 1.6 | 11 | 7.0 | 0 | 2.2 |
| 6 | 10 | 2.9 | 9 | 9.1 | 0 | 3.2 |
| 1 | 3 | 3.9 | 10 | 10.4 | 0 | 4.0 |
| 2 | 4 | 4.7 | 13 | 19.2 | 0 | 5.0 |
| 3 | 5 | 4.0 | 2 | 17.4 | 0 | 3.7 |
| 4 | 2 | 2.8 | 21 | 17.1 | 0 | 3.4 |
| 5 | 1 | 2.0 | 8 | 19.4 | 0 | 7.3 |
| 6 | 1 | 5.2 | 15 | 16.5 | 0 | 8.0 |
| 1 | 13 | 6.0 | 18 | 16.9 | 0 | 7.3 |
| 2 | 1 | 4.8 | 15 | 20.1 | 0 | 5.9 |
| 3 | 3 | 3.5 | 27 | 17.2 | 0 | 7.5 |
| 4 | 6 | 5.1 | 48 | 17.5 | 0 | 6.3 |
| 5 | 1 | 6.1 | 14 | 9.3 | 0 | 6.2 |
| 6 | 5 | 8.4 | 10 | 9.5 | 0 | 3.8 |
| 1 | 3 | 3.7 | 5 | 29.7 | 0 | 4.8 |
| 2 | 6 | 4.6 | 7 | 41.5 | 0 | 7.7 |
| 3 | 14 | 6.6 | 5 | 10.9 | 0 | 3.5 |
| 4 | 7 | 8.0 | 10 | 9.5 | 0 | 4.0 |
| 5 | 7 | 4.4 | 11 | 11.1 | 0 | 1.6 |
| 6 | 4 | 11.8 | 1 | 9.3 | 0 | 1.4 |
| 1 | 3 | 7.6 | 7 | 12.7 | 0 | 0.9 |
| 2 | 1 | 9.8 | 3 | 15.5 | 0 | 1.1 |
| 3 | 3 | 12.4 | 7 | 13.9 | 0 | 3.0 |
| 4 | 5 | 14.3 | 18 | 17.8 | 0 | 4.1 |
| 5 | 2 | 9.2 | 6 | 14.1 | 0 | 1.4 |
| 6 | 2 | 7.0 | 2 | 10.4 | 0 | 0.8 |
| 1 | 3 | 4.6 | 8 | 15.6 | 0 | 2.5 |
| 2 | 3 | 4.3 | 2 | 16.0 | 0 | 3.4 |
| 3 | 1 | 3.3 | 1 | 15.9 | 0 | 2.0 |
| 4 | 2 | 2.8 | 3 | 11.6 | 0 | 0.8 |
| 5 | 1 | 1.2 | 0 | 10.3 | 0 | 1.6 |
| 6 | 2 | 0.7 | 3 | 8.9 | 0 | 3.9 |
| 1 | 0 | 1.0 | 4 | 9.4 | 0 | 1.4 |
| 2 | 0 | 1.3 | 1 | 13.3 | 0 | 1.4 |
| 3 | 0 | 2.0 | 1 | 11.8 | 0 | 2.1 |
| 4 | 1 | 1.8 | 1 | 7.0 | 0 | 1.4 |
| 5 | 1 | 0.7 | 3 | 2.5 | 0 | 0.9 |
| 6 | 0 | 1.3 | 0 | 1.4 | 0 | 1.0 |
| 1 | 0 | 0.4 | 0 | 2.4 | 0 | 0.5 |
| 2 | 0 | 0.3 | 0 | 1.1 | 0 | 0.1 |
| 3 | 0 | 0.2 | 1 | 0.9 | 0 | 0.1 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.3 | 0 | 0.0 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 1.0 | 0 | 0.6 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.4 | 0 | 0.6 |
| 合 計 | 138 | 191.5 | 354 | 605.4 | 0 | 148.9 |

4) オオタバコガ

単位：頭

| 月 | 半旬 | 紀の川市 | | 御坊市 | | 印南町 | |
|----|----|------|-------|-----|-------|-----|-------|
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 1 | 1 | — | — | 2 | 0.0 | 0 | 0.3 |
| | 2 | — | — | 1 | 0.8 | 0 | 0.6 |
| | 3 | — | — | 2 | 0.5 | 0 | 0.3 |
| | 4 | — | — | 3 | 0.4 | 0 | 0.2 |
| | 5 | — | — | 2 | 0.0 | 0 | 1.2 |
| | 6 | — | — | 1 | 0.4 | 0 | 0.1 |
| 2 | 1 | — | — | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 2 | — | — | 1 | 0.3 | 0 | 0.1 |
| | 3 | — | — | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 4 | — | — | 0 | 0.2 | 0 | 0.0 |
| | 5 | — | — | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 6 | — | — | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3 | 1 | — | — | 0 | 0.2 | 0 | 0.4 |
| | 2 | — | — | 1 | 0.1 | 0 | 0.3 |
| | 3 | — | — | 0 | 0.2 | 0 | 0.1 |
| | 4 | — | — | 1 | 0.1 | 0 | 0.1 |
| | 5 | — | — | 0 | 0.1 | 0 | 0.3 |
| | 6 | — | — | 0 | 0.6 | 0 | 0.3 |
| 4 | 1 | 1 | 0.2 | 0 | 0.5 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 0 | 0.5 | 0 | 0.4 | 0 | 0.2 |
| | 3 | 1 | 0.0 | 3 | 0.2 | 0 | 0.6 |
| | 4 | 0 | 0.2 | 0 | 0.6 | 0 | 0.3 |
| | 5 | 0 | 0.7 | 1 | 0.6 | 0 | 0.3 |
| | 6 | 1 | 0.9 | 0 | 1.3 | 1 | 0.3 |
| 5 | 1 | 3 | 1.4 | 2 | 0.7 | 0 | 0.3 |
| | 2 | 1 | 2.1 | 3 | 1.4 | 1 | 0.8 |
| | 3 | 2 | 3.2 | 0 | 1.8 | 2 | 1.7 |
| | 4 | 3 | 3.9 | 0 | 2.3 | 1 | 2.4 |
| | 5 | 4 | 3.0 | 0 | 0.4 | 4 | 2.0 |
| | 6 | 0 | 3.0 | 0 | 1.4 | 2 | 1.2 |
| 6 | 1 | 7 | 2.8 | 0 | 1.2 | 0 | 0.7 |
| | 2 | 1 | 1.8 | 0 | 0.5 | 0 | 1.2 |
| | 3 | 2 | 2.3 | 0 | 0.6 | 1 | 1.4 |
| | 4 | 0 | 1.8 | 0 | 0.2 | 6 | 1.9 |
| | 5 | 3 | 3.3 | 0 | 2.1 | 4 | 1.2 |
| | 6 | 9 | 5.2 | 0 | 1.2 | 1 | 1.1 |
| 7 | 1 | 3 | 6.1 | 0 | 2.6 | 1 | 2.3 |
| | 2 | 1 | 3.7 | 0 | 1.7 | 6 | 1.4 |
| | 3 | 2 | 2.3 | 0 | 1.8 | 1 | 0.3 |
| | 4 | 1 | 1.2 | 0 | 0.8 | 1 | 0.5 |
| | 5 | 1 | 1.1 | 0 | 1.1 | 1 | 0.4 |
| | 6 | 6 | 2.8 | 0 | 0.1 | 3 | 0.0 |
| 8 | 1 | 6 | 3.1 | 0 | 0.3 | 0 | 0.2 |
| | 2 | 8 | 2.2 | 0 | 0.7 | 0 | 0.2 |
| | 3 | 4 | 2.4 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 8 | 1.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| | 5 | 2 | 2.9 | 0 | 0.3 | 0 | 0.0 |
| | 6 | 5 | 4.7 | 0 | 0.6 | 0 | 0.1 |
| 9 | 1 | 7 | 7.4 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 5 | 5.8 | 0 | 0.6 | 0 | 0.4 |
| | 3 | 4 | 2.9 | 0 | 0.4 | 0 | 0.6 |
| | 4 | 1 | 4.1 | 0 | 1.8 | 0 | 1.2 |
| | 5 | 1 | 3.3 | 0 | 1.8 | 0 | 3.4 |
| | 6 | 0 | 2.8 | 0 | 2.9 | 0 | 3.9 |
| 10 | 1 | 0 | 5.2 | 0 | 4.6 | 0 | 2.9 |
| | 2 | 2 | 8.5 | 0 | 11.7 | 0 | 6.3 |
| | 3 | 4 | 8.5 | 0 | 9.9 | 1 | 3.3 |
| | 4 | 5 | 10.0 | 1 | 5.9 | 5 | 9.9 |
| | 5 | 9 | 6.4 | 0 | 3.9 | 8 | 13.4 |
| | 6 | 1 | 6.6 | 3 | 2.9 | 8 | 11.5 |
| 11 | 1 | 1 | 5.2 | 3 | 3.4 | 8 | 6.6 |
| | 2 | 0 | 4.0 | 5 | 2.7 | 4 | 5.2 |
| | 3 | 0 | 5.3 | 6 | 3.8 | 4 | 5.1 |
| | 4 | 1 | 5.6 | 1 | 3.1 | 1 | 4.1 |
| | 5 | 1 | 1.4 | 8 | 2.4 | 12 | 2.4 |
| | 6 | 2 | 1.9 | 7 | 1.3 | 11 | 3.3 |
| 12 | 1 | 0 | 2.5 | 2 | 3.5 | 6 | 2.8 |
| | 2 | 0 | 0.2 | 3 | 2.4 | 2 | 3.1 |
| | 3 | 1 | 0.1 | 2 | 0.8 | 1 | 1.1 |
| | 4 | 1 | 0.2 | 0 | 0.4 | 0 | 0.4 |
| | 5 | 0 | 0.4 | 1 | 0.6 | — | 0.4 |
| | 6 | 0 | 0.8 | 1 | 0.3 | — | 0.3 |
| 合 | 計 | 131 | 168.9 | 66 | 103.1 | 107 | 119.3 |

5) ヨトウガ

| 月 | 半旬 | 紀の川市 | |
|---|----|------|------|
| | | 本年 | 平均 |
| | 1 | 21 | 7.3 |
| | 2 | 4 | 5.9 |
| 3 | 3 | 2 | 4.4 |
| | 4 | 3 | 2.1 |
| | 5 | 3 | 2.0 |
| | 6 | 5 | 2.3 |
| | 1 | 5 | 2.3 |
| | 2 | 1 | 8.2 |
| 4 | 3 | 9 | 5.1 |
| | 4 | 10 | 11.4 |
| | 5 | 1 | 13.9 |
| | 6 | 6 | 10.9 |
| | 1 | 3 | 4.3 |
| | 2 | 1 | 3.7 |
| 5 | 3 | 0 | 2.3 |
| | 4 | 1 | 3.6 |
| | 5 | 0 | 1.4 |
| | 6 | 0 | 3.5 |
| | 1 | 0 | 1.1 |
| | 2 | 0 | 0.2 |
| 6 | 3 | 1 | 0.3 |
| | 4 | 0 | 0.5 |
| | 5 | 1 | 0.1 |
| | 6 | 0 | 0.3 |
| | 1 | 0 | 0.1 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 7 | 3 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.1 |
| | 6 | 0 | 0.0 |

単位：頭

| 月 | 半旬 | 紀の川市 | |
|----|----|------|-------|
| | | 本年 | 平均 |
| | 1 | 0 | 0.0 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 8 | 3 | 0 | 0.0 |
| | 4 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.2 |
| | 6 | 0 | 0.0 |
| | 1 | 2 | 0.1 |
| | 2 | 10 | 0.9 |
| 9 | 3 | 2 | 2.4 |
| | 4 | 0 | 4.2 |
| | 5 | 0 | 6.2 |
| | 6 | 0 | 4.5 |
| | 1 | 3 | 3.5 |
| | 2 | 0 | 1.7 |
| 10 | 3 | 0 | 1.4 |
| | 4 | 0 | 0.6 |
| | 5 | 0 | 0.5 |
| | 6 | 0 | 0.7 |
| | 1 | 0 | 0.3 |
| | 2 | 0 | 0.0 |
| 11 | 3 | 0 | 0.1 |
| | 4 | 0 | 0.0 |
| | 5 | 0 | 0.7 |
| | 6 | 0 | 0.2 |
| | 計 | 94 | 125.5 |

3. 黄色水盤によるアブラムシ類の飛来状況

| | | 紀の川市 | | | | 紀の川市 | |
|-----|----|------|--------|-----|----|------|--------|
| 月 | 半旬 | 本年 | 平年 | 月 | 半旬 | 本年 | 平年 |
| | 1 | 1 | 1.8 | | 1 | 7 | 4.9 |
| | 1 | 0 | 1.8 | | 2 | 24 | 1.7 |
| 1 | 0 | 1 | 0.7 | 7 | 3 | 8 | 2.0 |
| | 1 | 2 | 0.9 | | 4 | 26 | 1.4 |
| | 1 | 3 | 0.6 | | 5 | 17 | 3.3 |
| | 2 | 0 | 1.3 | | 6 | 38 | 5.0 |
| | 2 | 0 | 0.9 | | 1 | 9 | 6.3 |
| | 2 | 4 | 0.9 | | 2 | 7 | 6.8 |
| 2 | 0 | 9 | 1.4 | 8 | 3 | 5 | 16.4 |
| | 0 | 0 | 1.1 | | 4 | 6 | 37.2 |
| | 1 | 1 | 1.8 | | 5 | 2 | 15.5 |
| | 0 | 3 | 0.9 | | 6 | 11 | 16.8 |
| | 1 | 4 | 2.3 | | 1 | 26 | 21.4 |
| | 0 | 15 | 1.4 | | 2 | 42 | 24.2 |
| 3 | 1 | 10 | 2.3 | 9 | 3 | 205 | 17.5 |
| | 0 | 26 | 5.2 | | 4 | 23 | 28.9 |
| | 2 | 20 | 6.0 | | 5 | 17 | 39.2 |
| | 3 | 29 | 9.2 | | 6 | 17 | 28.7 |
| | 4 | 41 | 11.3 | | 1 | 12 | 18.5 |
| | 5 | 23 | 18.4 | | 2 | 9 | 6.8 |
| 4 | 0 | 21 | 18.8 | 10 | 3 | 5 | 7.2 |
| | 4 | 23 | 36.2 | | 4 | 3 | 9.3 |
| | 0 | 21 | 51.3 | | 5 | 3 | 10.6 |
| | 1 | 18 | 28.4 | | 6 | 11 | 14.5 |
| | 0 | 21 | 43.3 | | 1 | 37 | 13.3 |
| | 1 | 27 | 46.6 | | 2 | 48 | 13.6 |
| 5 | 1 | 19 | 49.7 | 11 | 3 | 40 | 28.5 |
| | 0 | 14 | 42.9 | | 4 | 63 | 25.2 |
| | 0 | 13 | 49.2 | | 5 | 46 | 12.6 |
| | 0 | 2 | 47.4 | | 6 | 83 | 16.4 |
| | 0 | 8 | 44.2 | | 1 | 18 | 11.8 |
| | 0 | 15 | 31.9 | | 2 | 62 | 4.5 |
| 6 | 0 | 12 | 15.9 | 12 | 3 | 49 | 4.6 |
| | 0 | 8 | 15.9 | | 4 | 19 | 4.0 |
| | 0 | 4 | 9.1 | | 5 | 43 | 3.6 |
| | 0 | 11 | 8.6 | | 6 | 16 | 2.3 |
| 合 計 | | 1486 | 1094.1 | 合 計 | | 1486 | 1094.1 |

Ⅸ. 果樹病害虫の発生状況調査

1. 予察ほ場などにおける調査

1) カンキツ

(1) 生育状況 (有田川町奥)

a) 生育調査 (月/日)

| 品種 | 発芽期 | 展葉期 | 開花期 | | |
|------------|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------|
| | | | 始期 | 盛期 | 終期 |
| 早生ウンシュウミカン | 3/24 (4/3) | 4/19 (4/23) | 4/27 (5/3) | 5/4 (5/8) | 5/10 (5/14) |
| 普通ウンシュウミカン | 3/30 (4/5) | 4/25 (4/24) | 4/30 (5/5) | 5/7 (5/10) | 5/11 (5/16) |
| 不知火 | 3/21 (4/3) | 4/7 (4/20) | 5/4 (5/7) | 5/13 (5/14) | 5/17 (5/19) |

()内は平年

b) 果実肥大調査 (ヨコ径, cm)

| 品種 | 調査月日 | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--|
| | 7/15 | 8/1 | 8/15 | 9/1 | 9/15 | 10/1 | 10/15 | 11/1 | 11/15 | 12/1 | 12/15 | |
| 早生ウンシュウミカン | 4.0 (3.6) | 4.6 (4.2) | 5.3 (4.7) | 5.7 (5.3) | 6.2 (5.7) | 6.5 (6.1) | 6.5 (6.5) | 6.7 (6.8) | 6.7 (7.0) | 6.8 (7.0) | 6.7 (7.1) | |
| 普通ウンシュウミカン | 3.8 (3.3) | 4.5 (4.0) | 5.1 (4.5) | 5.6 (5.1) | 6.1 (5.5) | 6.6 (6.0) | 6.7 (6.4) | 7.0 (6.8) | 7.0 (7.1) | 7.2 (7.2) | 7.3 (7.2) | |
| 不知火 | 4.2 (4.0) | 5.0 (4.9) | 5.9 (5.6) | 6.5 (6.4) | 7.1 (7.0) | 7.7 (7.6) | 8.0 (8.1) | 8.2 (8.6) | 8.5 (8.8) | 8.5 (8.9) | 8.4 (8.9) | |

()内は平年

概要 (平年との比較)

早生ウンシュウミカンの発芽期は早く、展葉期および開花期はやや早かった。

普通ウンシュウミカンの発芽期は早く、展葉期は平年並で、開花期はやや早かった。

不知火の発芽期、展葉期は早く、開花始期はやや早く、盛期および終期は平年並であった。

生育期間中の果実肥大は、早生ウンシュウミカンがやや小さく、普通ウンシュウミカンおよび不知火は平年並で推移した。

(2) 黒点病

a) 発病状況調査 (有田川町奥)

| 区 | 調査項目 | 調査時期 | | | | |
|-----------|----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 6/中 | 7/中 | 8/中 | 9/中 | 10/中 |
| 無防除 ほ場 | 発病果率 (%) | 55.0 (24.6) | 98.0 (98.6) | 100 (100) | 100 (100) | 100 (100) |
| | 発病度 | 8.6 (4.7) | 32.0 (22.9) | 51.9 (37.6) | 54.9 (46.2) | 85.1 (57.3) |
| 防除 ほ場 | 発病果率 (%) | 1.0 (0.3) | 1.5 (16.7) | 7.5 (24.4) | 11.0 (37.7) | 32.3 (48.1) |
| | 発病度 | 0.1 (0.1) | 0.2 (2.5) | 1.1 (3.6) | 2.1 (5.7) | 4.6 (7.7) |

(注) ()内は平年

無防除ほ場は26年生興津早生、防除ほ場は49年生宮川早生の各区4樹

1樹につき50果を調査

自然感染

防除ほ場使用薬剤(散布日):

デランフロアブル 1,000倍 (4/2)

ストロビードライフロアブル 2,000倍 (5/10)

| | |
|------------|----------------------|
| エムダイファー水和剤 | 600倍（6/1） |
| ジマンダイセン水和剤 | 600倍（6/24、7/27、8/24） |
| ナティーボフロアブル | 1,500倍（9/21） |

概要：果実の初発は5月31日（平年6月3日）で平年よりやや早かった。無防除ほ場の発病は平年よりやや多く推移した。防除ほ場は平年よりやや少なく推移した。

(3) かいよう病

a) 発病状況調査（有田川町奥）

| 越冬病斑 | | 春葉発病 | | | 果実発病 | | |
|---------|---------|---------|--------|-------|---------|--------|-------|
| 調査月日 | 発病葉率 | 調査月日 | 発病葉率 | 発病度 | 調査月日 | 発病果率 | 発病度 |
| 3月18日 | 13.0% | 6月15日 | 19.7% | 4.9 | 7月26日 | 11.3% | 3.7 |
| (3月中下旬) | (10.9%) | (6月中下旬) | (6.3%) | (2.0) | (7月中下旬) | (6.4%) | (2.1) |

(注) ()内は平年

25年生ネーブル3樹

越冬病斑は旧葉、春葉発病は春葉について1樹につき100葉を調査

果実発病は1樹につき50果を調査

自然感染

概要：越冬病斑の発病葉率は平年並であった。春葉での初発は5月18日（平年5月24日）で平年よりやや早かった。6月中旬の春葉と7月中旬の果実における発病は平年よりやや多かった。

(6) チャノキイロアザミウマ

a) 発生状況調査 (黄色平板粘着トラップによる誘殺消長)

予察ほ場 (有田川町奥)

頭/トラップ

| 調査時期(月・半旬) | No. 1 | No. 2 | 計 |
|------------|-------|-------|-----|
| 4・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |
| 5・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 1 | 1 | 2 |
| 3 | 0 | 2 | 2 |
| 4 | 2 | 5 | 7 |
| 5 | 1 | 4 | 5 |
| 6 | 6 | 6 | 12 |
| 6・1 | 2 | 6 | 8 |
| 2 | 0 | 3 | 3 |
| 3 | 2 | 34 | 36 |
| 4 | 9 | 92 | 101 |
| 5 | 0 | 11 | 11 |
| 6 | 5 | 66 | 71 |
| 7・1 | 2 | 40 | 42 |
| 2 | 7 | 25 | 32 |
| 3 | 1 | 5 | 6 |
| 4 | 0 | 6 | 6 |
| 5 | 1 | 0 | 1 |
| 6 | 1 | 10 | 11 |
| 8・1 | 1 | 16 | 17 |
| 2 | 2 | 20 | 22 |
| 3 | 3 | 6 | 9 |
| 4 | 2 | 7 | 9 |
| 5 | 1 | 4 | 5 |
| 6 | 0 | 2 | 2 |
| 9・1 | 0 | 17 | 17 |
| 2 | 0 | 14 | 14 |
| 3 | 2 | 16 | 18 |
| 4 | 0 | 37 | 37 |
| 5 | 2 | 9 | 11 |
| 6 | 0 | 9 | 9 |
| 10・1 | 1 | 6 | 7 |
| 2 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | 0 | 2 | 2 |
| 4 | 0 | 1 | 1 |
| 5 | 0 | 1 | 1 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |

概要：6月第4半旬、第6半旬に多く誘殺された。

(6) チャノキイロアザミウマ

b) 発生状況調査 (黄色平板粘着トラップによる誘殺消長)

予察ほ場 (由良町畑)

頭/トラップ

| 調査時期(月・半旬) | No. 1 | No. 2 | 計 |
|------------|-------|-------|-----|
| 4・1 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 2 | 0 | 2 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 1 | 0 | 1 |
| 5・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 3 | 0 | 3 |
| 4 | 8 | 0 | 8 |
| 5 | 11 | 2 | 13 |
| 6 | 2 | 4 | 6 |
| 6・1 | 6 | 3 | 9 |
| 2 | 6 | 19 | 25 |
| 3 | 7 | 64 | 71 |
| 4 | 33 | 89 | 122 |
| 5 | 13 | 58 | 71 |
| 6 | 6 | 13 | 19 |
| 7・1 | 9 | 14 | 23 |
| 2 | 2 | 8 | 10 |
| 3 | 5 | 4 | 9 |
| 4 | 3 | 4 | 7 |
| 5 | 1 | 3 | 4 |
| 6 | 0 | 1 | 1 |
| 8・1 | 4 | 9 | 13 |
| 2 | 17 | 7 | 24 |
| 3 | 8 | 6 | 14 |
| 4 | 7 | 4 | 11 |
| 5 | 3 | 1 | 4 |
| 6 | 5 | 6 | 11 |
| 9・1 | 2 | 1 | 3 |
| 2 | 1 | 1 | 2 |
| 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 6 | 2 | 8 |
| 5 | 8 | 1 | 9 |
| 6 | 0 | 7 | 7 |
| 10・1 | 4 | 3 | 7 |
| 2 | 2 | 0 | 2 |
| 3 | 1 | 3 | 4 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |

概要：6月第3半旬から第5半旬に多く誘殺された。

(7) ミドリヒメヨコバイ類

a) 発生状況調査 (黄色平板粘着トラップによる誘殺消長)

予察ほ場 (有田川町奥)

頭/トラップ

| 調査時期(月・半旬) | No. 1 | No. 2 | 計 |
|------------|-------|-------|----|
| 4・1 | 1 | 2 | 3 |
| 2 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 1 | 0 | 1 |
| 5 | 1 | 0 | 1 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |
| 5・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 1 | 1 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |
| 6・1 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | 1 | 2 | 3 |
| 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 3 | 1 | 4 |
| 5 | 1 | 0 | 1 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |
| 7・1 | 2 | 3 | 5 |
| 2 | 2 | 1 | 3 |
| 3 | 2 | 1 | 3 |
| 4 | 1 | 0 | 1 |
| 5 | 8 | 1 | 9 |
| 6 | 5 | 1 | 6 |
| 8・1 | 5 | 8 | 13 |
| 2 | 8 | 6 | 14 |
| 3 | 26 | 9 | 35 |
| 4 | 0 | 1 | 1 |
| 5 | 0 | 1 | 1 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |
| 9・1 | 2 | 2 | 4 |
| 2 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | 3 | 1 | 4 |
| 4 | 2 | 3 | 5 |
| 5 | 2 | 0 | 2 |
| 6 | 0 | 1 | 1 |
| 10・1 | 2 | 0 | 2 |
| 2 | 2 | 0 | 2 |
| 3 | 0 | 1 | 1 |
| 4 | 0 | 1 | 1 |
| 5 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |

概要：8月第1半旬から第2半旬にやや多く誘殺され、8月第3半旬に多く誘殺された。

(7) ミドリヒメヨコバイ類

b) 発生状況調査(黄色平板粘着トラップによる誘殺消長)

予察ほ場(由良町畑)

頭/トラップ

| 調査時期(月・半旬) | No. 1 | No. 2 | 計 |
|------------|-------|-------|----|
| 4・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |
| 5・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 1 | 1 |
| 3 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 1 | 2 | 3 |
| 6 | 1 | 3 | 4 |
| 6・1 | 1 | 1 | 1 |
| 2 | 0 | 3 | 3 |
| 3 | 0 | 5 | 5 |
| 4 | 1 | 2 | 3 |
| 5 | 1 | 3 | 4 |
| 6 | 6 | 5 | 11 |
| 7・1 | 9 | 4 | 13 |
| 2 | 2 | 2 | 4 |
| 3 | 2 | 2 | 4 |
| 4 | 1 | 3 | 4 |
| 5 | 1 | 0 | 1 |
| 6 | 0 | 1 | 1 |
| 8・1 | 1 | 1 | 2 |
| 2 | 1 | 1 | 2 |
| 3 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 4 | 1 | 5 |
| 6 | 2 | 3 | 5 |
| 9・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 3 | 1 | 4 |
| 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 1 | 0 | 1 |
| 5 | 1 | 1 | 2 |
| 6 | 2 | 2 | 4 |
| 10・1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 1 | 3 | 4 |
| 4 | 2 | 1 | 3 |
| 5 | 0 | 1 | 1 |
| 6 | 0 | 0 | 0 |

概要：6月第6半旬から7月第1半旬にやや多く誘殺された。

(8) 果樹カメムシ類

a) 越冬量調査

チャバネアオカメムシ越冬量調査結果

頭/落葉50リットル

| 採集場所名 | 採集日 | 調査日 | ♂ | ♀ | 計 | 死亡 | その他 |
|------------|------|------|---|---|---|----|-----|
| 橋本市北馬場 | 2/ 8 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 橋本市市脇 | 2/ 8 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 橋本市清水 | 2/10 | 2/10 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 橋本市学文路 | 2/10 | 2/10 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 橋本市高野口町竹尾 | 2/ 5 | 2/ 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 橋本市高野口町下中 | 2/ 5 | 2/ 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 九度山町下古沢 | 2/ 5 | 2/ 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 九度山町慈尊院 | 2/ 5 | 2/ 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| かつらぎ町短野 | 2/ 8 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| かつらぎ町教良寺 | 2/ 4 | 2/ 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| かつらぎ町御所 | 2/ 4 | 2/ 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| かつらぎ町東谷 | 2/ 8 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀の川市赤沼田 | 2/26 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀の川市中尾 | 2/26 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀の川市林ヶ峯 | 2/26 | 2/26 | 0 | 1 | 1 | 0 | |
| 紀の川市秋葉山 | 2/26 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀の川市鞆渕 | 2/26 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀の川市桃山町黒川 | 2/26 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀の川市貴志川町高尾 | 2/26 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 海南市海老谷 | 2/16 | 2/16 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 海南市東畑 | 2/16 | 2/16 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 海南市ひや水 | 2/16 | 2/16 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀美野町西野 | 2/16 | 2/16 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀美野町松瀬 | 2/16 | 2/16 | 1 | 0 | 1 | 0 | |
| 紀美野町釜滝 | 2/16 | 2/16 | 0 | 1 | 1 | 0 | |
| 紀美野町大角 | 2/16 | 2/16 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀美野町永谷 | 2/16 | 2/16 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 紀美野町津川 | 2/16 | 2/16 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

(つづき)

| 採集場所名 | 採集日 | 調査日 | ♂ | ♀ | 計 | 死亡 | その他 |
|------------------|------|------|---|---|---|----|-----|
| 有田川町奥(果試場内No. 1) | 2/19 | 3/ 4 | 0 | 1 | 1 | 0 | |
| 有田川町奥(果試場内No. 2) | 2/19 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 有田川町修理川 | 2/19 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 有田川町川口 | 2/19 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 広川町津木 | 2/19 | 3/ 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 広川町室川 | 2/19 | 2/26 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 日高川町千津川 | 2/19 | 3/ 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 印南町白河 | 1/15 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| みなべ町高城 | 1/15 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| みなべ町広野 | 1/15 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| みなべ町清川 | 1/15 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 田辺市竹藪 | 1/18 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 田辺市上野 | 1/18 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 上富田町岩田 | 1/18 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 白浜町口ヶ谷 | 1/19 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| すさみ町和深川 | 1/19 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 串本町重畳山 | 1/19 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 那智勝浦町井関 | 1/19 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 新宮市木ノ川 | 1/19 | 2/ 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

調査方法：定点における雑木林の落葉50リットルを採集し、落葉中のチャバネアオカメムシ成虫数を計数した。

概要：県内47地点のチャバネアオカメムシ越冬成虫数は、落葉50リットル当たり平均0.1頭（前年0.2頭、平年0.6頭）、捕獲地点率は8.5%（前年13.0%、平年22.0%）で平年よりもやや少なかった。

b) 予察灯による誘殺状況

予察ほ場 (有田川町奥 予察灯：100W水銀灯)

頭

| 調査月日 | | チャバネアカカメムシ | | | ツヤアオカメムシ | | | クサキカメムシ | | | 3種の |
|------|----|------------|----|-----|----------|-----|-----|---------|----|----|-----|
| 月 | 半旬 | ♂ | ♀ | 計 | ♂ | ♀ | 計 | ♂ | ♀ | 計 | 合計 |
| 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 14 | 12 | 26 | 0 | 0 | 0 | 26 |
| | 3 | 4 | 6 | 10 | 25 | 23 | 48 | 0 | 1 | 1 | 59 |
| | 4 | 5 | 6 | 11 | 14 | 16 | 30 | 0 | 1 | 1 | 42 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 6 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 5 | 1 | 1 | 2 | 5 | 2 | 7 | 0 | 1 | 1 | 10 |
| | 6 | 1 | 1 | 2 | 7 | 2 | 9 | 1 | 3 | 4 | 15 |
| 7 | 1 | 15 | 20 | 35 | 4 | 6 | 10 | 2 | 2 | 4 | 49 |
| | 2 | 5 | 1 | 6 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 5 | 14 |
| | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 4 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | 4 | 10 |
| | 5 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| | 6 | 3 | 4 | 7 | 0 | 1 | 1 | 4 | 5 | 9 | 17 |
| 8 | 1 | 7 | 4 | 11 | 5 | 7 | 12 | 5 | 3 | 8 | 31 |
| | 2 | 7 | 5 | 12 | 9 | 7 | 16 | 5 | 4 | 9 | 37 |
| | 3 | 19 | 13 | 32 | 4 | 1 | 5 | 8 | 4 | 12 | 49 |
| | 4 | 29 | 29 | 58 | 14 | 7 | 21 | 8 | 12 | 20 | 99 |
| | 5 | 30 | 59 | 89 | 12 | 8 | 20 | 5 | 8 | 13 | 122 |
| | 6 | 57 | 79 | 136 | 17 | 26 | 43 | 27 | 26 | 53 | 232 |
| 9 | 1 | 17 | 19 | 36 | 9 | 11 | 20 | 8 | 9 | 17 | 73 |
| | 2 | 18 | 12 | 30 | 15 | 9 | 24 | 1 | 3 | 4 | 58 |
| | 3 | 13 | 17 | 30 | 4 | 7 | 11 | 3 | 0 | 3 | 44 |
| | 4 | 4 | 2 | 6 | 0 | 4 | 4 | 2 | 1 | 3 | 13 |
| | 5 | 13 | 12 | 25 | 25 | 15 | 40 | 0 | 0 | 0 | 65 |
| | 6 | 32 | 29 | 61 | 135 | 81 | 216 | 3 | 1 | 4 | 281 |
| 10 | 1 | 7 | 7 | 14 | 70 | 70 | 140 | 0 | 3 | 3 | 157 |
| | 2 | 20 | 19 | 39 | 247 | 209 | 486 | 0 | 3 | 3 | 528 |
| | 3 | 10 | 8 | 18 | 266 | 219 | 485 | 2 | 5 | 7 | 510 |
| | 4 | 1 | 1 | 2 | 4 | 2 | 6 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

概要：チャバネアカカメムシは8月第6半旬に多く誘殺されたが、調査期間を通してやや少なかった。ツヤアオカメムシは9月第6半旬から10月第3半旬に多く誘殺された。

2) カキ

(1) 生育状況 (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 品 種 | | 発芽期 | 展葉期 | 開花期 | | | 収穫期 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | | | 始 期 | 最盛期 | 終 期 | 収穫盛期 |
| 平核無 | 本 年 | 3月8日 | 3月22日 | 5月6日 | 5月9日 | 5月13日 | 10月25日 |
| | 平 年 比 | - 4 | - 7 | - 3 | - 3 | - 1 | - 2 |
| 富 有 | 本 年 | 3月13日 | 3月29日 | 5月13日 | 5月15日 | 5月15日 | 11月20日 |
| | 平 年 比 | - 3 | - 6 | - 3 | - 3 | - 4 | + 1 |

注) -は平年より早く、+は平年より遅いことを示す (単位：日)

概要：平核無の発芽期は平年に比べやや早く、展葉期は早かった。開花期はやや早かったが、収穫期は平年並となった。

富有の発芽期は平年に比べやや早く、展葉期は早かった。開花期はやや早かったが、収穫期は平年並となった。

(2) 炭疽病

a) 越冬病斑調査 (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 品 種 | 調査項目 | 1月24日 | 平年 |
|-----|----------|-------|-----|
| 平核無 | 発病枝率 (%) | 0.0 | 0.0 |
| 富 有 | 発病枝率 (%) | 0.0 | 0.4 |

概要：枝の越冬病斑は、富有、平核無ともにみられなかった。

b) 発病状況調査 (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 品 種 | 調査項目 | 9月21日 | 平年 |
|-----|----------|-------|-----|
| 平核無 | 発病果率 (%) | 0.0 | 0.5 |
| | 発病枝率 (%) | 0.0 | 0.0 |
| 富 有 | 発病果率 (%) | 0.7 | 2.0 |
| | 発病枝率 (%) | 0.0 | 0.3 |

概要：平核無では枝および果実の発病がみられなかったが、富有では果実発病が認められた。

(3) うどんこ病

a) 子のう殻越冬密度調査 (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 品 種 | 調査項目 | 子のう殻 附着枝率 | | 1枝当たりの 子のう殻数 | |
|-----|-------|--------------|-----|-----------------|------|
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 平核無 | 1月24日 | 0.0 | 8.0 | 0.00 | 0.43 |
| 富 有 | 1月24日 | 0.0 | 2.3 | 0.00 | 0.03 |

概要：枝の子のう殻は、平核無、富有ともにみられなかった。

b) 発病状況調査 (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 品 種 | 調査項目 | 9月21日 | 10月13日 | 平年 |
|-----|----------|-------|--------|------|
| 平核無 | 発病葉率 (%) | 16.7 | 21.0 | 22.7 |
| | 発 病 度 | 5.7 | 5.0 | 10.9 |
| 富 有 | 発病葉率 (%) | 6.0 | 18.0 | 5.3 |
| | 発 病 度 | 1.0 | 4.9 | 1.4 |

概要：葉の発病は、平核無は平年並であったが、富有はやや多かった。

(4) 落葉病

a) 発病状況調査 (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 品 種 | 種 類 | 調査項目 | 9月21日 | 10月11日 | 平年 |
|-----|-------|---------|-------|--------|------|
| 平核無 | 角斑落葉病 | 発病葉率(%) | 86.3 | 95.3 | 64.5 |
| | | 発病度 | 20.9 | 25.4 | 24.9 |
| | 円星落葉病 | 発病葉率(%) | 6.7 | 89.3 | 62.2 |
| | | 発病度 | 1.8 | 54.9 | 35.3 |
| 富 有 | 角斑落葉病 | 発病葉率(%) | 81.0 | 89.0 | 46.7 |
| | | 発病度 | 17.4 | 23.7 | 20.2 |
| | 円星落葉病 | 発病葉率(%) | 11.3 | 77.3 | 72.6 |
| | | 発病度 | 3.6 | 40.2 | 45.3 |

概要：角斑落葉病の発病は、平核無、富有ともに、多かった。

円星落葉病の発病は、平核無、富有ともに、平年並であった。

(5) ハマキムシ類 (付表1参照)

概要：チャハマキは4月第1半旬から誘殺され始め、4月第1～4半旬の誘殺数が多かった。

チャノコカクモンハマキは4月第1半旬から誘殺され始め、4月第3半旬～5月第3半旬（ピークは4月第6半旬～5月第3半旬）、6月第3半旬～6半旬の誘殺数が多かった。

(6) アザミウマ類

a) 誘殺状況 (黄色粘着トラップ) (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 調査時期 月・半旬 | チャノキイロアザ ミウマ | | カキクダ アザミウマ | |
|--------------|-----------------|-------|---------------|-------|
| | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 4・1 | 0 | 1.7 | 0 | 1.6 |
| 2 | 0 | 1.6 | 0 | 1.3 |
| 3 | 0 | 1.3 | 1 | 1.4 |
| 4 | 0 | 0.6 | 0 | 2.1 |
| 5 | 0 | 0.3 | 0 | 0.8 |
| 6 | 0 | 0.1 | 0 | 0.5 |
| 5・1 | 0 | 0.1 | 1 | 0.3 |
| 2 | 0 | 0.2 | 0 | 0.4 |
| 3 | 2 | 0.6 | 0 | 0.5 |
| 4 | 3 | 2.3 | 0 | 0.1 |
| 5 | 2 | 3.2 | 0 | 0.1 |
| 6 | 2 | 3.4 | 0 | 0.2 |
| 6・1 | 0 | 2.2 | 1 | 2.1 |
| 2 | 18 | 3.4 | 0 | 8.7 |
| 3 | 65 | 9.6 | 1 | 20.1 |
| 4 | 24 | 14.4 | 0 | 20.0 |
| 5 | 159 | 21.9 | 2 | 14.8 |
| 6 | 199 | 29.5 | 1 | 7.5 |
| 7・1 | 252 | 52.4 | 0 | 3.3 |
| 2 | 251 | 62.4 | 1 | 2.0 |
| 3 | 195 | 47.2 | 0 | 1.1 |
| 4 | 133 | 32.5 | 0 | 1.4 |
| 5 | 56 | 30.8 | 0 | 0.8 |
| 6 | 81 | 40.2 | 0 | 0.6 |
| 8・1 | 109 | 38.1 | 0 | 0.6 |
| 2 | 82 | 26.6 | 0 | 0.8 |
| 3 | 82 | 34.5 | 0 | 1.3 |
| 4 | 22 | 32.6 | 0 | 1.7 |
| 5 | 31 | 34.3 | 1 | 1.1 |
| 6 | 39 | 32.1 | 1 | 0.8 |
| 9・1 | 16 | 25.6 | 1 | 0.7 |
| 2 | 21 | 21.1 | 0 | 0.8 |
| 3 | 26 | 17.1 | 0 | 0.6 |
| 4 | 20 | 16.8 | 1 | 0.3 |
| 5 | 18 | 13.5 | 0 | 0.0 |
| 6 | 10 | 11.5 | 0 | 0.5 |
| 10・1 | 6 | 5.7 | 0 | 0.3 |
| 2 | 3 | 3.7 | 0 | 0.3 |
| 3 | 2 | 1.2 | 0 | 0.2 |
| 4 | 0 | 0.7 | 0 | 0.3 |
| 5 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 1930 | 677.2 | 11 | 102.2 |

注) 20×20cmの黄色粘着板1基当たりの表裏合計の虫数を示す。
平年値は平成23～令和2年の平均を示す。

概要：チャノキイロアザミウマは5月第3半旬から誘殺され始め、6月第5半旬～7月第4半旬の誘殺数が多かった。
カキクダアザミウマは6月第1半旬から誘殺され始めたが、発生が少なく明らかなピークは認められなかった。

(7) コガシラアワフキ

a) 誘殺状況 (予察灯：100W水銀灯) (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 調査時期 月・半旬 | コガシラ アワフキ |
|--------------|--------------|
| 4・1 | 0 |
| 2 | 0 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |
| 5・1 | 0 |
| 2 | 0 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |
| 6・1 | 0 |
| 2 | 0 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |
| 7・1 | 0 |
| 2 | 0 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |
| 8・1 | 0 |
| 2 | 0 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |
| 9・1 | 0 |
| 2 | 0 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |
| 10・1 | 0 |
| 2 | 0 |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |

概要：調査期間を通じて誘殺は認められなかった。

(8) カメムシ類

a) 誘殺状況 (予察灯：100W水銀灯) (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 調査時期 月・半旬 | チャバネアオ カメムシ | ツヤアオ カメムシ | クサギ カメムシ | 合計 |
|--------------|----------------|--------------|-------------|-----|
| 4・1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5・1 | 1 | 8 | 0 | 9 |
| 2 | 0 | 10 | 1 | 11 |
| 3 | 8 | 66 | 0 | 74 |
| 4 | 122 | 156 | 14 | 292 |
| 5 | 2 | 6 | 0 | 8 |
| 6 | 11 | 18 | 0 | 29 |
| 6・1 | 9 | 15 | 1 | 25 |
| 2 | 15 | 13 | 8 | 36 |
| 3 | 25 | 37 | 0 | 62 |
| 4 | 12 | 5 | 7 | 24 |
| 5 | 15 | 10 | 4 | 29 |
| 6 | 34 | 10 | 5 | 49 |
| 7・1 | 164 | 25 | 21 | 210 |
| 2 | 54 | 1 | 31 | 86 |
| 3 | 20 | 4 | 18 | 42 |
| 4 | 21 | 4 | 28 | 53 |
| 5 | 13 | 0 | 26 | 39 |
| 6 | 58 | 11 | 94 | 163 |
| 8・1 | 94 | 25 | 96 | 215 |
| 2 | 97 | 33 | 95 | 225 |
| 3 | 129 | 35 | 104 | 268 |
| 4 | 151 | 49 | 94 | 294 |
| 5 | 287 | 20 | 166 | 473 |
| 6 | 308 | 35 | 163 | 506 |
| 9・1 | 107 | 14 | 42 | 163 |
| 2 | 94 | 17 | 29 | 140 |
| 3 | 60 | 22 | 13 | 95 |
| 4 | 90 | 48 | 2 | 140 |
| 5 | 104 | 25 | 2 | 131 |
| 6 | 124 | 84 | 1 | 209 |
| 10・1 | 116 | 106 | 1 | 223 |
| 2 | 162 | 63 | 3 | 228 |
| 3 | 85 | 224 | 1 | 310 |
| 4 | 6 | 36 | 0 | 42 |
| 5 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 6 | 2 | 3 | 0 | 5 |

概要：チャバネアオカメムシは5月第1半旬から誘殺され始め、7月第1半旬、8月第5～6半旬、10月第2半旬に誘殺数が多かった。

ツヤアオカメムシは5月第1半旬から誘殺され始め、5月第4半旬、10月第3半旬に誘殺数が多かった。

3) モモ

(1) 生育状況 (予察ほ場：紀の川市粉河)

| 品 種 | 発芽期 | 開花期 | | | 収穫期 収穫盛期 |
|---------|------|-------|-------|------|-------------|
| | | 始 期 | 最盛期 | 終 期 | |
| 白 鳳 本 年 | 3月5日 | 3月24日 | 3月27日 | 4月4日 | 7月5日 |
| 平 年 比 | -7 | -8 | -8 | -6 | -4 |

注) -は平年より早く、+は平年より遅いことを示す (単位：日)

概要：白鳳の発芽期および開花期は平年に比べ早く、収穫期はやや早かった。

(2) ナシヒメシンクイ (付表1参照)

概要：ナシヒメシンクイは4月第1半旬から誘殺され始め、4月第1半旬、6月第2半旬～3半旬、7月第3～4半旬に誘殺数が多かった。

(3) モモハモグリガ (付表1参照)

概要：モモハモグリガは4月第1半旬から誘殺され始め、5月第2～3半旬、6月第4～5半旬、7月第3～4半旬、9月第3～6半旬に誘殺数が多かった。

(4) コスカシバ (付表1参照)

概要：コスカシバは5月第1半旬から誘殺され始め、5月第3～5半旬、6月第3半旬に誘殺数が多かった。

(5) モモシンクイガ (付表2参照)

概要：モモシンクイガは5月第4半旬から7月第5半旬まで誘殺された。
誘殺数は平年並であった。

付表1) 誘殺状況 (フェロモントラップ) (予察ほ場: 紀の川市粉河)

| 調査時期 月・半旬 | チャハマキ | | チャノコカクモンハマキ | | ナシヒメシンクイ | | モモハモグリガ | | コスカシバ | |
|--------------|-------|------|-------------|-------|----------|-------|---------|-------|-------|------|
| | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 4・1 | 27 | 2.3 | 3 | 1.5 | 29 | 25.1 | 1 | 3.0 | 0 | 0.0 |
| 2 | 15 | 4.0 | 3 | 2.5 | 11 | 20.4 | 0 | 4.9 | 0 | 0.0 |
| 3 | 18 | 5.5 | 22 | 2.7 | 14 | 12.1 | 1 | 2.0 | 0 | 0.0 |
| 4 | 11 | 4.4 | 9 | 10.1 | 6 | 18.1 | 0 | 1.7 | 0 | 0.1 |
| 5 | 6 | 5.9 | 26 | 19.9 | 8 | 10.4 | 0 | 1.3 | 0 | 0.1 |
| 6 | 2 | 1.8 | 31 | 28.8 | 7 | 8.3 | 0 | 2.4 | 0 | 0.6 |
| 5・1 | 7 | 4.1 | 29 | 38.0 | 2 | 16.4 | 4 | 2.8 | 4 | 0.4 |
| 2 | 2 | 3.6 | 32 | 37.3 | 2 | 15.0 | 11 | 4.1 | 0 | 1.5 |
| 3 | 4 | 3.4 | 12 | 25.3 | 2 | 3.0 | 13 | 4.8 | 2 | 0.6 |
| 4 | 2 | 2.0 | 1 | 12.2 | 7 | 3.7 | 2 | 62.8 | 2 | 0.8 |
| 5 | 2 | 1.1 | 1 | 2.6 | 7 | 6.6 | 2 | 6.8 | 2 | 1.7 |
| 6 | 0 | 1.6 | 1 | 1.0 | 9 | 15.6 | 3 | 5.4 | 0 | 1.2 |
| 6・1 | 0 | 0.3 | 1 | 3.8 | 14 | 23.5 | 3 | 3.1 | 0 | 2.0 |
| 2 | 0 | 0.4 | 1 | 2.6 | 24 | 15.4 | 6 | 2.9 | 0 | 1.8 |
| 3 | 0 | 0.2 | 6 | 5.3 | 12 | 12.5 | 6 | 7.9 | 3 | 1.6 |
| 4 | 0 | 0.5 | 5 | 5.9 | 25 | 11.3 | 13 | 16.0 | 0 | 1.0 |
| 5 | 0 | 0.4 | 8 | 10.8 | 7 | 11.4 | 12 | 10.5 | 0 | 1.9 |
| 6 | 0 | 1.2 | 10 | 10.8 | 10 | 13.0 | 2 | 6.4 | 0 | 0.8 |
| 7・1 | 0 | 1.2 | 2 | 11.4 | 7 | 20.5 | 1 | 3.3 | 0 | 0.7 |
| 2 | 0 | 1.6 | 0 | 7.0 | 7 | 15.8 | 7 | 8.6 | 0 | 0.6 |
| 3 | 0 | 0.6 | 1 | 3.4 | 28 | 16.4 | 12 | 27.5 | 0 | 0.5 |
| 4 | 0 | 0.4 | 1 | 1.8 | 25 | 15.6 | 10 | 10.6 | 0 | 0.9 |
| 5 | 0 | 0.4 | 2 | 2.2 | 14 | 17.9 | 6 | 11.9 | 0 | 1.2 |
| 6 | 0 | 0.8 | 3 | 5.1 | 14 | 24.0 | 4 | 24.6 | 0 | 1.7 |
| 8・1 | 0 | 0.3 | 7 | 4.9 | 6 | 29.5 | 4 | 37.0 | 0 | 1.2 |
| 2 | 2 | 0.6 | 7 | 3.0 | 12 | 25.1 | 2 | 31.1 | 0 | 1.9 |
| 3 | 1 | 0.7 | 7 | 3.6 | 11 | 24.0 | 1 | 30.7 | 0 | 1.5 |
| 4 | 0 | 0.2 | 2 | 2.3 | 9 | 28.8 | 2 | 6.2 | 0 | 1.1 |
| 5 | 0 | 0.3 | 0 | 1.4 | 8 | 27.7 | 1 | 5.2 | 0 | 2.2 |
| 6 | 0 | 0.7 | 2 | 1.3 | 7 | 30.1 | 1 | 3.2 | 0 | 1.5 |
| 9・1 | 4 | 0.7 | 0 | 1.0 | 7 | 17.8 | 1 | 2.3 | 0 | 2.2 |
| 2 | 0 | 1.4 | 3 | 1.5 | 6 | 17.6 | 8 | 1.4 | 0 | 1.9 |
| 3 | 0 | 0.9 | 2 | 3.6 | 6 | 14.5 | 18 | 2.1 | 0 | 3.0 |
| 4 | 0 | 0.9 | 2 | 5.2 | 6 | 10.6 | 26 | 3.4 | 0 | 3.3 |
| 5 | 0 | 1.1 | 10 | 8.9 | 4 | 8.2 | 22 | 5.0 | 0 | 6.7 |
| 6 | 0 | 1.3 | 11 | 11.6 | 3 | 4.3 | 18 | 2.6 | 0 | 5.5 |
| 10・1 | 12 | 1.0 | 11 | 10.9 | 4 | 2.0 | 10 | 3.5 | 0 | 3.8 |
| 2 | 11 | 2.1 | 10 | 8.3 | 2 | 1.8 | 0 | 1.1 | 1 | 2.9 |
| 3 | 0 | 3.5 | 0 | 9.5 | 2 | 0.7 | 0 | 1.1 | 1 | 0.2 |
| 4 | 0 | 1.7 | 0 | 6.0 | 0 | 0.5 | 0 | 0.6 | 0 | 0.2 |
| 5 | 0 | 2.1 | 0 | 4.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 |
| 6 | 0 | 1.4 | 0 | 3.3 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 126 | 68.6 | 284 | 342.7 | 384 | 595.3 | 233 | 372.0 | 15 | 61.0 |

注) 平年値は平成23～令和2年の誘殺数から求めた。

ただし、ナシヒメシンクイとモモハモグリガについては、平成25年は調査未実施のため平年値は平成22～24年、平成26～令和2年の誘殺数から求めた。

付表2) 誘殺状況 (フェロモントラップ)

| 調査時期 月・半旬 | モモシクイガ | | | | | | | |
|--------------|-------------------------|-----|-----------------------|-----|-----------------|------|-----------------------|------|
| | 予察ほ場 紀の川市粉河 (モモ園) | | 紀の川市 桃山町元 (モモ園) | | 紀の川市杉原 (ナシ園) | | かつらぎ町 東渋田 (モモ園) | |
| | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 4・1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5・1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.0 | 2 | 0.0 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.3 | 0 | 0.0 | 2 | 0.7 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.4 | 0 | 0.0 | 2 | 0.9 |
| 6・1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 | 0 | 0.9 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.8 | 1 | 1.2 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 1.4 | 1 | 1.8 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 1 | 0.9 | 1 | 3.1 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 3.1 | 1 | 2.3 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 2.3 | 1 | 2.9 |
| 7・1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.5 | 1 | 2.1 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.0 | 0 | 0.8 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.6 | 0 | 1.7 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.3 | 1 | 1.6 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.0 | 0 | 0.3 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 1.0 | 0 | 1.3 |
| 8・1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.5 | 0 | 0.4 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.6 | 0 | 0.2 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 1.0 | 0 | 0.6 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.1 | 0 | 0.3 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.3 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9・1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10・1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 0 | 0.0 | 0 | 1.1 | 8 | 17.8 | 13 | 23.4 |

注) 平年値は平成23～令和2年の誘殺数から求めた。

ただし、かつらぎ町東渋田においては平成23～23年、平成26～令和2年の平均。

4) ウ メ

(1) 生育状況 (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 品種 | 開花期 | | | 発芽期 | 収穫期* | | |
|----|-----|------|------|------|------|-----|------|
| | 始期 | 最盛期 | 終期 | | 始期 | 最盛期 | 終期 |
| 南高 | 2/8 | 2/12 | 2/24 | 3/23 | 6/1 | 6/4 | 6/11 |

*収穫期は青ウメでの時期

(2) 黒星病

a) 果実発病調査 (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 調査項目 | 調査月日 | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4月30日 | 5月13日 | 5月19日 | 5月25日 | 5月30日 |
| 発病果率% | 2.7 | 44.0 | 70.7 | 75.3 | 94.0 |
| 発病度 | 1.1 | 11.6 | 24.8 | 29.4 | 51.9 |

注) 品種：南高 3樹、1樹100果調査(無防除)

概要：果実での初発は4月下旬で、5月下旬にかけて増加した。

b) 新梢発病調査 (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 調査項目 | 調査月日 | | |
|--------|-------|------|------|
| | 6月29日 | 8月4日 | 9月2日 |
| 発病新梢率% | 18.0 | 30.7 | 34.7 |

注) 品種：南高 3樹、1樹50新梢(徒長枝)調査(無防除)

概要：新梢での発病は6月下旬から認められ、9月上旬にかけて増加した。

(3) かいよう病

a) 果実発病調査 (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 調査項目 | 調査月日 | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4月30日 | 5月13日 | 5月19日 | 5月25日 |
| 発病果率% | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発病度 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

注) 品種：南高 3樹、1樹100果調査(無防除)

概要：果実発病は認められなかった。

b) 新梢発病調査 (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 調査項目 | 調査月日 | | |
|--------|-------|------|------|
| | 6月29日 | 8月4日 | 9月2日 |
| 発病新梢率% | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

注) 品種：南高 3樹、1樹50新梢(徒長枝)調査(無防除)

概要：新梢の発病は認められなかった。

(4) すず斑病

a) 果実発病調査 (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 調査項目 | 調査月日 | |
|-------|-------|-------|
| | 5月31日 | 6月14日 |
| 発病果率% | 16.7 | 67.0 |
| 発病度 | 4.7 | 28.5 |

注) 品種：南高 3樹、1樹あたり全着果数を調査(無防除)

概要：果実での初発は5月下旬であった。

(5) ハダニ類

a) 発生状況調査 (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 調査月日 | 100葉あたり 雌成虫数 | 調査月日 | 100葉あたり 雌成虫数 |
|------|-----------------|-------|-----------------|
| 4. 5 | 0 | 8. 6 | 0 |
| 9 | 1 | 11 | 0 |
| 16 | 0 | 16 | 0 |
| 20 | 13 | 20 | 0 |
| 26 | 1 | 24 | 0 |
| 30 | 8 | 30 | 0 |
| 5. 6 | 1 | 9. 6 | 0 |
| 10 | 4 | 10 | 0 |
| 14 | 79 | 15 | 0 |
| 21 | 5 | 21 | 0 |
| 26 | 0 | 27 | 0 |
| 31 | 0 | 30 | 0 |
| 6. 7 | 8 | 10. 6 | 0 |
| 10 | 2 | 11 | 0 |
| 15 | 0 | 15 | 0 |
| 20 | 0 | 21 | 0 |
| 25 | 0 | 26 | 0 |
| 7. 1 | 0 | 11. 1 | 0 |
| 8 | 0 | | |
| 12 | 0 | | |
| 14 | 0 | | |
| 20 | 0 | | |
| 28 | 0 | | |
| 30 | 0 | | |

注) 品種：南高 2樹平均 無防除

概要：4月第2半旬から6月第2半旬にハダニ類の発生を確認した。

(6) カメムシ類

a) 誘殺状況調査 (予察灯：100W水銀灯) (予察ほ場：みなべ町東本庄)

| 調査時期 月・半旬 | チャバネア カメムシ | ツヤア カメムシ | クサギ カメムシ | 前記3種の 合計 |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 4. 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 3 | 0 | 9 | 0 | 9 |
| 4 | 0 | 3 | 0 | 3 |
| 5 | 0 | 6 | 0 | 6 |
| 6 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| 5. 1 | 1 | 26 | 0 | 27 |
| 2 | 2 | 130 | 0 | 132 |
| 3 | 48 | 164 | 1 | 213 |
| 4 | 74 | 162 | 1 | 237 |
| 5 | 43 | 82 | 0 | 125 |
| 6 | 40 | 449 | 0 | 489 |
| 6. 1 | 31 | 93 | 0 | 124 |
| 2 | 49 | 85 | 0 | 134 |
| 3 | 39 | 35 | 3 | 77 |
| 4 | 56 | 46 | 2 | 104 |
| 5 | 75 | 30 | 0 | 105 |
| 6 | 32 | 19 | 0 | 51 |
| 7. 1 | 122 | 25 | 0 | 147 |
| 2 | 61 | 9 | 3 | 73 |
| 3 | 12 | 6 | 1 | 19 |
| 4 | 16 | 11 | 1 | 28 |
| 5 | 14 | 8 | 1 | 23 |
| 6 | 101 | 20 | 5 | 126 |
| 8. 1 | 230 | 57 | 19 | 306 |
| 2 | 285 | 116 | 51 | 452 |
| 3 | 393 | 98 | 57 | 548 |
| 4 | 1084 | 189 | 67 | 1340 |
| 5 | 1701 | 254 | 98 | 2053 |
| 6 | 1035 | 443 | 114 | 1592 |
| 9. 1 | 414 | 565 | 28 | 1007 |
| 2 | 273 | 496 | 20 | 789 |
| 3 | 265 | 328 | 12 | 605 |
| 4 | 390 | 848 | 10 | 1248 |
| 5 | 277 | 903 | 4 | 1184 |
| 6 | 75 | 1264 | 0 | 1339 |
| 10. 1 | 87 | 1542 | 1 | 1630 |
| 2 | 64 | 2631 | 0 | 2695 |
| 3 | 41 | 3757 | 3 | 3801 |
| 4 | 0 | 25 | 0 | 25 |
| 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |

概要：チャバネアオカメムシは5月第1半旬から10月第3半旬まで誘殺され、8月第1半旬から9月第5半旬の誘殺数が特に多かった。

ツヤアオカメムシは4月第1半旬から10月第4半旬まで誘殺され、8月第5半旬から10月第3半旬の誘殺数が特に多かった。

(7) ウメシロカイガラムシ

a) 歩行幼虫発生状況調査 (両面テープトラップ) (予察ほ場: みなべ町東本庄)

| 調査時期 月・半旬 | 頭/トラップ°/日 | 調査時期 月・半旬 | 頭/トラップ°/日 | 調査時期 月・半旬 | 頭/トラップ°/日 |
|--------------|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------|
| 4. 1 | 0 | 6. 4 | 0 | 9. 1 | 0 |
| 2 | 6.0 | 5 | 0 | 2 | 0 |
| 3 | 26.6 | 6 | 10.8 | 3 | 0 |
| 4 | 2.8 | 7. 1 | 0 | 4 | 0 |
| 5 | 1.8 | 2 | 0 | 5 | 0 |
| 6 | 0.2 | 3 | 0 | 6 | 0 |
| 5. 1 | 0 | 4 | 0 | 10.1 | 0 |
| 2 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 |
| 3 | 0 | 6 | 0 | 3 | 0 |
| 4 | 0 | 8. 1 | 0 | 4 | 0 |
| 5 | 0 | 2 | 0 | 5 | 0 |
| 6 | 0 | 3 | 0 | 6 | 0 |
| 6. 1 | 0 | 4 | 0 | | |
| 2 | 0 | 5 | 6.0 | | |
| 3 | 0 | 6 | 0 | | |

注) 5トラップ平均、1半旬に1頭のみ捕獲された場合は0.0と記載。

概要: 第1世代は4月第2半旬から4月第6半旬まで、第2世代は6月第6半旬に、第3世代の発生は8月第5半旬にみられた。

(8) アメリカシロヒトリ

a) 雄成虫誘殺状況調査 (フェロモントラップ) (予察ほ場: みなべ町西本庄)

| 調査時期 月・半旬 | 頭/トラップ° | 調査時期 月・半旬 | 頭/トラップ° | 調査時期 月・半旬 | 頭/トラップ° |
|--------------|---------|--------------|---------|--------------|---------|
| 4. 1 | 0 | 6. 4 | 0 | 9. 1 | 0 |
| 2 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 |
| 3 | 0 | 6 | 0 | 3 | 0 |
| 4 | 0 | 7. 1 | 0 | 4 | 0 |
| 5 | 0 | 2 | 0 | 5 | 0 |
| 6 | 0 | 3 | 0 | 6 | 0 |
| 5. 1 | 0 | 4 | 0 | | |
| 2 | 0 | 5 | 0 | | |
| 3 | 0 | 6 | 0 | | |
| 4 | 0 | 8. 1 | 0 | | |
| 5 | 0 | 2 | 0 | | |
| 6 | 0 | 3 | 0 | | |
| 6. 1 | 0 | 4 | 0 | | |
| 2 | 0 | 5 | 0 | | |
| 3 | 0 | 6 | 0 | | |

概要: アメリカシロヒトリは確認されなかった。

2.巡回調査結果

1) カンキツ

(1) 6月調査

(9、11日)

2021年

| 品種 | 地区 | 調査ほ場数 | 黒点病 | | そうか病 | | 灰色かび病 | かいよう病 | | | | こはん症 | ミカンハダニ | | チャノキイロアザミウマ | | アブラムシ類 | 訪花害虫 | ゴマダラカミキリ | | ナメクジ類 | |
|----------|-----|-------|---------|------|---------|------|---------|---------|------|------|---------|------|---------|---------|--------------|---------|------------|----------|----------|-----------|-----------|---------|
| | | | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病果率(%) | 発病度 | 発病度 | 発病葉率(%) | 発病度 | 発生果率(%) | 生息葉率(%) | ♀成虫数(頭/100葉) | 生息葉率(%) | 虫数(頭/100果) | 生息新梢率(%) | 被害果率(%) | 食害(被害樹率%) | 成虫数(頭/ほ場) | 被害果率(%) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウンシュウミカン | 下津 | 8 | 4.6 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.2 | 0.0 | 4.2 | 7.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 有田 | 12 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 13.6 | 38.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 日高 | 8 | 0.4 | 0.1 | 0.8 | 0.1 | 4.6 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 7.1 | 17.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 西牟婁 | 6 | 1.1 | 0.2 | 5.6 | 3.3 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 15.0 | 27.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 平均 | 34 | 1.6 | 0.2 | 1.2 | 0.6 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 10.1 | 24.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 17.6 | | 11.8 | | 32.4 | 0.0 | | | | 0.0 | 23.5 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |
| 八朔 | 平均 | 6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | | 0.0 | | 33.3 | 0.0 | | | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | | | |
| 夏橙 | 平均 | 6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.2 | 0.9 | 0.2 | 0.0 | 2.2 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 16.7 | 33.3 | | 0.0 | 16.7 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |
| ネーブル | 平均 | 3 | 57.8 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.1 | 0.0 | 33.3 | 158.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 100.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | | | 0.0 | 33.3 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |
| 伊予柑 | 平均 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.8 | 0.1 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | | 0.0 | | 25.0 | 25.0 | | 50.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |
| 清見 | 平均 | 6 | 8.5 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 66.7 | | 0.0 | | 16.7 | 0.0 | | | | 0.0 | 16.7 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |
| 不知火 | 平均 | 5 | 5.3 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 20.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |
| 中晩柑 | 平均 | 30 | 8.4 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.3 | 0.0 | 0.5 | 0.1 | 0.0 | 4.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 26.7 | | 0.0 | | 13.3 | 6.7 | | 30.0 | | 0.0 | 10.0 | | 0.0 | | 0.0 | 3.3 | 0.0 | | | |
| 合計 | 平均 | 64 | 4.7 | 0.7 | 0.6 | 0.3 | 1.5 | 0.2 | 0.04 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 7.2 | 20.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 21.9 | | 6.3 | | 23.4 | 3.1 | | 21.9 | | 0.0 | 17.2 | | 0.0 | | 0.0 | 1.6 | 0.0 | | | |

(2) 7月調査
(12~13日)

2021年

| 品種 | 地区 | 調査ほ場数 | 黒点病 | | そうか病 | | かいよう病 | | | | こはん症 | ミカンハダニ | | チャノキイロアザミウマ | | 訪花害虫 | ゴマダラカミキリ | | ナメクジ類 | |
|----------|----------|-------|---------|-----|---------|-----|---------|------|---------|-----|---------|---------|--------------|-------------|------------|---------|-----------|-----------|---------|-----|
| | | | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病度 | 発病葉率(%) | 発病度 | 発生果率(%) | 生息葉率(%) | ♀成虫数(頭/100葉) | 生息葉率(%) | 虫数(頭/100果) | 被害果率(%) | 食害(被害樹率%) | 成虫数(頭/ほ場) | 被害果率(%) | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウンシュウミカン | 下津 | 8 | 2.5 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.2 | 0.0 | 12.1 | 54.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 有田 | 12 | 1.7 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 日高 | 8 | 6.3 | 0.9 | 2.9 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 西牟婁 | 6 | 8.9 | 1.6 | 2.2 | 1.6 | 1.1 | 0.6 | 0.5 | 0.1 | 0.0 | 16.1 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 平均 | 34 | 4.2 | 0.7 | 1.1 | 0.6 | 0.2 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 9.6 | 42.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 23.5 | | 5.9 | | 2.9 | | 11.8 | | 0.0 | 23.5 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 八朔 | 平均 | 6 | 2.8 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.8 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 2.8 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 33.3 | | 0.0 | | 16.7 | | 16.7 | | 0.0 | 16.7 | | 0.0 | | 16.7 | 0.0 | | 0.0 | |
| 夏橙 | 平均 | 6 | 8.3 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 4.4 | 1.4 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 33.3 | | 0.0 | | 33.3 | | 50.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 50.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| ネーブル | 平均 | 3 | 22.2 | 7.6 | 0.0 | 0.0 | 4.4 | 1.6 | 1.3 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 66.7 | | 0.0 | | 33.3 | | 66.7 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 伊予柑 | 平均 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 0.7 | 0.5 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 0.0 | | 0.0 | | 25.0 | | 25.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 清見 | 平均 | 6 | 19.5 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.2 | 27.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 50.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 16.7 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 不知火 | 平均 | 5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 中晩柑 | 平均 | 30 | 8.8 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 0.7 | 0.5 | 0.1 | 0.0 | 2.0 | 8.9 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 30.0 | | 0.0 | | 16.7 | | 23.3 | | 0.0 | 6.7 | | 0.0 | | 13.3 | 0.0 | | 0.0 | |
| 合計 | 平均 | 64 | 6.0 | 1.4 | 0.6 | 0.3 | 0.9 | 0.4 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 6.4 | 26.6 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 26.6 | | 3.1 | | 9.4 | | 17.2 | | 0.0 | 15.6 | | 0.0 | | 6.3 | 0.0 | | 0.0 | |

(3) 8月調査
(12、16日)

2021年

| 品種 | 地区 | 調査ほ場数 | 黒点病 | | そうか病 | | かいよう病 | | | | こはん症 | ミカンハダニ | | チャノキイロアザミウマ | | 訪花害虫 | ゴマダラカミキリ | | ナメクジ類 |
|----------|-----|-------|---------|-----|---------|------|---------|-------|---------|------|---------|---------|--------------|-------------|------------|---------|-----------|-----------|---------|
| | | | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病度 | 発病葉率(%) | 発病度 | 発生果率(%) | 生息葉率(%) | ♀成虫数(頭/100葉) | 生息果率(%) | 虫数(頭/100果) | 被害果率(%) | 食害(被害樹率%) | 成虫数(頭/ほ場) | 被害果率(%) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウンシュウミカン | 下津 | 8 | 2.1 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 0.8 | 0.2 | 0.0 | 6.3 | 10.0 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 有田 | 12 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 日高 | 8 | 4.6 | 0.9 | 4.2 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 西牟婁 | 6 | 3.3 | 1.6 | 2.2 | 1.9 | 4.4 | 2.2 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 5.0 | 7.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 平均 | 34 | 2.4 | 0.6 | 1.4 | 1.0 | 0.9 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 2.5 | 3.8 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 29.4 | | 5.9 | | 11.8 | | 14.7 | | 0.0 | 17.6 | | 2.9 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 八朔 | 平均 | 6 | 2.2 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 3.9 | 2.5 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 33.3 | | 0.0 | | 33.3 | | 16.7 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 夏橙 | 平均 | 6 | 16.1 | 4.4 | 0.0 | 0.0 | 10.6 | 3.9 | 0.8 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 50.0 | | 0.0 | | 83.3 | | 50.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| ネーブル | 平均 | 3 | 21.1 | 7.5 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.2 | 2.2 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 100.0 | | 0.0 | | 33.3 | | 100.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 伊予柑 | 平均 | 4 | 16.7 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.4 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 75.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 25.0 | | 25.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 清見 | 平均 | 6 | 14.4 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 50.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 不知火 | 平均 | 5 | 0.7 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 20.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 20.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 中晩柑 | 平均 | 30 | 9.7 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 1.3 | 0.5 | 0.1 | 1.7 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 50.0 | | 0.0 | | 26.7 | | 26.7 | | 3.3 | 3.3 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |
| 合計 | 平均 | 64 | 6.4 | 1.7 | 0.7 | 0.6 | 1.9 | 0.8 | 0.4 | 0.1 | 0.8 | 1.4 | 2.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | 39.1 | | 3.1 | | 18.8 | | 20.3 | | 1.6 | 10.9 | | 1.6 | | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | |

(4)10月調査 病害
(14~15日)

2021年

| 品種 | 地区 | 調査ほ場数 | 黒点病 | | そうか病 | | かいよう病 | | | | 褐色腐敗病 | 緑かび病 | こはん症 |
|----------|----------|-------|---------|------|---------|-----|---------|-----|---------|------|---------|---------|---------|
| | | | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病度 | 発病葉率(%) | 発病度 | 発病果率(%) | 発病果率(%) | 発生果率(%) |
| ウンシュウミカン | 下津 | 8 | 38.3 | 7.4 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.8 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 有田 | 12 | 33.6 | 6.8 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 日高 | 8 | 37.1 | 7.3 | 0.4 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.0 |
| | 西牟婁 | 6 | 30.0 | 8.1 | 1.1 | 0.6 | 1.7 | 1.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.0 |
| | 平均 | 34 | 34.9 | 7.3 | 0.3 | 0.2 | 0.9 | 0.5 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 88.2 | | 5.9 | | 23.5 | | 8.8 | | 0.0 | 8.8 | 0.0 |
| 八朔 | 平均 | 6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.4 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 0.0 | | 0.0 | | 33.3 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 夏橙 | 平均 | 6 | 25.0 | 8.5 | 0.0 | 0.0 | 21.1 | 8.6 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 66.7 | | 0.0 | | 83.3 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ネーブル | 平均 | 3 | 40.0 | 14.6 | 0.0 | 0.0 | 4.4 | 2.2 | 1.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 100.0 | | 0.0 | | 66.7 | | 100.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 伊予柑 | 平均 | 4 | 44.2 | 16.3 | 0.0 | 0.0 | 10.8 | 3.5 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 54.2 |
| | 発生ほ場率(%) | | 100.0 | | 0.0 | | 25.0 | | 25.0 | | 0.0 | 0.0 | 75.0 |
| 清見 | 平均 | 6 | 15.1 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 83.3 | | 0.0 | | 16.7 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 不知火 | 平均 | 5 | 6.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 発生ほ場率(%) | | 60.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 中晩柑 | 平均 | 30 | 20.9 | 9.0 | 0.0 | 0.0 | 7.2 | 3.1 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 7.2 |
| | 発生ほ場率(%) | | 63.3 | | 0.0 | | 36.7 | | 13.3 | | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| 合計 | 平均 | 64 | 28.3 | 8.1 | 0.2 | 0.1 | 3.9 | 1.7 | 0.1 | 0.02 | 0.0 | 0.3 | 3.4 |
| | 発生ほ場率(%) | | 76.6 | | 3.1 | | 29.7 | | 10.9 | | 0.0 | 4.7 | 4.7 |

(4)10月調査 虫害
(14~15日)

2021年

| 品種 | 地区 | 調査ほ場数 | ミカンハダニ | | | チャノキイロアザミウマ | | | | 訪花害虫 | ヤノネカイガラムシ | ヤガ類 | コナカイガラムシ類 | ゴマダラカミキリ | | ナメクジ類 | | | | | |
|----------|-----|-------|---------|--------------|-------|-------------|------|---------|-----|------|-----------|-----|-----------|----------|---------|-------|---------|--------|-----------|-----------|---------|
| | | | 生息葉率(%) | ♀成虫数(頭/100葉) | 春葉被害度 | 果頂部 | | 果梗部 | | | | | | 被害果率(%) | 被害果率(%) | | 被害果率(%) | 寄生率(%) | 食害(被害樹率%) | 成虫数(頭/ほ場) | 被害果率(%) |
| | | | | | | 被害果率(%) | 被害度 | 被害果率(%) | 被害度 | | | | | | | | | | | | |
| ウンシュウミカン | 下津 | 8 | 11.3 | 30.8 | 39.2 | 0.8 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| | 有田 | 12 | 2.5 | 4.4 | 29.2 | 0.8 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| | 日高 | 8 | 1.7 | 2.5 | 28.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| | 西牟婁 | 6 | 5.6 | 7.2 | 30.1 | 1.7 | 0.8 | 1.7 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| | 平均 | 34 | 4.9 | 10.7 | 31.5 | 0.8 | 0.5 | 0.3 | 0.2 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 32.4 | | | 14.7 | | 2.9 | | 0.0 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 八朔 | 平均 | 6 | 2.8 | 2.8 | 21.0 | 11.7 | 11.7 | 1.7 | 1.1 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 50.0 | | | 33.3 | | 33.3 | | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| 夏橙 | 平均 | 6 | 0.0 | 0.0 | 24.9 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.3 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | | | 0.0 | | 16.7 | | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| ネーブル | 平均 | 3 | 0.0 | 0.0 | 38.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | | | 0.0 | | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| 伊予柑 | 平均 | 4 | 8.3 | 12.5 | 43.7 | 3.3 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 50.0 | | | 50.0 | | 0.0 | | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| 清見 | 平均 | 6 | 1.7 | 1.7 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 5.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 16.7 | | | 0.0 | | 50.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| 不知火 | 平均 | 5 | 0.7 | 2.0 | 17.1 | 6.0 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 20.0 | | | 60.0 | | 0.0 | | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| 中晩柑 | 平均 | 30 | 2.1 | 2.9 | 26.7 | 3.8 | 3.5 | 1.4 | 1.3 | 0.7 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 23.3 | | | 23.3 | | 20.0 | | 6.7 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 平均 | 64 | 3.6 | 7.0 | 29.3 | 2.2 | 1.9 | 0.8 | 0.7 | 0.3 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | |
| 発生ほ場率(%) | | | 28.1 | | | 18.8 | | 10.9 | | 3.1 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | 0.0 | | | | | |

2) カキ

(1) 5月調査 (11, 14日)

調査品種：富有

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 新梢率 | うどんこ病 | | 灰色かび病 発病 新梢率 | フジコナ カイガラムシ 寄生 花蕾率 | カキクダ アザミウマ 被害 葉率 | マイマイガ 被害 葉率 | カンザワ ハダニ 被害 葉率 |
|----------|------|-----|------------------|----------|---------|--------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------|-------------------------|
| | No. | 字名 | | 発病 葉率 | 発病 度 | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 山田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 丁ノ町 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 西飯降 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 東浜田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 野上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 切畑 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 調月 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 15 | 赤木 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 16 | 鎌滝 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 大角 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | 0.0 | 0.0 | | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | 0.0 | | 41.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

100葉、50果、50新梢調査

調査品種：刀根早生、平核無

| 市町村 | 調査場所 | | 品種 | うどんこ病 | | 灰色かび病 発病 新梢率 | フジコナ カイガラムシ 寄生 花蕾率 | カキクダ アザミウマ 被害 葉率 | チャノキイ ロアザミウ マ 被害 果率 | マイマイガ 被害 葉率 | カンザワ ハダニ | |
|----------|------|------|------|----------|---------|--------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------------|-------------------|-------------|-----------|
| | No. | 字名 | | 発病 葉率 | 発病 度 | | | | | | 被害 葉率 | 被害 花蕾率 |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 |
| | 3 | 学文路 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 4 | 南馬場 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.0 |
| | 5 | 大野 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.0 |
| | 7 | 入郷 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.0 |
| | 9 | 柏木 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 |
| | 10 | 丁ノ町 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.0 |
| | 11 | 兄井 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| 紀の川市 | 12 | 西浜田 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.0 |
| | 13 | 野上 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 |
| | 14 | 切畑 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 13.0 |
| 紀美野町 | 15 | 調月 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.0 |
| | 16 | 赤木 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 15.0 |
| 17 | 鎌滝 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.0 | |
| 平均 | | | | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 8.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 0.0 | | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 16.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 0.0 | | 17.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.9 | 0.0 | 94.1 |

100葉、50果、50新梢調査

(2) 6月調査 (15, 17日)

調査品種: 富有

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 果率 | うどんこ病 | | 灰色かび病 | | カキノヘ タムシガ 被害 果率 | フジコナ カイガラムシ 寄生 果率 | ハマキムシ類 被害 果率 | カキクダ アザミウマ 被害 葉率 | さび果症 被害 果率 |
|----------|------|-----|-----------------|----------|-----|----------|----------|--------------------------|----------------------------|--------------------|---------------------------|------------------|
| | No. | 字名 | | 発病 葉率 | 発病度 | 発病 果率 | 発病 葉率 | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 2 | 市脇 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 3 | 学文路 | 0.0 | 3.0 | 0.3 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 山田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 丁ノ町 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 8.0 | 1.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 西飯降 | 0.0 | 8.0 | 0.8 | 16.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 東渋田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 野上 | 0.0 | 5.0 | 0.5 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 切畑 | 0.0 | 19.0 | 2.7 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 調月 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 15 | 赤木 | 0.0 | 4.0 | 0.6 | 4.0 | 1.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 16 | 鎌滝 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 大角 | 0.0 | 1.0 | 0.1 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | 0.0 | 2.6 | 0.3 | 9.1 | 0.2 | 0.0 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 0.2 |
| 発生ほ場数 | | | 0.0 | 8.0 | | 17.0 | 4.0 | 0.0 | 2.0 | 4.0 | 0.0 | 2.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | 47.1 | | 100.0 | 23.5 | 0.0 | 11.8 | 23.5 | 0.0 | 11.8 |

100葉、50果調査

調査品種: 刀根早生、平核無

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 果率 | うどんこ病 | | 灰色かび病 | | フジコナ カイガラムシ 寄生 果率 | ハマキムシ類 被害 果率 | カキクダ アザミウマ 被害 葉率 | チャノキイロ アザミウマ 被害 果率 | カンザワ ハダニ 被害 果率 | |
|----------|------|-----|-----------------|-------|----------|-------|----------|----------------------------|--------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|----------|
| | No. | 字名 | | 品種 | 発病 葉率 | 発病度 | 発病 果率 | | | | | | 発病 葉率 |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 南馬場 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 平核無 | 0.0 | 1.0 | 0.1 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 赤木 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 丁ノ町 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 兄井 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 12 | 西渋田 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 13 | 野上 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 切畑 | 刀根早生 | 0.0 | 7.0 | 0.9 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 15 | 調月 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 16 | 赤木 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 鎌滝 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | | 0.0 | 0.5 | 0.1 | 0.9 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.7 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 0.0 | 2.0 | | 6.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 0.0 | 11.8 | | 35.3 | 0.0 | 5.9 | 5.9 | 0.0 | 23.5 | 0.0 |

100葉、50果調査

(3) 7月調査 (13, 15日)

調査品種: 富有

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 果率 | うどんこ病 | | すす点病 発病 果率 | カキノヘ タムシガ 被害 果率 | フジコナ カイガラムシ 寄生 果率 | ハマキムシ類 被害 果率 | カキクダ アザミウマ 被害 果率 | コガシラ アワフキ 被害 果率 | さび果症 被害 果率 | カメムシ類 被害 果率 |
|----------|------|-----|-----------------|----------|---------|------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------|---------------------------|--------------------------|------------------|-------------------|
| | No. | 字名 | | 発病 葉率 | 発病 度 | | | | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 山田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 14.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 0.0 | 5.0 | 0.5 | 48.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 丁ノ町 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 西飯降 | 0.0 | 14.0 | 2.3 | 2.0 | 0.0 | 16.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 東浜田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 野上 | 0.0 | 10.0 | 1.0 | 4.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 切畑 | 0.0 | 21.0 | 3.3 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 調月 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 15 | 赤木 | 0.0 | 3.0 | 0.3 | 6.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 16 | 鎌滝 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 大角 | 54.0 | 3.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | 3.2 | 3.5 | 0.5 | 5.6 | 0.0 | 4.5 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | 1.0 | 8.0 | | 11.0 | 0.0 | 12.0 | 3.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 5.9 | 47.1 | | 64.7 | 0.0 | 70.6 | 17.6 | 0.0 | 5.9 | 0.0 | 0.0 |

100葉、50果調査

調査品種: 刀根早生、平核無

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 果率 | うどんこ病 | | すす点病 発病 果率 | フジコナ カイガラムシ 寄生 果率 | ハマキムシ類 被害 果率 | カキクダ アザミウ マ 被害 果率 | チャノキ イロアザ ミウマ 被害 果率 | カンザワ ハダニ 被害 果率 | カメムシ類 被害 果率 | |
|----------|------|-----|-----------------|-------|----------|------------------|----------------------------|--------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------|-------------------|---------|
| | No. | 字名 | | 品種 | 発病 葉率 | | | | | | | | 発病 度 |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 2 | 市脇 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 3 | 学文路 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 4.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 4 | 南馬場 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 5 | 大野 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.0 | 10.0 | 0.0 | 48.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 7 | 入郷 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 平核無 | 0.0 | 3.0 | 0.5 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 9 | 柏木 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 10 | 丁ノ町 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 11 | 兄井 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 紀の川市 | 12 | 西浜田 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 13 | 野上 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 14 | 切畑 | 刀根早生 | 0.0 | 8.0 | 1.5 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 紀美野町 | 15 | 調月 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 16 | 赤木 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 17 | 鎌滝 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 平均 | | | | 0.0 | 0.6 | 0.1 | 3.3 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 5.2 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 0.0 | 2.0 | | 6.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 11.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 0.0 | 11.8 | | 35.3 | 29.4 | 0.0 | 0.0 | 64.7 | 0.0 | 0.0 |

100葉、50果調査

(4) 8月調査(11,16日)

調査品種:富有

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 果率 | うどんこ病 | | 角斑 落葉病 発病 葉率 | 円星 落葉病 発病 葉率 | すす点病 発病 果率 | カキノヘ タムシガ 被害 果率 | フジコナ カイガラ ムシ 寄生 果率 | ハマキム シ類 被害 果率 | コガシラ アワフキ 被害 果率 | さび果症 被害 果率 | カメムシ 類 被害 果率 |
|----------|------|-----|-----------------|----------|---------|-----------------------|-----------------------|------------------|--------------------------|--------------------------------|------------------------|--------------------------|------------------|-----------------------|
| | No. | 字名 | | 発病 葉率 | 発病 度 | | | | | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 4 | 山田 | 0.0 | 3.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 0.0 | 6.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 74.0 | 0.0 | 4.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 丁ノ町 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 西飯降 | 0.0 | 17.0 | 4.4 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 11 | 東洪田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 野上 | 0.0 | 30.0 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 切畑 | 0.0 | 27.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 14 | 調月 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 14.0 | 0.0 | 14.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 15 | 赤木 | 0.0 | 1.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 16.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 16 | 鎌滝 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 6.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 大角 | 36.0 | 39.0 | 9.9 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | 2.2 | 7.4 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 10.4 | 0.0 | 3.9 | 0.9 | 0.0 | 0.7 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | 2.0 | 8.0 | | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 10.0 | 4.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 11.8 | 47.1 | | 0.0 | 0.0 | 70.6 | 0.0 | 58.8 | 23.5 | 0.0 | 35.3 | 0.0 |

100葉、50果調査

調査品種:刀根早生、平核無

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 果率 | うどんこ病 | | 角斑 落葉病 発病 葉率 | 円星 落葉病 発病 葉率 | すす点病 発病 果率 | フジコナ カイガラ ムシ 寄生 果率 | ハマキム シ類 被害 果率 | カキノヘ タムシガ 被害 果率 | チャノキ イロアザ ミウマ 被害 果率 | カメムシ 類 被害 果率 |
|----------|------|-----|-----------------|-------|----------|-----------------------|-----------------------|------------------|--------------------------------|------------------------|--------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| | No. | 字名 | | 品種 | 発病 葉率 | | | | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 南馬場 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 22.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 柏木 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 丁ノ町 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 兄井 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 西洪田 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 野上 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 14 | 切畑 | 刀根早生 | 0.0 | 7.0 | 0.7 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 15 | 調月 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 16 | 赤木 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 26.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 |
| | 17 | 鎌滝 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 6.2 | 1.6 | 0.6 | 0.1 | 1.6 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 0.0 | 1.0 | | 1.0 | 9.0 | 5.0 | 3.0 | 1.0 | 5.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 0.0 | 5.9 | | 5.9 | 52.9 | 29.4 | 17.6 | 5.9 | 29.4 | 0.0 |

100葉、50果調査

(5) 9月調査 (13, 15日)

調査品種: 富有

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病率 | うどんこ病 | | 角斑 落葉病 | | 円星 落葉病 | | すす点病 発病率 | カキノヘタ ムシガ 被害 果率 | フジコナ カイガラムシ 寄生 果率 | ハマキム シ類 被害 果率 | カメムシ類 被害 果率 | ハスモン ヨトウ 被害 果率 |
|----------|------|-----|------------|----------|------|-----------|------|-----------|------|-------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|-------------------|-------------------------|
| | No. | 字名 | | 発病 業率 | 発病度 | 発病 業率 | 発病度 | 発病 業率 | 発病度 | | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 1.0 |
| | 4 | 山田 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 0.0 | 10.0 | 2.8 | 8.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 82.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 丁ノ町 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 4.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 西飯降 | 6.0 | 14.0 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 東洪田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 野上 | 0.0 | 17.0 | 5.4 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 18.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 切畑 | 0.0 | 32.0 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 調月 | 2.0 | 21.0 | 4.5 | 21.0 | 4.5 | 0.0 | 0.0 | 14.0 | 0.0 | 4.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 15 | 赤木 | 10.0 | 2.0 | 0.2 | 49.0 | 9.3 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 8.0 | 2.0 | 0.0 | 1.0 |
| | 16 | 鎌滝 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 大角 | 28.0 | 52.0 | 14.1 | 79.0 | 19.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 |
| 平均 | | | 3.2 | 9.1 | 2.2 | 9.8 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 11.9 | 0.0 | 3.8 | 0.6 | 1.1 | 0.1 |
| 発生ほ場数 | | | 6.0 | 10.0 | | 8.0 | | 0.0 | | 11.0 | 0.0 | 7.0 | 4.0 | 5.0 | 2.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 35.3 | 58.8 | | 47.1 | | 0.0 | | 64.7 | 0.0 | 41.2 | 23.5 | 29.4 | 11.8 |

100葉、50果調査

調査品種: 刀根早生、平核無

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病率 | うどんこ病 | | 角斑 落葉病 | | 円星 落葉病 | | すす点病 発病率 | カキノヘタ ムシガ 被害 果率 | フジコナ カイガラムシ 寄生 果率 | ハマキム シ類 被害 果率 | カメムシ類 被害 果率 | ハスモン ヨトウ 被害 果率 |
|----------|------|-----|------------|-------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|-------------------|-------------------------|
| | No. | 字名 | | 品種 | 発病 業率 | 発病度 | 発病 業率 | 発病度 | 発病 業率 | | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 市脇 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 南馬場 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 平核無 | 0.0 | 1.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 22.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 刀根早生 | 0.0 | 1.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 柏木 | 刀根早生 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 32.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 丁ノ町 | 平核無 | 0.0 | 2.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 兄井 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 西洪田 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 野上 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 切畑 | 刀根早生 | 0.0 | 6.0 | 0.6 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 紀美野町 | 15 | 調月 | 平核無 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.0 | 2.7 | 0.0 | 28.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 16 | 赤木 | 平核無 | 0.0 | 7.0 | 0.7 | 10.0 | 1.7 | 0.0 | 32.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 鎌滝 | 刀根早生 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | | 0.0 | 1.1 | 0.1 | 1.3 | 0.3 | 0.0 | 11.5 | 0.0 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 0.1 |
| 発生ほ場数 | | | | 0.0 | 6.0 | | 4.0 | | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 3.0 | 4.0 | 0.0 | 1.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 0.0 | 35.3 | | 23.5 | | 0.0 | 58.8 | 0.0 | 17.6 | 23.5 | 0.0 | 5.9 |

100葉、50果調査

(6) 10月調査 (11, 14日)
調査品種: 富有

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 炭疽病 発病 果率 | うどんこ病 | | 角斑 落葉病 | | 円星 落葉病 | | すす点病 発病 果率 | カキノヘ タムシガ 被害 果率 | フジコナカ イガラムシ 寄生 果率 | ハマキム シ類 被害 果率 | カメモシ類 被害 果率 |
|----------|------|-----|-----------------|----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|------------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|-------------------|
| | No. | 字名 | | 発病 葉率 | 発病 度 | 発病 葉率 | 発病 度 | 発病 葉率 | 発病 度 | | | | | |
| 橋本市 | 1 | 柏原 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 7.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 0.0 | 10.0 |
| | 2 | 市脇 | 2.0 | 1.0 | 0.1 | 15.0 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 24.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 3 | 学文路 | 2.0 | 7.0 | 0.9 | 23.0 | 4.2 | 1.0 | 0.2 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 24.0 |
| | 4 | 山田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 35.0 | 8.7 | 1.0 | 0.2 | 26.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 大野 | 0.0 | 8.0 | 2.2 | 27.0 | 6.2 | 3.0 | 0.5 | 84.0 | 0.0 | 12.0 | 4.0 | 2.0 |
| 九度山町 | 6 | 広良 | 0.0 | 11.0 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 入郷 | 2.0 | 19.0 | 6.6 | 14.0 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 8 | 広浦 | 24.0 | 29.0 | 8.6 | 49.0 | 13.8 | 6.0 | 1.8 | 90.0 | 0.0 | 4.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 9 | 丁ノ町 | 0.0 | 16.0 | 6.3 | 18.0 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 6.0 | 2.0 |
| | 10 | 西飯降 | 10.0 | 23.0 | 8.7 | 24.0 | 5.5 | 0.0 | 0.0 | 18.0 | 0.0 | 10.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 11 | 東洪田 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 2.0 | 0.0 |
| 紀の川市 | 12 | 野上 | 0.0 | 21.0 | 4.0 | 47.0 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 48.0 | 0.0 | 34.0 | 4.0 | 2.0 |
| | 13 | 切畑 | 0.0 | 45.0 | 10.1 | 29.0 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 48.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 調月 | 2.0 | 34.0 | 19.1 | 33.0 | 13.5 | 0.0 | 0.0 | 24.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 4.0 |
| 紀美野町 | 15 | 赤木 | 28.0 | 23.0 | 5.3 | 85.0 | 33.8 | 4.0 | 0.8 | 24.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 16 | 鎌滝 | 8.0 | 5.0 | 0.7 | 4.0 | 0.7 | 1.0 | 0.2 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 17 | 大角 | 46.0 | 48.0 | 17.4 | 62.0 | 21.5 | 3.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 | 12.0 |
| 平均 | | | 7.5 | 17.1 | 5.4 | 27.9 | 7.9 | 1.1 | 0.3 | 24.7 | 0.0 | 5.9 | 1.4 | 3.5 |
| 発生ほ場数 | | | 10.0 | 14.0 | | 16.0 | | 7.0 | | 12.0 | 0.0 | 11.0 | 8.0 | 8.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 58.8 | 82.4 | | 94.1 | | 41.2 | | 70.6 | 0.0 | 64.7 | 47.1 | 47.1 |

100葉、50果調査

3) モモ

(1)4月調査(15日)

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 品種 | せん孔細菌病 発病 枝率 | モモ ハモグリガ 被害 葉率 | ナシヒメ シンクイ 被害 枝率 | アブラムシ類 寄生 新梢率 | カイガラムシ類 寄生 枝率 |
|----------|------|-----|------|--------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|
| | No. | 字名 | | | | | | |
| 紀の川市 | 1 | 杉原 | 白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 遠方 | 日川白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 嶋 | 白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 長田中 | 白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 元 | 清水白桃 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 6 | 市場 | 清水白桃 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 段 | 清水白桃 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | 8 | 段新田 | 清水白桃 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 9 | 兄井 | 白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 東洪田 | 白鳳 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 |

100葉叢、100結果枝 調査

(2)5月調査(11,14日)

| 市町村 | 調査場所 | | 品種 | せん孔細菌病 発病 葉率 | うどんこ病 発病 果率 | モモ ハモグリガ 被害 葉率 | ハダニ類 寄生 葉率 | ナシヒメ シンクイ 被害 枝率 | アブラムシ類 寄生 新梢率 | カイガラムシ類 寄生 枝率 | コスカシバ 被害 箇所数 |
|----------|------|-----|------|--------------------|-------------------|-------------------------|------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| | No. | 字名 | | | | | | | | | |
| 紀の川市 | 1 | 杉原 | 白鳳 | 6.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 遠方 | 日川白鳳 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 嶋 | 白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 長田中 | 白鳳 | 1.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 元 | 清水白桃 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 6 | 市場 | 清水白桃 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 段 | 清水白桃 | 1.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 8 | 段新田 | 清水白桃 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 9 | 兄井 | 白鳳 | 2.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 東洪田 | 白鳳 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 平均 | | | | 2.5 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 8.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 80.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

100葉、50果、50新梢 コスカシバ:10樹、樹高1m以下調査

(3)6月調査(15,17日)

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 品種 | せん孔細菌病 | | モモハモグリガ被害葉率 | ハダニ類寄生葉率 | ナシヒメシンクイ被害枝率 | アブラムシ類寄生新梢率 | カイガラムシ類寄生枝率 | カメムシ類被害果率 |
|----------|------|-----|------|--------|------|-------------|----------|--------------|-------------|-------------|-----------|
| | No. | 字名 | | 発病葉率 | 発病果率 | | | | | | |
| 紀の川市 | 1 | 杉原 | 白鳳 | 2.0 | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 2 | 遠方 | 日川白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 嶋 | 白鳳 | 3.0 | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 4 | 長田中 | 白鳳 | 3.0 | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 5 | 元 | 清水白桃 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 6 | 市場 | 清水白桃 | 4.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 段 | 清水白桃 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 8 | 段新田 | 清水白桃 | 15.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 9 | 兄井 | 白鳳 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 東浜田 | 白鳳 | 0.0 | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| 平均 | | | | 3.1 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 6.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 60.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 70.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

100葉、50果、50新梢調査

- は有袋のため未調査

(4)7月調査(13,15日)

| 市町村 | 調査場所 | | 品種 | せん孔細菌病 | | 灰星病発病果率 | モモハモグリガ被害葉率 | ハダニ類寄生葉率 | ナシヒメシンクイ被害枝率 | アブラムシ類寄生新梢率 | カイガラムシ類寄生枝率 | カメムシ類被害果率 |
|----------|------|-----|------|--------|------|---------|-------------|----------|--------------|-------------|-------------|-----------|
| | No. | 字名 | | 発病葉率 | 発病果率 | | | | | | | |
| 紀の川市 | 1 | 杉原 | 白鳳 | 5.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 2 | 遠方 | 日川白鳳 | 3.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 3 | 嶋 | 白鳳 | 5.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 4 | 長田中 | 白鳳 | 3.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 5 | 元 | 清水白桃 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 6 | 市場 | 清水白桃 | 8.0 | - | - | 0.0 | 8.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 7 | 段 | 清水白桃 | 4.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 8 | 段新田 | 清水白桃 | 16.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| かつらぎ町 | 9 | 兄井 | 白鳳 | 2.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| | 10 | 東浜田 | 白鳳 | 2.0 | - | - | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| 平均 | | | | 4.8 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場数 | | | | 9.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 9.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 90.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 90.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

100葉、50果、50新梢調査

- は収穫済みのため果実無し

(5)8月調査(11,16日)

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 品種 | せん孔細菌病 発病 葉率 | モモ ハモグリガ 被害 葉率 | ハダニ類 寄生 葉率 | ナシヒメ シンクイ 被害 枝率 | アブラムシ類 寄生 新梢率 | カイガラムシ類 寄生 枝率 |
|----------|------|-----|------|--------------------|-------------------------|------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|
| | No. | 字名 | | | | | | | |
| 紀の川市 | 1 | 杉原 | 白鳳 | 22.0 | 0 | 2 | 8.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 遠方 | 日川白鳳 | 21.0 | 0 | 27 | 10.0 | 0 | 0 |
| | 3 | 嶋 | 白鳳 | 10.0 | 0 | 5.0 | 14.0 | 0 | 0 |
| | 4 | 長田中 | 白鳳 | 9.0 | 0 | 5 | 6 | 0 | 0 |
| | 5 | 元 | 白鳳 | 5.0 | 0 | 19 | 10.0 | 0 | 0 |
| | 6 | 市場 | 清水白桃 | 32.0 | 0 | 36.0 | 10.0 | 0 | 0 |
| | 7 | 段 | 清水白桃 | 14.0 | 0 | 37.0 | 28.0 | 0 | 0 |
| | 8 | 段新田 | 清水白桃 | 45.0 | 0 | 13 | 3.0 | 0 | 0 |
| かつらぎ町 | 9 | 兄井 | 白鳳 | 3.0 | 0 | 0.0 | 7.0 | 0 | 0 |
| | 10 | 東洪田 | 白鳳 | 10.0 | 0 | 0.0 | 2.0 | 0 | 0 |
| 平均 | | | | 17.1 | 0 | 14.4 | 9.8 | 0 | 0 |
| 発生ほ場数 | | | | 10 | 0 | 8 | 10 | 0 | 0 |
| 発生ほ場率(%) | | | | 100.0 | 0 | 80.0 | 100.0 | 0 | 0 |

100葉、50果、50新梢調査

4) キウイフルーツ

調査品種:ヘイワード

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 4月調査(15,19,20日) | | 5月調査(10,11日) | | 6月調査(11,17日) | |
|----------|------|-------|-----------------|-----|--------------|-----|--------------|------|
| | | | かいよう病 | | かいよう病 | | かいよう病 | |
| | | | 発病葉率 | 発病度 | 発病葉率 | 発病度 | 発病葉率 | 発病度 |
| 紀の川市 | 1 | 名手上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 北涌 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 海南市 | 3 | 下津町小南 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 下津町小原 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 下津町下津 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.9 |
| 平均 | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.2 |
| 発生ほ場数 | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 |
| 発生ほ場率(%) | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 10.0 |

10新梢の100葉調査

5) ウメ

(1) 4月調査(4月9、12日)

調査品種：南高

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 黒星病 | | かいよう病 | | すす斑病 | アブラムシ類 | ウメロ カガラムシ |
|------|----------|-------|----------|-------------|----------|-------------|----------|-----------|--------------|
| | No. | 字名 | 発病 枝率 | 病斑数 ／発病枝 | 発病 枝率 | 病斑数 ／発病枝 | 発病 枝率 | 被害 新梢率 | 寄生 枝率 |
| みなべ町 | 1 | 東岩代1 | 0.0 | 0.0 | 18.0 | 5.4 | 60.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 2 | 東岩代2 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 5.6 | 48.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 3 | 東岩代3 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 1.0 | 82.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 4 | 東本庄1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.0 | 0.0 | 12.0 |
| | 5 | 東本庄2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 84.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 6 | 東本庄3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 86.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 7 | 西本庄1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 44.0 | 0.0 | 10.0 |
| | 8 | 西本庄2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 42.0 | 0.0 | 16.0 |
| | 9 | 井戸が谷1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 24.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 10 | 井戸が谷2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 62.0 | 0.0 | 8.0 |
| | 11 | 埴田1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 24.0 |
| | 12 | 埴田2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 | 6.0 |
| | 13 | 晩稲1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 晩稲2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 44.0 | 2.0 | 10.0 |
| | 15 | 晩稲3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 44.0 | 16.0 | 6.0 |
| | 16 | 晩稲4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 46.0 | 0.0 | 8.0 |
| | 17 | 岩代P1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 68.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 18 | 岩代P2 | 2.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 54.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 19 | 高城1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 20 | 高城2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 46.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 21 | 清川1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 22 | 清川2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.0 | 0.0 | 0.0 |
| 田辺市 | 1 | 下三栖1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 66.0 | 0.0 | 6.0 |
| | 2 | 下三栖2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 84.0 | 0.0 | 26.0 |
| | 3 | 上秋津1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 70.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 上秋津2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 54.0 | 0.0 | 6.0 |
| | 5 | 団栗 | 6.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 76.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 6 | 中芳養 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 8.0 |
| | 7 | 津志野 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 70.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 8 | 秋津川1 | 8.0 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 38.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 9 | 秋津川2 | 2.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 62.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 秋津川3 | 2.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 34.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 11 | 上芳養1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 52.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 12 | 上芳養2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 56.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 平均 | | 0.6 | 0.4 | 1.5 | 0.4 | 50.9 | 0.5 | 5.7 |
| | 発生ほ場数 | | 5 | | 3 | | 34 | 2 | 27 |
| | 発生ほ場率(%) | | 14.7 | | 8.8 | | 100.0 | 5.9 | 79.4 |

(2) 6月調査(5月20、26日)

調査品種: 南高

2021年

| 市町村 | 調査場所 | | 黒星病 | | かいよう病 | | うどんこ病 | 灰色かび病 | すす斑病 | ウミノカガラムシ | ハダニ類 | | コスカハバ | アブラムシ類 |
|------|----------|-------|------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|----------|------|---------|----------|--------|
| | No. | 字名 | 発病果率 | 発病度 | 発病果率 | 発病度 | 発病果率 | 発病果率 | 発病枝率 | 寄生枝率 | 被害葉率 | 虫数/100葉 | 被害カ所数/5樹 | 被害新梢率 |
| みなべ町 | 1 | 東岩代1 | 0.0 | 0.0 | 5.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 92.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2 | 東岩代2 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 64.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 東岩代3 | 11.0 | 5.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 68.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 東本庄1 | 5.0 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 東本庄2 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 1.0 | 0.0 | 3.0 | 84.0 | 0.0 | 11.0 | 30.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 6 | 東本庄3 | 1.0 | 0.2 | 2.0 | 0.7 | 0.0 | 1.0 | 86.0 | 2.0 | 4.0 | 26.0 | 0.0 | 5.0 |
| | 7 | 西本庄1 | 2.0 | 0.5 | 13.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 58.0 | 4.0 | 1.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 8 | 西本庄2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 80.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 井戸が谷1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 井戸が谷2 | 1.0 | 0.2 | 3.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 48.0 | 4.0 | 5.0 | 15.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 11 | 埴田1 | 6.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 20.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 12 | 埴田2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 54.0 | 0.0 | 2.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 13 | 晩稲1 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 48.0 | 0.0 | 3.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 14 | 晩稲2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 62.0 | 4.0 | 3.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 15 | 晩稲3 | 5.0 | 0.8 | 3.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 80.0 | 0.0 | 5.0 | 6.0 | 0.0 | 27.0 |
| | 16 | 晩稲4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 44.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 17 | 岩代P1 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 84.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 18 | 岩代P2 | 5.0 | 2.3 | 7.0 | 2.5 | 0.0 | 3.0 | 30.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 19 | 高城1 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 58.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 20 | 高城2 | 3.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 58.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | 21 | 清川1 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 72.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 22 | 清川2 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 46.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 0.0 |
| 田辺市 | 1 | 下三栖1 | 1.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 84.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 2 | 下三栖2 | 1.0 | 0.2 | 1.0 | 0.2 | 1.0 | 0.0 | 70.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 3 | 上秋津1 | 1.0 | 0.2 | 1.0 | 0.2 | 1.0 | 0.0 | 78.0 | 0.0 | 1.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 4 | 上秋津2 | 2.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 5 | 団栗 | 8.0 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 74.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.0 |
| | 6 | 中芳養 | 5.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 70.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 7 | 津志野 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 54.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 8 | 秋津川1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 20.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 9 | 秋津川2 | 2.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 52.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 10 | 秋津川3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 26.0 | 0.0 | 2.0 | 4.0 | 5.0 | 2.0 |
| | 11 | 上芳養1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 2.0 | 6.0 | 12.0 | 0.0 | 22.0 |
| | 12 | 上芳養2 | 1.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 42.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 平均 | | 1.8 | 0.6 | 1.5 | 0.4 | 0.1 | 0.3 | 59.0 | 2.0 | 1.3 | 3.2 | 0.3 | 1.9 |
| | 発生ほ場数 | | 17 | | 15 | | 4 | 6 | 34 | 17 | 12 | | 4 | 5 |
| | 発生ほ場率(%) | | 50.0 | | 44.1 | | 11.8 | 17.6 | 100.0 | 50.0 | 35.3 | | 11.8 | 14.7 |